

平成 18 年度

江戸川区民世論調査

< 第 27 回 >

江戸川区

～ 目 次 ～

調査の概要	3
結果のあらまし	11
結果と分析	17
1．居住年数について	17
(1) 居住年数	17
2．区の現況について	19
(1) 区の現況への満足度	19
(2) 各項目の満足度	22
3．永住意向について	41
(1) 永住意向	41
4．安全・安心パトロールについて	45
(1) 安全・安心パトロール活動への参加	45
(1-1) 安全・安心パトロール活動への参加意向	48
5．地域活動について	52
(1) 地域活動への参加意向	52
(1-1) 地域活動に参加するために必要なこと	55
(1-2) 参加したい地域活動	57
6．環境保全・リサイクルについて	61
(1) 省エネ・省資源を意識した行動	61
(2) ごみ減量・リサイクル情報の入手先	70
(3) プラスチックごみの分別方針の認知	74
(4) ごみ減量やリサイクルのために行っていること	77
7．防災について	84
(1) 地震発生時のための備え	84
8．図書館について	89
(1) 区の図書館の利用	89
(1-1) 図書館サービスへの満足度	92
(2) 図書館で拡充してほしいサービス	95

9 . 健康づくりについて -----	96
(1) ウォーキングをしているか -----	96
(1-1) ウォーキングをしていない理由 -----	99
10 . 区役所や区の施設の窓口サービスについて -----	102
(1) 区の施設での窓口サービスへの印象 -----	102
(2) 窓口サービスへの満足度 -----	103
11 . 広報について -----	104
(1) 区の情報の入手手段 -----	104
(2) 広報えどがわの精読度 -----	108
12 . 情報化について -----	111
(1) インターネットの利用状況 -----	111
(1-1) 利用している機器・サービス -----	114
(1-2) インターネットの接続回線 -----	122
(2) 電子申請で望む手続き -----	123
13 . 区政への要望 -----	127
(1) 今後推進してほしい施策 -----	127
(2) 施設への要望 -----	132
(3) 区政に望むこと(自由意見) -----	136
集計表 -----	169
調査票 -----	253

調査の概要

調査の概要

1. 目的

区政に対する区民の意識・評価・要望などを把握し、その結果を区政へ反映させることにより、区民参加による区政運営を推進していくため実施。

2. 対象

満 18 歳以上の区民 2,000 人

対象者は、住民基本台帳より無作為に抽出

3. 期間

平成 18 年 6 月 1 日（木）～ 6 月 10 日（土）＜ 10 日間＞

4. 内容

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| (1) 居住年数について | (7) 防災について |
| (2) 区の現況について | (8) 図書館について |
| (3) 永住意向について | (9) 健康づくりについて |
| (4) 安全・安心パトロールについて | (10) 区役所や区の施設の窓口サービスについて |
| (5) 地域活動について | (11) 広報について |
| (6) 環境保全・リサイクルについて | (12) 情報化について |
| | (13) 区政への要望 |

5. 調査方法

調査票を対象者に郵送し、本人記入方式。

回収は、郵送回収と訪問回収の併用。

【回収結果】

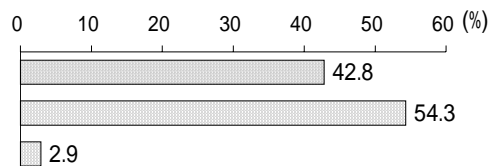
- ・ 標本数 2,000 件
- ・ 有効回収数 1,356 件 有効回収率 67.8%
- ・ 地区別回収数 (人口は、平成 18 年 5 月 1 日現在)

地区	対象人口(人)	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
小松川	54,410	163	111	68.0
中央	132,671	407	252	61.9
葛西	238,340	730	454	62.1
小岩	96,313	293	176	60.0
東部	88,971	262	186	70.9
鹿骨	51,561	145	103	71.0
N A	-	-	74	-
計	662,266	2,000	1356	67.8

6. 回答者の属性

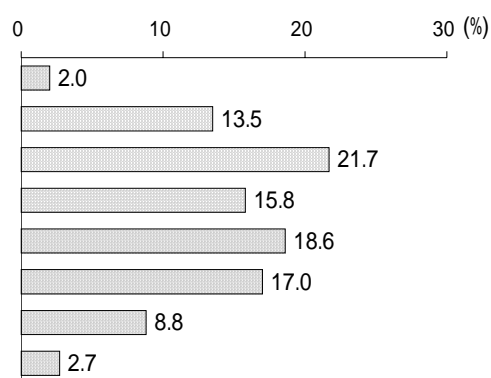
(1) F1 性別

	基数	構成比
1 男性	581	42.8%
2 女性	736	54.3
(無回答)	39	2.9
全体	1356	100.0



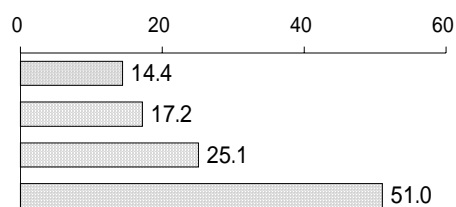
(2) F2 年齢

	基数	構成比
1 18歳～19歳	27	2.0%
2 20歳～29歳	183	13.5
3 30歳～39歳	294	21.7
4 40歳～49歳	214	15.8
5 50歳～59歳	252	18.6
6 60歳～69歳	230	17.0
7 70歳以上	119	8.8
(無回答)	37	2.7
全体	1356	100.0



(3) F3 同居者

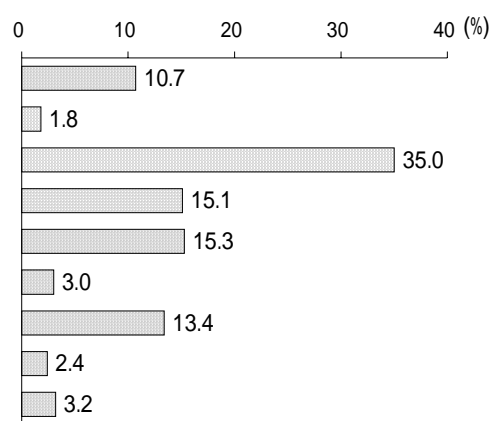
	基数	構成比
1 小学校入学前のお子さん	195	14.4%
2 小・中学校	233	17.2
3 65歳以上の方	341	25.1
(無回答)	692	51.0
全体	1461	107.7



複数回答の設問であるため、基数・構成比ともに選択項目の合計が全体数を上回る。

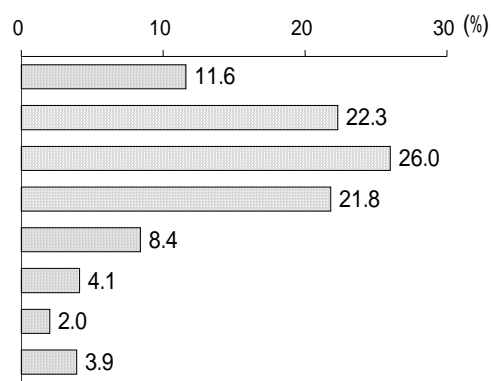
(4) F4 職業

	基数	構成比
1 自営業者	145	10.7%
2 家族従業(家事手伝い)	24	1.8
3 勤め(全日)	474	35.0
4 勤め(パートタイム)	205	15.1
5 家事専業	208	15.3
6 学生	41	3.0
7 無職	182	13.4
7 その他	33	2.4
(無回答)	44	3.2
全体	1356	100.0



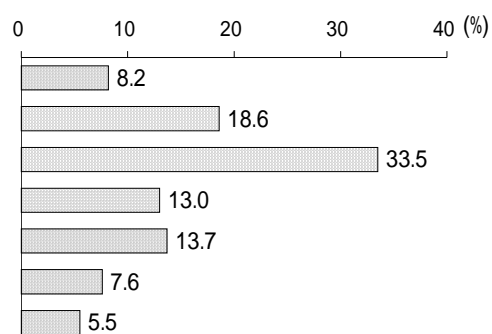
(5) F 5 同居家族数

	基数	構成比
1 1人	157	11.6%
2 2人	302	22.3
3 3人	353	26.0
4 4人	295	21.8
5 5人	114	8.4
6 6人	55	4.1
7 7人以上	27	2.0
(無回答)	53	3.9
全 体	1356	100.0



(6) F 6 居住地区

	基数	構成比
1 小松川地区	111	8.2%
2 中央地区	252	18.6
3 葛西地区	454	33.5
4 小岩地区	176	13.0
5 東部地区	186	13.7
6 鹿骨地区	103	7.6
(無回答)	74	5.5
全 体	1356	100.0



7. 報告書の見方

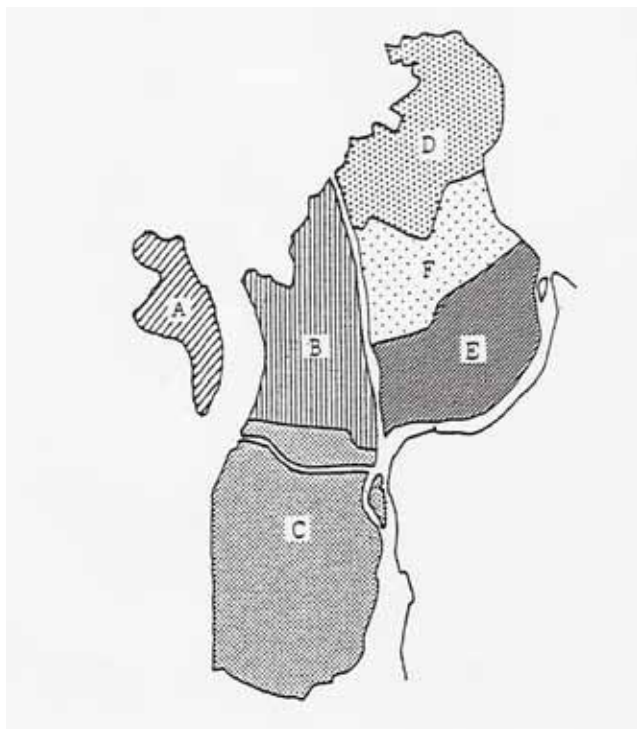
この報告書における表・グラフの見方

- 図表の中のnとは回答者総数（または該当質問の該当者数）を表している。
- 比率はnを100%とした百分比で算出し、小数点以下第2位を四捨五入した。そのために、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがある。
- 1人の回答者が複数回答で行なう設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- 図表中0は四捨五入の結果を示し、-は回答者が皆無であることを示す。
- 本文や図表中の選択肢表記では、場合によっては語句を短縮・省略化している。
- 分析軸では、その特徴をより明確に出せるように「その他」「無回答」は掲載していない。
- nが小さくなるほどデータの精度が保証しがたくなるので、nが30未満の場合は注意を要する。したがって、nが30を下回る場合、原則的に数値をあげた具体的なコメントは行わない。
- 地区は、管轄ごとに以下のように分類した。

〔管轄別区域表〕

管 轄 名	管 轄 内 町 丁 名
小松川事務所 (小松川地区)	小松川1~4丁目、平井1~7丁目
区 民 課 (中央地区)	中央1~4丁目、松島1~4丁目、松江1~7丁目、東小松川1~4丁目、西小松川町、大杉1~5丁目、西一之江1~4丁目、春江町4丁目、上一色1~3丁目、本一色1~3丁目、一之江1~7丁目、西瑞江4丁目1~2・10~27、江戸川4丁目15~25、松本1・2丁目、興宮町
葛西事務所 (葛西地区)	春江町5丁目、西瑞江5丁目、江戸川5・6丁目、一之江町、二之江町、船堀1~7丁目、宇喜田町、東葛西1~9丁目、西葛西1~8丁目、中葛西1~8丁目、南葛西1~7丁目、北葛西1~5丁目、清新町1・2丁目、臨海町1~6丁目、堀江町
小岩事務所 (小岩地区)	東小岩1~6丁目、西小岩1~5丁目、南小岩1~8丁目、北小岩1~8丁目
東部事務所 (東部地区)	春江町2・3丁目、東瑞江1・2丁目、西瑞江2・3丁目・4丁目5~9、江戸川1~3丁目・4丁目1~14、谷河内2丁目、下篠崎町、篠崎町3~6丁目、南篠崎町1~5丁目、東篠崎町、東篠崎1・2丁目、瑞江1~3丁目
鹿骨事務所 (鹿骨地区)	新堀1・2丁目、春江町1丁目、谷河内1丁目、鹿骨町、鹿骨1~6丁目、上篠崎1~4丁目、篠崎町1・2・7・8丁目、西篠崎1・2丁目、北篠崎1・2丁目、東松本1・2丁目

〔地区別区分図〕



- A 小松川地区（小松川事務所管内）
- B 中央地区（区民課管内）
- C 葛西地区（葛西事務所管内）
- D 小岩地区（小岩事務所管内）
- E 東部地区（東部事務所管内）
- F 鹿骨地区（鹿骨事務所管内）

標本誤差は次式で得られ、 比率算出の基数（n）、 回答の比率（P）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = 2 \sqrt{P(1 - P) / n}$$

P = 回答比率（%）

n = 回答者数

今回の調査結果の標本誤差は下記のようになる。

回答率(p) 回答者数(n)	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,356	± 1.63	± 2.17	± 2.49	± 2.66	± 2.72
1,000	± 1.90	± 2.53	± 2.90	± 3.10	± 3.16
500	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
300	± 3.46	± 4.62	± 5.29	± 5.66	± 5.77
100	± 6.00	± 8.00	± 9.17	± 9.80	± 10.00

<注/この表の見方>

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあるが、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答数が1,356であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.66%以内（57.34～62.66%）である」とみることができる。

結果のあらまし

結果のあらまし

【居住年数について】

江戸川区への居住年数は、21年以上住んでいる 長期の居住者 が最も多く、6割弱となっている。

【区の現況について】

区の現況を総合的に見た場合の満足度は、＜満足＞と答えた人が58.5%と過半数を占めており、＜不満＞と答えた人は10.9%と少ない結果となっている。

区の現況を項目ごとに見た場合の満足度では、「買い物の便」と「公園・水辺の整備」、そして「交通の便」の満足度が高く、＜満足＞は6割超となっている。一方で「地域の治安・安全性」では3人に1人が＜不満＞としている。

【永住意向について】

今後も江戸川区に住み続けたいか尋ねたところ、 永住意向 を示した人が74.1%と大多数を占めており、多くの人々が永住を希望していると言える。

平成17年に実施された「都民生活に関する世論調査」の地域定住意向の調査結果と比較すると、東京都全体では「住みたい」が70.4%、区部でも70.2%であり、江戸川区の永住意向の高さがうかがえる。

【安全・安心パトロールについて】

安全・安心パトロール活動への参加状況を聞いたところ、「参加している（参加したことがある）」人は13.4%と1割強であった。

参加したことがない人に参加してみたいか尋ねたところ、2割の人たちが「ぜひ参加したい」「きっかけがあれば参加したい」と答えている。また、「参加したいが参加できない（仕事や健康上の理由など）」と答えた人も4割となっており、現在参加していない人たちのうち6割の人は参加の意向があると考えられる。

【地域活動について】

地域活動へ参加したいか尋ねたところ、2割の人たちが「ぜひしたい」「きっかけや条件を整えばやってみたい」と答えている。また、「やってみたいが、できない(仕事や健康上の理由など)」と答えた人も4割に上っており、6割の人たちは参加の意向があると考えられる。

地域活動に「きっかけや条件を整えばやってみたい」と答えた人に活動を始めるために必要なことを聞くと、「活動についての情報」が6割を超え突出している。

参加したいと思う地域活動については、「環境・自然・緑などを守り育てる活動」が最も多く2割の人が回答している。

【環境保全・リサイクルについて】

省エネ・省資源を意識した行動をしているか尋ねたところ、「家電製品を購入する時には、省エネルギー製品を購入する」と「つけっ放しの電灯やテレビの主電源をこまめに消している」、「冷蔵庫にものを詰め込みすぎないようにしている」の3つについては7割を超える人が行っていると回答した。

ごみ減量やリサイクルに関する情報の入手先は「区の広報紙(広報えどがわ)」が6割で最も多く、続く「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌など」が4割台半ばとなっており、この2つが突出している。

プラスチックごみの分別方針の認知状況は、<知っている>が7割となっている。

ごみの減量やリサイクルのために行っていることを尋ねたところ、「ごみと資源の分別を行っている」人は9割に上り、「生ごみの水切りを行っている」人も8割を超えて高くなっている。

【防災について】

地震が起こった時のために日ごろからしている備えでは、「消火器の使い方を知っている」が7割を超えて突出している。一方、「ガラス面に飛散防止フィルムを張る」を行っている人は1割に満たない。

【図書館について】

過去1年間の図書館の利用状況では、利用した人は4割弱となっている。

利用者に図書館サービスへの満足度を聞くと、65%の人が<満足>と答えた。

今後拡充してほしいサービスでは、「資料(本・CDなど)の種類や量」(35.7%)が最も多く、続いて「開館曜日・開館時間」(19.8%)、「貸出し期間・貸出しや返却の手続き」(9.3%)の順となっている。

【健康づくりについて】

ウォーキングを「毎日している人」は1割強となっているが、「週2回以上している」(13.4%)人と「月に1~2回程度している」(13.8%)人を合わせると、行っている人は4割となる。

ウォーキングをしていない理由を尋ねたところ、半数の人は「時間がないから」と回答した。また、4人に1人は「きっかけがないから」と答えている。

【区役所や区の施設の窓口サービスについて】

職員の対応の印象については、いずれの項目も<満足>と答えた人の方が<不満>と答えた人よりも多くなっている。また、<満足>の比率が他に比べて高いのは「言葉づかい」や「身だしなみ」、「説明のわかりやすさ」となっている。

窓口サービスを総合的に見た場合の満足度は、4割以上の方が<満足>と答え<不満>は1割台半ばとなっている。

【広報について】

区の情報の入手手段は、「区の広報紙(広報えどがわ)」の比率が圧倒的に高く、76.4%の人が回答している。その他に比率が高いものとしては、4割を超えている「くらしの便利帳」と「町内・自治会回覧などの資料」があげられる。

広報えどがわの精読度については、3人に1人は「大体全部読んでいる」と答えており、広報えどがわをある程度<読んでいる>人は8割と大多数を占めている。

【情報化について】

インターネットの利用状況については、「利用している」人が過半数を占め、6割弱となっている。また、「現在は利用していないが、今後は利用したい」と回答した人も2割弱となっている。

インターネットを利用している人に、利用している機器とサービスをそれぞれ尋ねたところ、最も多い機器は「パソコン」で8割を超え、続く「携帯電話・PHS」でも7割を超えている。また、パソコンを使って利用しているサービスで最も多いのは「ホームページでの情報収集」となっている。一方、携帯電話・PHSでは「電子メール」が最も多い。

パソコンでインターネットに接続している人では、半数近くの人が「ADSL回線（高速の電話回線）」を利用しており、最も多くなっている。また、4人に1人は「光回線（FTTH）」を利用している。

電子申請による行政サービスとして希望する手続きは、「各種証明書の交付申請手続き」が最も多く46.4%となっている。続いて「公共施設の予約」、「住民登録に係る届出手続き」が2割を超えて多い。

【区政への要望】

今後推進してほしい施策については、半数近くの人が「防犯対策（安全・安心まちづくり）」と答え、次いで「高齢者対策」が3人に1人となっている。また、「防災対策」と「子育て対策」も2割を超えて高くなっている。

施設への要望について、最も多かったのが「児童・保育施設」で、次いで「教育・文化施設」、「スポーツ施設」、「医療関係施設」の順となっている。

区政全般に対して自由に意見を聞いたところ、「区民と区政」に係るものが最も多く、続いて「福祉」、「生活環境」、「都市環境」に対する意見も多くなっている。

結果と分析

結果と分析

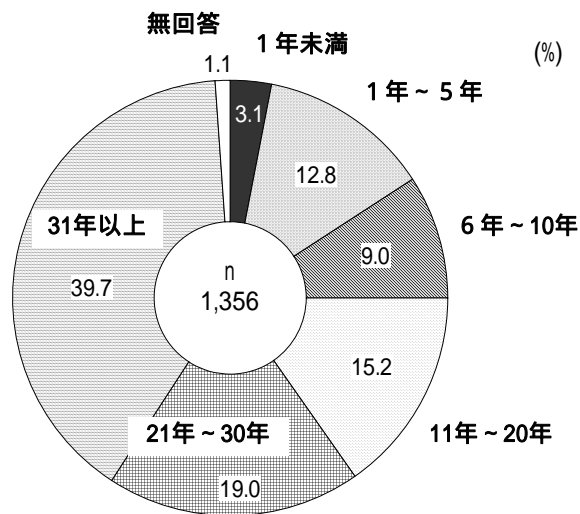
1. 居住年数について

(1) 居住年数

<長期の居住者>が6割弱

問1 あなたは、江戸川区に住んで何年になりますか。(は1つ)

<図表1 - 1> 居住年数



(注) <短期の居住者> = 「1年未満」 + 「1年～5年」・・・15.9%

<中期の居住者> = 「6年～10年」 + 「11年～20年」・・・24.2%

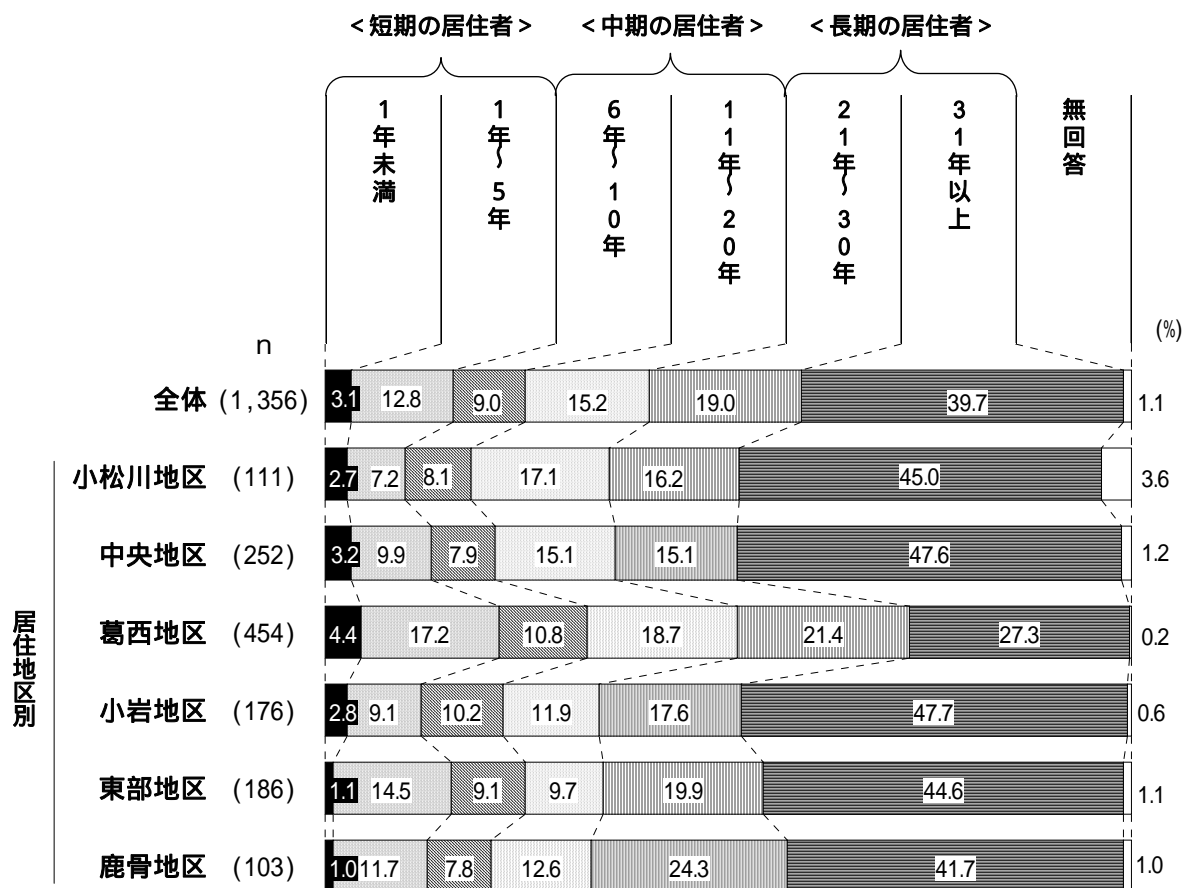
<長期の居住者> = 「21年～30年」 + 「31年以上」・・・58.7%

江戸川区での居住年数は、「21年～30年」(19.0%)と「31年以上」(39.7%)を合わせた<長期の居住者>が58.7%で最も多く、6割弱となっている。続いて、「6年～10年」(9.0%)と「11年～20年」(15.2%)を合わせた<中期の居住者>が24.2%、「1年未満」(3.1%)と「1年～5年」(12.8%)を合わせた<短期の居住者>が15.9%となっている。(図表1 - 1)

【居住地区別】

居住地区別でみると、“葛西地区”では<短期の居住者>と<中期の居住者>の割合が他の地区に比べて高く、<長期の居住者>では全体より12ポイント下回っている。<長期の居住者>の割合が高いのは“鹿骨地区”と“小岩地区”で、6割台半ばを超えている。(図表1-2)

<図表1-2> 居住年数/居住地区別



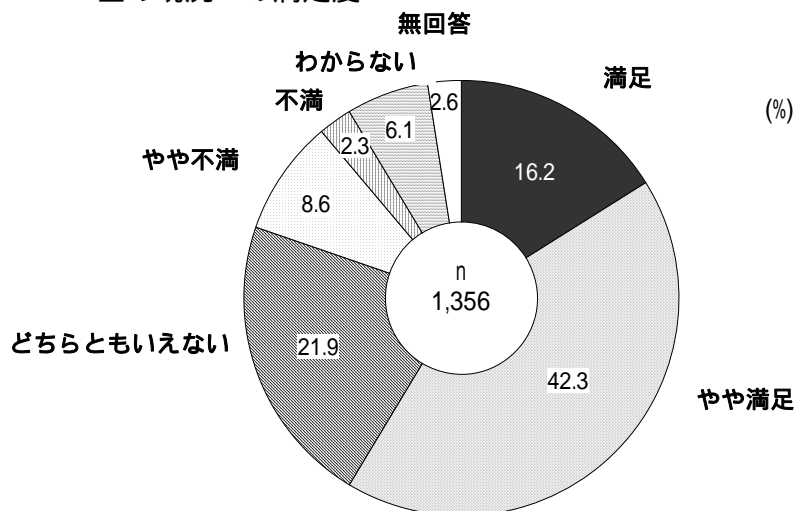
2. 区の現況について

(1) 区の現況への満足度

<満足(計)>が58.5%で過半数を占める

問2 あなたは、区の現況を総合的にみた場合、どの程度満足していますか。(は1つ)

<図表2-1> 区の現況への満足度



(注) <満足(計)> = 「満足」 + 「やや満足」・・・58.5%

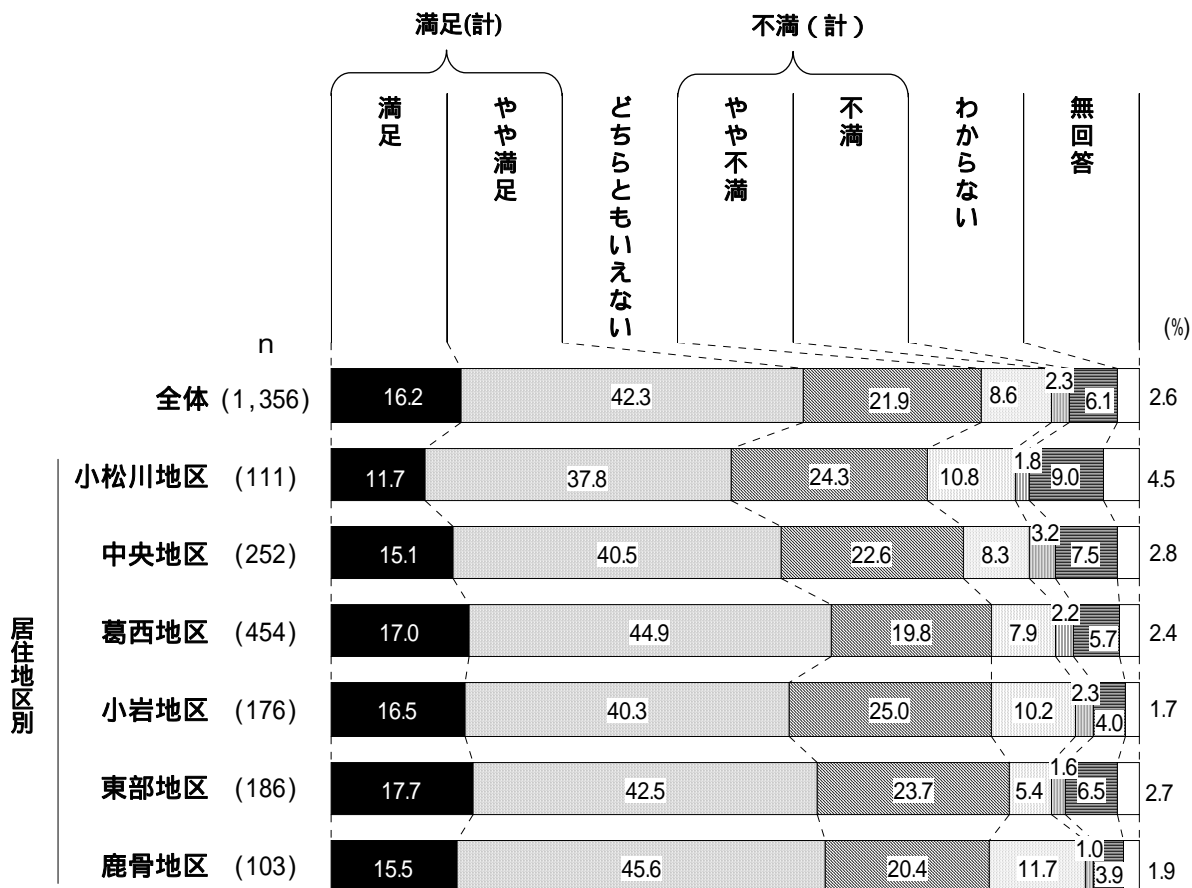
<不満(計)> = 「不満」 + 「やや不満」・・・10.9%

区の現況を総合的にみた場合の満足度は、「満足」(16.2%)と「やや満足」(42.3%)を合わせた<満足(計)>が58.5%で過半数を占めている。一方「やや不満」(8.6%)と「不満」(2.3%)を合わせた<不満(計)>は10.9%で1割程度となっている。(図表2-1)

【居住地区別】

居住地区別でみると、＜満足（計）＞が最も多いのは“葛西地区”の61.9%、続いて“鹿骨地区”と“東部地区”が6割を超え、高くなっている。（図表2 - 2）

＜図表2 - 2＞ 区の現況への満足度 / 居住地区別

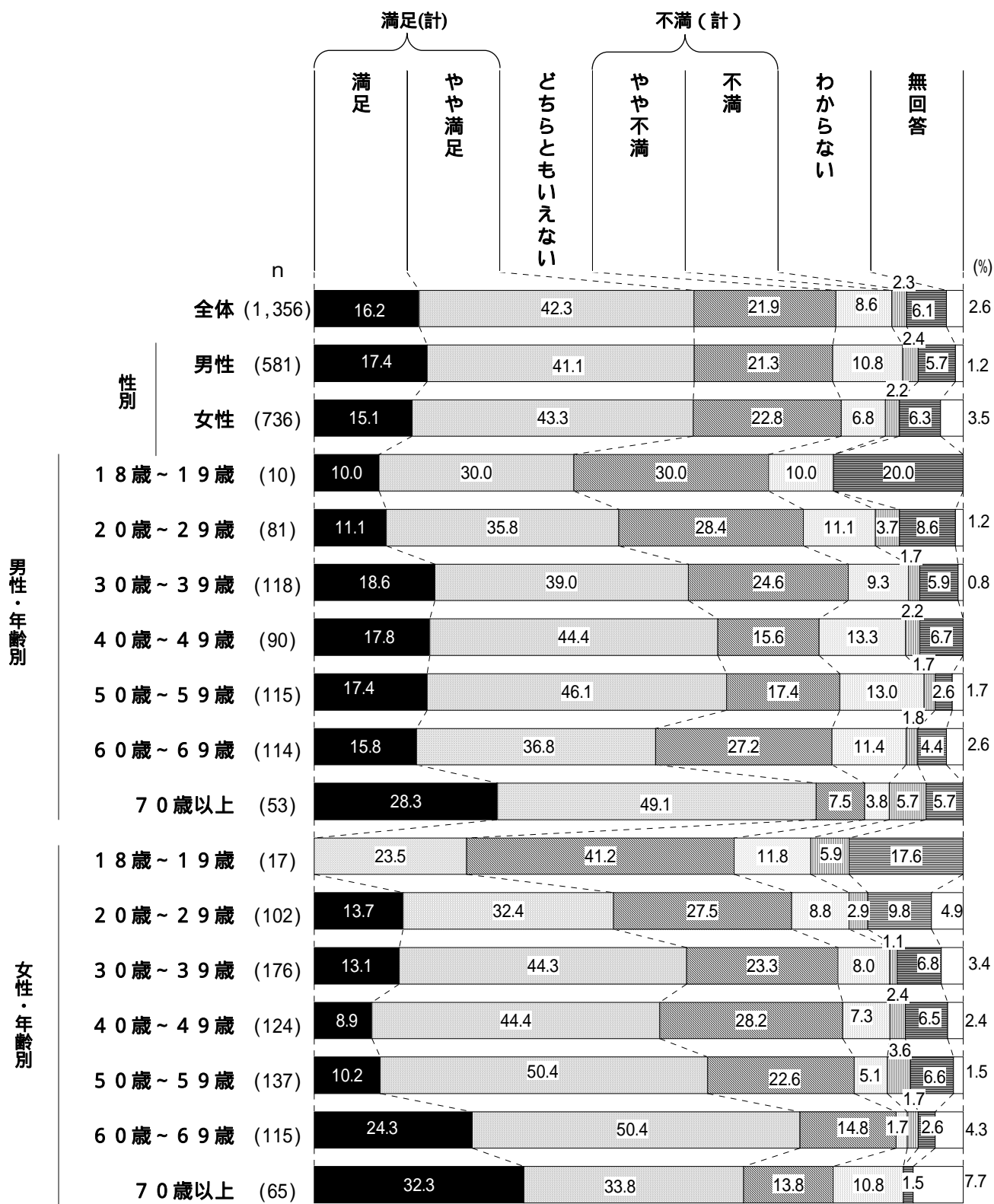


【性・年齢別】

性別でみると、＜満足（計）＞＜不満（計）＞ともに大きな差はみられない。

性・年齢別でみると、男性女性ともに、年齢が高くなるにつれて＜満足（計）＞が高くなる傾向にあり、男性では70歳以上が、女性では60歳代がそれぞれ7割を超え高くなっている。（図表2-3）

＜図表2-3＞ 区の現況への満足度／性・年齢別



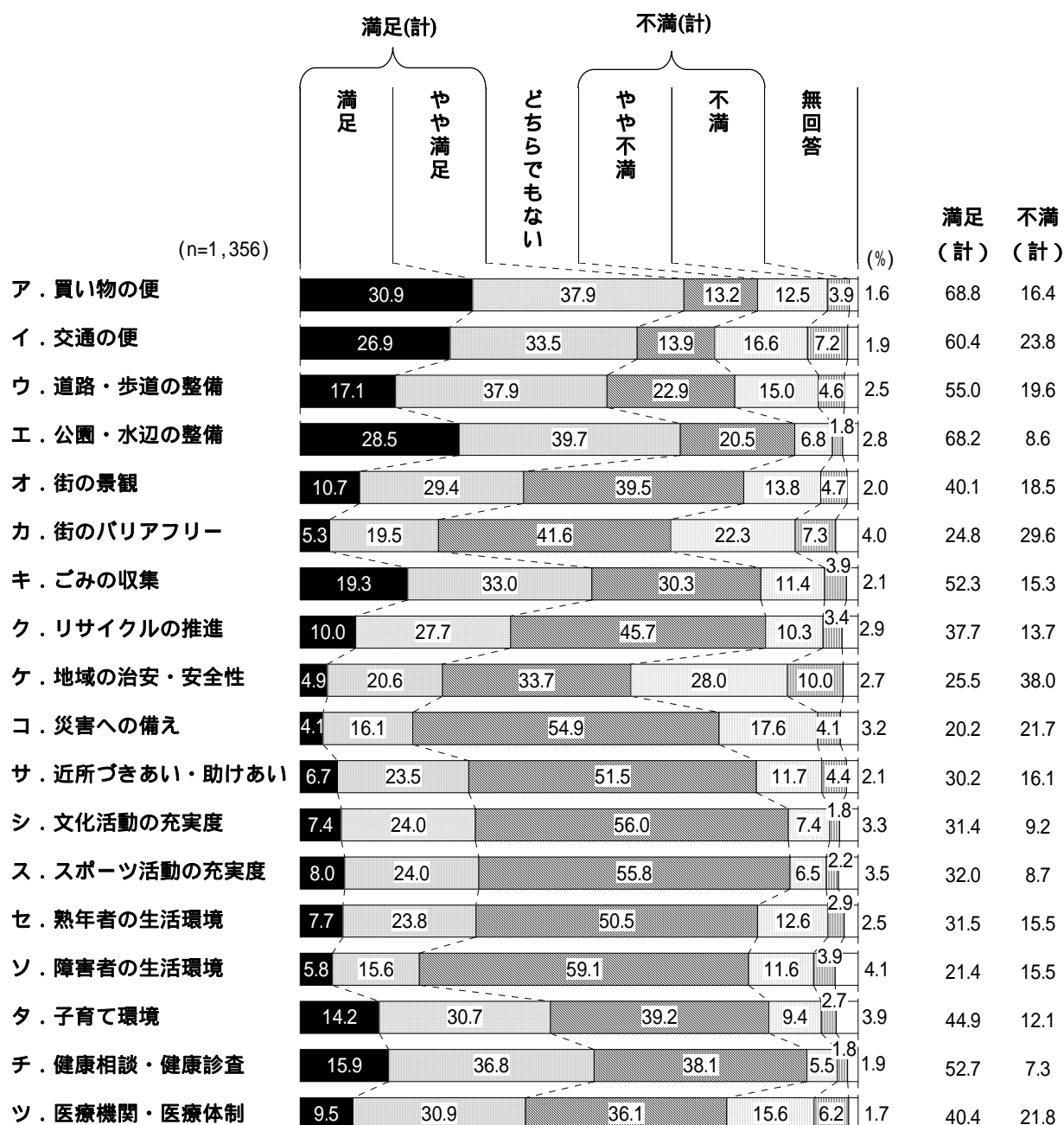
男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(2) 各項目の満足度

【買い物の便】の<満足(計)>が最も高く68.8%

問3 つぎに、ア～ツの各項目の現況について、どの程度満足しているかお答えください。
(それぞれは1つずつ)

<図表2-4> 各項目の満足度



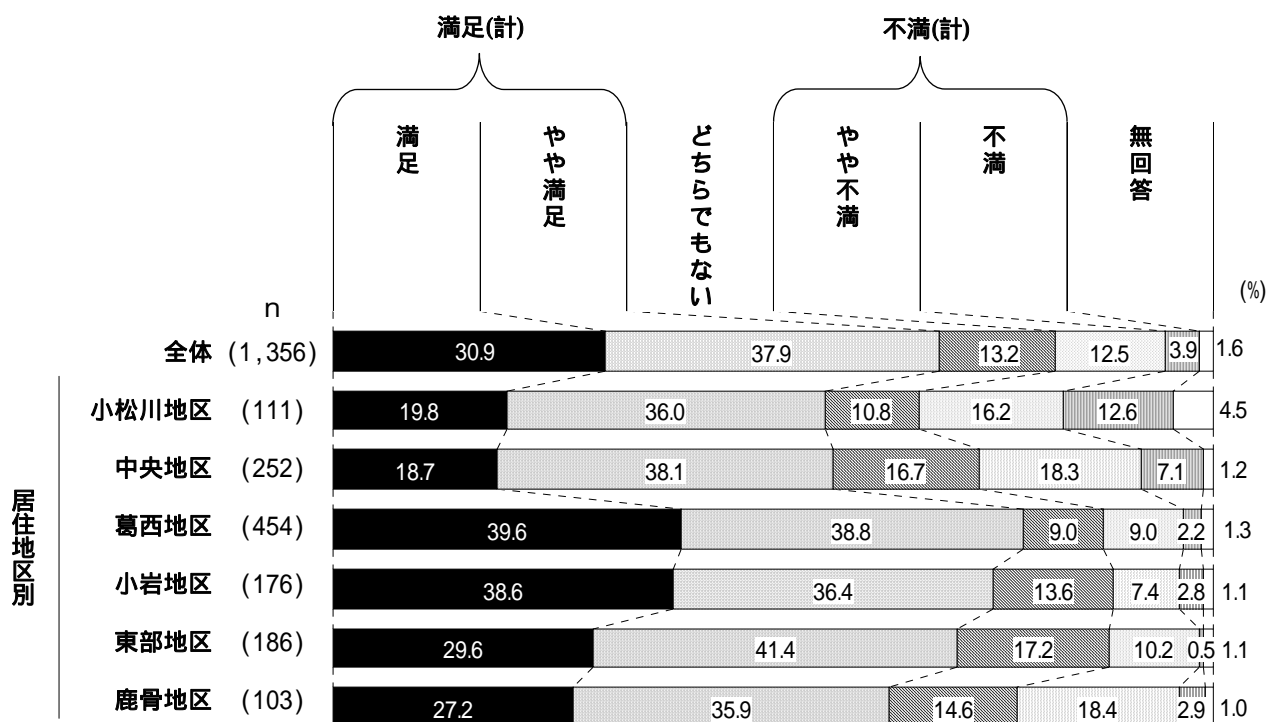
江戸川区の各項目の現況について聞いたところ、最も＜満足（計）＞が高かったのは【買い物の便】で68.8%となっている。続いて、【公園・水辺の整備】と【交通の便】が6割を超えて高くなっている。

一方、＜不満（計）＞が最も高いのは【地域の治安・安全性】で3人に1人の割合となっており、次いで【まちのバリアフリー】が3割と高くなっている。（図表2 - 4）

【ア．買い物の便／居住地区別】

買い物の便に＜満足（計）＞している人の割合が最も高いのは、“葛西地区”の8割弱で、“小岩地区”が7割台半ばで続いている。最も低いのは、“小松川地区”で55.8%となっている。（図表2 - 5）

＜図表2 - 5＞ ア．買い物の便／居住地区別



【参考】＜満足（計）＞：「満足」(30.9) + 「やや満足」(37.9) = 68.8

小松川地区：19.8 + 36.0 = 55.8 中央地区：18.7 + 38.1 = 56.8 葛西地区：39.6 + 38.8 = 78.4
 小岩地区：38.6 + 36.4 = 75.0 東部地区：29.6 + 41.4 = 71.0 鹿骨地区：27.2 + 35.9 = 63.1

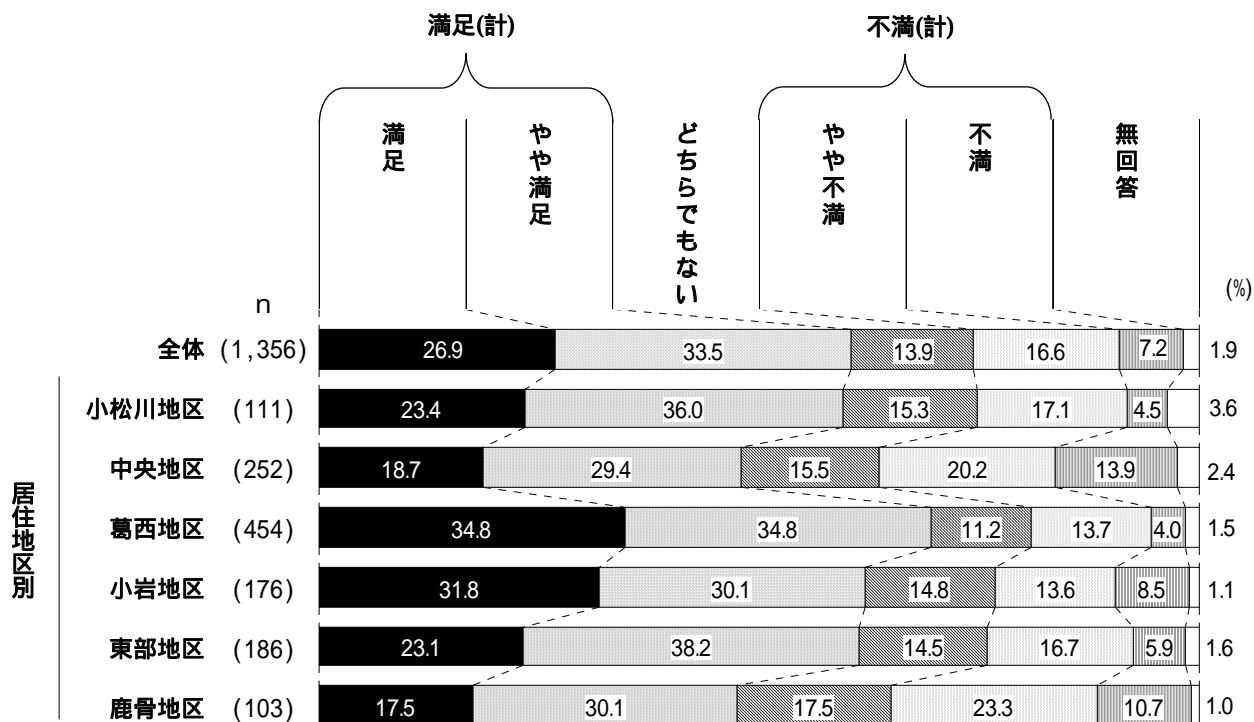
＜不満（計）＞：「不満」(3.9) + 「やや不満」(12.5) = 16.4

小松川地区：12.6 + 16.2 = 28.8 中央地区：7.1 + 18.3 = 25.4 葛西地区：2.2 + 9.0 = 11.2
 小岩地区：2.8 + 7.4 = 10.2 東部地区：0.5 + 10.2 = 10.7 鹿骨地区：2.9 + 18.4 = 21.3

【イ．交通の便／居住地区別】

交通の便に<満足(計)>している人の割合は、“葛西地区”が7割で最も高く、続いて“小岩地区”、“東部地区”の順となっている。一方、“鹿骨地区”と“中央地区”では<満足(計)>している人は半数弱となっている。(図表2-6)

<図表2-6> イ．交通の便／居住地区別



【参考】<満足(計)> : 「満足」(26.9) + 「やや満足」(33.5) = 60.4

小松川地区 : 23.4 + 36.0 = 59.4 中央地区 : 18.7 + 29.4 = 48.1 葛西地区 : 34.8 + 34.8 = 69.6

小岩地区 : 31.8 + 30.1 = 61.9 東部地区 : 23.1 + 38.2 = 61.3 鹿骨地区 : 17.5 + 30.1 = 47.6

<不満(計)> : 「不満」(7.2) + 「やや不満」(16.6) = 23.8

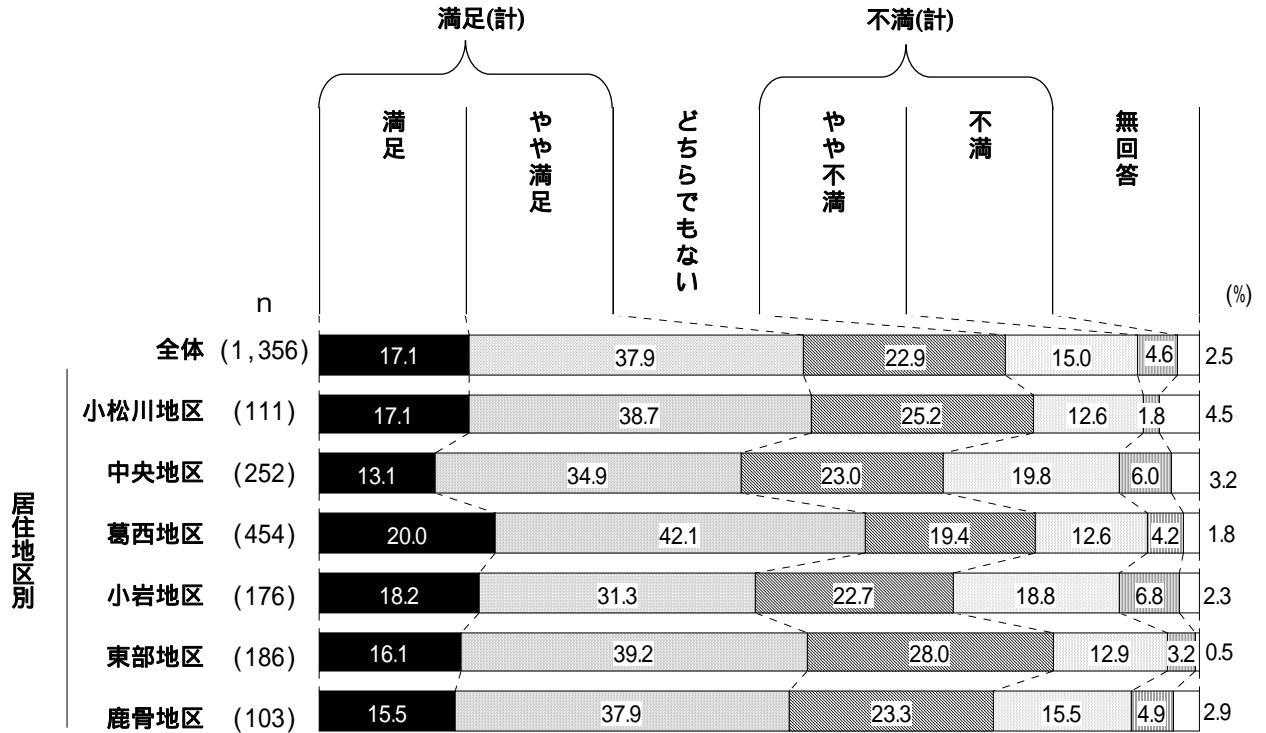
小松川地区 : 4.5 + 17.1 = 21.6 中央地区 : 13.9 + 20.2 = 34.1 葛西地区 : 4.0 + 13.7 = 17.7

小岩地区 : 8.5 + 13.6 = 22.1 東部地区 : 5.9 + 16.7 = 22.6 鹿骨地区 : 10.7 + 23.3 = 34.0

【ウ．道路・歩道の整備／居住地区別】

道路・歩道の整備に<満足(計)>している人の割合が高いのは、“葛西地区”の62.1%となっている。一方“中央地区”と“小岩地区”では半数弱となっている。(図表2-7)

<図表2-7> ウ．道路・歩道の整備／居住地区別



【参考】<満足(計)> : 「満足」(17.1) + 「やや満足」(37.9) = 55.0

小松川地区 : 17.1 + 38.7 = 55.8 中央地区 : 13.1 + 34.9 = 48.0 葛西地区 : 20.0 + 42.1 = 62.1

小岩地区 : 18.2 + 31.3 = 49.5 東部地区 : 16.1 + 39.2 = 55.3 鹿骨地区 : 15.5 + 37.9 = 53.4

<不満(計)> : 「不満」(4.6) + 「やや不満」(15.0) = 19.6

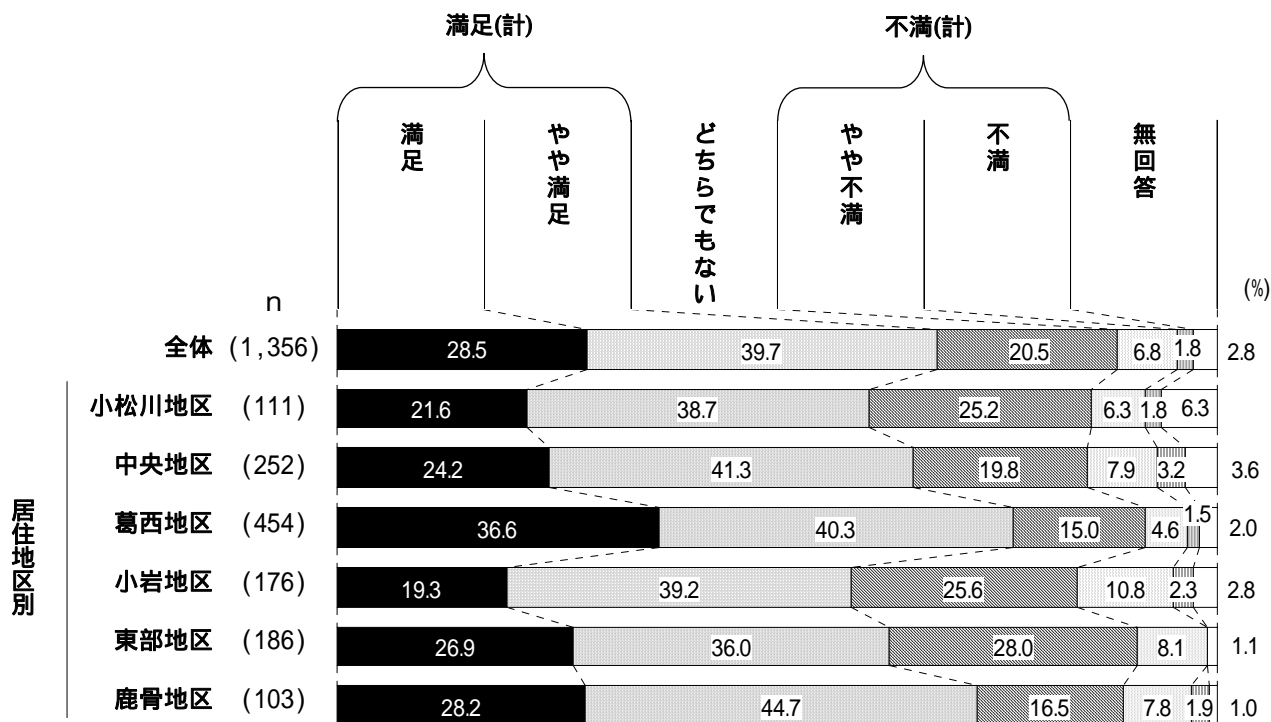
小松川地区 : 1.8 + 12.6 = 14.4 中央地区 : 6.0 + 19.8 = 25.8 葛西地区 : 4.2 + 12.6 = 16.8

小岩地区 : 6.8 + 18.8 = 25.6 東部地区 : 3.2 + 12.9 = 16.1 鹿骨地区 : 4.9 + 15.5 = 20.4

【エ．公園・水辺の整備／居住地区別】

公園・水辺の整備に＜満足（計）＞している人の割合が高いのは、“葛西地区”で7割台半ばを超え、続いて“鹿骨地区”も7割を超えて高くなっている。最も低い“小岩地区”でも、6割弱となっている。（図表2 - 8）

＜図表2 - 8＞ エ．公園・水辺の整備／居住地区別



【参考】＜満足（計）＞：「満足」(28.5) + 「やや満足」(39.7) = 68.2

小松川地区：21.6 + 38.7 = 60.3 中央地区：24.2 + 41.3 = 65.5 葛西地区：36.6 + 40.3 = 76.9

小岩地区：19.3 + 39.2 = 58.5 東部地区：26.9 + 36.0 = 62.9 鹿骨地区：28.2 + 44.7 = 72.9

＜不満（計）＞：「不満」(1.8) + 「やや不満」(6.8) = 8.6

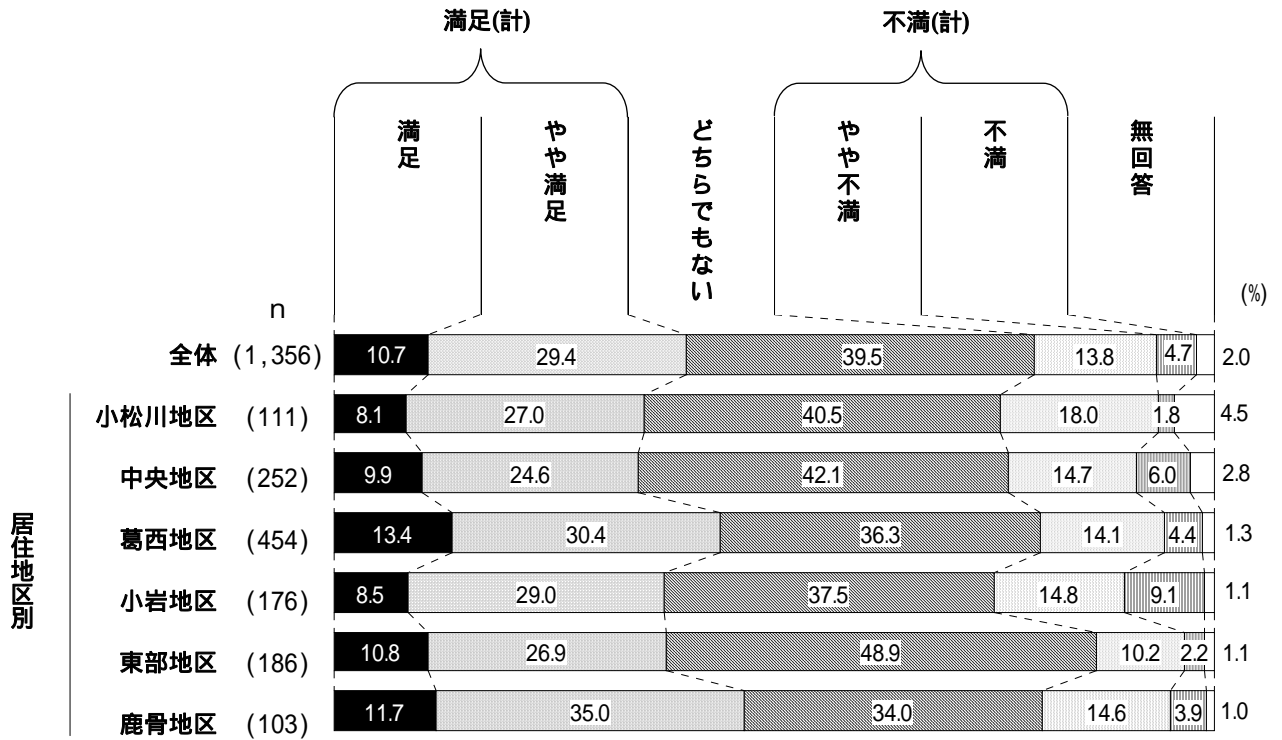
小松川地区：1.8 + 6.3 = 8.1 中央地区：3.2 + 7.9 = 11.1 葛西地区：1.5 + 4.6 = 6.1

小岩地区：2.3 + 10.8 = 13.1 東部地区：0.0 + 8.1 = 8.1 鹿骨地区：1.9 + 7.8 = 9.7

【オ．街の景観／居住地区別】

街の景観に<満足(計)>している人の割合が高いのは“鹿骨地区”で、46.7%となっている。一方、“小松川地区”、“中央地区”は3割台半ばとなっている。(図表2-9)

<図表2-9> オ．街の景観／居住地区別



【参考】<満足(計)> : 「満足」(10.7) + 「やや満足」(29.4) = 40.1

小松川地区 : 8.1 + 27.0 = 35.1 中央地区 : 9.9 + 24.6 = 34.5 葛西地区 : 13.4 + 30.4 = 43.8

小岩地区 : 8.5 + 29.0 = 37.5 東部地区 : 10.8 + 26.9 = 37.7 鹿骨地区 : 11.7 + 35.0 = 46.7

<不満(計)> : 「不満」(4.7) + 「やや不満」(13.8) = 18.5

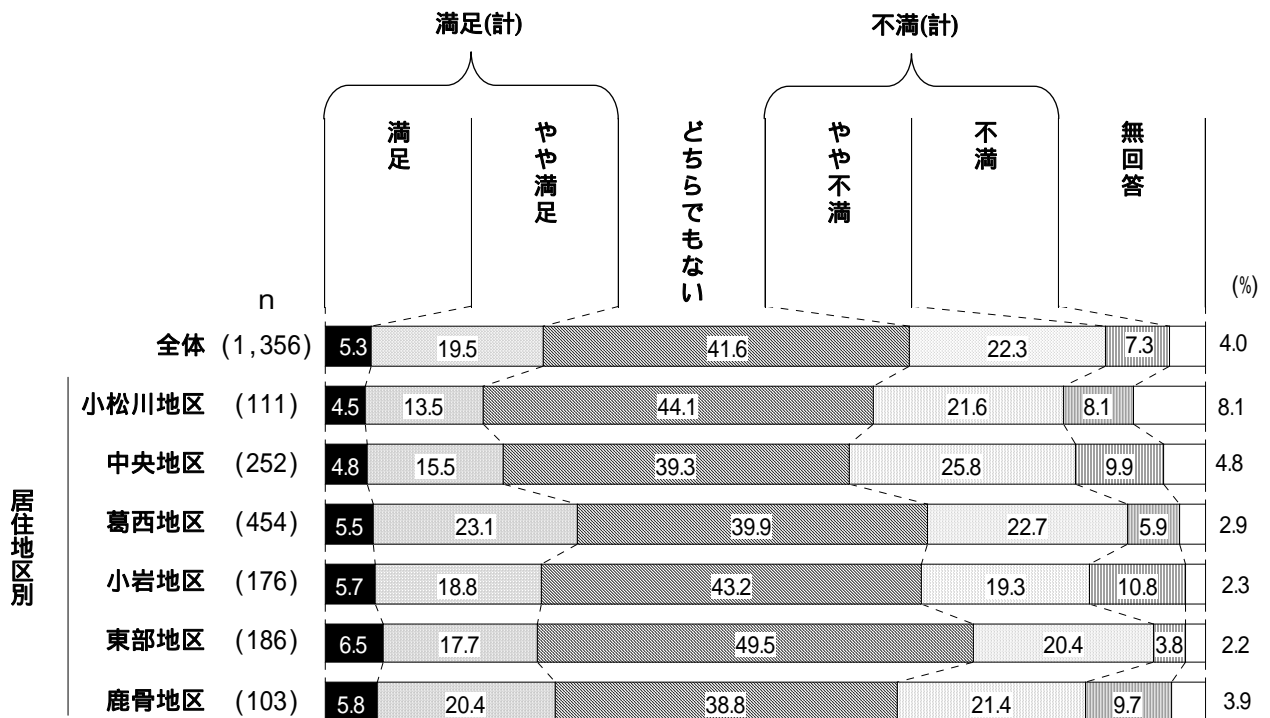
小松川地区 : 1.8 + 18.0 = 19.8 中央地区 : 6.0 + 14.7 = 20.7 葛西地区 : 4.4 + 14.1 = 18.5

小岩地区 : 9.1 + 14.8 = 23.9 東部地区 : 2.2 + 10.2 = 12.4 鹿骨地区 : 3.9 + 14.6 = 18.5

【カ．街のバリアフリー／居住地区別】

街のバリアフリーに<満足(計)>している人の割合は、どの地区でも3割に満たない。特に“小松川地区”では1割台後半となっている。(図表2 - 10)

<図表2 - 10> カ．街のバリアフリー／居住地区別



【参考】<満足(計)> : 「満足」(5.3) + 「やや満足」(19.5) = 24.8

小松川地区 : 4.5 + 13.5 = 18.0 中央地区 : 4.8 + 15.5 = 20.3 葛西地区 : 5.5 + 23.1 = 28.6

小岩地区 : 5.7 + 18.8 = 24.5 東部地区 : 6.5 + 17.7 = 24.2 鹿骨地区 : 5.8 + 20.4 = 26.2

<不満(計)> : 「不満」(7.3) + 「やや不満」(22.3) = 29.6

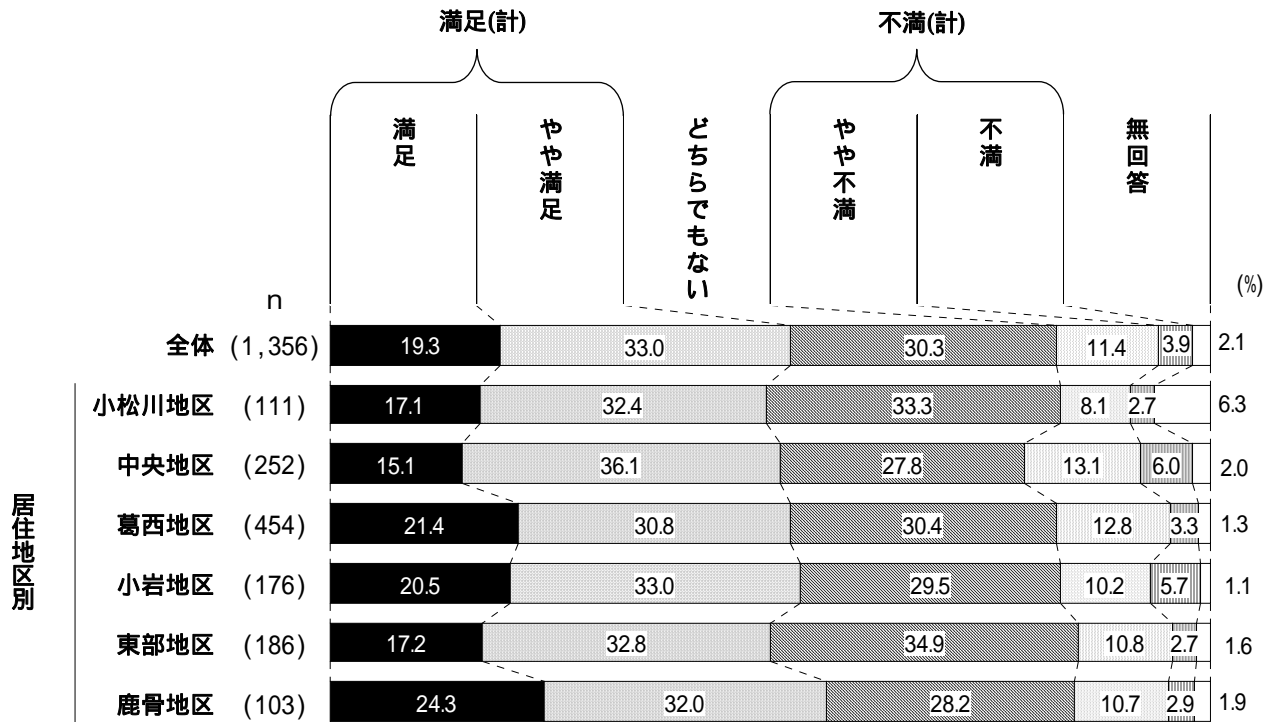
小松川地区 : 8.1 + 21.6 = 29.7 中央地区 : 9.9 + 25.8 = 35.7 葛西地区 : 5.9 + 22.7 = 28.6

小岩地区 : 10.8 + 19.3 = 30.1 東部地区 : 3.8 + 20.4 = 24.2 鹿骨地区 : 9.7 + 21.4 = 31.1

【キ．ごみの収集 / 居住地区別】

ごみの収集に<満足(計)>している人の割合が高いのは“鹿骨地区”で、全体より4ポイント高いが、居住地区別での大きな差はみられない。(図表2 - 11)

<図表2 - 11> キ．ごみの収集 / 居住地区別



【参考】 <満足(計)> : 「満足」(19.3) + 「やや満足」(33.0) = 52.3

小松川地区 : 17.1 + 32.4 = 49.5 中央地区 : 15.1 + 36.1 = 51.2 葛西地区 : 21.4 + 30.8 = 52.2

小岩地区 : 20.5 + 33.0 = 53.5 東部地区 : 17.2 + 32.8 = 50.0 鹿骨地区 : 24.3 + 32.0 = 56.3

<不満(計)> : 「不満」(3.9) + 「やや不満」(11.4) = 15.3

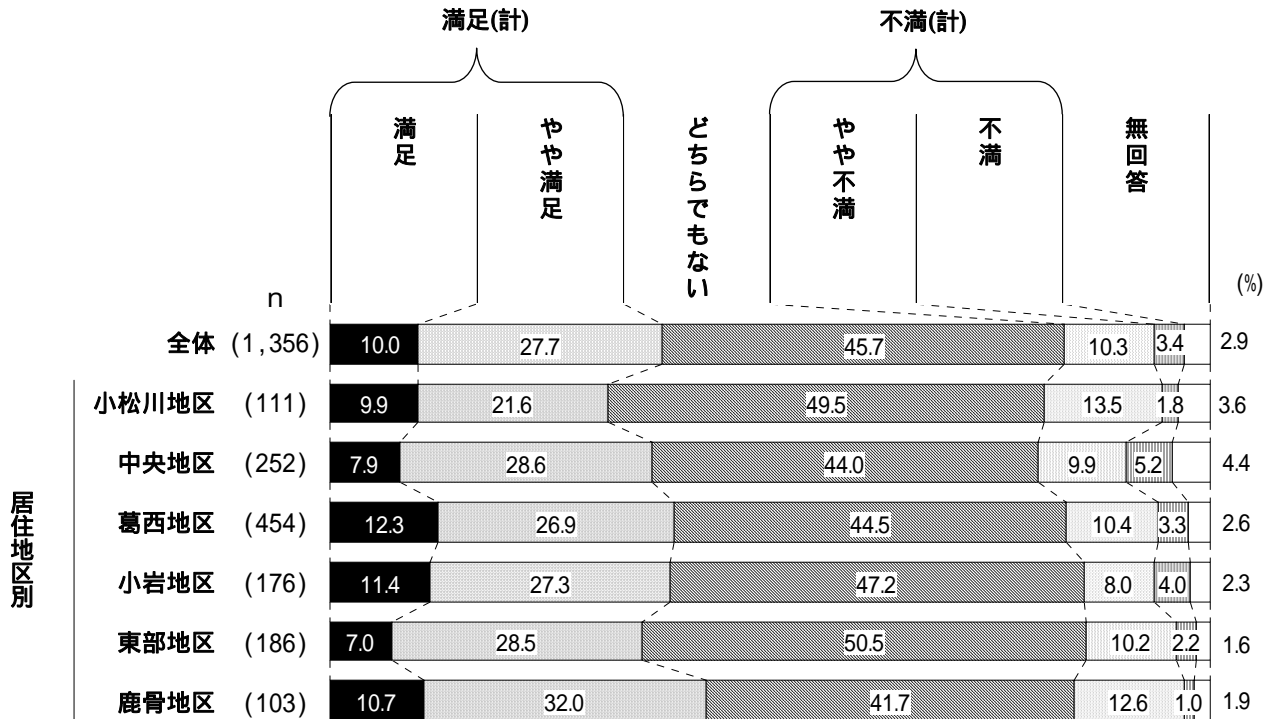
小松川地区 : 2.7 + 8.1 = 10.8 中央地区 : 6.0 + 13.1 = 19.1 葛西地区 : 3.3 + 12.8 = 16.1

小岩地区 : 5.7 + 10.2 = 15.9 東部地区 : 2.7 + 10.8 = 13.5 鹿骨地区 : 2.9 + 10.7 = 13.6

【ク．リサイクルの推進／居住地区別】

リサイクルの推進に<満足(計)>している人の割合が高いのは“鹿骨地区”で、4割台前半となっている。最も低いのは“小松川地区”で、31.5%となっている。(図表2-12)

<図表2-12> ク．リサイクルの推進／居住地区別



【参考】<満足(計)> : 「満足」(10.0) + 「やや満足」(27.7) = 37.7

小松川地区 : 9.9 + 21.6 = 31.5 中央地区 : 7.9 + 28.6 = 36.5 葛西地区 : 12.3 + 26.9 = 39.2

小岩地区 : 11.4 + 27.3 = 38.7 東部地区 : 7.0 + 28.5 = 35.5 鹿骨地区 : 10.7 + 32.0 = 42.7

<不満(計)> : 「不満」(3.4) + 「やや不満」(10.3) = 13.7

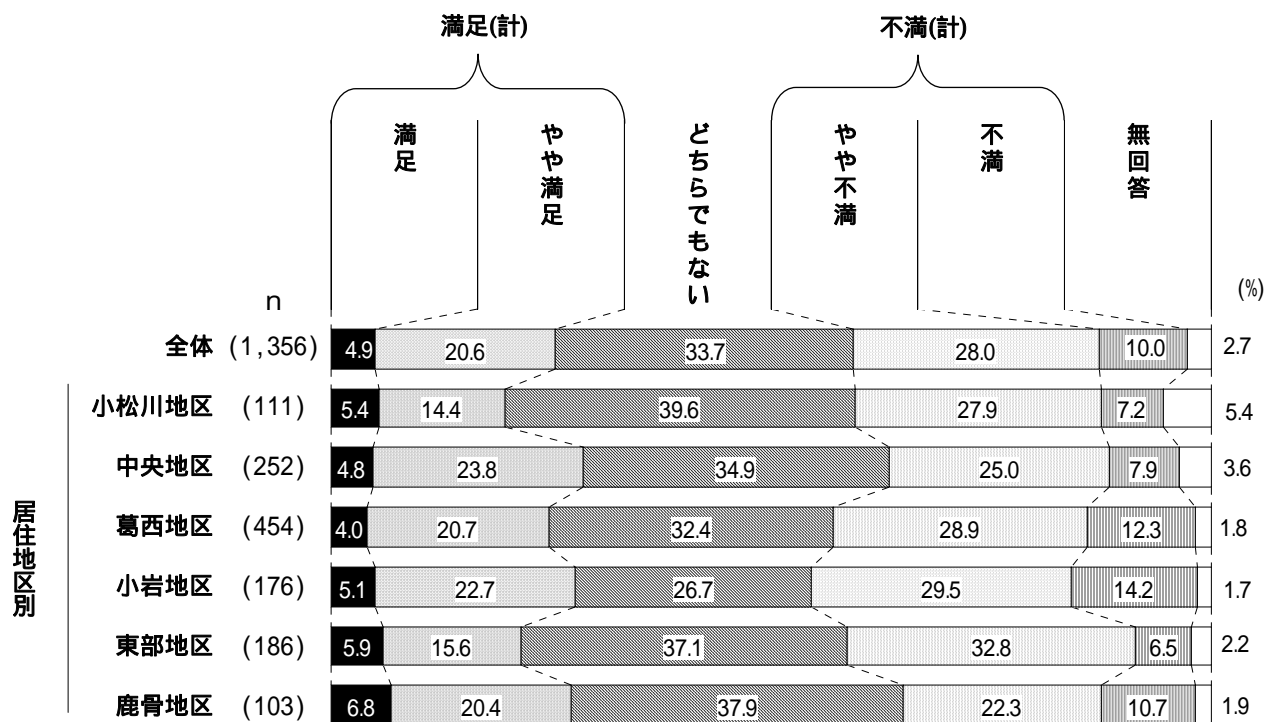
小松川地区 : 1.8 + 13.5 = 15.3 中央地区 : 5.2 + 9.9 = 15.1 葛西地区 : 3.3 + 10.4 = 13.7

小岩地区 : 4.0 + 8.0 = 12.0 東部地区 : 2.2 + 10.2 = 12.4 鹿骨地区 : 1.0 + 12.6 = 13.6

【ケ．地域の治安・安全性／居住地区別】

地域の治安・安全性に＜満足(計)＞している人の割合は、どの地区でも3割弱であり、特に“小松川地区”では19.8%となっている。(図表2 - 13)

＜図表2 - 13＞ ケ．地域の治安・安全性／居住地区別



【参考】＜満足(計)＞：「満足」(4.9) + 「やや満足」(20.6) = 25.5

小松川地区：5.4 + 14.4 = 19.8 中央地区：4.8 + 23.8 = 28.6 葛西地区：4.0 + 20.7 = 24.7
 小岩地区：5.1 + 22.7 = 27.8 東部地区：5.9 + 15.6 = 21.5 鹿骨地区：6.8 + 20.4 = 27.2

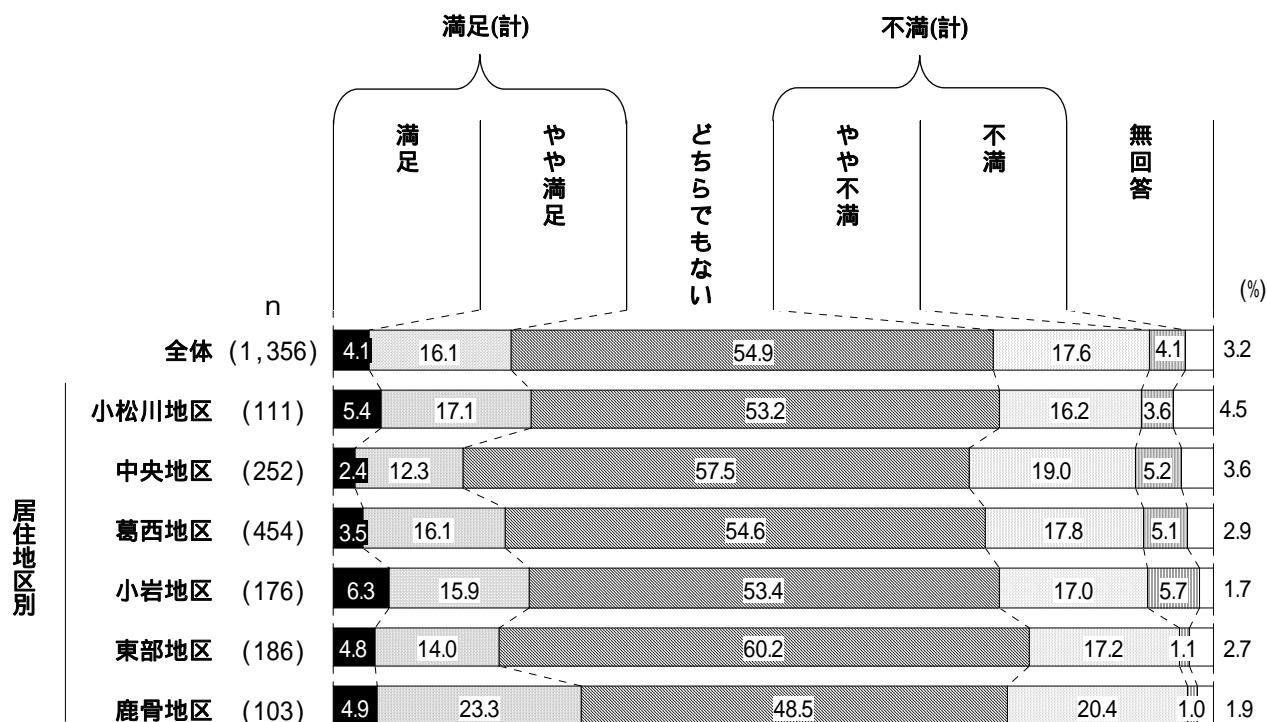
＜不満(計)＞：「不満」(10.0) + 「やや不満」(28.0) = 38.0

小松川地区：7.2 + 27.9 = 35.1 中央地区：7.9 + 25.0 = 32.9 葛西地区：12.3 + 28.9 = 41.2
 小岩地区：14.2 + 29.5 = 43.7 東部地区：6.5 + 32.8 = 39.3 鹿骨地区：10.7 + 22.3 = 33.0

【コ．災害への備え / 居住地区別】

災害への備えに<満足(計)>している人の割合は、全体的に2割前後となっており、最も高い“鹿骨地区”で28.2%、最も低い“中央地区”では14.7%となっている。(図表2 - 14)

<図表2 - 14> コ．災害への備え / 居住地区別



【参考】 <満足(計)> : 「満足」(4.1) + 「やや満足」(16.1) = 20.2

小松川地区 : 5.4 + 17.1 = 22.5 中央地区 : 2.4 + 12.3 = 14.7 葛西地区 : 3.5 + 16.1 = 19.6

小岩地区 : 6.3 + 15.9 = 22.2 東部地区 : 4.8 + 14.0 = 18.8 鹿骨地区 : 4.9 + 23.3 = 28.2

<不満(計)> : 「不満」(4.1) + 「やや不満」(17.6) = 21.7

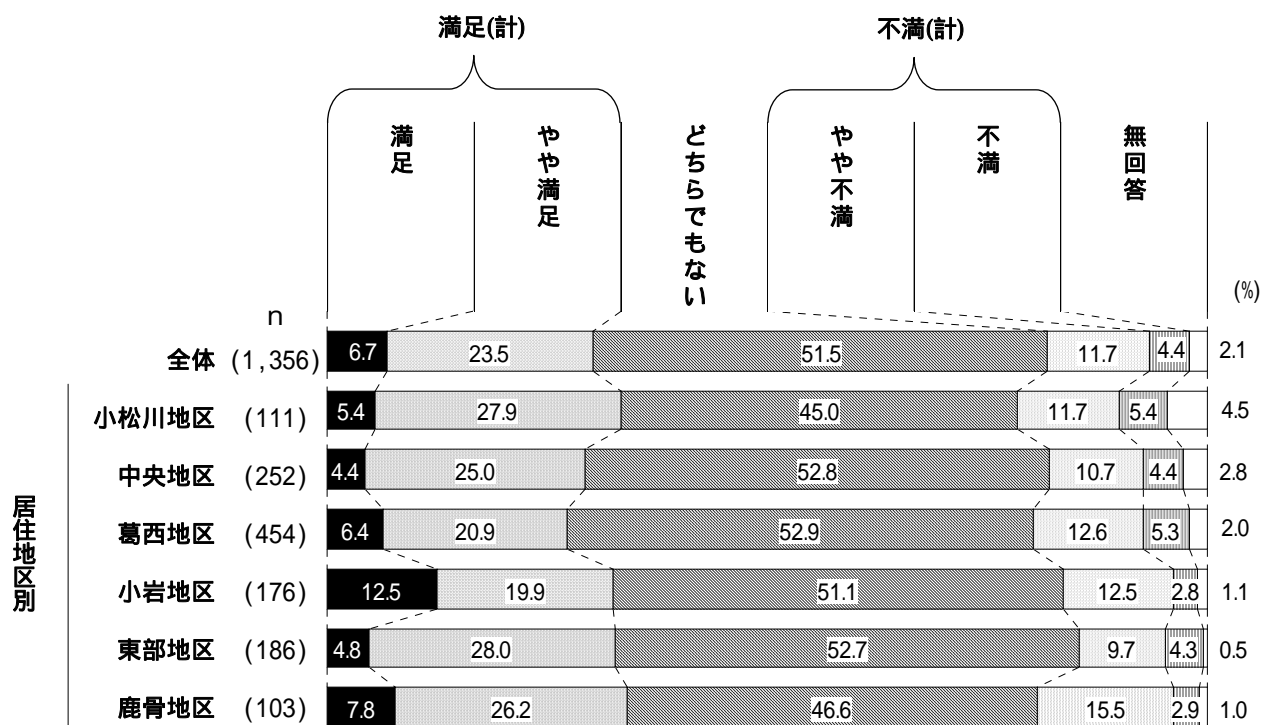
小松川地区 : 3.6 + 16.2 = 19.8 中央地区 : 5.2 + 19.0 = 24.2 葛西地区 : 5.1 + 17.8 = 22.9

小岩地区 : 5.7 + 17.0 = 22.7 東部地区 : 1.1 + 17.2 = 18.3 鹿骨地区 : 1.0 + 20.4 = 21.4

【サ．近所づきあい・助けあい／居住地区別】

近所づきあい・助けあいに＜満足（計）＞している人の割合は、“鹿骨地区”が最も高く34.0%であり、“葛西地区”が最も低く27.3%となっている。（図表2 - 15）

<図表2 - 15> サ．近所づきあい・助けあい／居住地区別



【参考】＜満足（計）＞：「満足」(6.7) + 「やや満足」(23.5) = 30.2

小松川地区：5.4 + 27.9 = 33.3 中央地区：4.4 + 25.0 = 29.4 葛西地区：6.4 + 20.9 = 27.3

小岩地区：12.5 + 19.9 = 32.4 東部地区：4.8 + 28.0 = 32.8 鹿骨地区：7.8 + 26.2 = 34.0

＜不満（計）＞：「不満」(4.4) + 「やや不満」(11.7) = 16.1

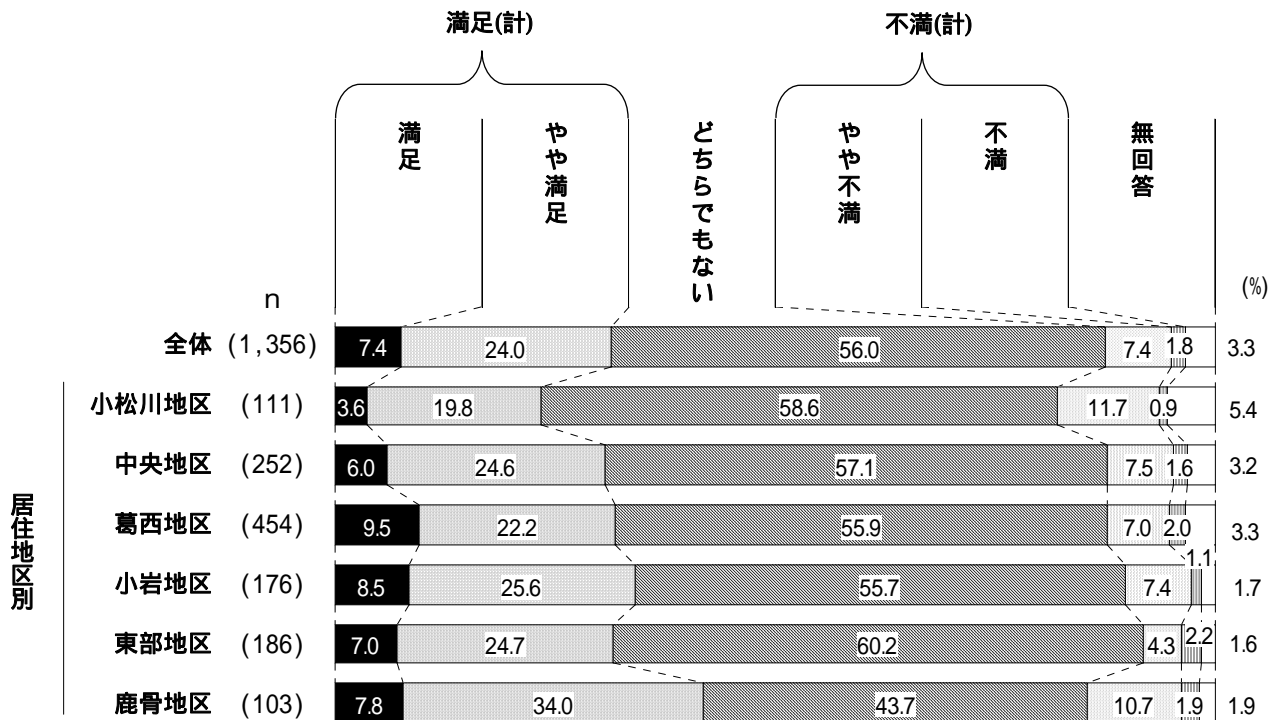
小松川地区：5.4 + 11.7 = 17.1 中央地区：4.4 + 10.7 = 15.1 葛西地区：5.3 + 12.6 = 17.9

小岩地区：2.8 + 12.5 = 15.3 東部地区：4.3 + 9.7 = 14.0 鹿骨地区：2.9 + 15.5 = 18.4

【シ．文化活動の充実度／居住地区別】

文化活動の充実度に＜満足（計）＞している人の割合が高いのは“鹿骨地区”で、4割強となっている。一方、最も低い“小松川地区”では、2割台前半となっている。（図表2 - 16）

＜図表2 - 16＞ シ．文化活動の充実度／居住地区別



【参考】＜満足（計）＞：「満足」(7.4) + 「やや満足」(24.0) = 31.4

小松川地区：3.6 + 19.8 = 23.4 中央地区：6.0 + 24.6 = 30.6 葛西地区：9.5 + 22.2 = 31.7

小岩地区：8.5 + 25.6 = 34.1 東部地区：7.0 + 24.7 = 31.7 鹿骨地区：7.8 + 34.0 = 41.8

＜不満（計）＞：「不満」(1.8) + 「やや不満」(7.4) = 9.2

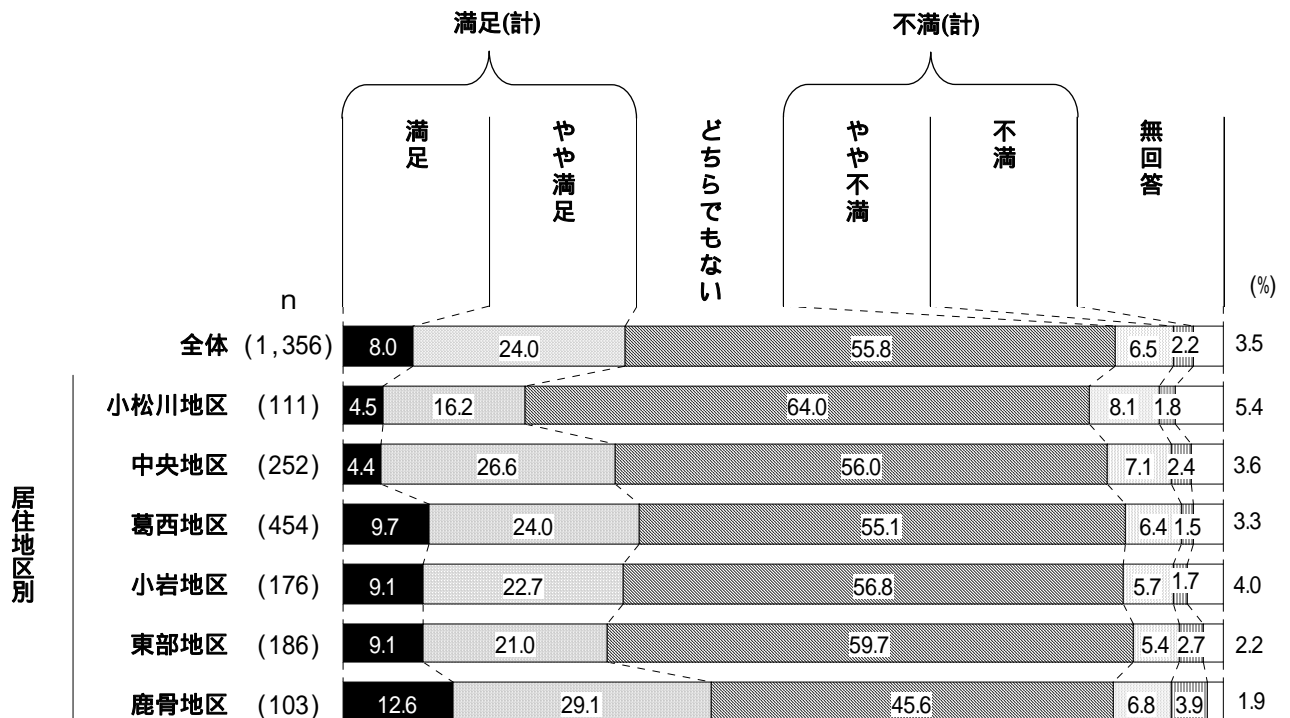
小松川地区：0.9 + 11.7 = 12.6 中央地区：1.6 + 7.5 = 9.1 葛西地区：2.0 + 7.0 = 9.0

小岩地区：1.1 + 7.4 = 8.5 東部地区：2.2 + 4.3 = 6.5 鹿骨地区：1.9 + 10.7 = 12.6

【ス．スポーツ活動の充実度／居住地区別】

スポーツ活動の充実度に＜満足（計）＞している人の割合は、“鹿骨地区”で最も高く4割強となっており、最も低い“小松川地区”では2割程度となっている。（図表2 - 17）

＜図表2 - 17＞ ス．スポーツ活動の充実度／居住地区別



【参考】＜満足（計）＞：「満足」(8.0) + 「やや満足」(24.0) = 32.0

小松川地区：4.5 + 16.2 = 20.7 中央地区：4.4 + 26.6 = 31.0 葛西地区：9.7 + 24.0 = 33.7

小岩地区：9.1 + 22.7 = 31.8 東部地区：9.1 + 21.0 = 30.1 鹿骨地区：12.6 + 29.1 = 41.7

＜不満（計）＞：「不満」(2.2) + 「やや不満」(6.5) = 8.7

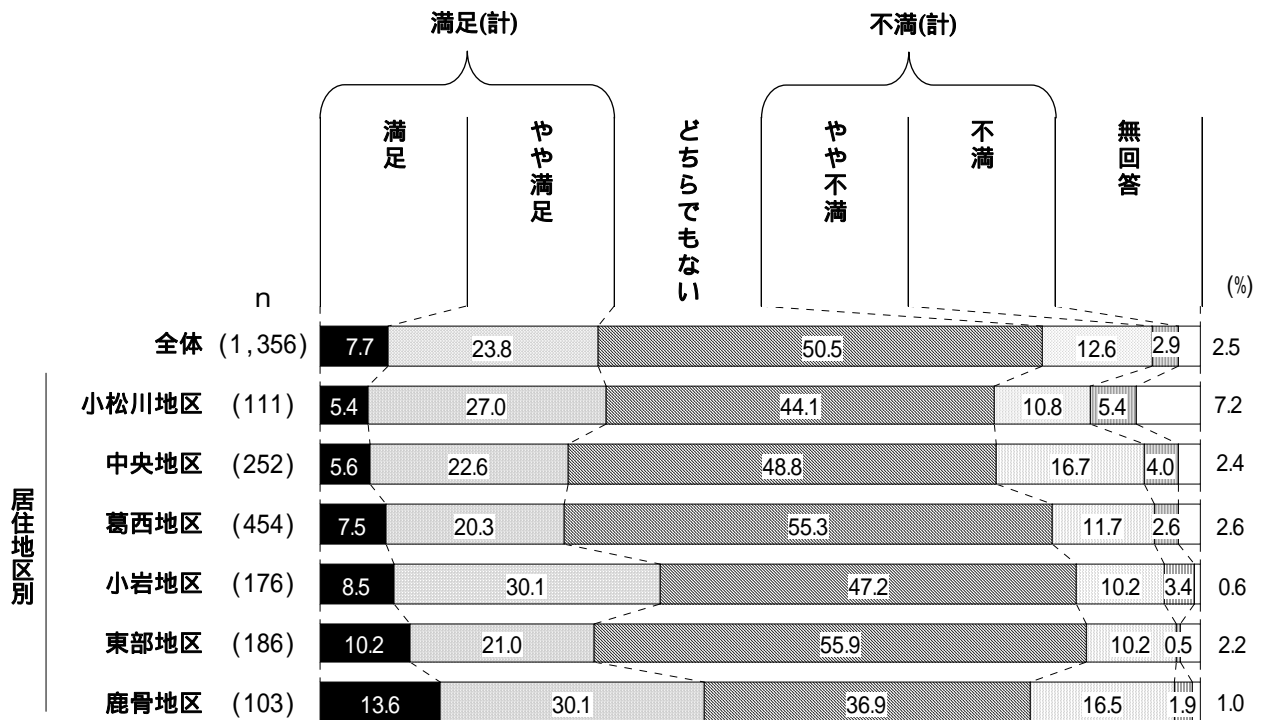
小松川地区：1.8 + 8.1 = 9.9 中央地区：2.4 + 7.1 = 9.5 葛西地区：1.5 + 6.4 = 7.9

小岩地区：1.7 + 5.7 = 7.4 東部地区：2.7 + 5.4 = 8.1 鹿骨地区：3.9 + 6.8 = 10.7

【セ．熟年者の生活環境／居住地区別】

熟年者の生活環境に＜満足（計）＞している人の割合が高いのは“鹿骨地区”で、唯一4割を超えている。一方“中央地区”、“葛西地区”では3割弱となっている。（図表2 - 18）

＜図表2 - 18＞ セ．熟年者の生活環境／居住地区別



【参考】＜満足（計）＞：「満足」(7.7) + 「やや満足」(23.8) = 31.5

小松川地区： 5.4 + 27.0 = 32.4 中央地区： 5.6 + 22.6 = 28.2 葛西地区： 7.5 + 20.3 = 27.8

小岩地区： 8.5 + 30.1 = 38.6 東部地区： 10.2 + 21.0 = 31.2 鹿骨地区： 13.6 + 30.1 = 43.7

＜不満（計）＞：「不満」(2.9) + 「やや不満」(12.6) = 15.5

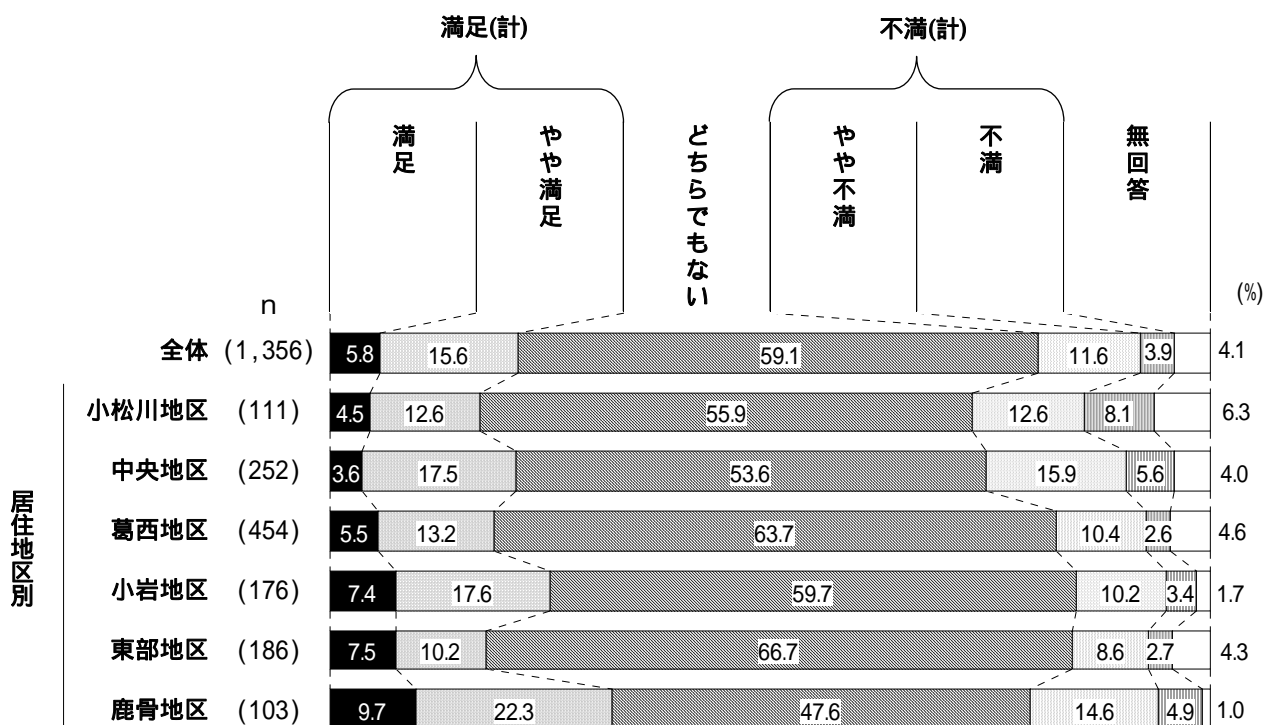
小松川地区： 5.4 + 10.8 = 16.2 中央地区： 4.0 + 16.7 = 20.7 葛西地区： 2.6 + 11.7 = 14.3

小岩地区： 3.4 + 10.2 = 13.6 東部地区： 0.5 + 10.2 = 10.7 鹿骨地区： 1.9 + 16.5 = 18.4

【ソ．障害者の生活環境／居住地区別】

障害者の生活環境に＜満足（計）＞している人の割合が高いのは“鹿骨地区”で、3割強。“小松川地区”、“葛西地区”、“東部地区”では2割弱である。（図表2 - 19）

＜図表2 - 19＞ ソ．障害者の生活環境／居住地区別



【参考】＜満足（計）＞：「満足」(5.8) + 「やや満足」(15.6) = 21.4

小松川地区：4.5 + 12.6 = 17.1 中央地区：3.6 + 17.5 = 21.1 葛西地区：5.5 + 13.2 = 18.7
 小岩地区：7.4 + 17.6 = 25.0 東部地区：7.5 + 10.2 = 17.7 鹿骨地区：9.7 + 22.3 = 32.0

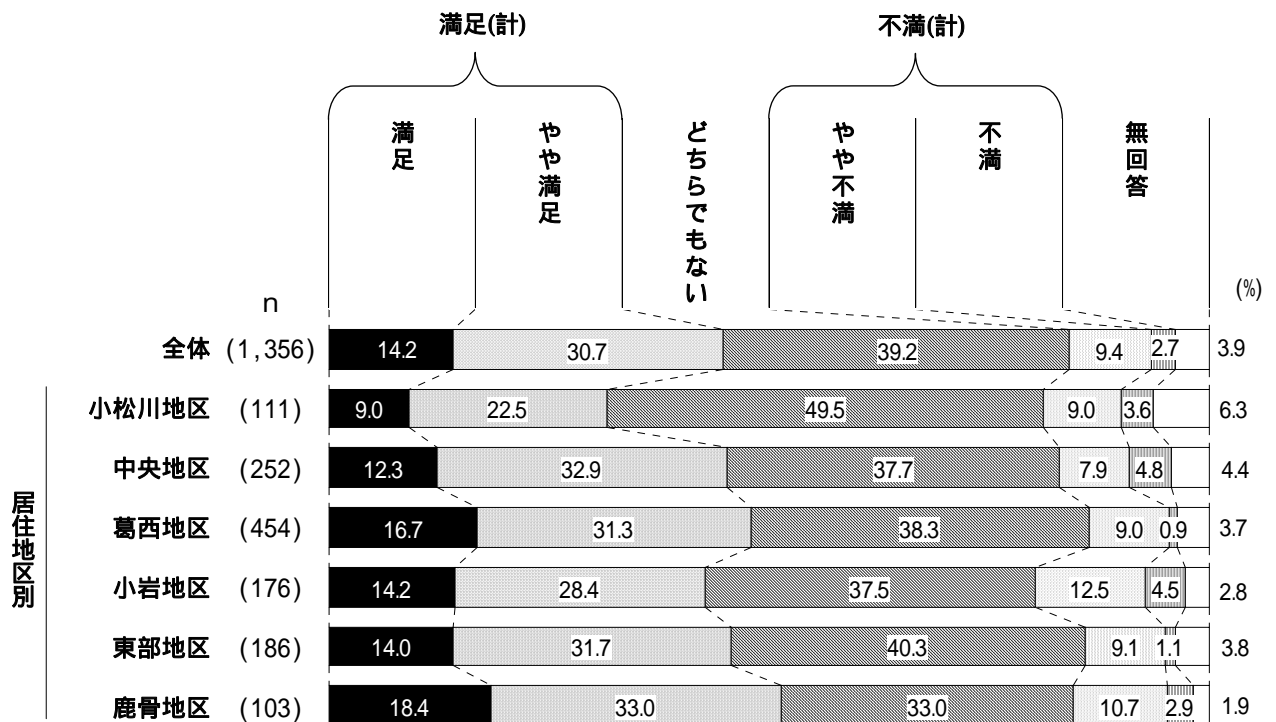
＜不満（計）＞：「不満」(3.9) + 「やや不満」(11.6) = 15.5

小松川地区：8.1 + 12.6 = 20.7 中央地区：5.6 + 15.9 = 21.5 葛西地区：2.6 + 10.4 = 13.0
 小岩地区：3.4 + 10.2 = 13.6 東部地区：2.7 + 8.6 = 11.3 鹿骨地区：4.9 + 14.6 = 19.5

【夕・子育て環境 / 居住地区別】

子育て環境に<満足(計)>している人の割合が高いのは“鹿骨地区”で、5割を超えている。一方、“小松川地区”では3割程度である。(図表2-20)

<図表2-20> 夕・子育て環境 / 居住地区別



【参考】<満足(計)> : 「満足」(14.2) + 「やや満足」(30.7) = 44.9

小松川地区 : 9.0 + 22.5 = 31.5 中央地区 : 12.3 + 32.9 = 45.2 葛西地区 : 16.7 + 31.3 = 48.0

小岩地区 : 14.2 + 28.4 = 42.6 東部地区 : 14.0 + 31.7 = 45.7 鹿骨地区 : 18.4 + 33.0 = 51.4

<不満(計)> : 「不満」(2.7) + 「やや不満」(9.4) = 12.1

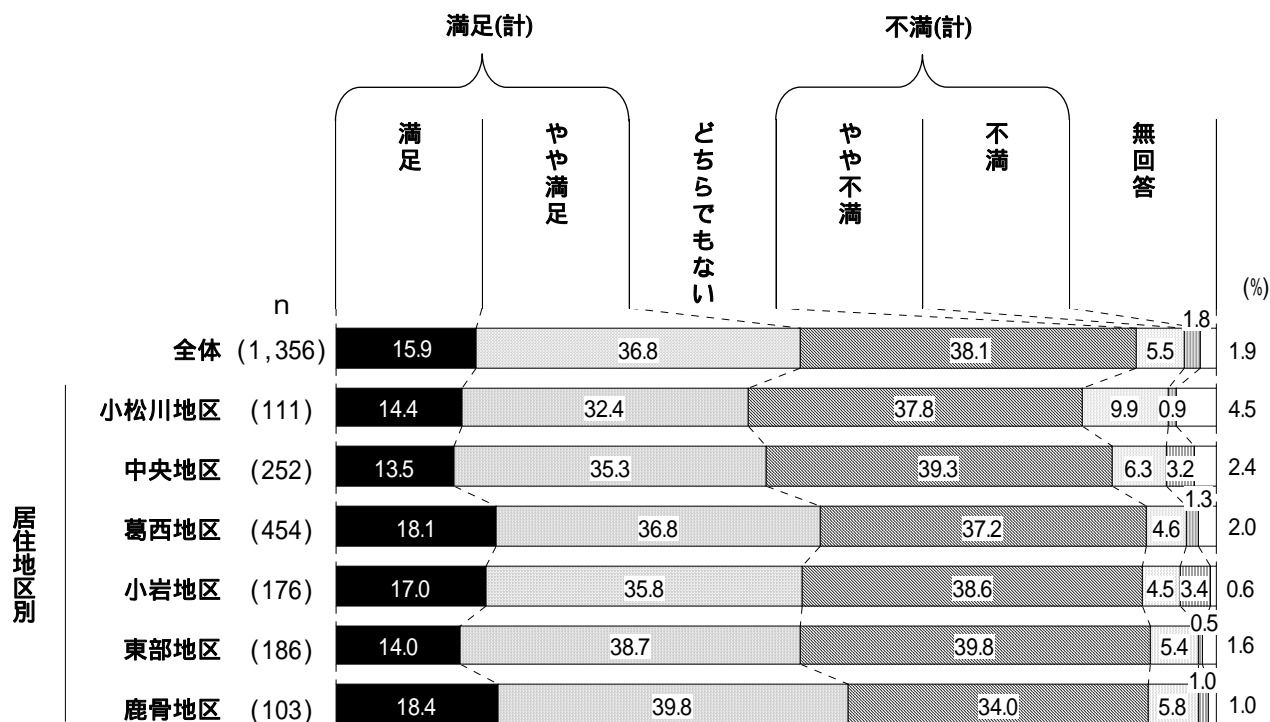
小松川地区 : 3.6 + 9.0 = 12.6 中央地区 : 4.8 + 7.9 = 12.7 葛西地区 : 0.9 + 9.0 = 9.9

小岩地区 : 4.5 + 12.5 = 17.0 東部地区 : 1.1 + 9.1 = 10.2 鹿骨地区 : 2.9 + 10.7 = 13.6

【チ．健康相談・健康診査／居住地区別】

健康相談・健康診査に<満足(計)>している人の割合は、“鹿骨地区”で最も高く、5割台後半となっている。一方、“小松川地区”と“中央地区”は半数弱となっている。(図表2-21)

<図表2-21> チ．健康相談・健康診査／居住地区別



【参考】<満足(計)> : 「満足」(15.9) + 「やや満足」(36.8) = 52.7

小松川地区 : 14.4 + 32.4 = 46.8 中央地区 : 13.5 + 35.3 = 48.8 葛西地区 : 18.1 + 36.8 = 54.9
 小岩地区 : 17.0 + 35.8 = 52.8 東部地区 : 14.0 + 38.7 = 52.7 鹿骨地区 : 18.4 + 39.8 = 58.2

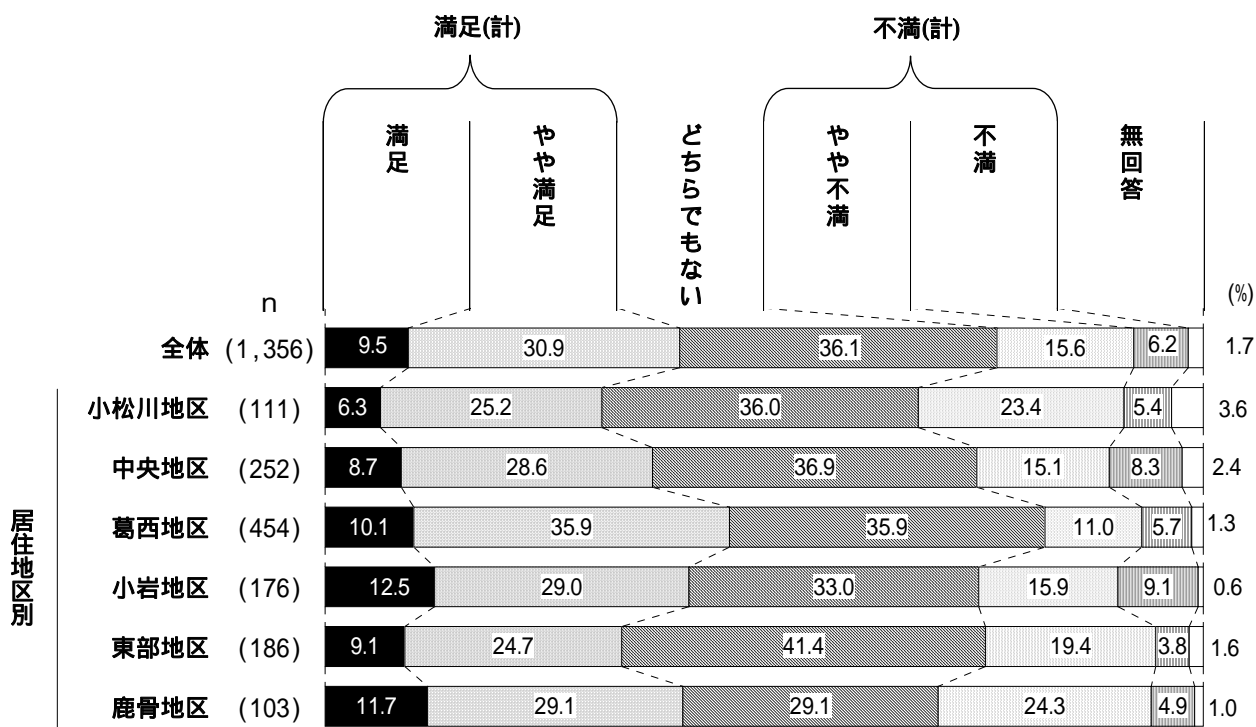
<不満(計)> : 「不満」(1.8) + 「やや不満」(5.5) = 7.3

小松川地区 : 0.9 + 9.9 = 10.8 中央地区 : 3.2 + 6.3 = 9.5 葛西地区 : 1.3 + 4.6 = 5.9
 小岩地区 : 3.4 + 4.5 = 7.9 東部地区 : 0.5 + 5.4 = 5.9 鹿骨地区 : 1.0 + 5.8 = 6.8

【ツ．医療機関・医療体制／居住地区別】

医療機関・医療体制に＜満足（計）＞している人の割合は、最も高い“葛西地区”で4割台半ばを超え、最も低い“小松川地区”で3割強となっている。（図表2 - 22）

＜図表2 - 22＞ ツ．医療機関・医療体制／居住地区別



【参考】＜満足（計）＞：「満足」(9.5) + 「やや満足」(30.9) = 40.4

小松川地区：6.3 + 25.2 = 31.5 中央地区：8.7 + 28.6 = 37.3 葛西地区：10.1 + 35.9 = 46.0

小岩地区：12.5 + 29.0 = 41.5 東部地区：9.1 + 24.7 = 33.8 鹿骨地区：11.7 + 29.1 = 40.8

＜不満（計）＞：「不満」(6.2) + 「やや不満」(15.6) = 21.8

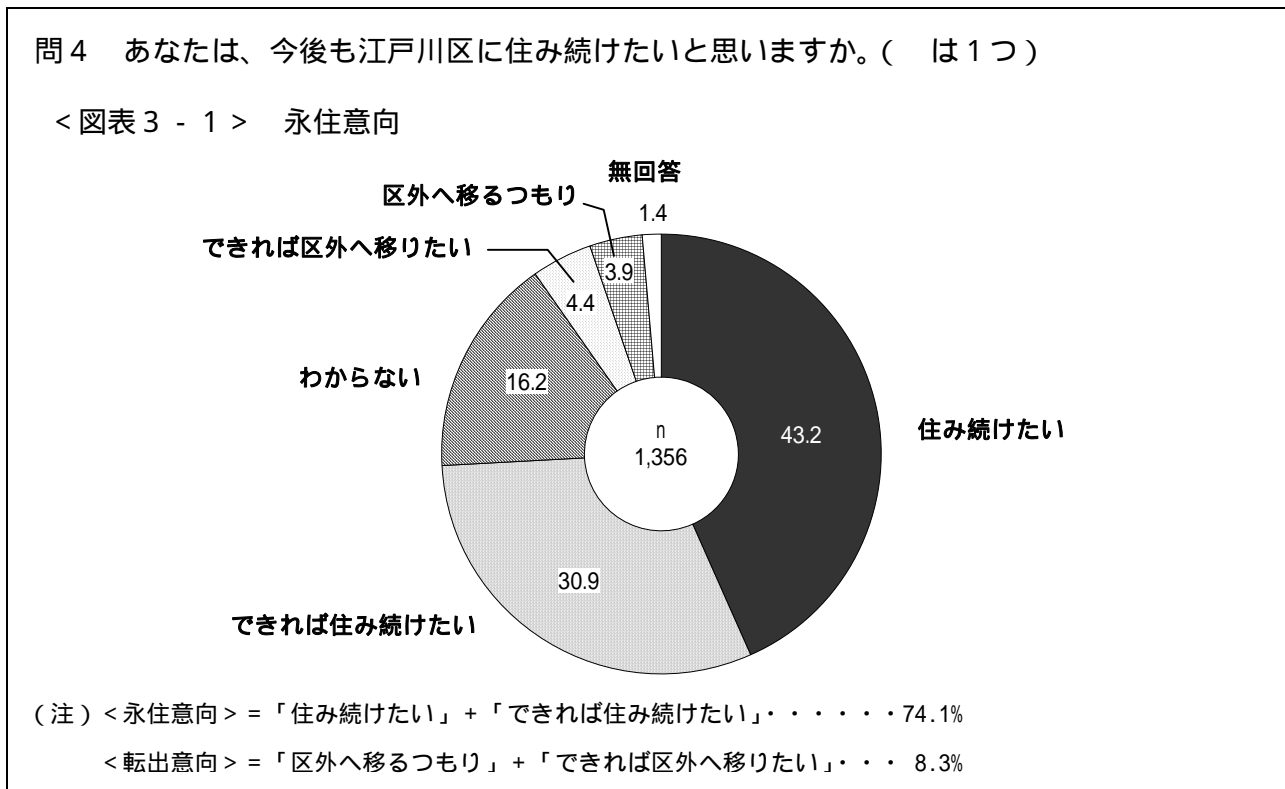
小松川地区：5.4 + 23.4 = 28.8 中央地区：8.3 + 15.1 = 23.4 葛西地区：5.7 + 11.0 = 16.7

小岩地区：9.1 + 15.9 = 25.0 東部地区：3.8 + 19.4 = 23.2 鹿骨地区：4.9 + 24.3 = 29.2

3. 永住意向について

(1) 永住意向

<永住意向>が7割台半ば

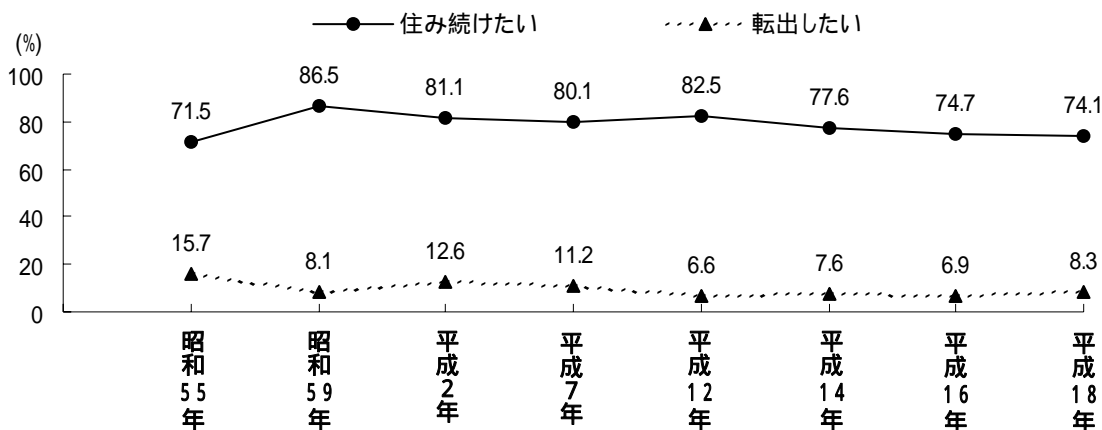


今後も江戸川区に住み続けたいか尋ねたところ、「住み続けたい」が43.2%と最も多く、これに「できれば住み続けたい」(30.9%)を合わせた<永住意向>が74.1%となっており、7割以上の人が永住を希望している。(図表3-1)

【時系列比較】

昭和55年からの調査結果を時系列でみると、昭和59年に<永住意向>が8割を超えてからは横ばいの状況が続いてきたが、平成14年に再び8割を下回ってからは減少傾向にある。一方、<転出意向>は平成12年に1割を切った後は、特に大きな変化は見られない。(図表3-2)

<図表3-2> 永住意向/時系列比較

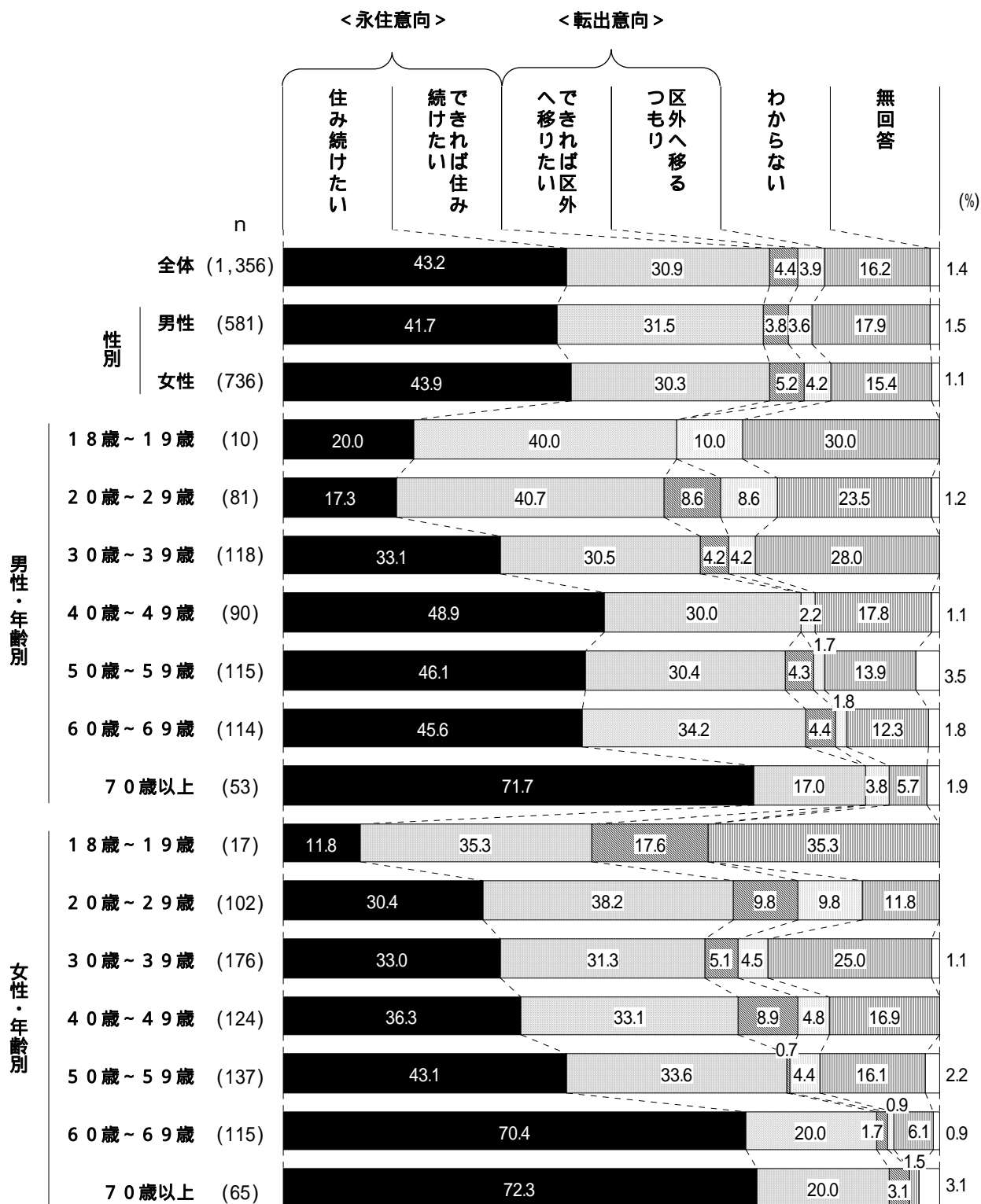


【性・年齢別】

性別では、特に大きな違いは見られない。

性・年齢別で見ると、男性女性ともに年齢が高くなるにつれて、＜永住意向＞の割合が高くなっている。特に男性の70歳以上と女性の60歳以上では「住み続けたい」が7割を超えて、突出している。(図表3-3)

＜図表3-3＞ 永住意向／性・年齢別

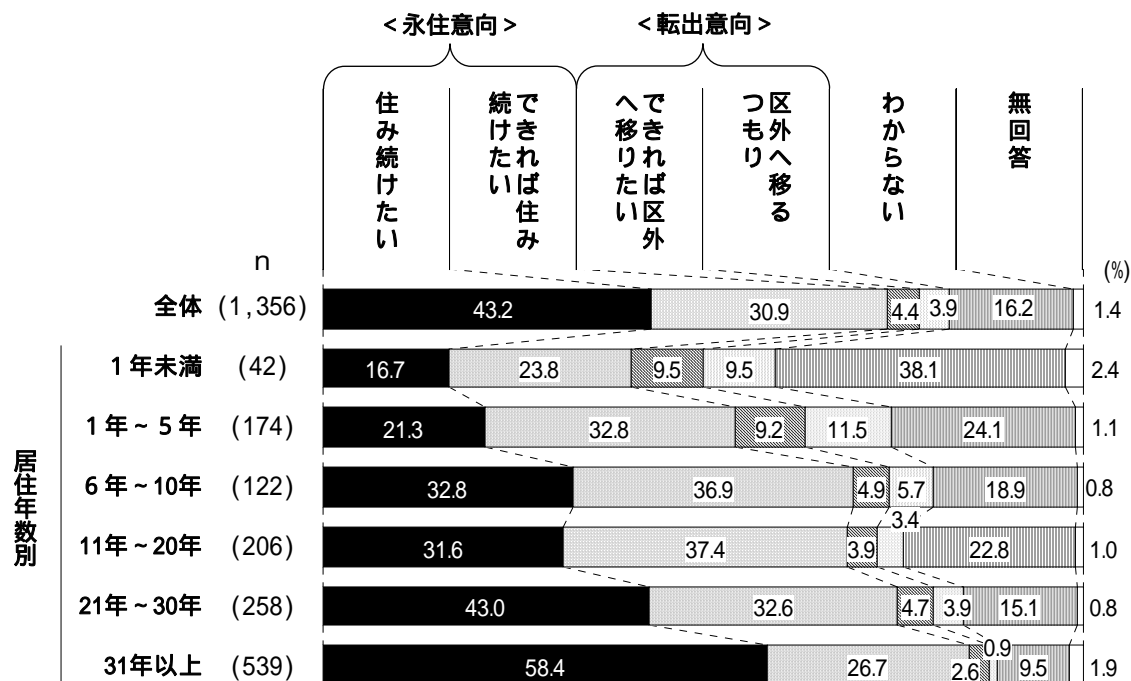


男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【居住年数別】

居住年数別でみると、居住年数が長くなるにしたがって<永住意向>の比率も高くなる傾向にある。一方、「わからない」と答えた人の割合は、居住年数が短いほど高くなっている。(図表3-4)

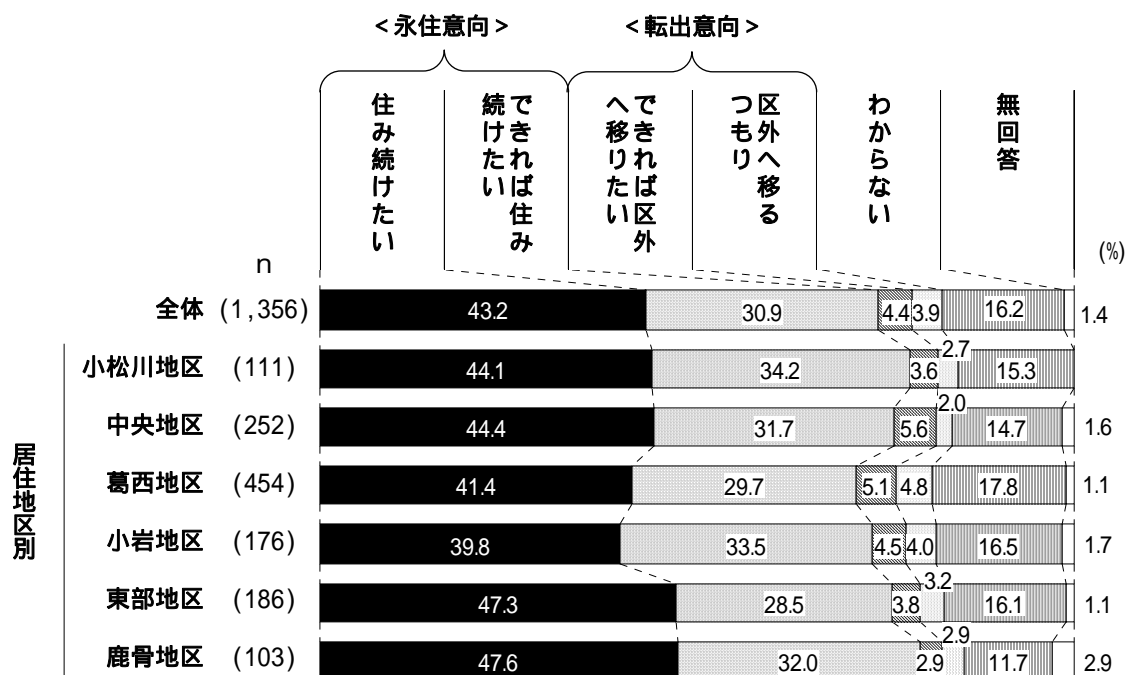
<図表3-4> 永住意向/居住年数別



【居住地区別】

居住地区別でみると、<永住意向>の割合が最も高いのは“鹿骨地区”で、79.6%となっており、最も低い“葛西地区”でも71.1%で7割を超えている。(図表3-5)

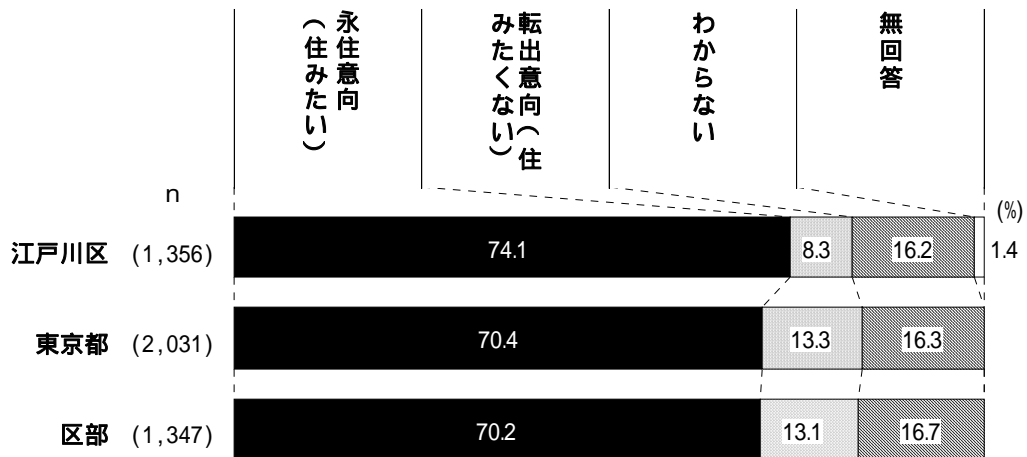
<図表3-5> 永住意向/居住地区別



【東京都・区部との比較（平成17年調査）】

平成 17 年に実施された「都民生活に関する世論調査」の地域定住意向の調査結果と比較すると、東京都全体では「住みたい」が 70.4%、区部でも 70.2%であり、江戸川区の＜永住意向＞の比率の方が上回る結果となっている。（図表 3 - 6）

<図表 3 - 6> 永住意向 / 東京都・区部との比較（平成17年調査）



(注 1) 東京都と区部は地域定住意向の調査結果

(注 2) 表頭の () 内は「都民生活に関する世論調査」の選択肢項目

資料出所：東京都生活文化局「都民生活に関する世論調査」(平成 17 年)

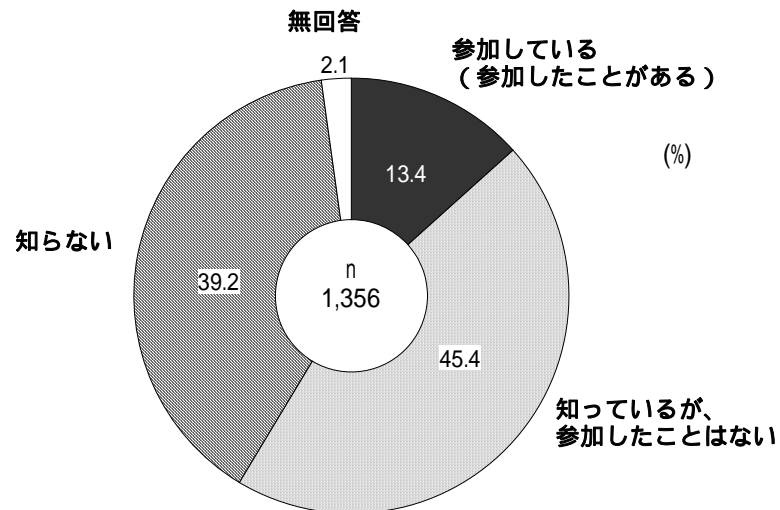
4 . 安全・安心パトロールについて

(1) 安全・安心パトロール活動への参加

「知っているが参加したことはない」が 45.4%で最も多い

問5 あなたは安全・安心パトロール活動に参加していますか。(は1つ)

<図表4 - 1> 安全・安心パトロール活動への参加

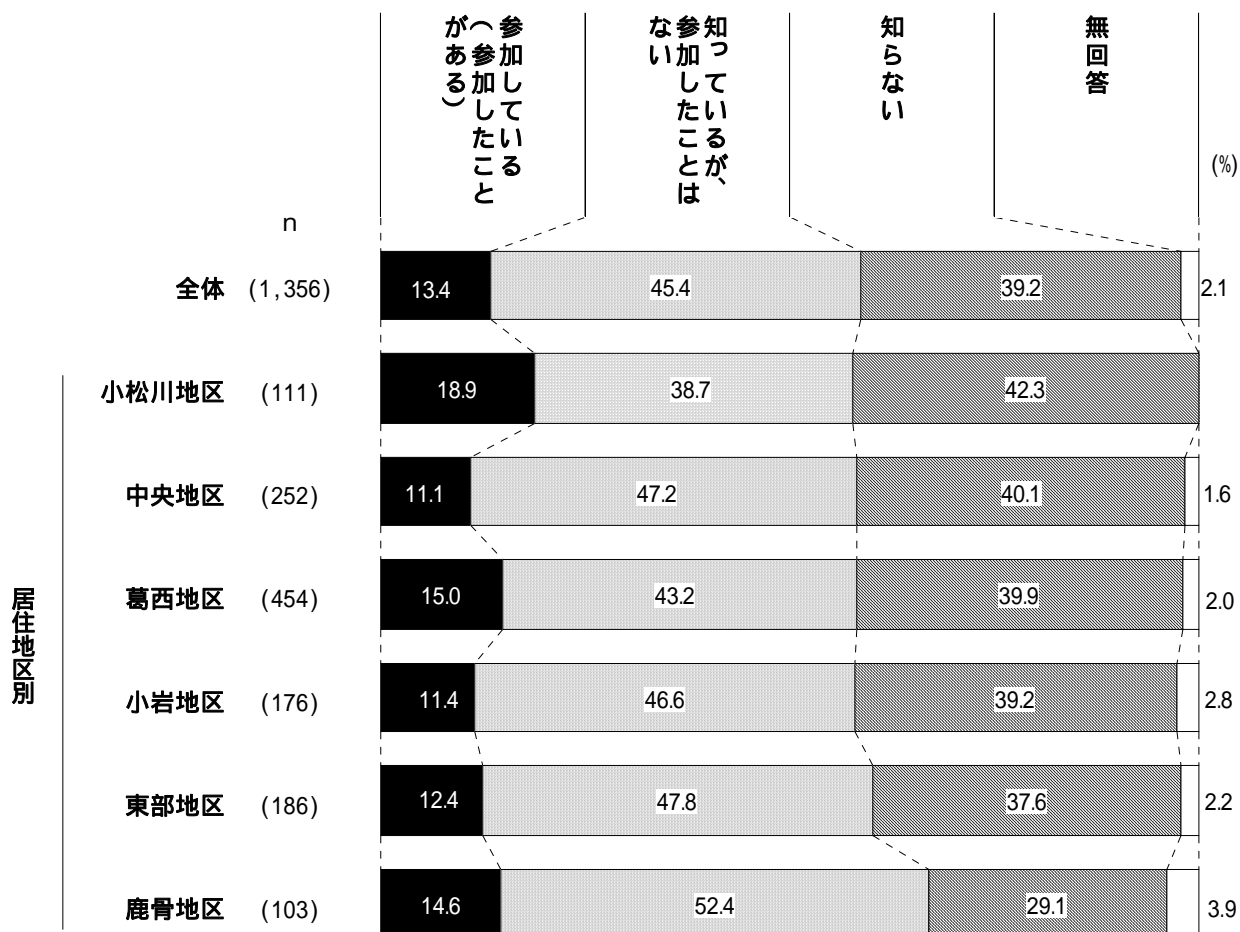


安全・安心パトロール活動への参加状況は、「知っているが、参加したことはない」(45.4%)が、4割台半ばで最も多いが、「知らない」(39.2%)も4割弱と多くなっている。(図表4 - 1)

【居住地区別】

居住地区別でみると、「参加している（参加したことがある）」が最も多いのは“小松川地区”の18.9%、続いて葛西地区の15.0%となっている。最も低いのは“中央地区”で11.1%となっている。（図表4 - 2）

<図表4 - 2> 安全・安心パトロール活動への参加 / 居住地区別

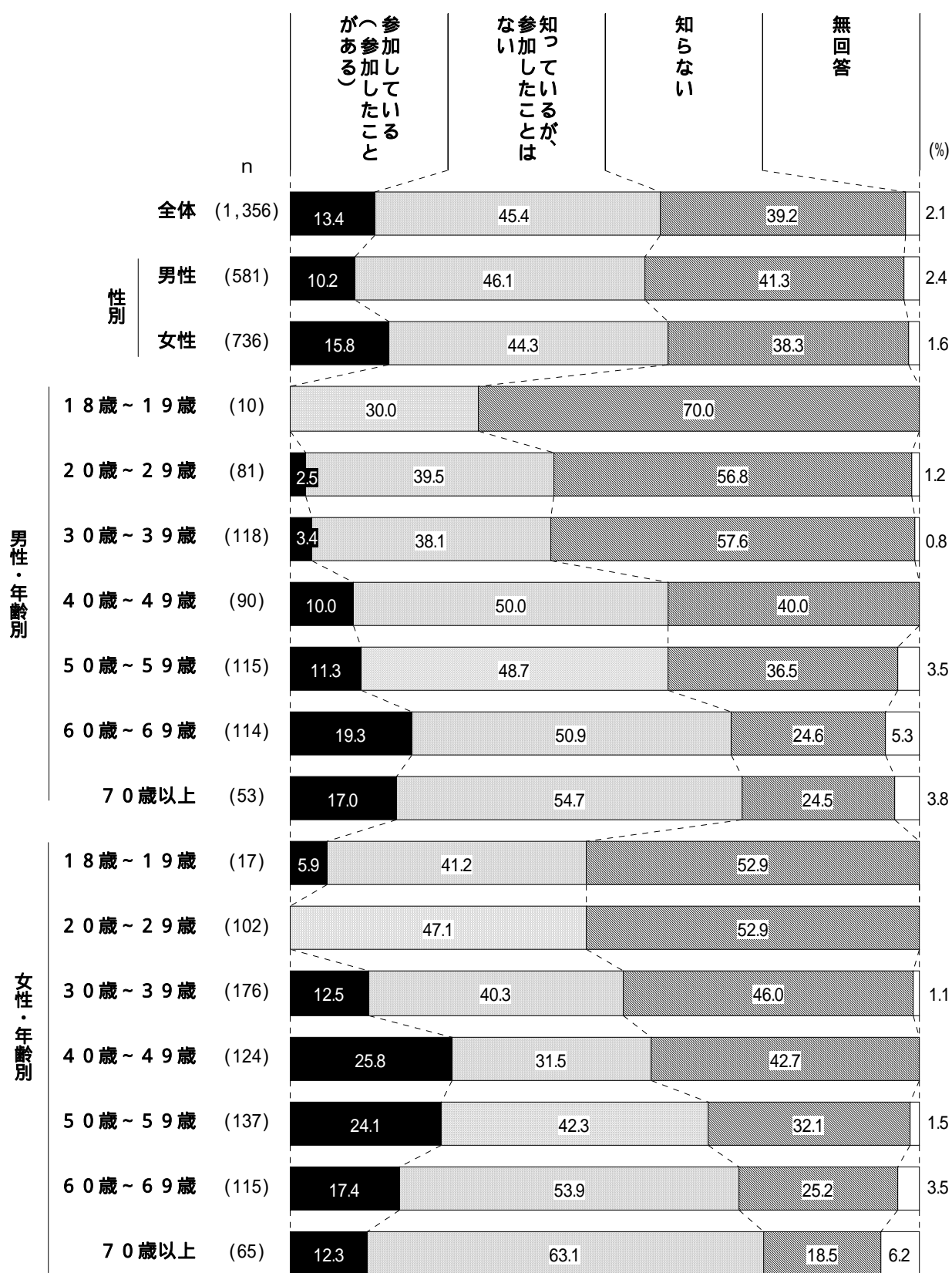


【性・年齢別】

性別でみると、「知っているが、参加したことがない」では大きな差はないが、「参加している（参加したことがある）」では女性が男性より5ポイント高くなっている。

参加経験者を性・年齢別でみると、男性では60歳代が、女性は40歳代が高くなっている。一方、男性の20歳～30歳代と、女性の20歳代では参加経験者が少なくなっている。（図表4 - 3）

<図表4 - 3> 安全・安心パトロール活動への参加/性・年齢別



男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

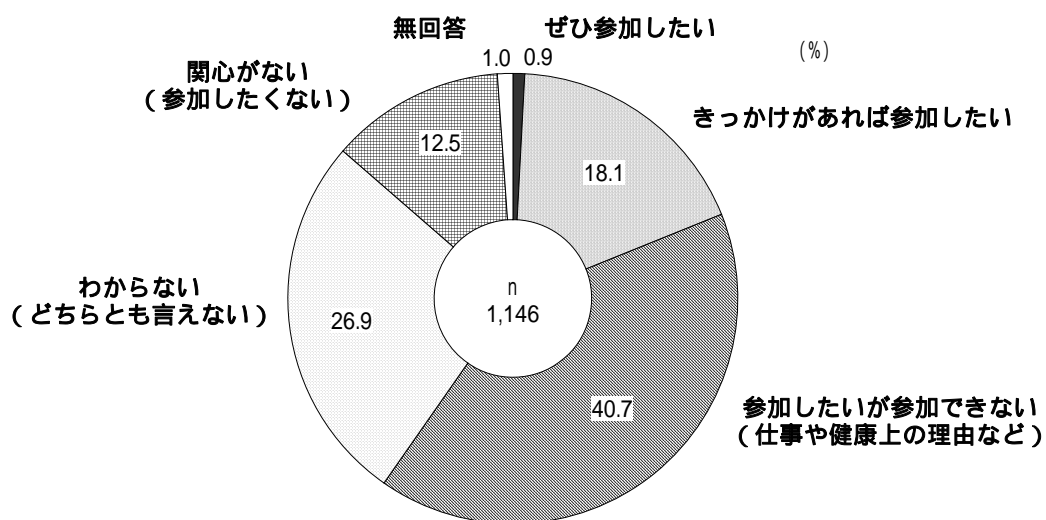
(1 - 1) 安全・安心パトロール活動への参加意向

<参加意向>は6割

(問5で、「2.知っているが、参加したことはない」「3.知らない」とお答えの方にお聞きします)

問5 - 1 安全・安心パトロール活動に参加してみたいと思いますか。(は1つ)

<図表4 - 4> 安全・安心パトロール活動への参加意向



(注) <参加したい> = 「ぜひ」 + 「きっかけがあれば」 + 「参加したいが」・・・59.7%

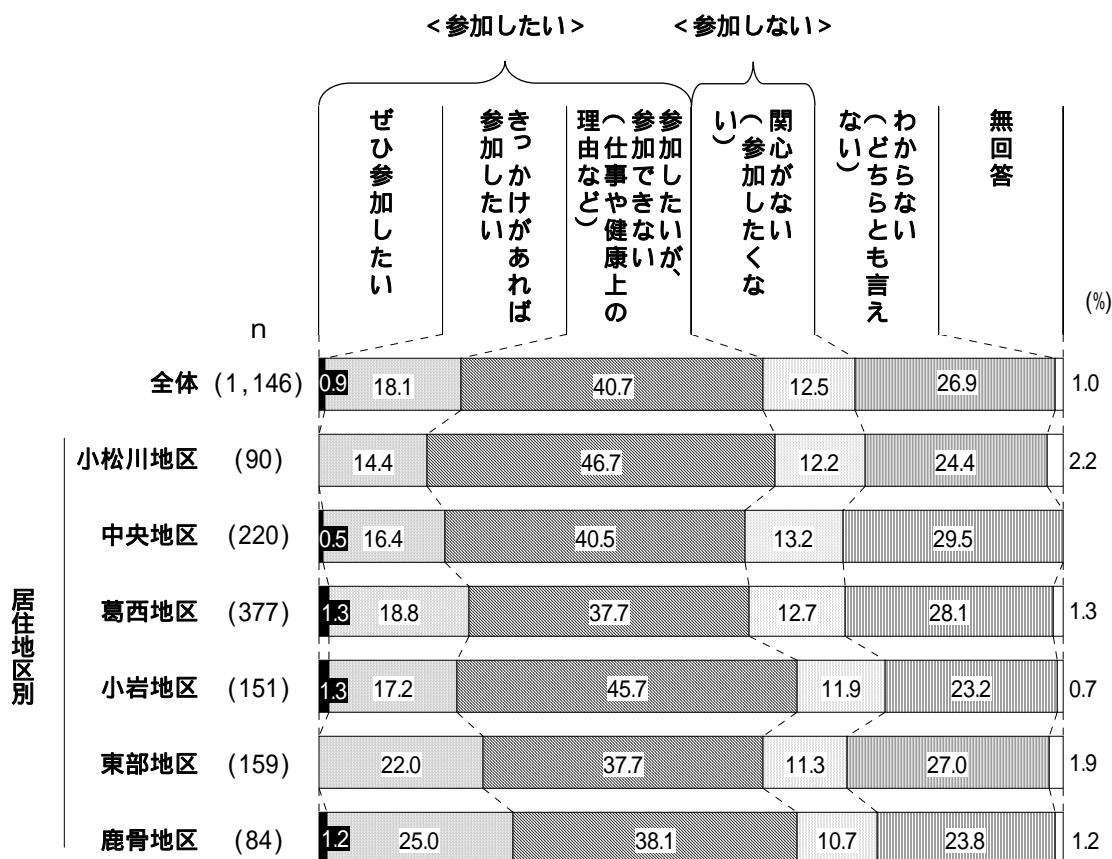
<参加しない> = 「関心がない」・・・12.5%

参加したことがない人に参加してみたいか尋ねたところ、2割の人たちが「ぜひ参加したい」「きっかけがあれば参加したい」と答えている。また、「参加したいが参加できない(仕事や健康上の理由など)」と答えた人も4割となっており、現在参加していない人たちのうち6割の人は参加の意向があると考えられる。(図表4 - 4)

【居住地区別】

参加意向の高い地区は、“鹿骨地区”と“小岩地区”で、いずれも6割台半ばとなっている。また、参加意向の低い“中央地区”と“葛西地区”でも、5割台後半の人たちが参加の意向を示している。(図表4 - 5)

<図表4 - 5> 安全・安心パトロール活動への参加意向 / 居住地区別

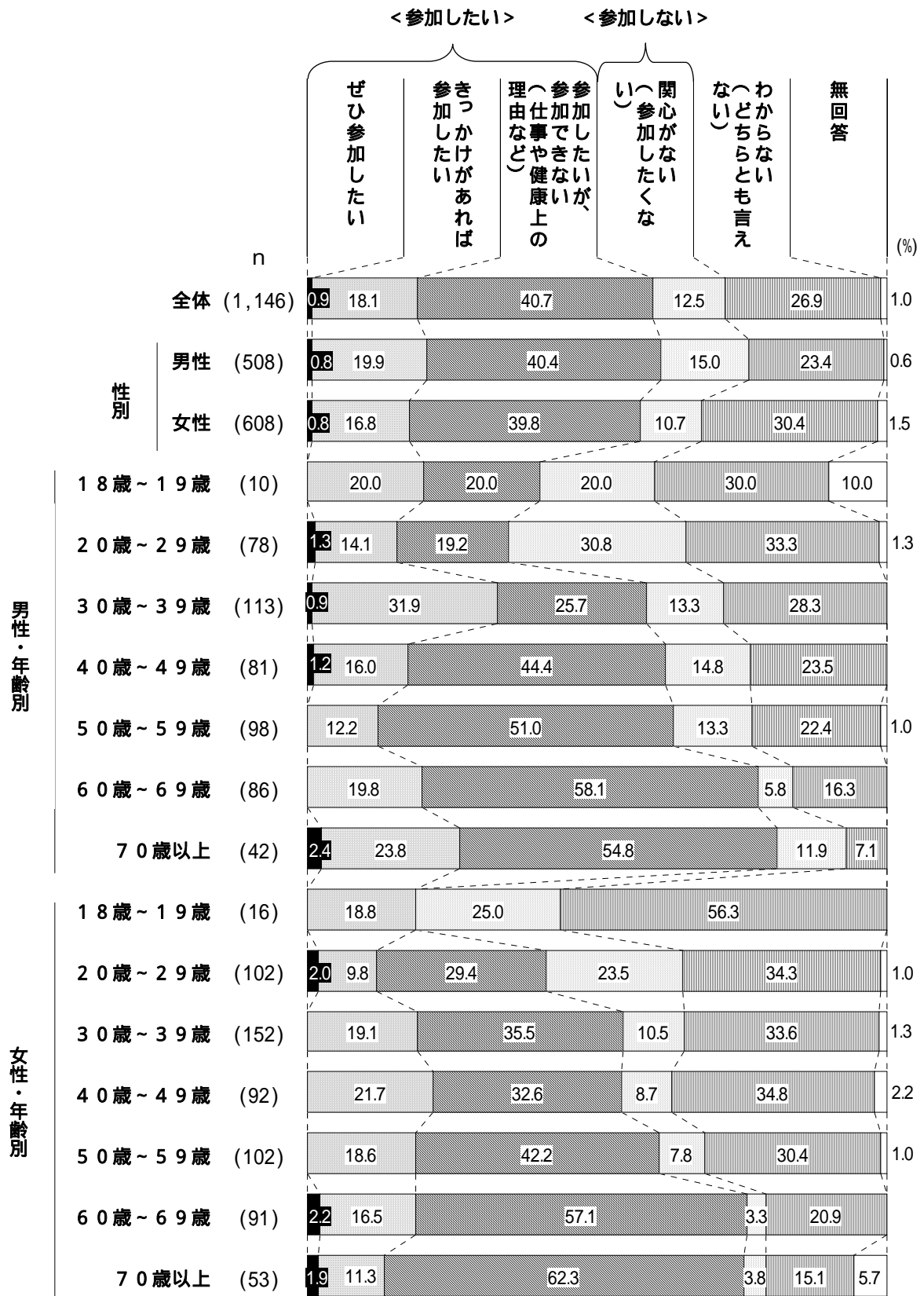


【性・年齢別】

性別で見ると、<参加したい>では男性が女性より3ポイント高くなっているが、<参加しない>でも男性が女性を4ポイント上回っている。

性・年齢別で見ると、<参加したい>の割合は男性女性ともに若い年代で低く、年代が高くなるにつれて増加する傾向が見られる。また、「参加したいが、参加できない(仕事や健康上の理由など)」でも同じ傾向が見られる。(図表4 - 6)

<図表4 - 6> 安全・安心パトロール活動への参加意向 / 性・年齢別

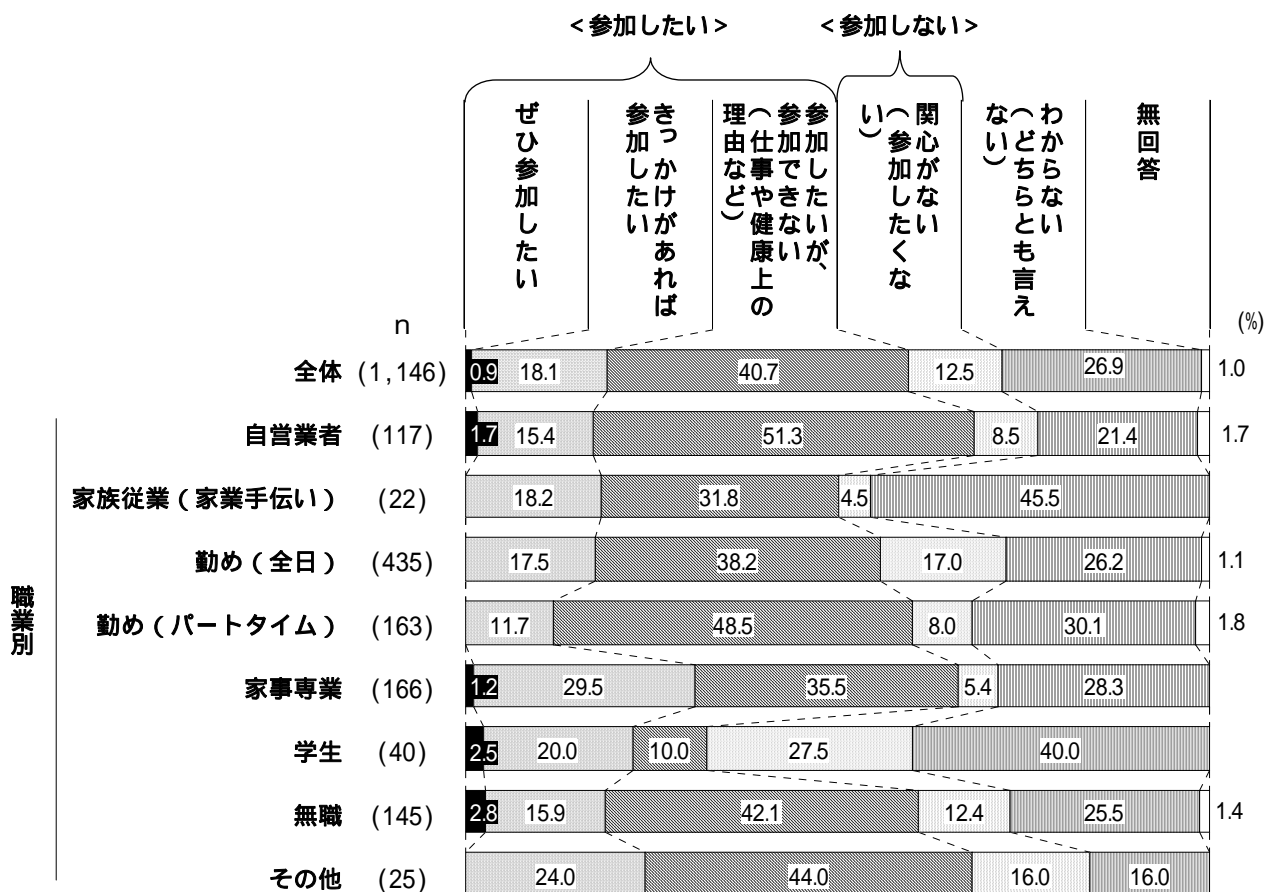


男性及び女性の“18歳~19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【職業別】

職業別でみると、<参加したい>は“自営業者”と“家事専業”が6割台半ばを超えて高くなっている。一方、参加意向の低い“学生”でも3割を超える人たちが参加の意向を示している。(図表4-7)

<図表4-7> 安全・安心パトロール活動への参加意向/職業別



“家族従業”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

5 . 地域活動について

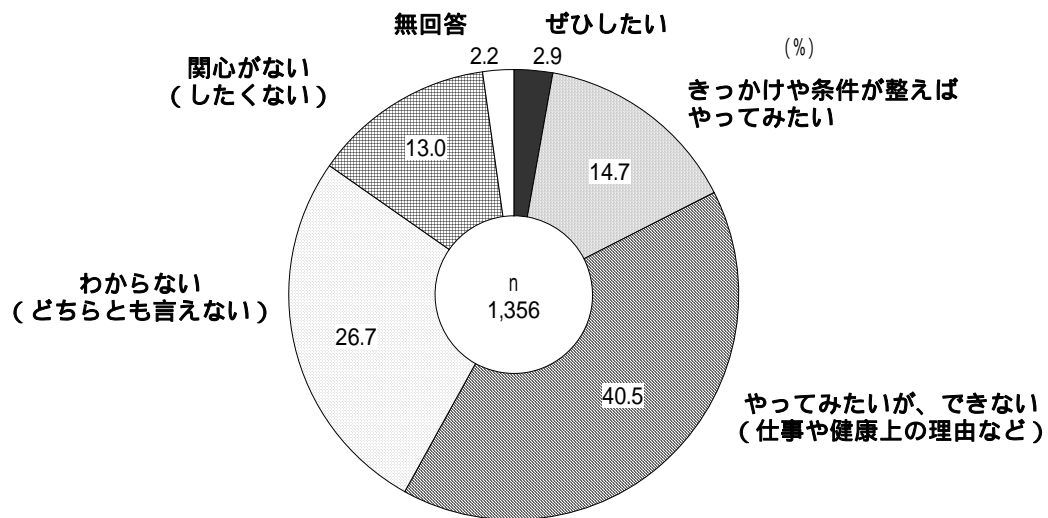
(1) 地域活動への参加意向

< 参加意向 > は 58.1%

区では「安全・安心パトロール」以外にも、「すくすくスクール」「公園ボランティア」「保育ママ」などで、地域力が活かされています。

問6 あなたは、こうした活動をしたいと思いませんか。(は1つ)

< 図表 5 - 1 > 地域活動への参加意向



(注) < したい > = 「ぜひ」 + 「きっかけや条件が整えば」 + 「やってみたいが」・・・58.1%

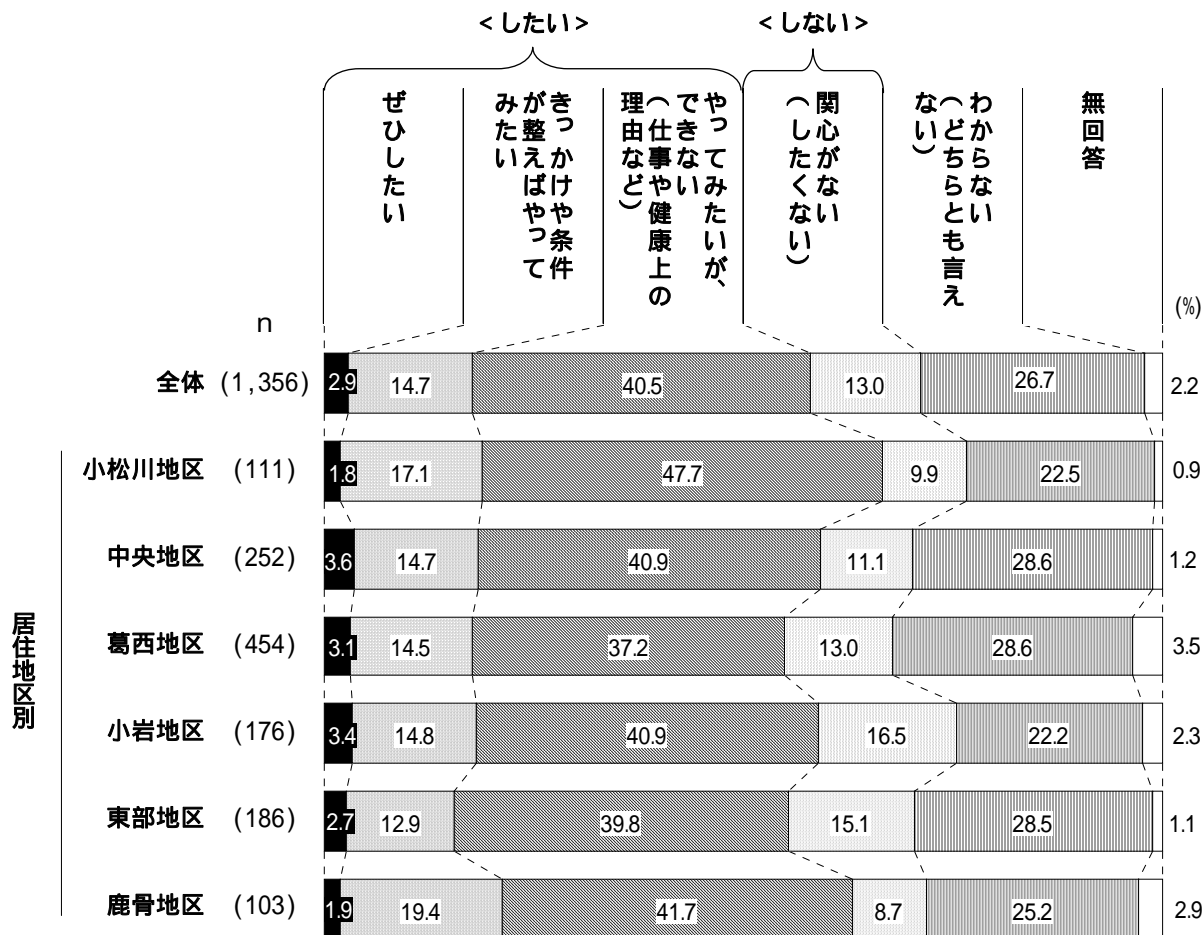
< しない > = 「関心がない」・・・13.0%

地域活動へ参加したいか尋ねたところ、2割の人たちが「ぜひしたい」「きっかけや条件が整えばやってみたい」と答えている。また、「やってみたいが、できない(仕事や健康上の理由など)」と答えた人も4割に上っており、6割の人たちは参加の意向があると考えられる。(図表5-1)

【居住地区別】

参加意向の高い地区は、“小松川地区”と“鹿骨地区”の2地区で、いずれも6割を超えている。また、参加意向が低い“葛西地区”でも、5割台半ばの人たちが参加の意向を示している。(図表5-2)

<図表5-2> 地域活動への参加意向 / 居住地区別

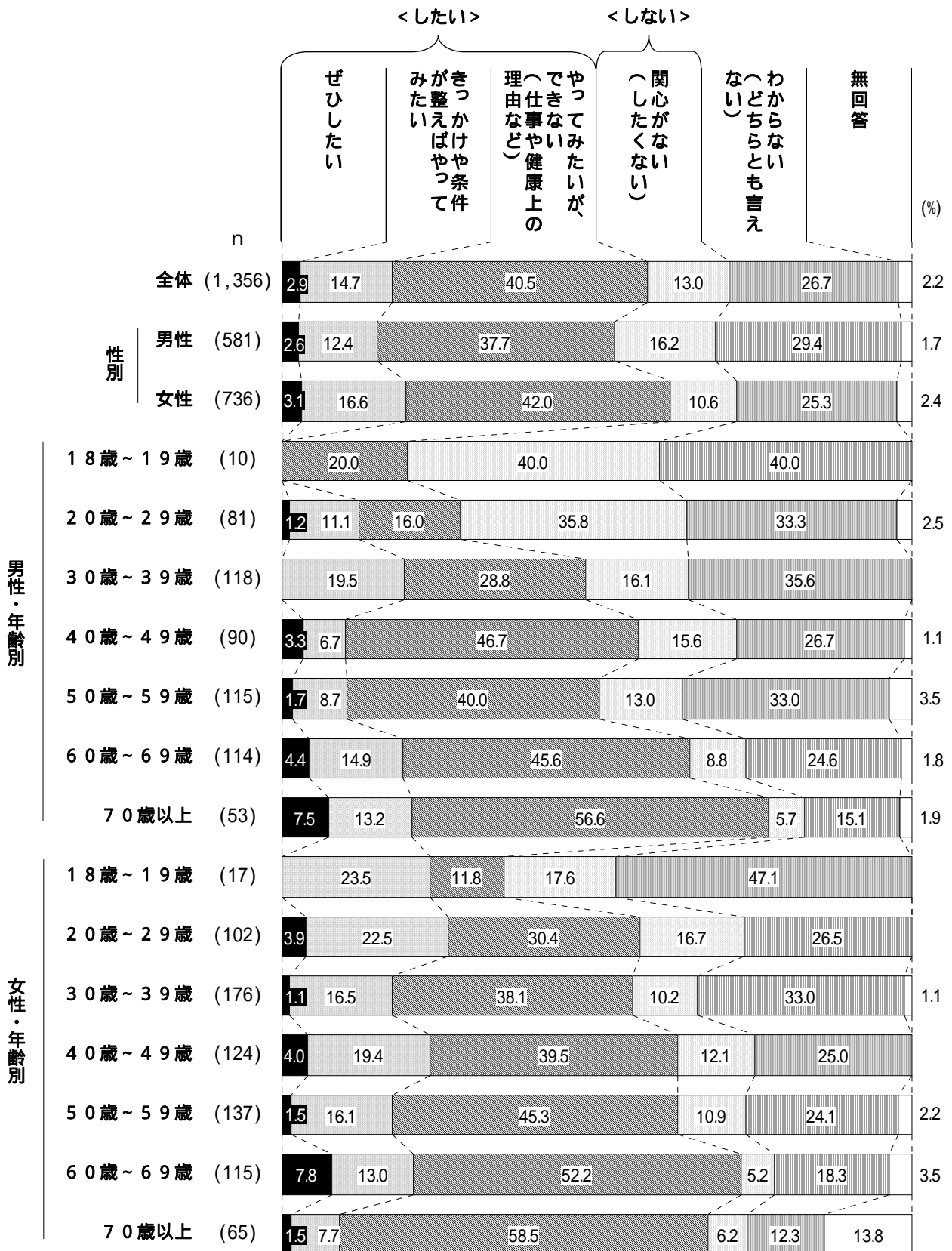


【性・年齢別】

性別でみると、地域活動への参加を<したい>は男性よりも女性の方が9ポイント上回っている。

性・年齢別でみると、<したい>の割合は男性女性ともに若い年代で低く、年代が高くなるにつれて増加する傾向が見られる。また、「やってみよう(仕事や健康上の理由など)」でも同じ傾向が見られる。(図表5-3)

<図表5 - 3> 地域活動への参加意向 / 性・年齢別



男性及び女性の“18歳~19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

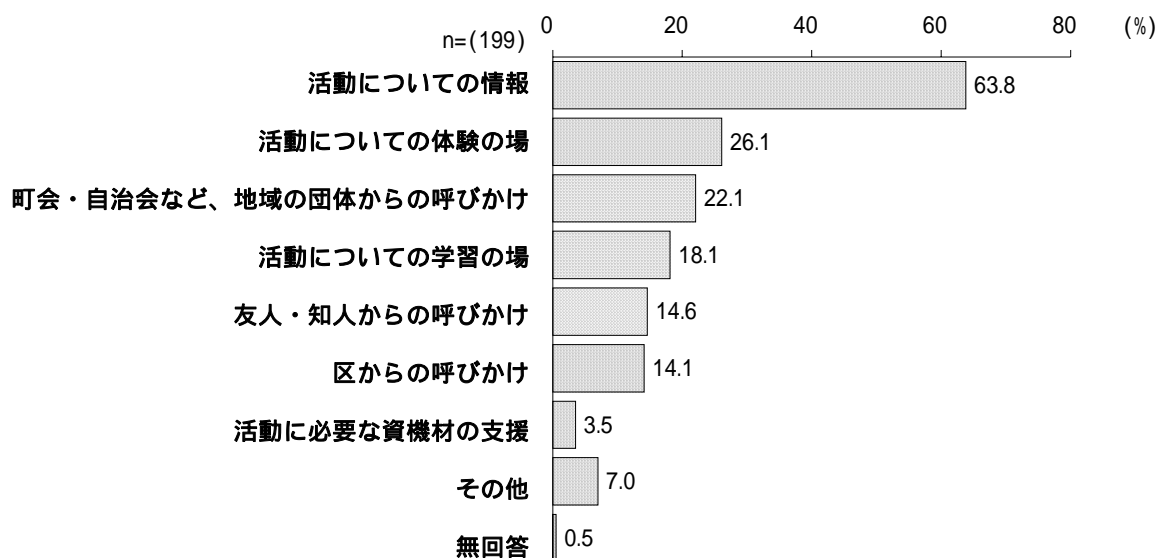
(1 - 1) 地域活動に参加するために必要なこと

6割強の人が「活動についての情報」を必要としている

(問6で、「2.きっかけや条件が整えばやってみたい」とお答えの方にお聞きします)

問6-1 あなたが活動するためには、どのようなことが必要ですか。(は2つまで)

<図表5-4> 地域活動に参加するために必要なこと(複数回答)

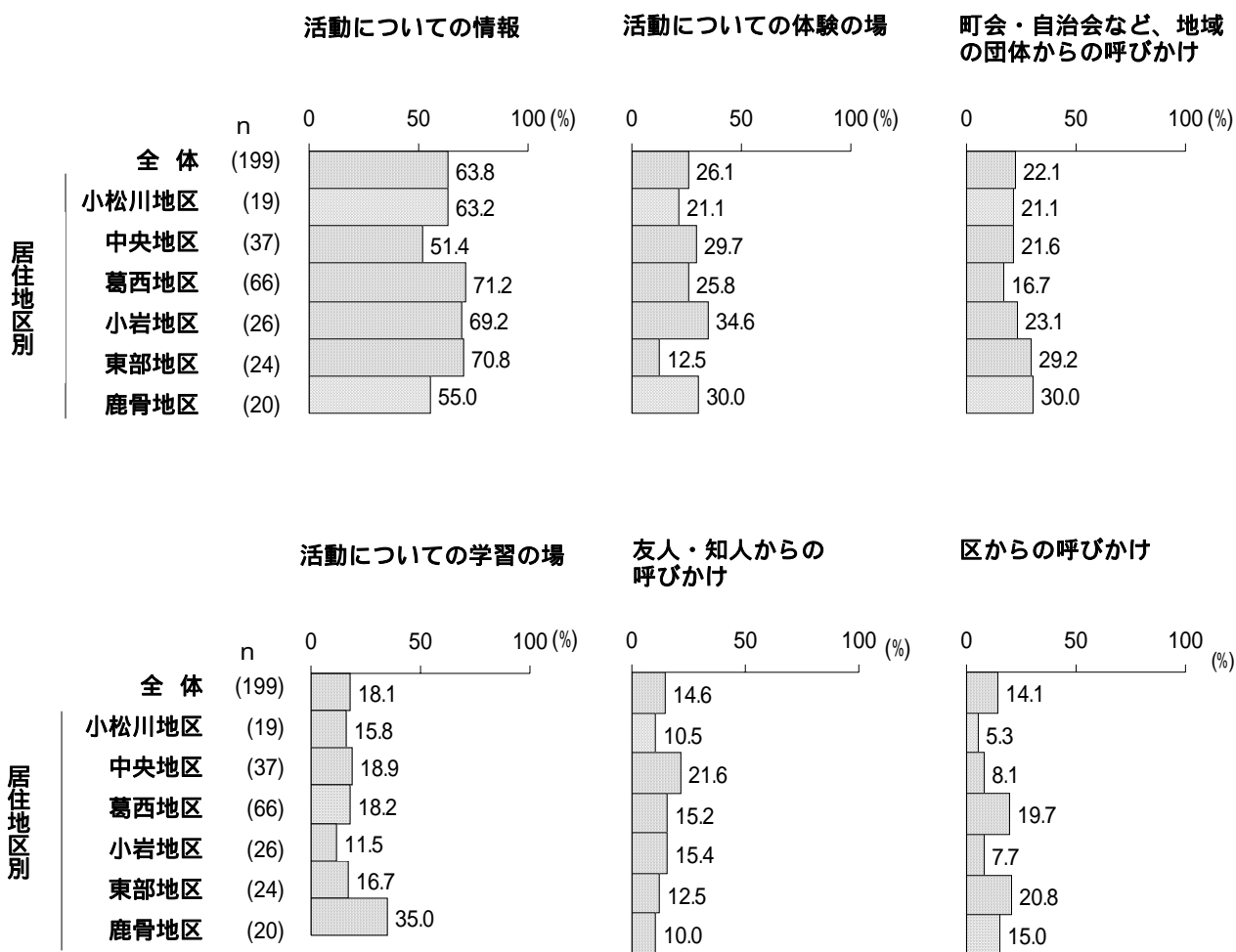


問6で「きっかけや条件が整えばやってみたい」と答えた人に、活動するために必要なことを尋ねたところ、「活動についての情報」(63.8%)が6割強を占めて最も高くなっている。続いて「活動についての体験の場」(26.1%)が2割台半ばとなっており、以下「町会・自治会など、地域の団体からの呼びかけ」(22.1%)と「活動についての学習の場」(18.1%)が2割前後と続く。(図表5-4)

【居住地区別】

居住地区別でみると、「活動についての情報」を必要と思う人が、いずれの地区も半数を超え、高くなっている。「活動についての学習の場」では“鹿骨地区”が最も高く、全体より約16ポイント上回っている。(図表5-5)

<図表5-5> 地域活動に参加するために必要なこと/居住地区別(上位6項目)

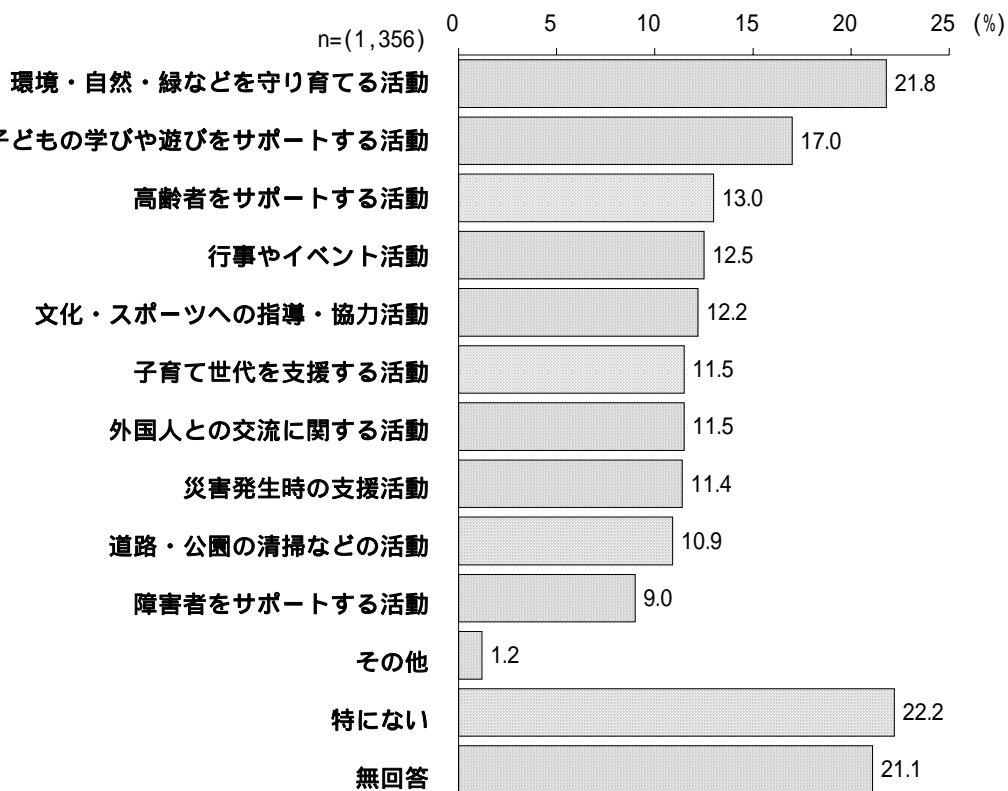


(1 - 2) 参加したい地域活動

「環境・自然・緑などを守り育てる活動」が21.8%でトップ

問6 - 2 あなたはどのような活動をしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに)

< 図表 5 - 6 > 参加したい地域活動 (複数回答)



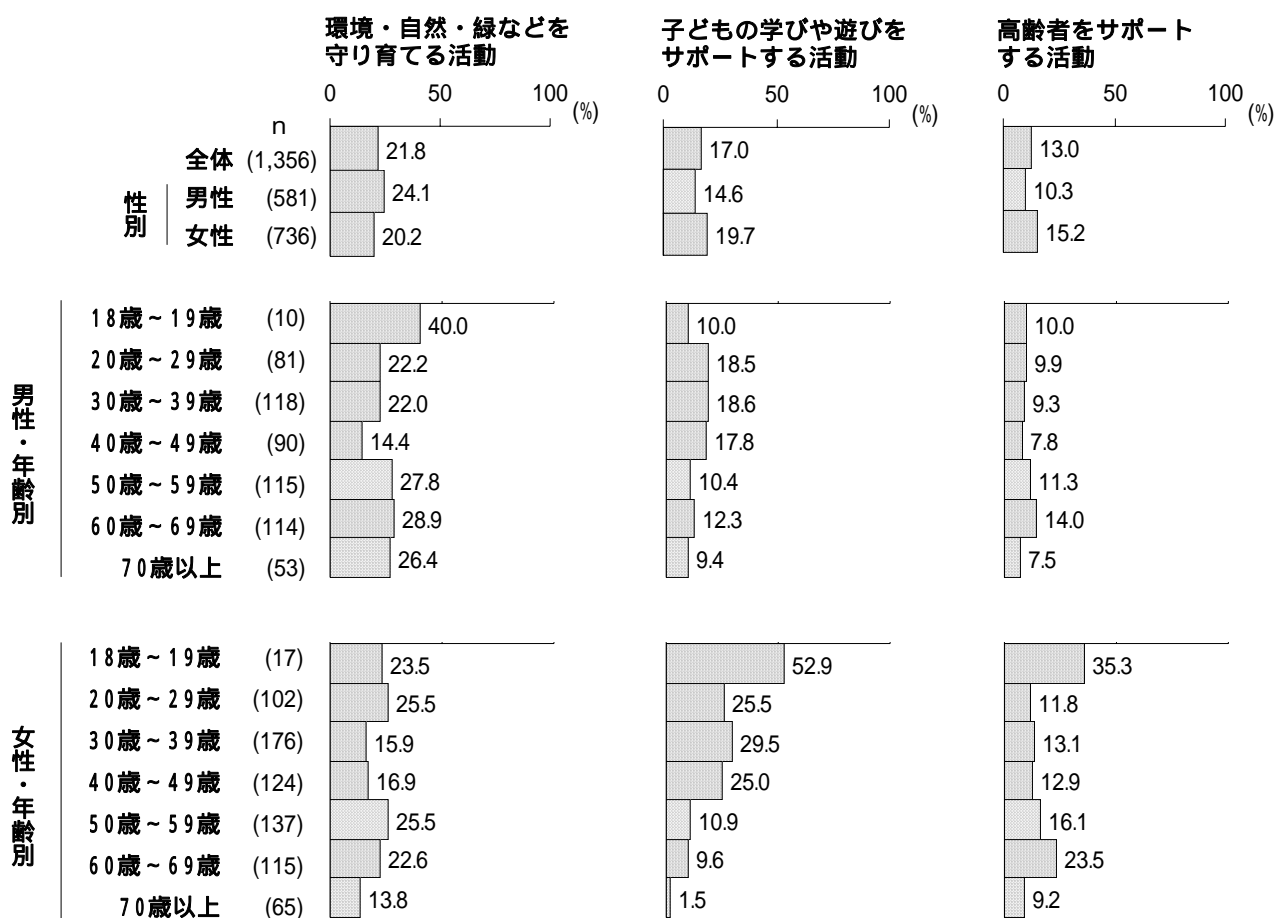
参加したい地域活動では、「環境・自然・緑などを守り育てる活動」(21.8%)の比率が最も高い。続いて「子どもの学びや遊びをサポートする活動」(17.0%)と、「高齢者をサポートする活動」(13.0%)、「行事やイベント活動」(12.5%)となっている。一方、22.2%の人は「特にない」と回答している。(図表5 - 6)

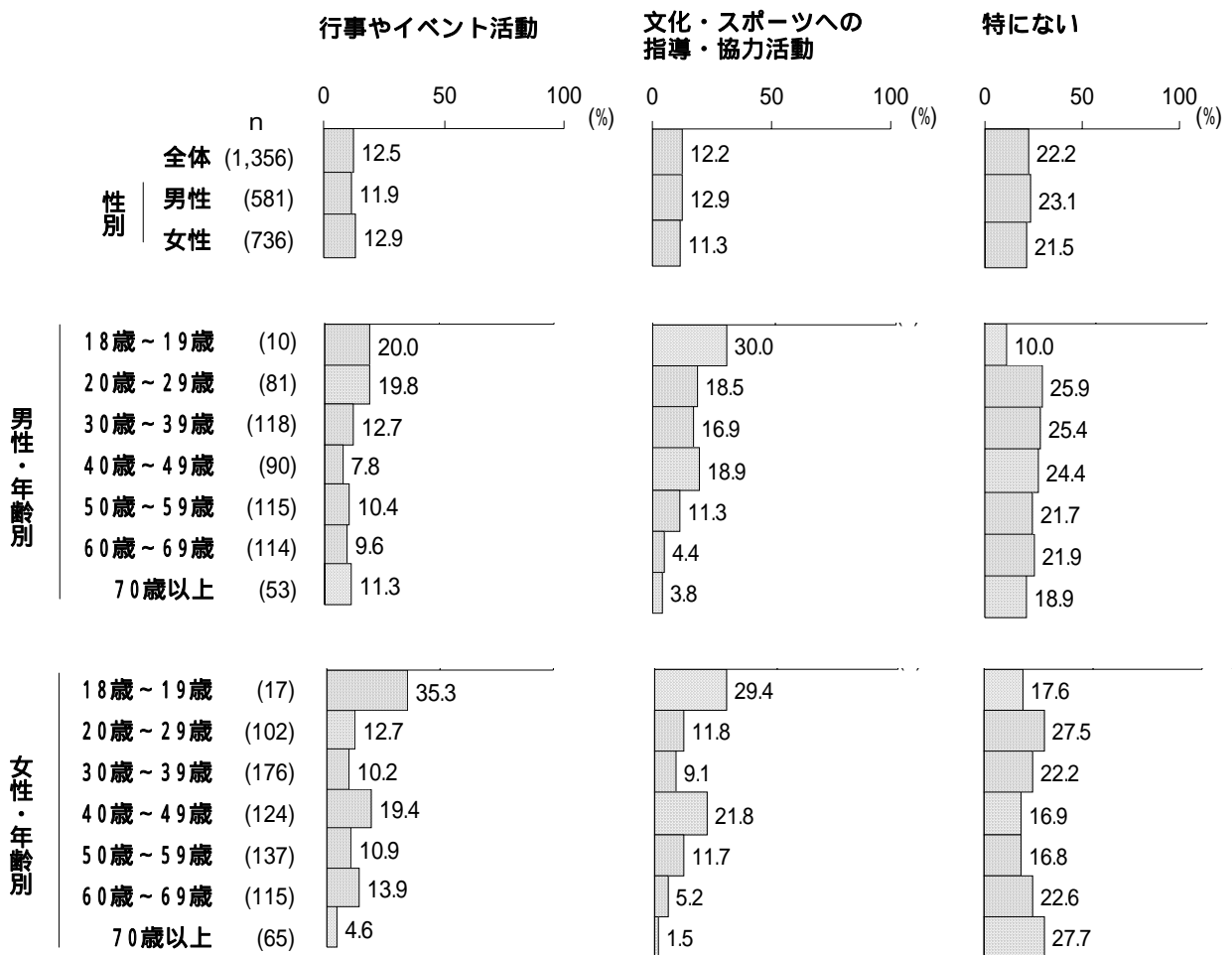
【性・年齢別】

性別でみると、「子どもの学びや遊びをサポートする活動」と「高齢者をサポートする活動」で女性が男性を5ポイント上回っている。

性・年齢別でみると、男性では「環境・自然・緑などを守り育てる活動」が2割前後と比較的高く、50歳代以上では2割台半ばを超えている。「子どもの学びや遊びをサポートする活動」では、女性の20歳～40歳代で2割を超えて高く、「文化・スポーツへの指導・協力」では女性の40歳代が唯一2割を超えている。(図表5-7)

<図表5-7> 参加したい地域活動/性・年齢別(上位5項目+「特にない」)



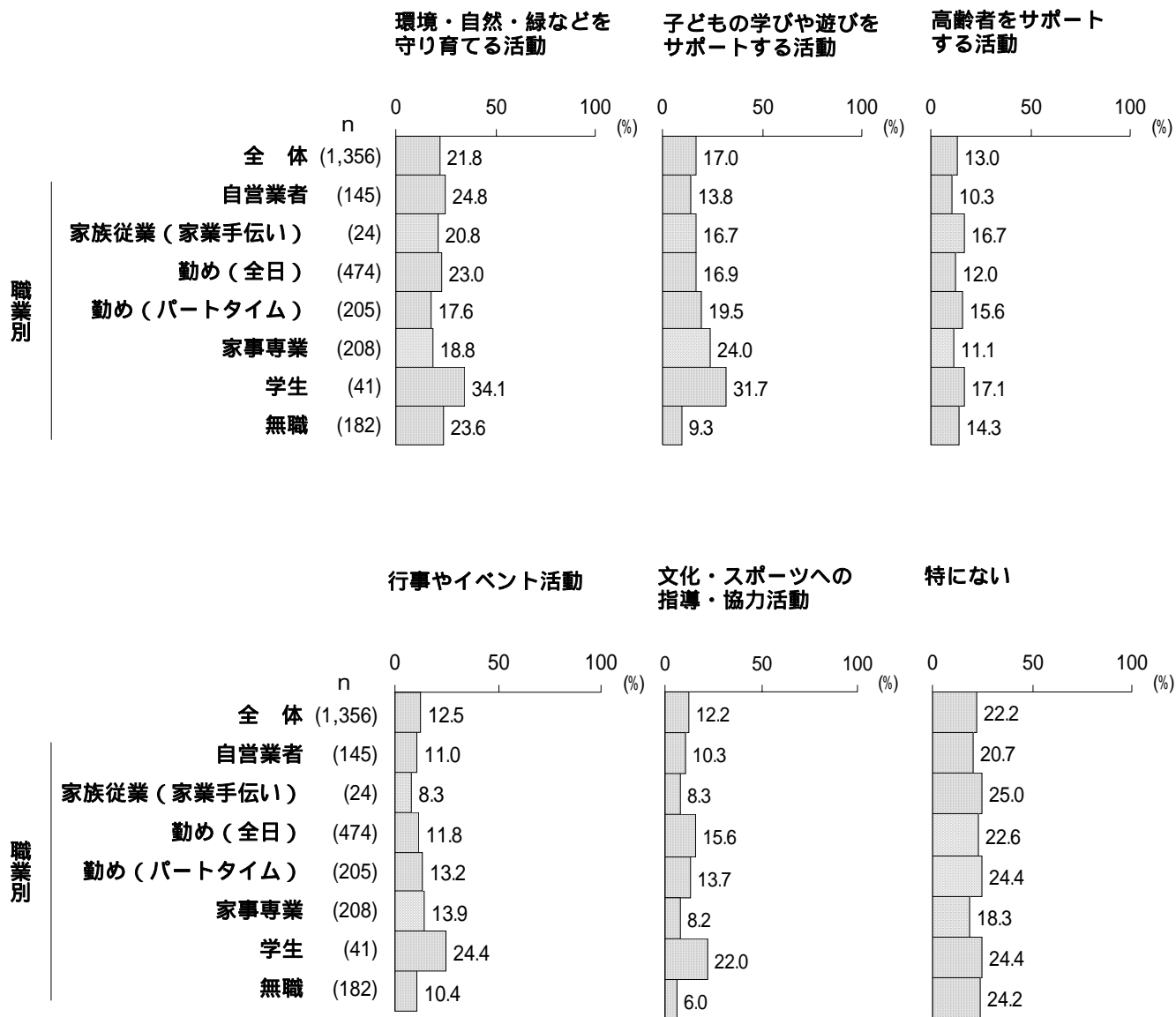


男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【職業別】

職業別でみると、「特にない」を除く項目で学生が最も多くなっており、特に「環境・自然・緑などを守り育てる活動」では3割台半ばとなっている。(図表5-8)

<図表5-8> 参加したい地域活動/職業別(上位5項目+「特にない」)



“家庭従業者”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

6 . 環境保全・リサイクルについて

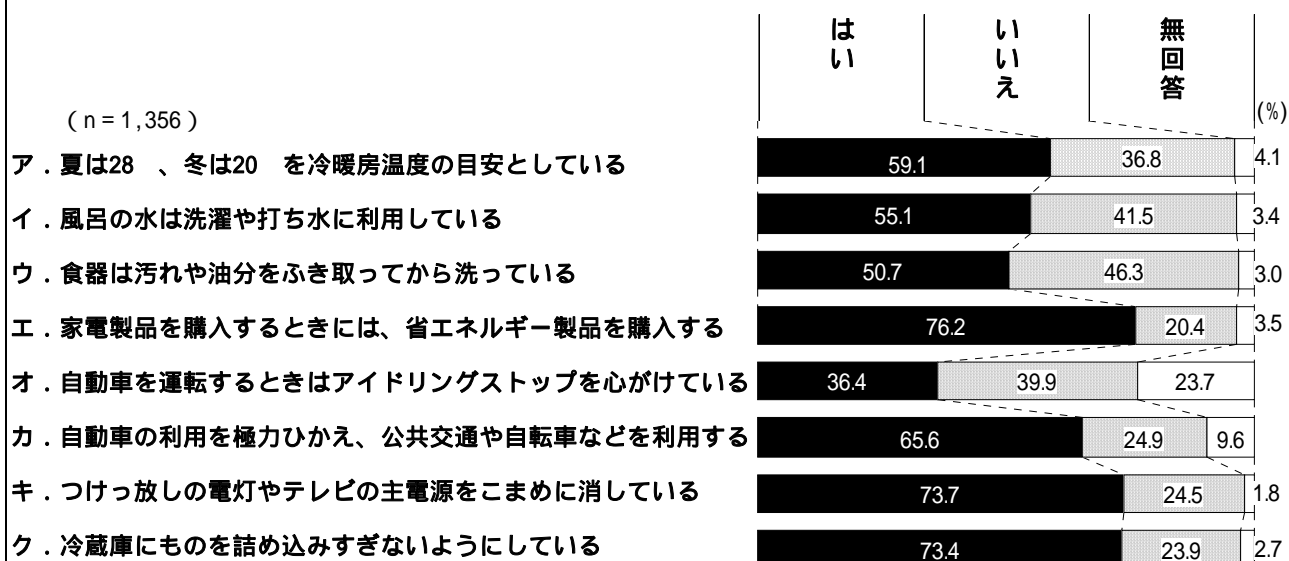
(1) 省エネ・省資源を意識した行動

「省エネルギー製品を購入」が7割台半ばを超える

問7 地球温暖化防止のため、省エネ・省資源を意識した行動をしていますか。次のア～クについてお答えください。(それぞれ は1つつつ)

<図表6 - 1> 省エネ・省資源を意識した行動

(n = 1,356)



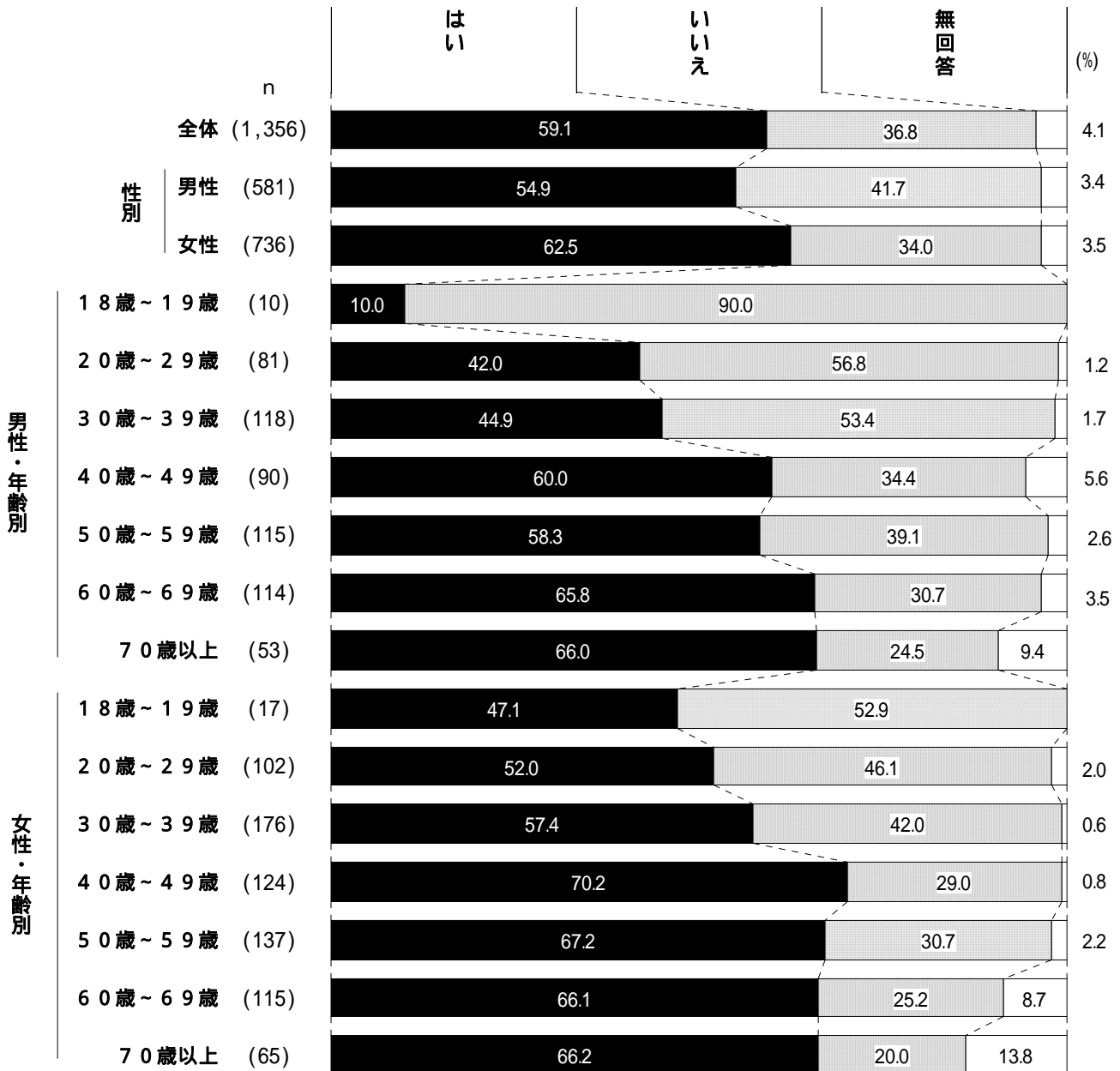
省エネ・省資源を意識した行動をしているか尋ねたところ、最も「はい」の割合が高かったのは、【家電製品を購入するときには、省エネルギー製品を購入する】(76.2%)で7割台半ばを超えている。続いて、【つけっ放しの電灯やテレビの主電源をこまめに消している】(73.7%)と【冷蔵庫にもものを詰め込みすぎないようにしている】(73.4%)が7割を超えて高くなっている。(図表6 - 1)

【ア．夏は28、冬は20を冷暖房温度の目安としている／性・年齢別】

性別でみると、「はい」の割合は男性よりも女性の方が8ポイント高い。

性・年齢別でみると、男性、女性ともに20歳～30歳代で「はい」の割合が低くなっている。一方、女性の40歳代では7割を超えて最も高くなっている。(図表6-2)

<図表6-2> ア．夏は28、冬は20を冷暖房温度の目安としている／性・年齢別



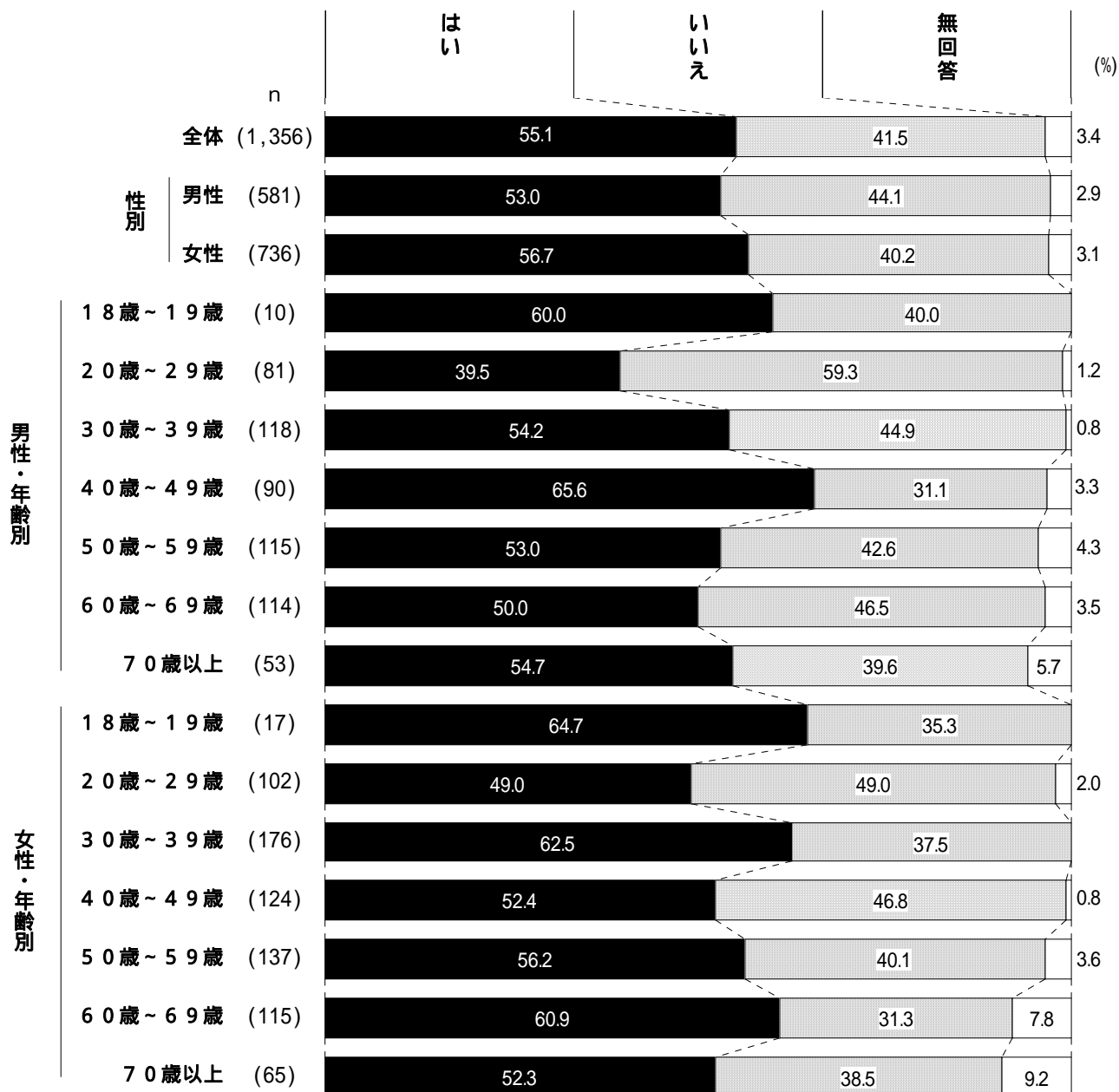
男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【イ．風呂の水は洗濯や打ち水に利用している / 性・年齢別】

性別でみると、「はい」の割合は、男性より女性のほうが4ポイント高い。

性・年齢別でみると、男性では40歳代が6割台半ばで、女性は30歳代が6割強で高くなっている。一方、男性の20歳代は39.5%と、全体を大きく下回っている。(図表6-3)

<図表6-3> イ．風呂の水は洗濯や打ち水に利用している / 性・年齢別



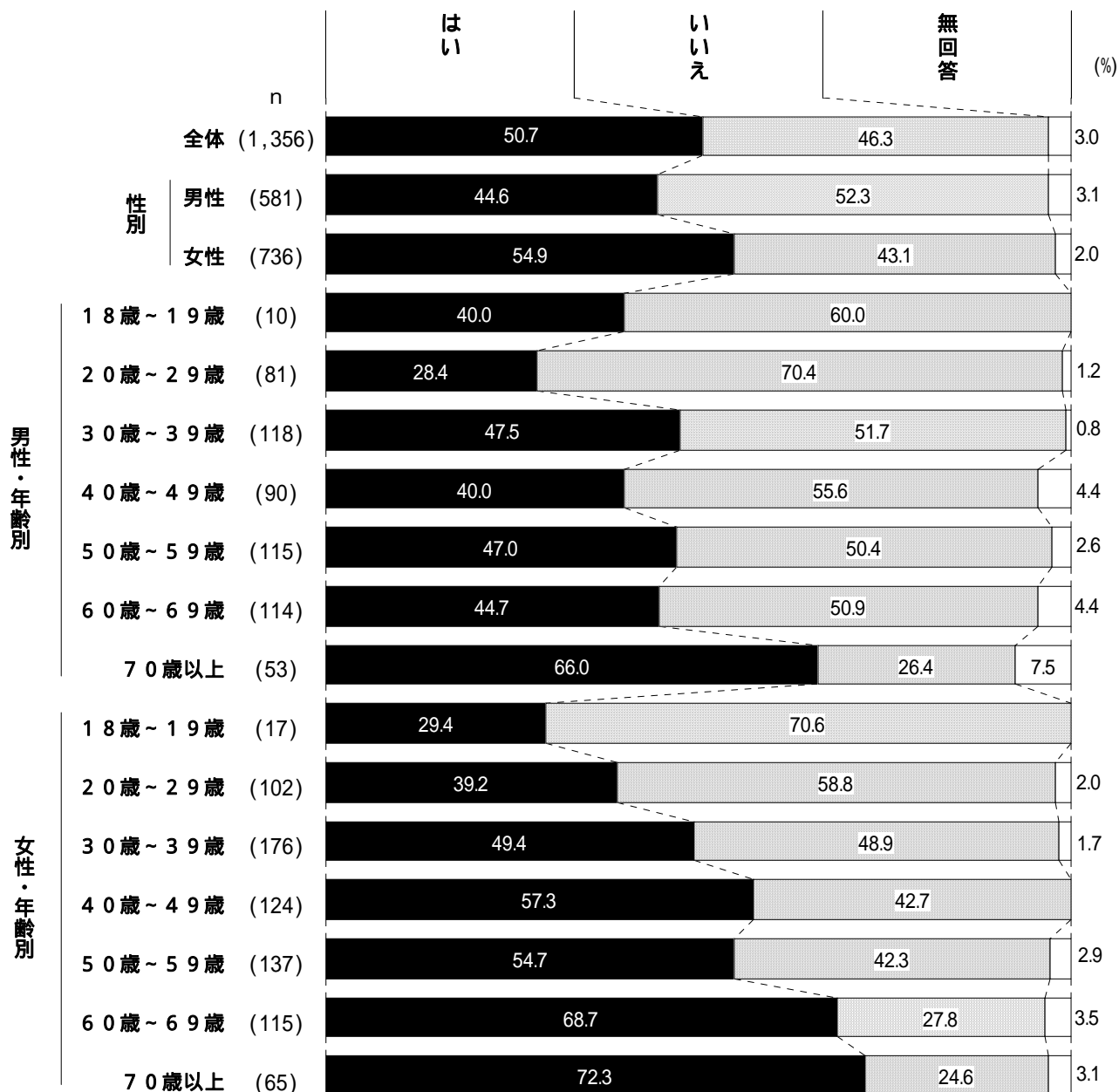
男性及び女性の“18歳~19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【ウ．食器は汚れや油分をふき取ってから洗っている／性・年齢別】

性別でみると、男性よりも女性の方が10ポイント「はい」の割合が高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」の割合が、男性では70歳以上で66.0%となり、突出している。女性でも最も高いのは70歳以上で7割を超え、60歳代も68.7%と高い。最も低いのは男性の20歳代で2割台後半となっている。(図表6-4)

<図表6-4> ウ．食器は汚れや油分をふき取ってから洗っている／性・年齢別



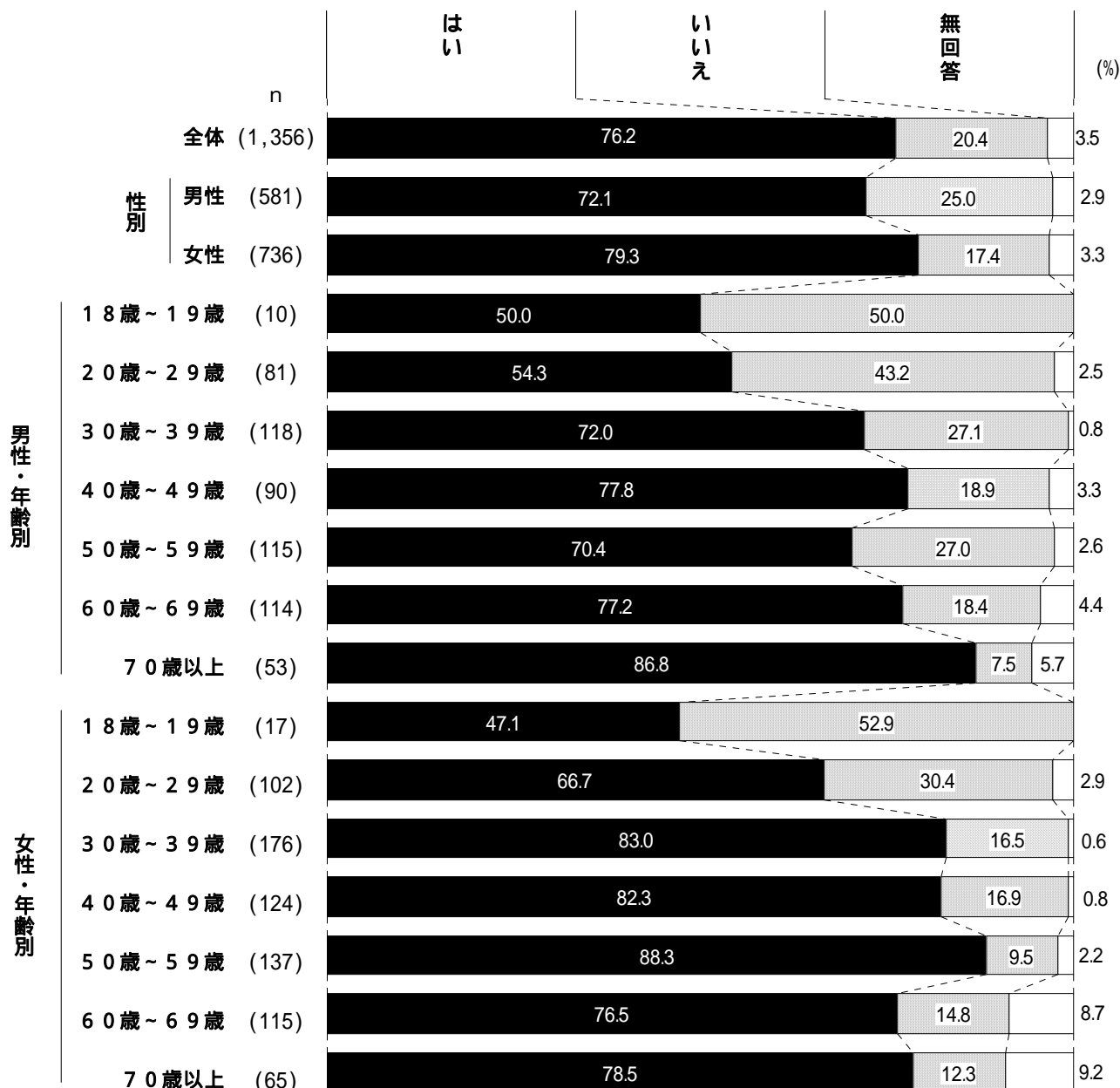
男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【エ．家電製品を購入するときには、省エネルギー製品を購入する／性・年齢別】

性別でみると、男性よりも女性の方が7ポイント「はい」の割合が高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」の割合は、男性では70歳以上で8割台半ばを超えて最も高い。女性で最も高いのは50歳代で88.3%となっている。女性の30歳～40歳代でも8割を超えて高くなっている。(図表6-5)

<図表6-5> エ．家電製品を購入するときには、省エネルギー製品を購入する／性・年齢別



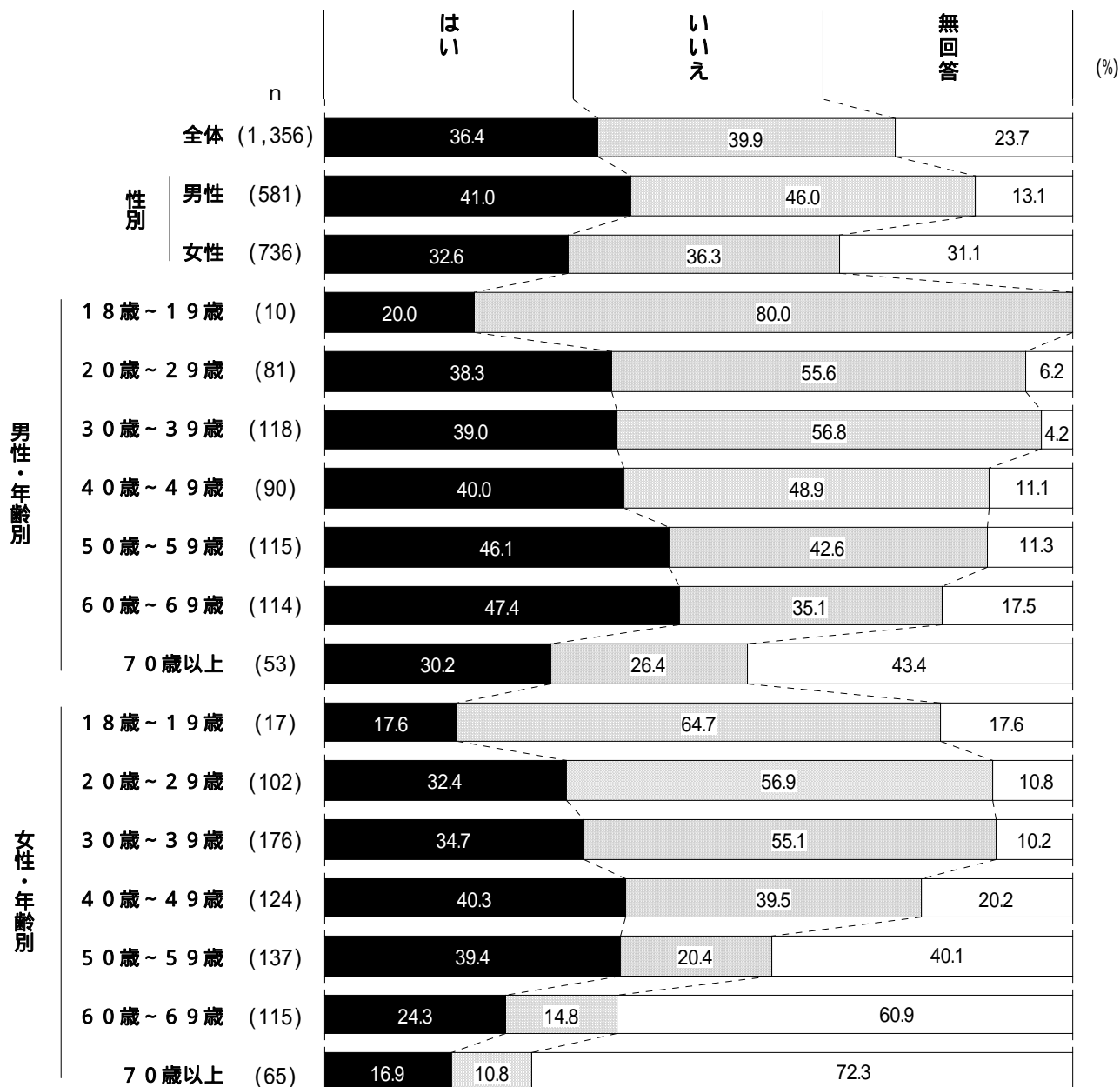
男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【オ．自動車を運転するときはアイドリングストップを心がけている／性・年齢別】

性別でみると、「はい」の割合は女性よりも男性の方が8ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」の割合は、男性の40歳～60歳代、そして女性の40歳代で4割以上と高くなっている。(図表6-6)

<図表6-6> オ．自動車を運転するときはアイドリングストップを心がけている／性・年齢別



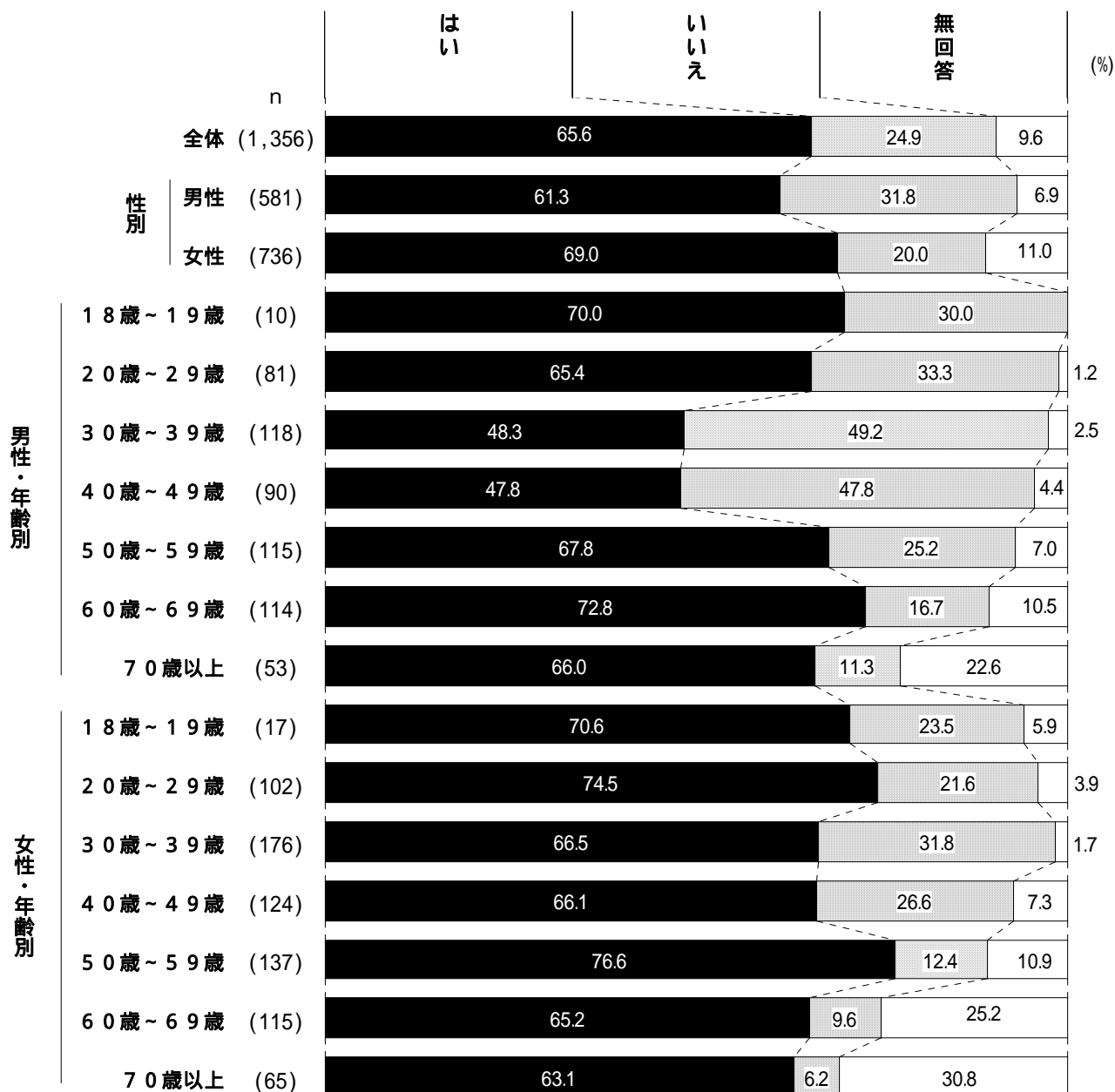
男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【カ．自動車の利用を極力ひかえ、公共交通や自転車などを利用する／性・年齢別】

性別でみると、「はい」の割合は、男性よりも女性の方が8ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」の割合が全体的に6割を超えるなか、男性の30歳～40歳代で半数を下回り、低くなっているのが目立つ。(図表6-7)

<図表6-7> カ．自動車の利用を極力ひかえ、公共交通や自転車などを利用する／性・年齢別



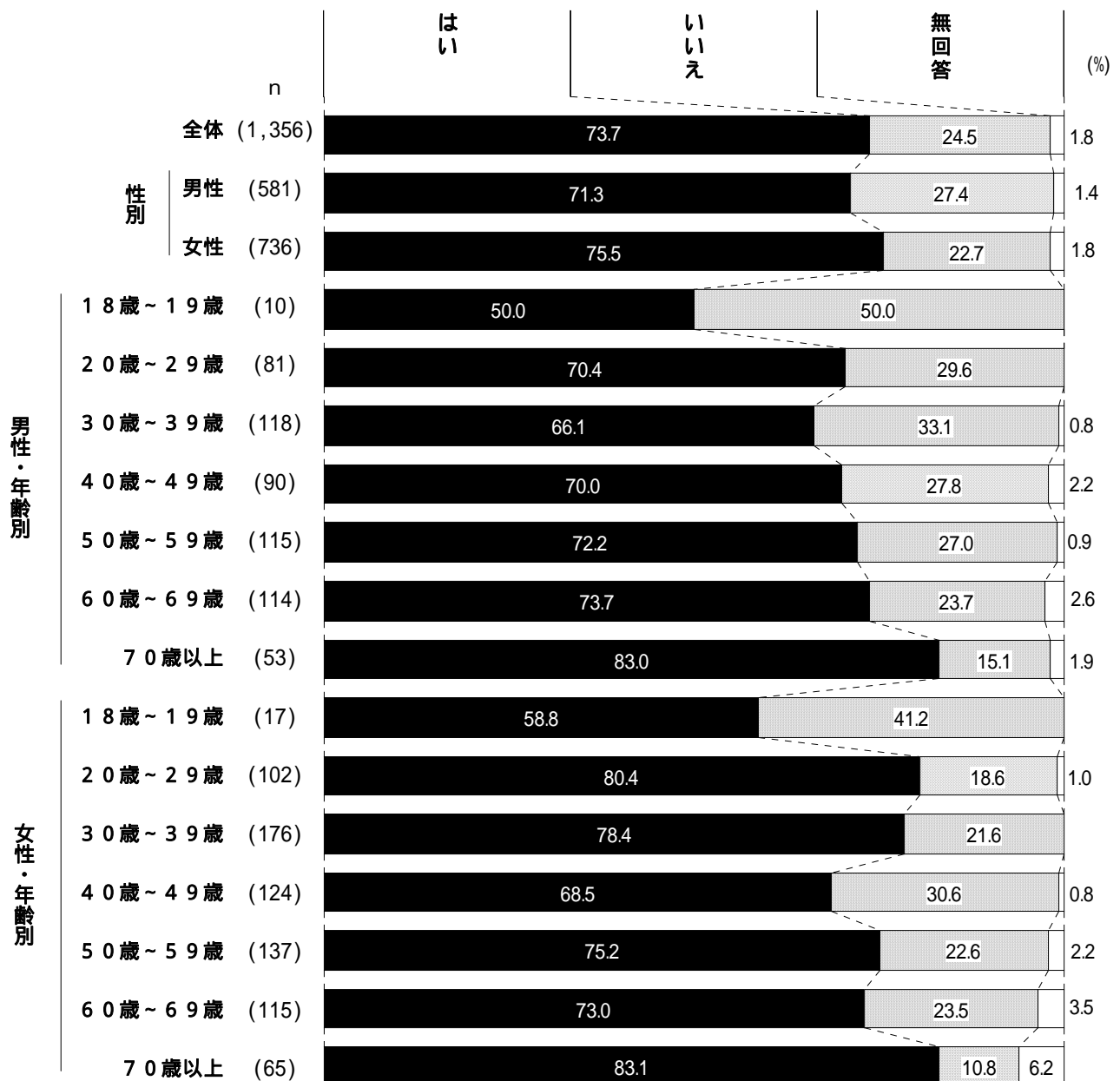
男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【キ．つけっ放しの電灯やテレビの主電源をこまめに消している／性・年齢別】

性別でみると、「はい」の割合は、男性よりも女性の方が4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」の割合は、70歳以上で男性が83.0%、女性が83.1%とそれぞれ最も高くなっている。また、女性の20歳代でも8割を超え高い。(図表6-8)

<図表6-8> キ．つけっ放しの電灯やテレビの主電源をこまめに消している／性・年齢別



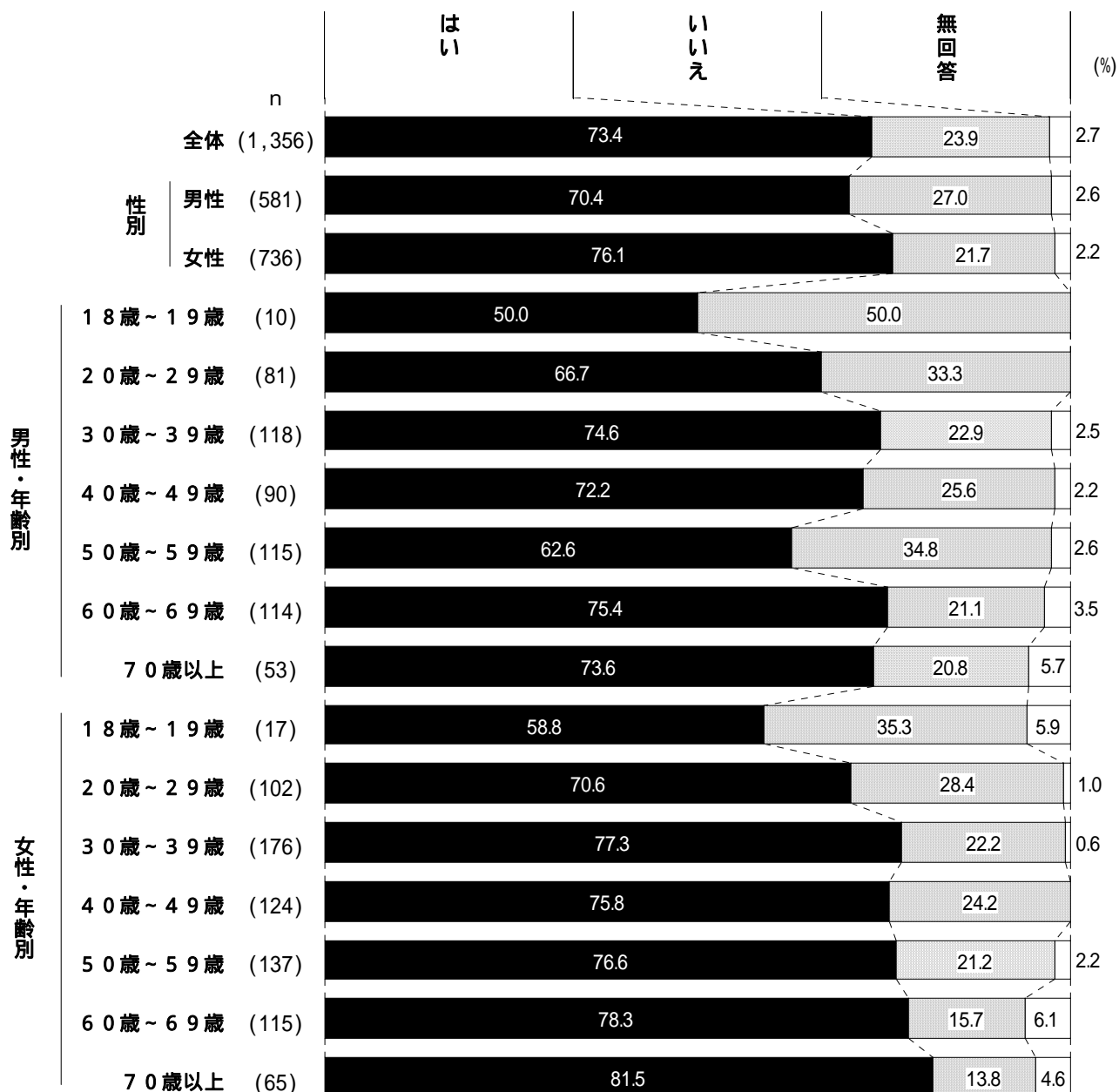
男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【ク．冷蔵庫にものを詰め込みすぎないようにしている／性・年齢別】

性別でみると、「はい」の割合は、男性よりも女性の方が6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」の割合は、女性の70歳以上で8割を超え最も高く、一方、男性の20歳代と50歳代では6割台で、低くなっている。(図表6-9)

<図表6-9> ク．冷蔵庫にものを詰め込みすぎないようにしている／性・年齢別



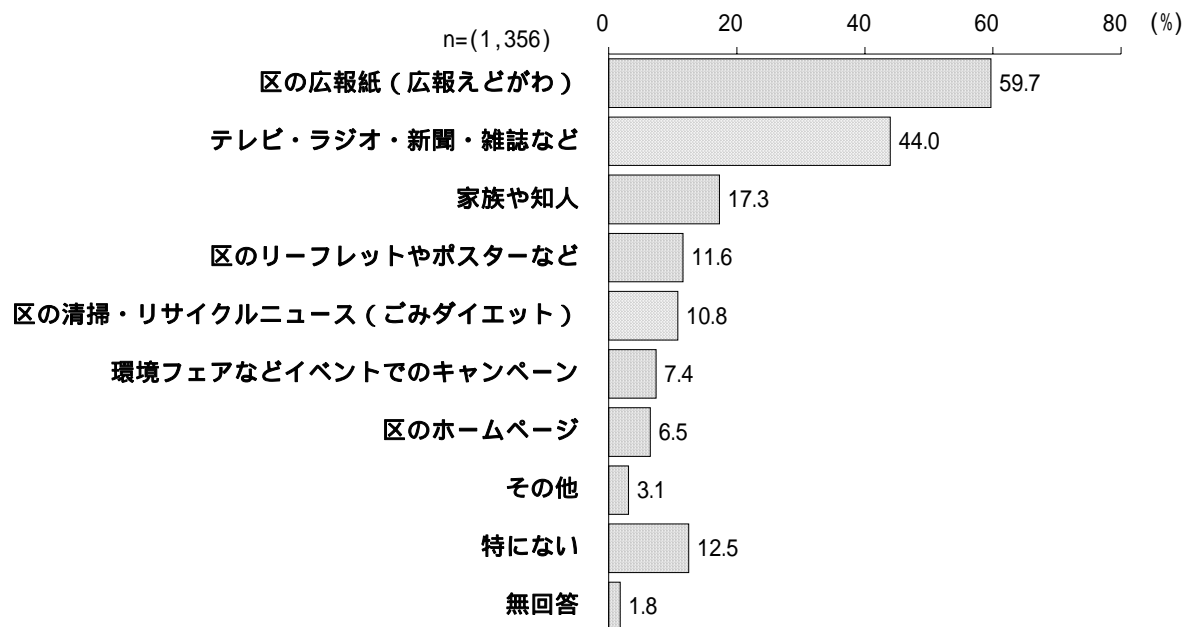
男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(2) ごみ減量・リサイクル情報の入手先

「区の広報紙(広報えどがわ)」が6割でトップ

問8 あなたは、ごみ減量やリサイクルに関する情報をどこから得ていますか。
(あてはまるものすべてに)

<図表6-10> ごみ減量・リサイクル情報の入手先(複数回答)



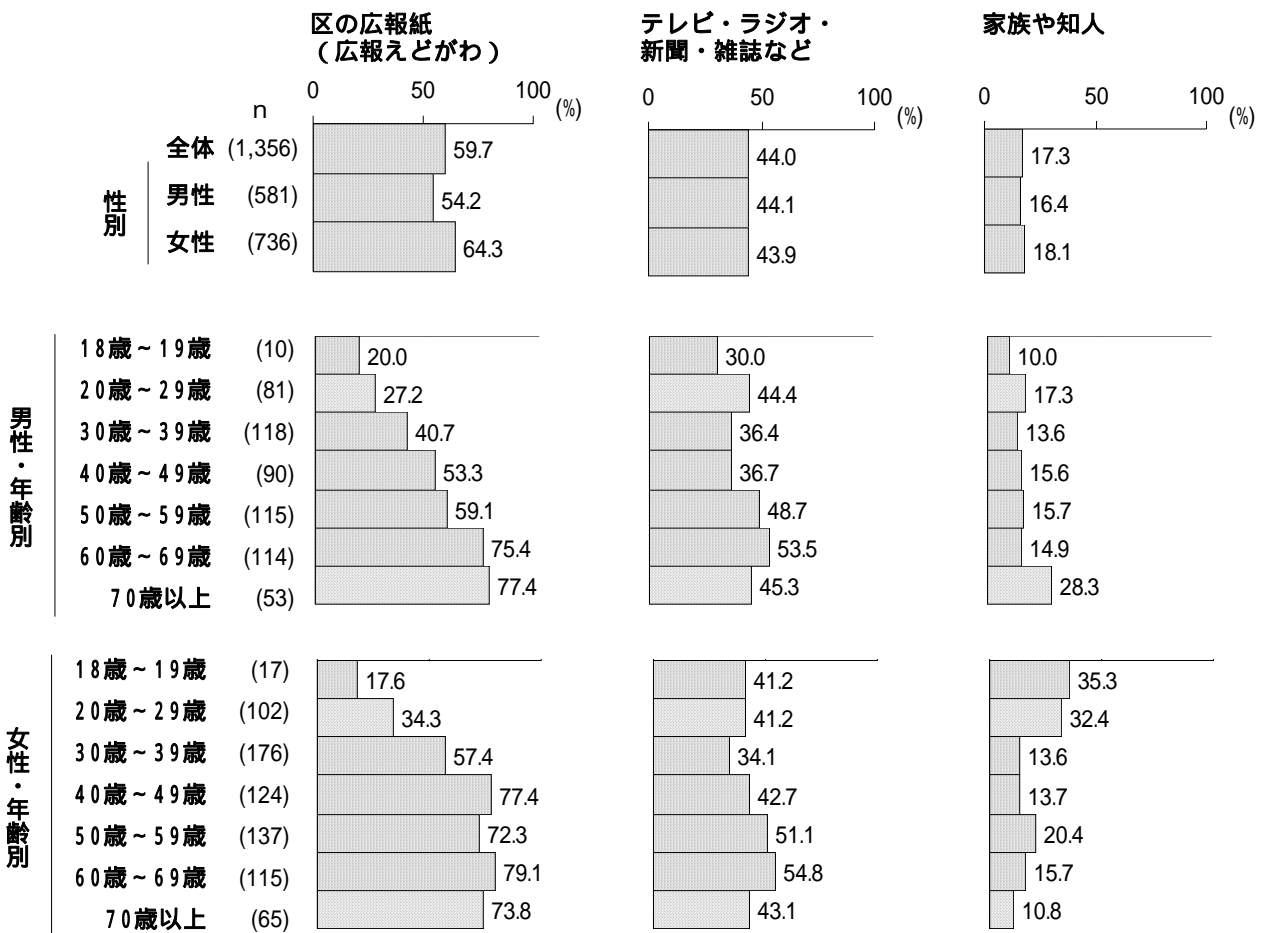
ごみ減量やリサイクルに関する情報の入手先は、「区の広報紙(広報えどがわ)」が59.7%で最も多く、続いて「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌など」が44.0%と比較的多い。「特にない」は1割強となっている。(図表6-10)

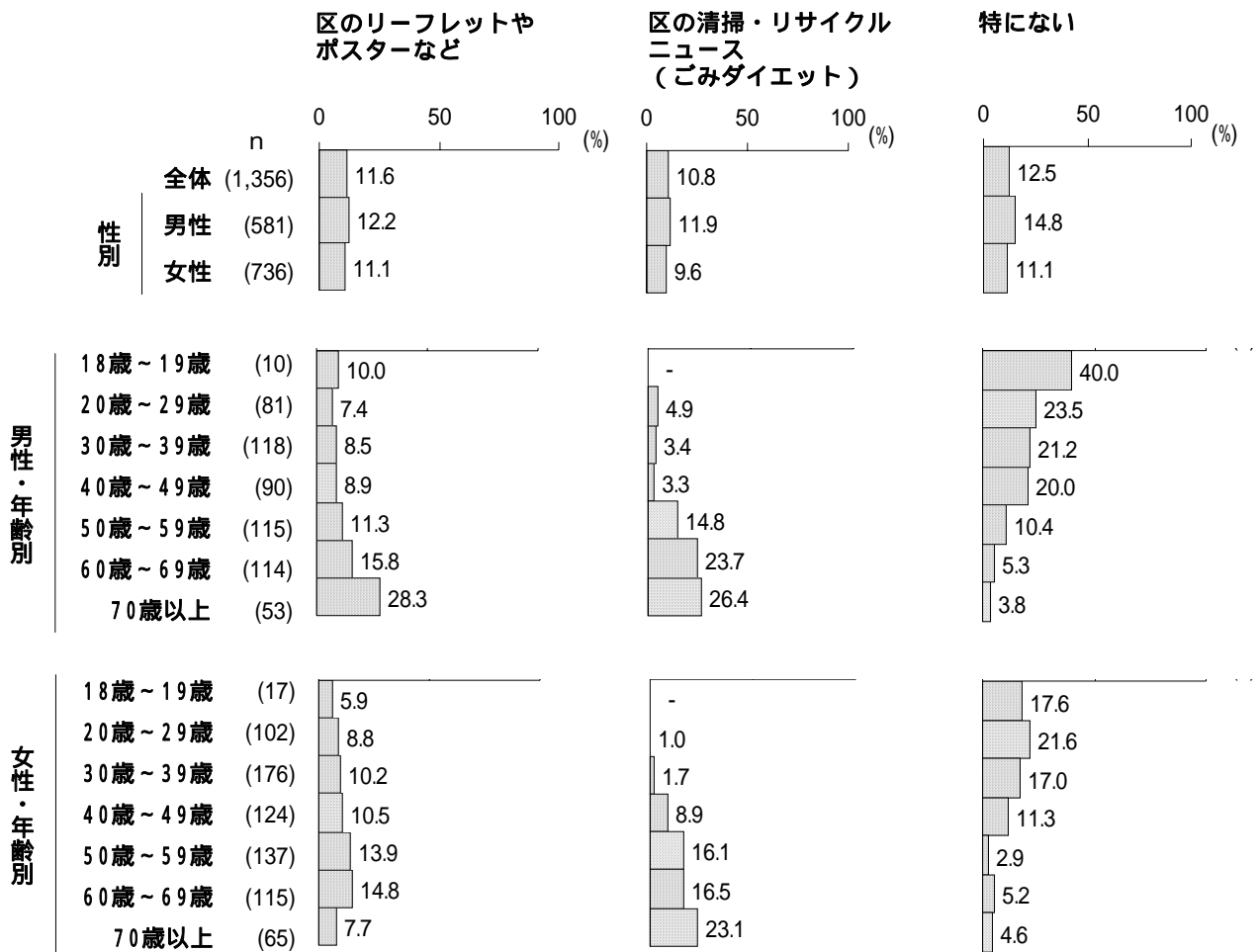
【性・年齢別】

性別でみると、「区の広報紙（広報えどがわ）」で比較的差が大きくなっており、男性よりも女性の方が10ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「区の広報紙（広報えどがわ）」と「区のリーフレットやポスターなど」、「区の清掃・リサイクルニュース（ごみダイエット）」では、年齢が高くなるにつれて、割合が高くなる傾向にある。一方、「特にない」では年齢が低くなるほど、割合が高くなっている。（図表6 - 11）

<図表6 - 11> ごみ減量・リサイクル情報の入手先 / 性・年齢別（上位5項目 + 「特にない」）



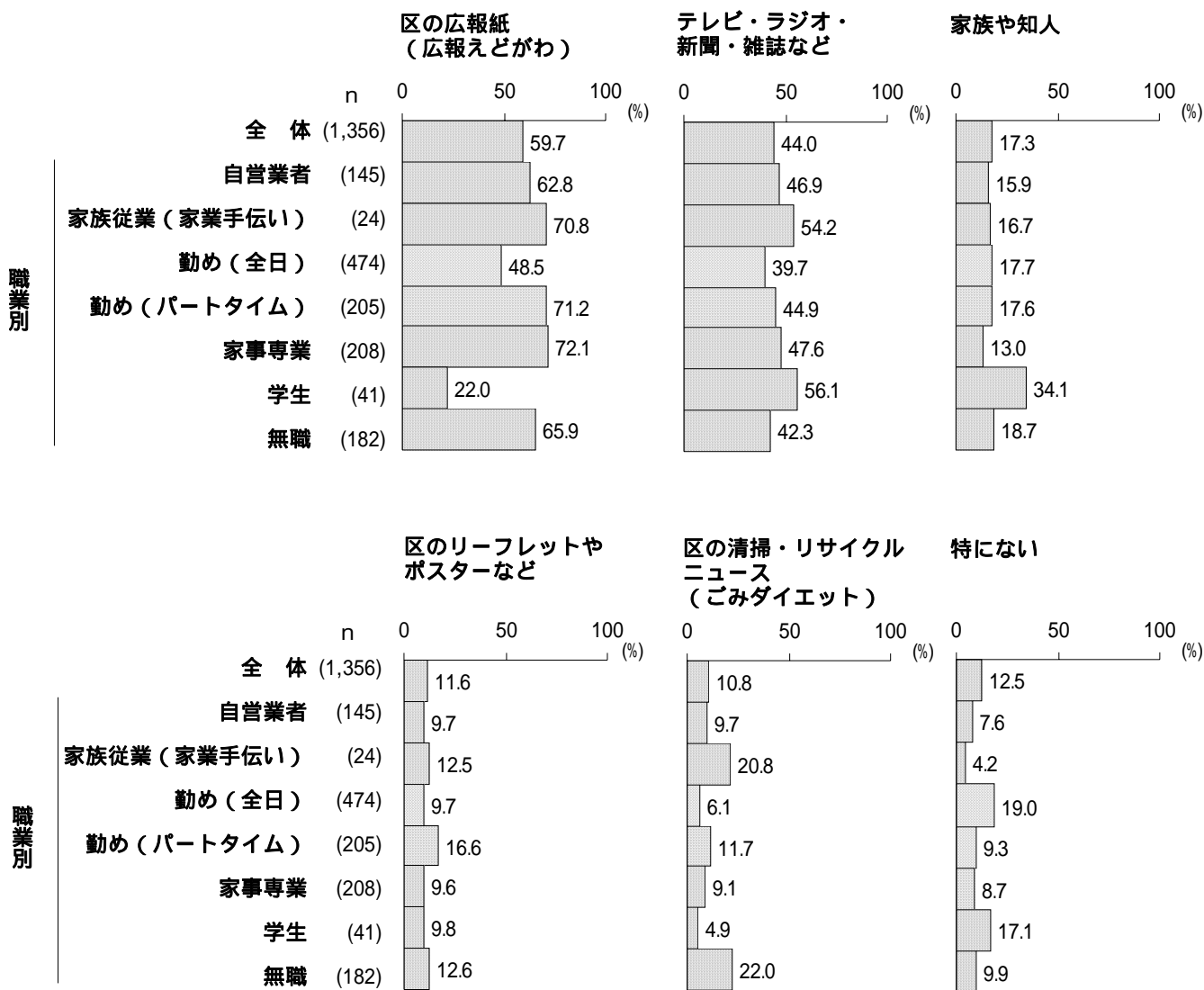


男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【職業別】

職業別でみると、最も多い「区の広報紙（広報えどがわ）」では、勤め（パートタイム）と家事専業が7割を超え多くになっている一方、学生は2割強と低くなっている。一方、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌など」と「家族や知人」では、学生が最も多くなっている。（図表6-12）

<図表6-12> ごみ減量・リサイクル情報の入手先／職業別（上位5項目＋「特にない」）



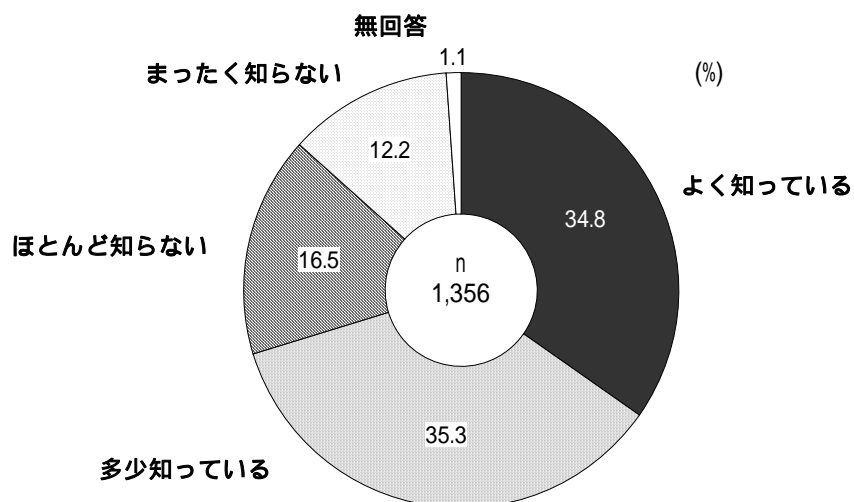
“家族従業”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(3) プラスチックごみの分別方針の認知

<知っている>が7割の一方、「まったく知らない」が1割強

問9 東京23区では、現在、不燃ごみとしているプラスチックを「資源と可燃ごみに分けて処理する」という方針を示しています。あなたは、このことをご存知ですか。(は1つ)

<図表6 - 13> プラスチックごみの分別方針の認知



(注) <知っている> = 「よく知っている」 + 「多少知っている」・・・70.1%

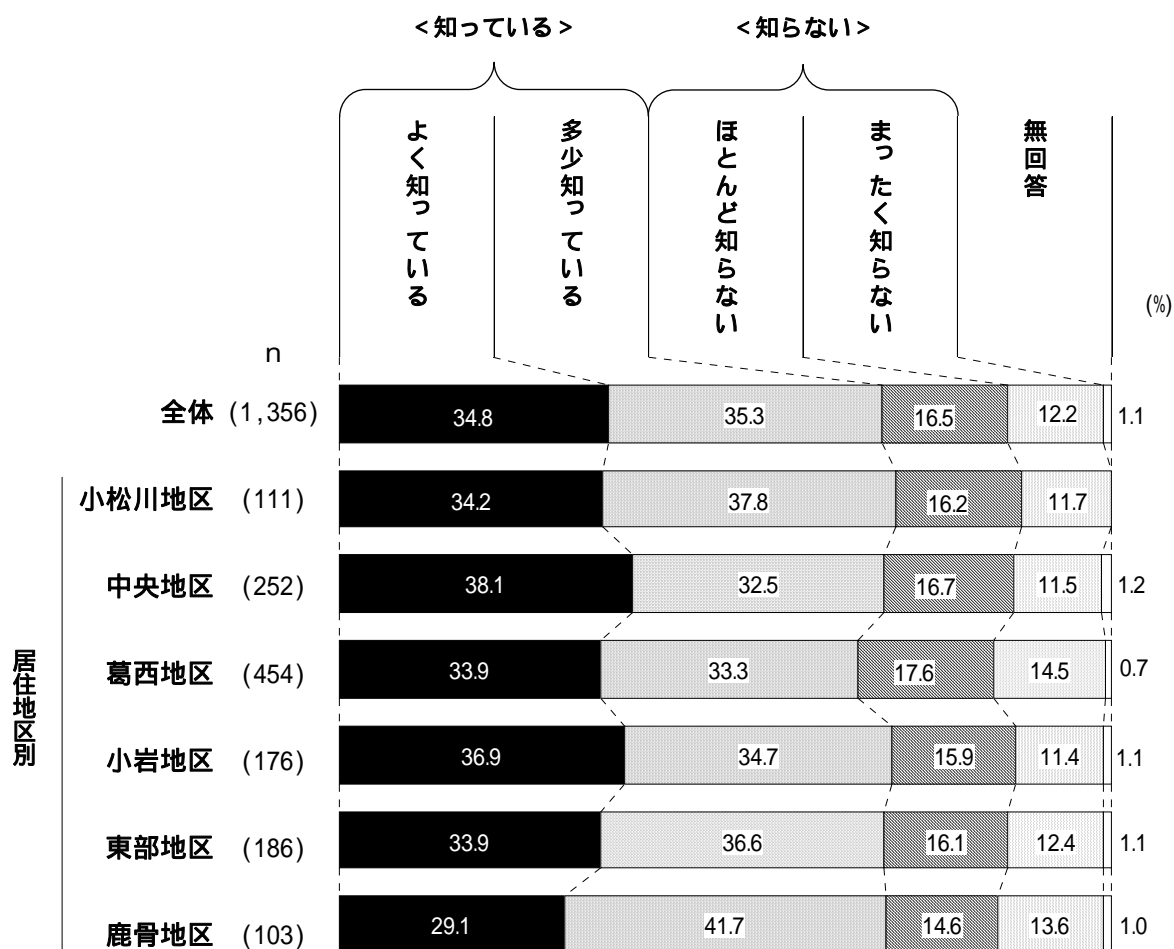
<知らない> = 「まったく知らない」 + 「ほとんど知らない」・・・28.7%

東京23区で、プラスチックごみを「資源と可燃ごみに分けて処理する」という方針を示していることを知っているかでは、「よく知っている」(34.8%)と「多少知っている」(35.3%)を合わせた<知っている>が7割となっている。一方、1割の人は「まったく知らない」と回答している。(図表6 - 13)

【居住地区別】

居住地区別でみると、<知っている>では大きな差は見られない。しかし、「よく知っている」では、最も低い“鹿骨地区”で29.1%となっており、最も高い“中央地区”よりも9ポイント下回っている。(図表6-14)

<図表6-14> プラスチックごみの分別方針の認知/居住地区別

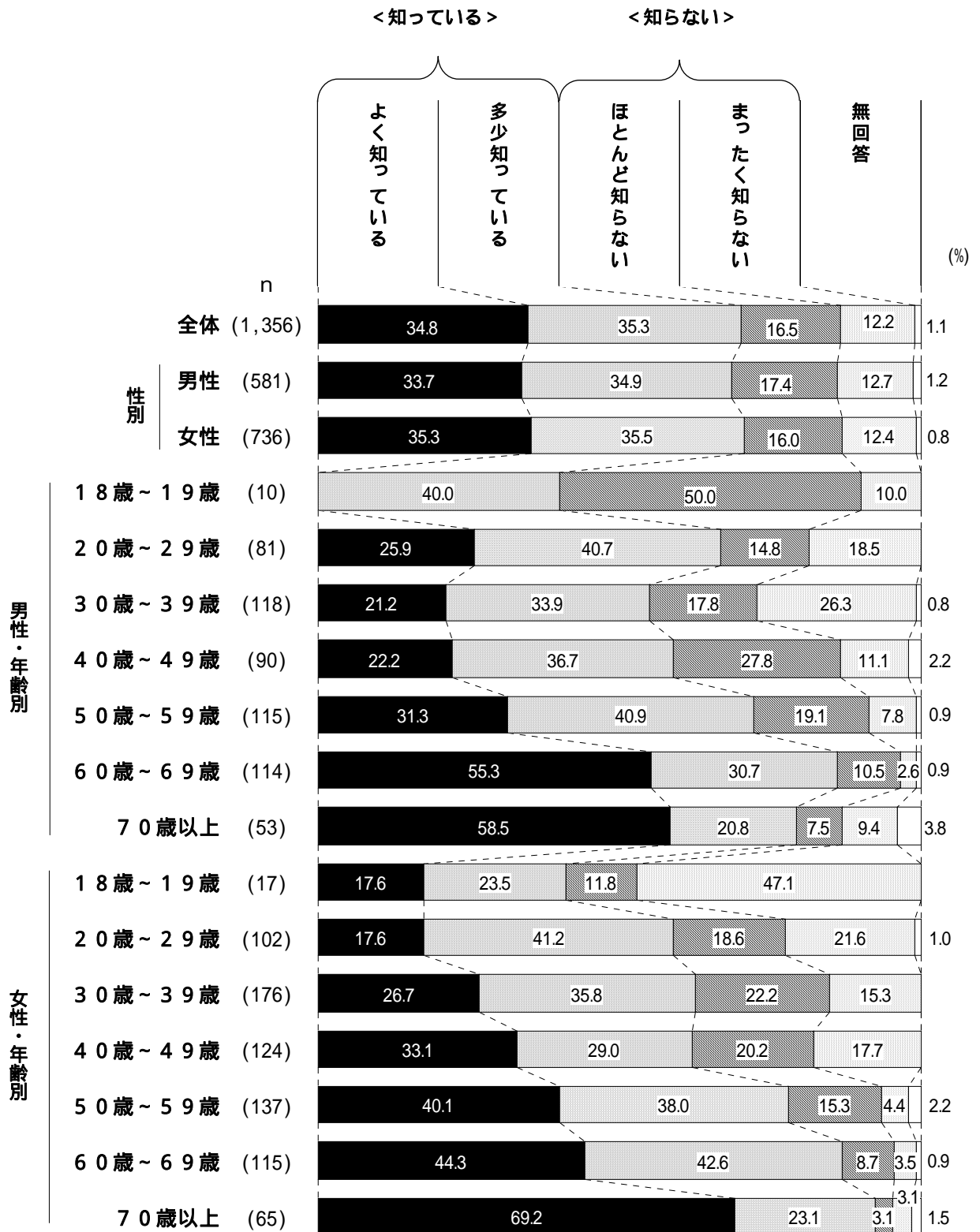


【性・年齢別】

性別でみると、特に大きな差は見られない。

性・年齢別でみると、<知っている>の割合は、男性の20歳代が30歳~40歳代よりも高くなっているが、全体として、男性、女性ともに年齢が高くなるにつれて、割合も高くなる傾向にある。(図表6-15)

<図表 6 - 15> プラスチックごみの分別方針の認知 / 性・年齢別



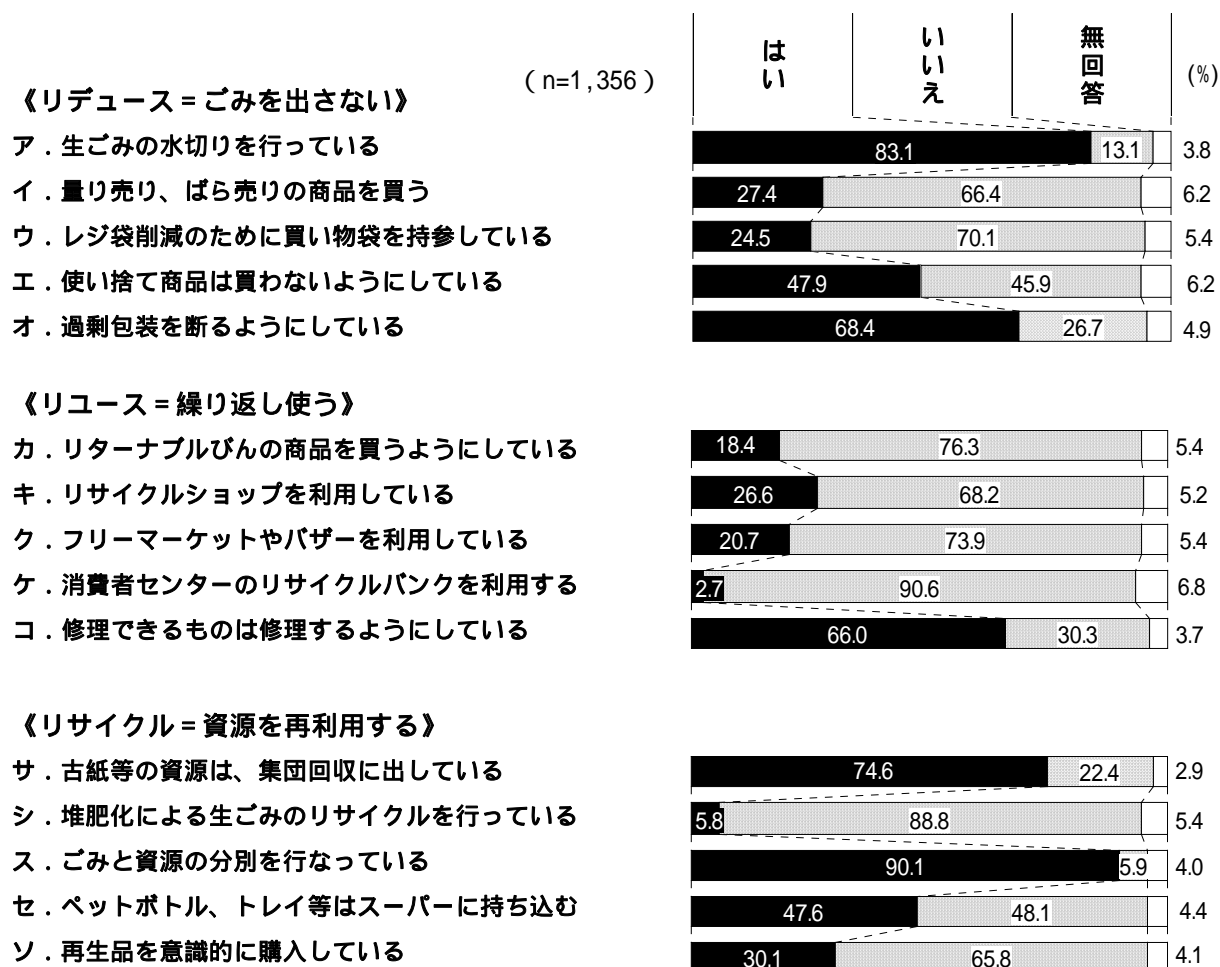
男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(4) ごみの減量やリサイクルのために行っていること

「ごみと資源の分別を行っている」が9割を超える

問10 ごみ減量・リサイクルのために、日ごろどのようなことをしていますか。次のア～ソについて、お答えください。(それぞれ は1つずつ)

<図表6-16> ごみの減量やリサイクルのために行っていること



ごみの減量やリサイクルのために行っていることを尋ねたところ、9割の人が「ごみと資源の分別を行っている」と回答している。次いで、「生ごみの水切りを行っている」が83.1%と高く、以下、「古紙等の資源は、集団回収に出している」(74.6%)、「過剰包装を断るようになっている」(68.4%)、「修理できるものは修理するようになっている」(66.0%)の順に続く。(図表6-16)

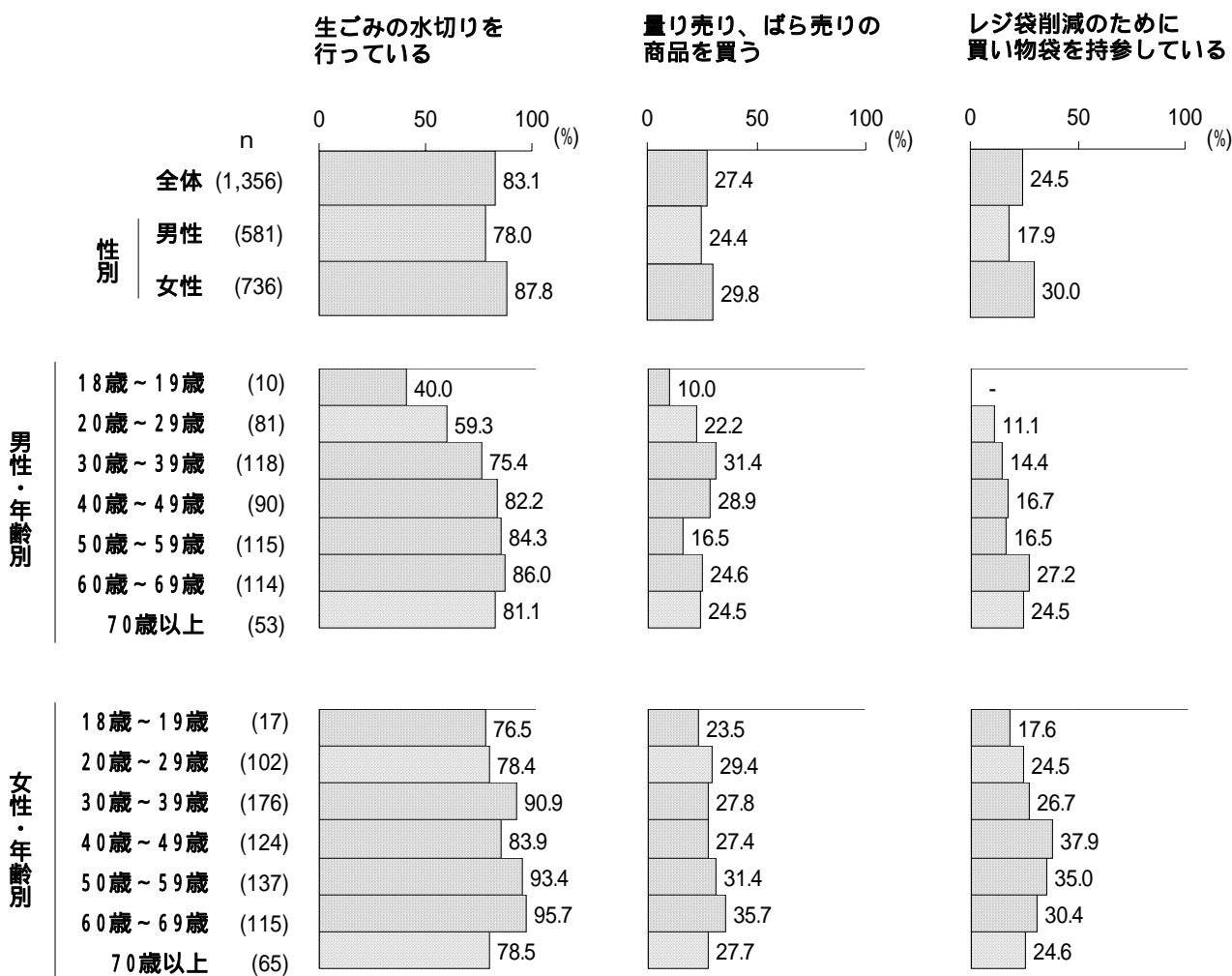
【性・年齢別】(リデュース=ごみを出さない)

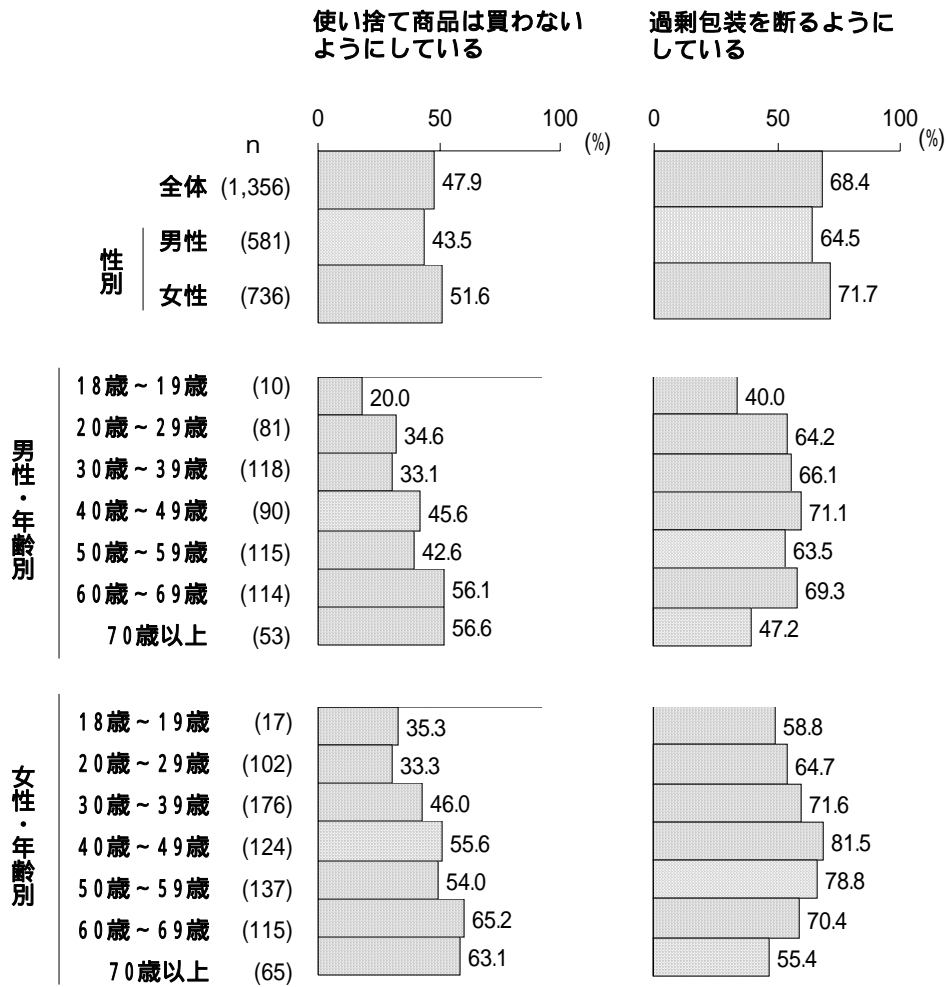
性別でみると、全体として、男性よりも女性の方が「はい」の割合が高くなっている。特に、「レジ袋削減のために買い物袋を持参している」では女性の方が12ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「生ごみは水切りを行っている」は女性の60歳代で最も高く、9割台半ばとなっているのに対し、最も低い男性の20歳代では6割弱と、35ポイント以上の差が見られる。また、「過剰包装を断るようになっている」では、男性、女性ともに40歳代で最も高くなっており、「使い捨て商品は買わないようになっている」では、男性、女性ともに年齢が高くなるにつれて、「はい」の割合も高くなる傾向にある。(図表6-17)

<図表6-17> ごみの減量やリサイクルのために行っていること/性・年齢別
《リデュース=ごみを出さない》

「はい」と回答した人の割合





男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

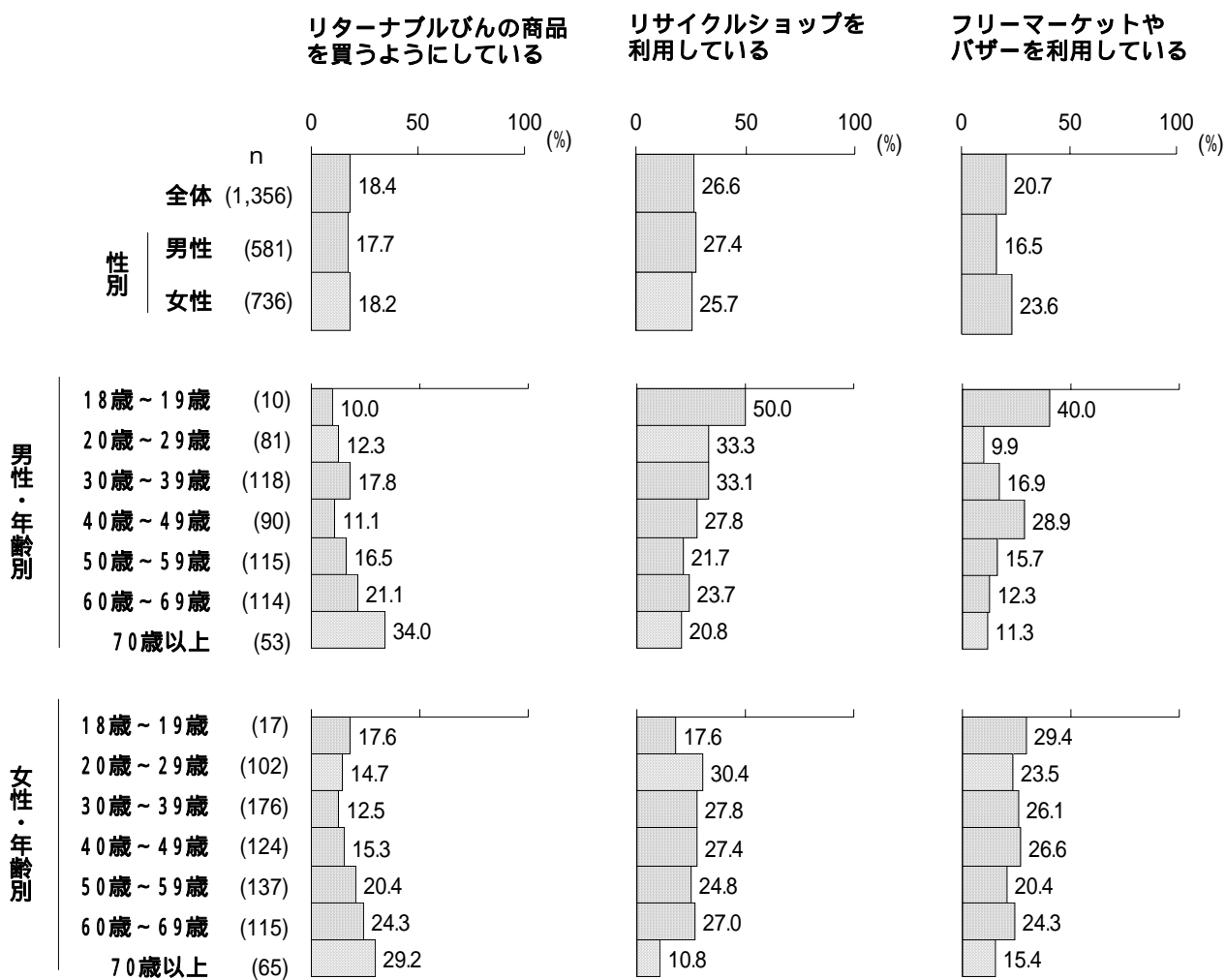
【性・年齢別】(リユース = 繰り返し使う)

性別で見ると、「リサイクルショップを利用している」で「はい」の割合が、唯一、男性が女性を上回っている。また、性・年齢別で見ると、男性、女性ともに20歳代で高くなっており、年齢が低いほど「はい」の比率が高くなる傾向にある。

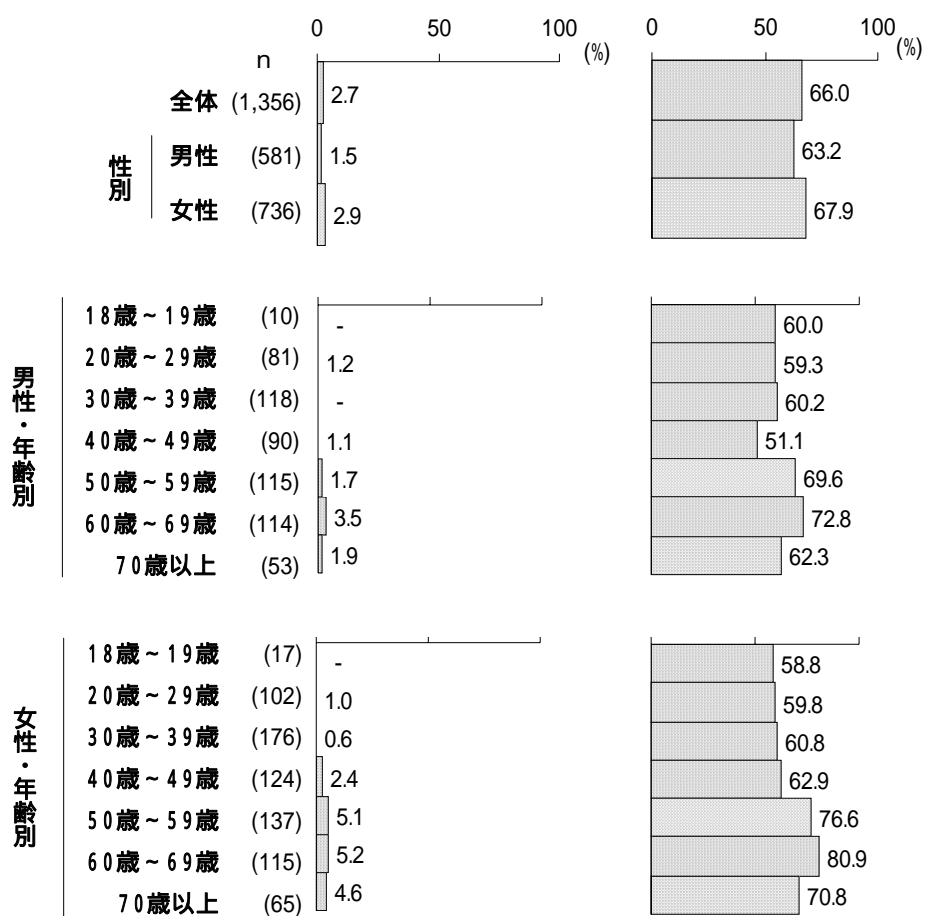
「修理できるものは修理するようにしている」では、男性、女性ともに50歳～60歳代で高くなっていて、特に女性の60歳代では8割を超えている。(図表6 - 18)

<図表6 - 18> ごみの減量やリサイクルのためにやっていること / 性・年齢別
《リユース = 繰り返し使う》

「はい」と回答した人の割合



消費者センターのリサイクルバンクを利用する 修理できるものは修理するようにしている



男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

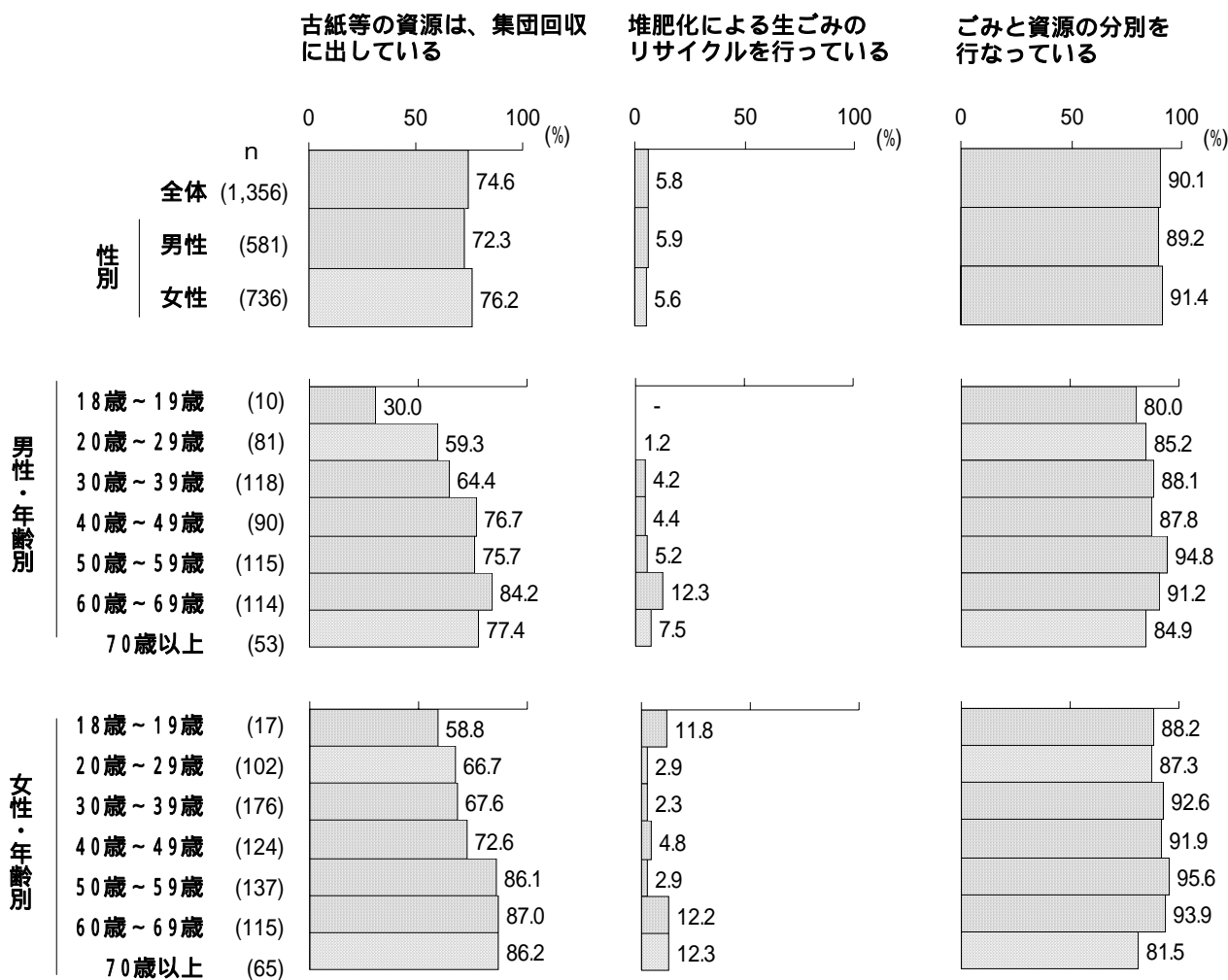
【性・年齢別】(リサイクル=資源を再利用する)

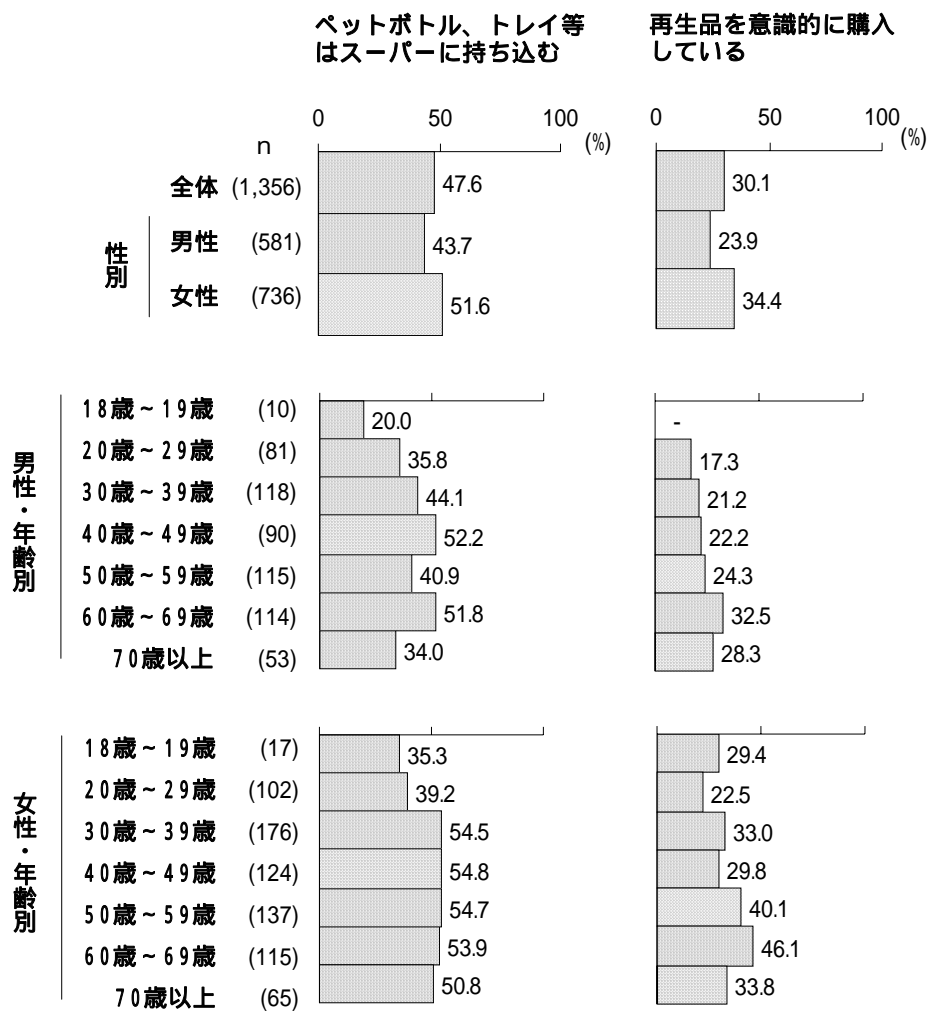
性別でみると、「再生品を意識的に購入している」では、女性が男性を10ポイント、「ペットボトル、トレイ等はスーパーに持ち込む」では8ポイント上回っている。

性・年齢別でみると、「古紙等の資源は、集団回収に出している」では、男性は40歳以上、女性は50歳以上で多くなる傾向があり、「再生品を意識的に購入している」でも70歳以上を除いて、年齢が高くなるほど割合も多くなっている。(図表6-19)

<図表6-19> ごみの減量やリサイクルのために行っていること/性・年齢別
 《リサイクル=資源を再利用する》

「はい」と回答した人の割合





男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

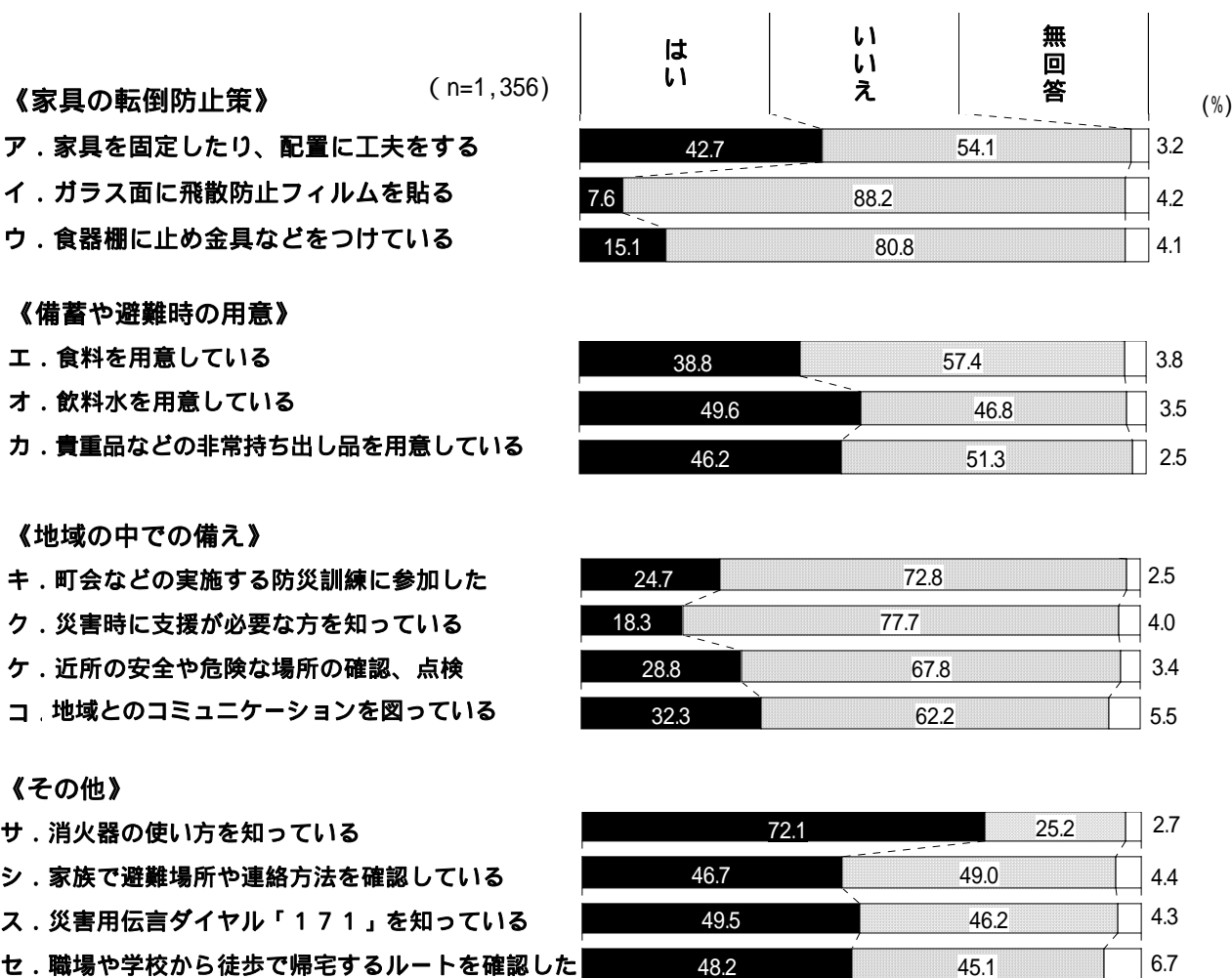
7. 防災について

(1) 地震発生時のための備え

「消火器の使い方を知っている」が7割を超える

問11 あなたの家庭では、地震が起こったときのために、日ごろから、どのような備えをしていますか。ア～セについてお答えください。(それぞれは1つずつ)

<図表7-1> 地震発生時のための備え



地震が起こったときのために日ごろからしている備えで、最も「はい」の割合が高かったのは、「消火器の使い方を知っている」(72.1%)で7割を超えている。一方、「ガラス面に飛散防止フィルムを貼る」と「食器棚に止め金具などを付けている」については割合が比較的低く、最も割合が低い「ガラス面に飛散防止フィルムを貼る」では7.6%となっている。(図表7-1)

【家具の転倒防止策 / 居住地区別】

「家具を固定したり、配置に工夫をしている」で「はい」が高いのは、“鹿骨地区”で半数を超え、全体より8ポイント上回っている。

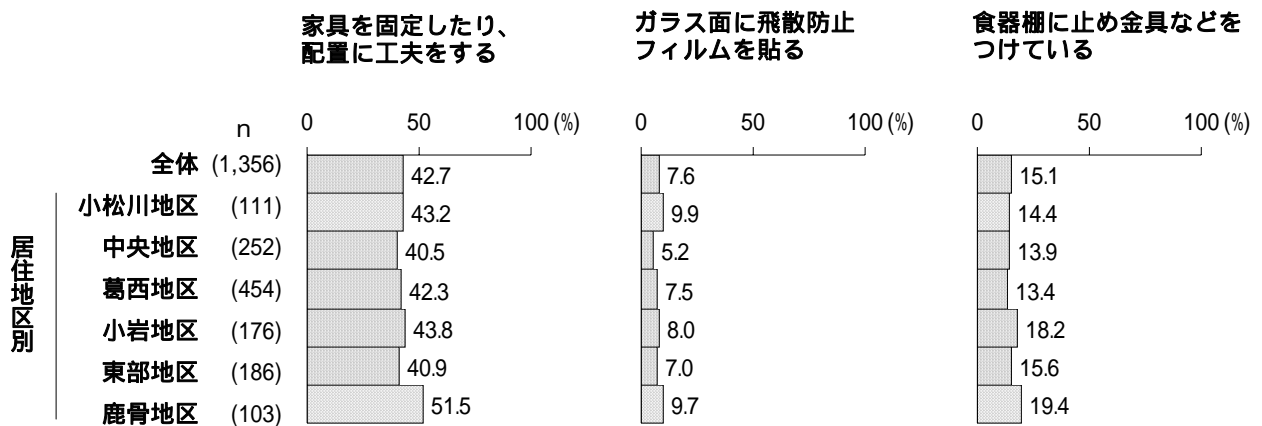
「窓や食器棚のガラス面に飛散防止フィルムを貼っている」で「はい」が高いのは、“小松川地区”で9.9%、続いて9.7%の“鹿骨地区”となっている。

「食器棚に止め金具などをつけている」で「はい」が高いのは、“鹿骨地区”で2割弱となっているが、いずれの地区も比較的大きな差はなく、1割半ば前後となっている。(図表7-2)

<図表7-2> 地震発生時のための備え / 居住地区別

《家具の転倒防止策》

「はい」と回答した人の割合



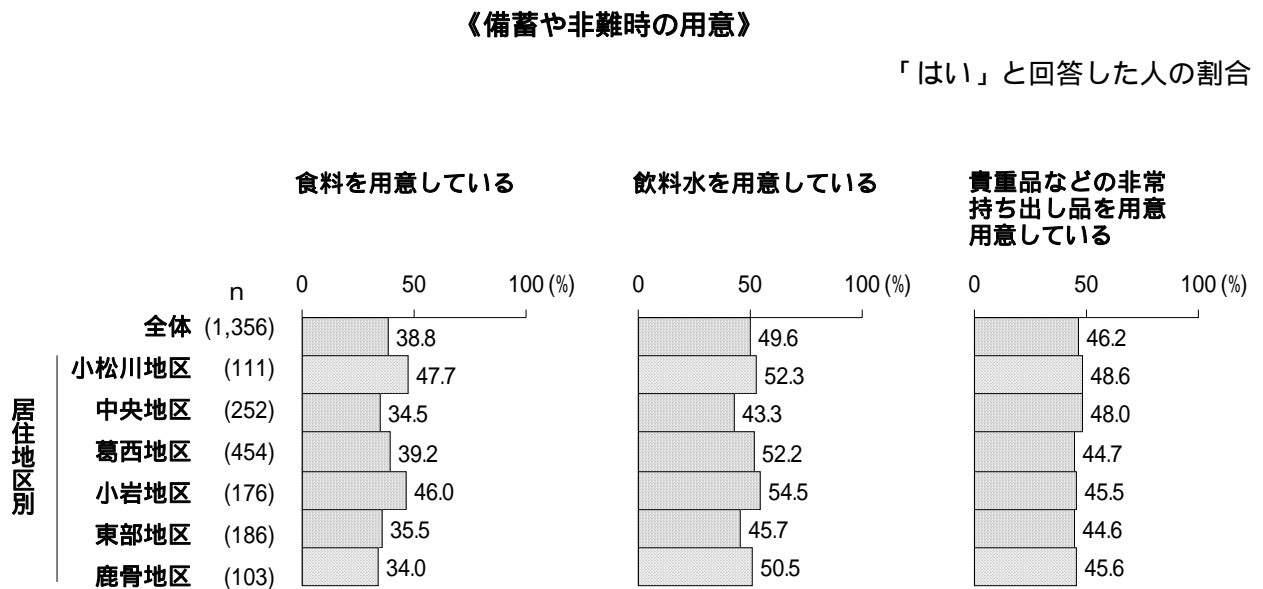
【備蓄や非難時の用意 / 居住地区別】

「食料を用意している」で「はい」が高いのは、“小松川地区”の47.7%、続いて“小岩地区”の46.0%となっている。

「飲料水を用意している」で「はい」が高いのは、“小岩地区”で5割半ばとなっている。

「貴重品などの非常持ち出し品を用意している」で「はい」が高いのは、48.6%の“中央地区”となっているが、いずれの地区も4割半ば前後とあまり大きな差はみられない。(図表7 - 3)

<図表7 - 3> 地震発生時のための備え / 居住地区別



【地域の中での備え / 居住地区別】

「町会自治会などが実施する防災訓練に参加したことがある」で「はい」が高いのは、35.1%の“小松川地区”となっている。

「災害時に支援が必要な方を知っている」で「はい」が高いのは、“小岩地区”で22.7%となっているが、比較的いずれの地区も大きな差はみられない。

「近所の安全な場所や危険な場所の、確認、点検したことがある」で「はい」が高いのは、“小松川地区”で4割弱となっている。

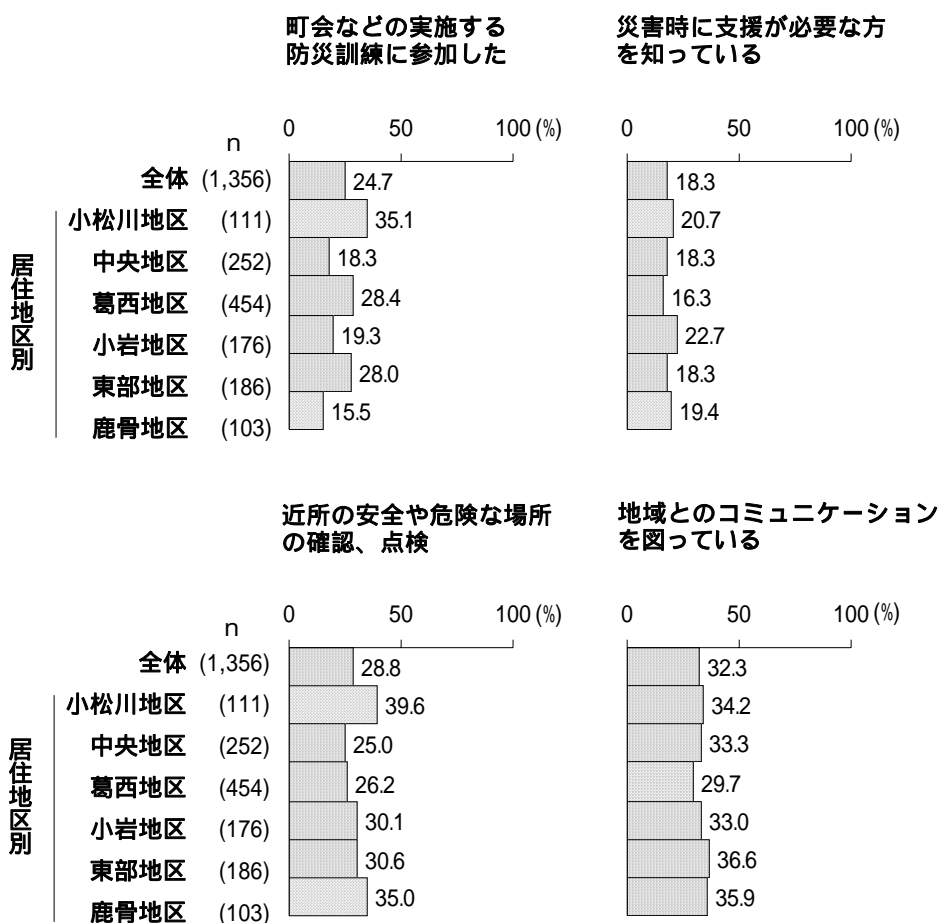
「地域の皆さんとのコミュニケーションを図っている」で「はい」が高いのは、“東部地区”と“鹿骨地区”で3割台半ばとなっている。

(図表7 - 4)

<図表7 - 4> 地震発生時のための備え / 居住地区別

《地域の中での備え》

「はい」と回答した人の割合



【その他 / 居住地区別】

「消火器の使い方を知っている」で「はい」が高いのは、“小岩地区”で7割半ばを超えている。いずれの地区も7割前後と比較的高い割合となっている。

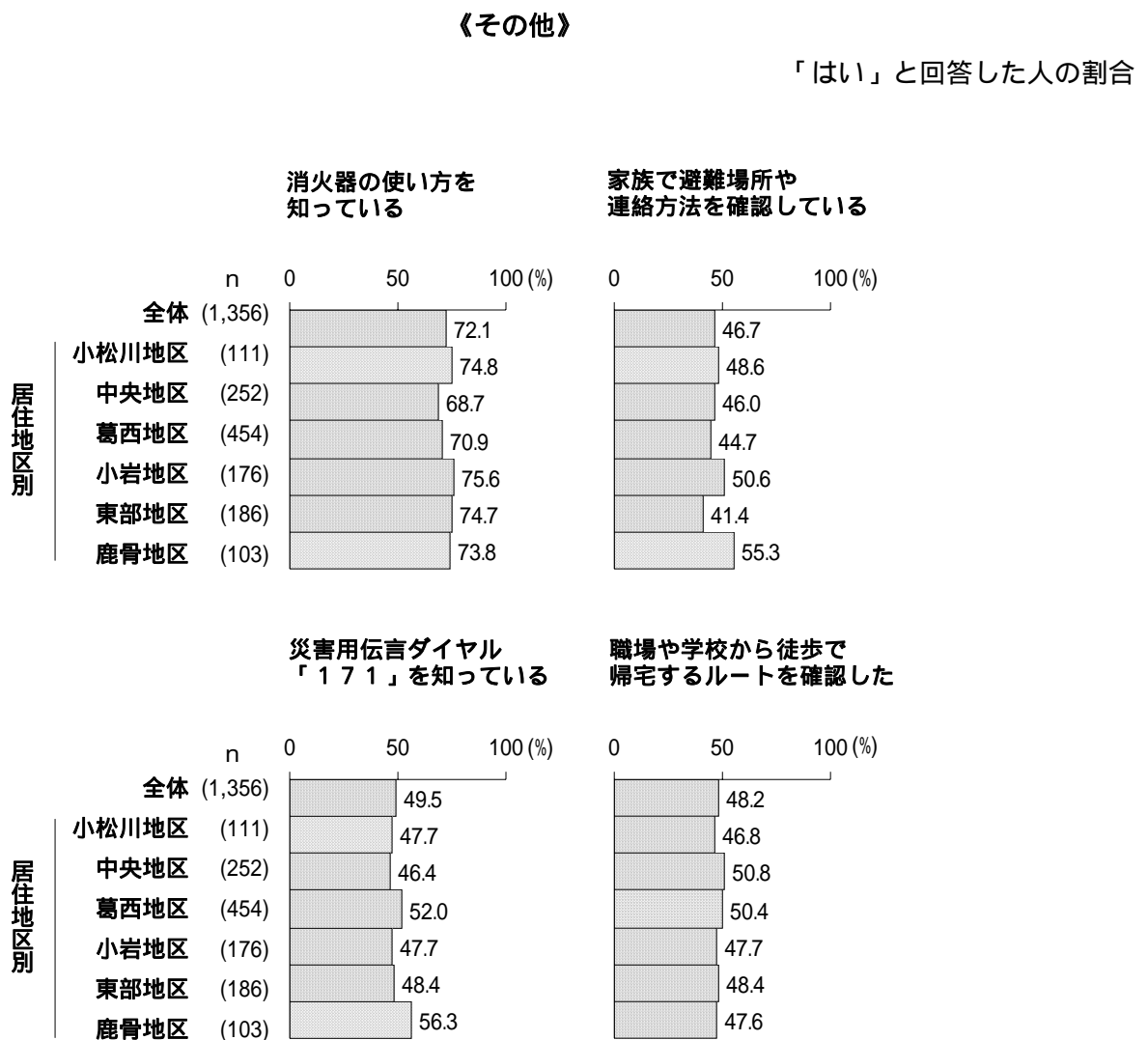
「家族で避難場所や連絡方法を確認している」で「はい」が高いのは、5割半ばを超えた“鹿骨地区”となっている。

「災害用伝言ダイヤル「171」を知っている」で「はい」が高いのは、“鹿骨地区”56.3%、続いて“葛西地区”の52.0%となっている。

「職場や学校から徒歩で帰宅するルートを確認している」で「はい」が高いのは、“中央地区”と“葛西地区”で半数を超えている。

(図表7 - 5)

<図表7 - 5> 地震発生時のための備え / 居住地区別



8 . 図書館について

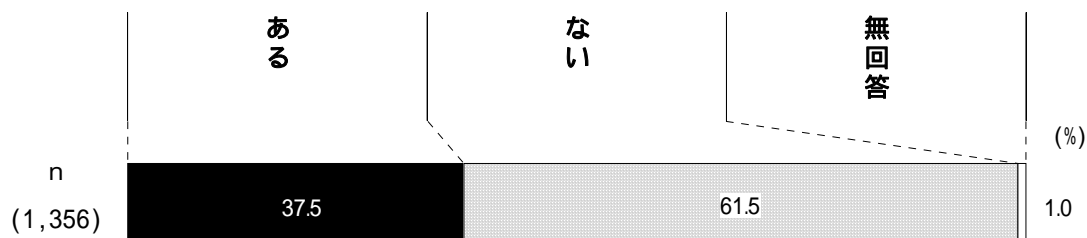
(1) 区の図書館の利用

「図書館を利用した事がある」は 4 割弱

現在、江戸川区には11の区立図書館があり、開館時間を延長するなどサービスの拡大に努めています。

問12 あなたは過去1年間に区の図書館を利用したことがありますか。(は1つ)

< 図表 8 - 1 > 区の図書館の利用

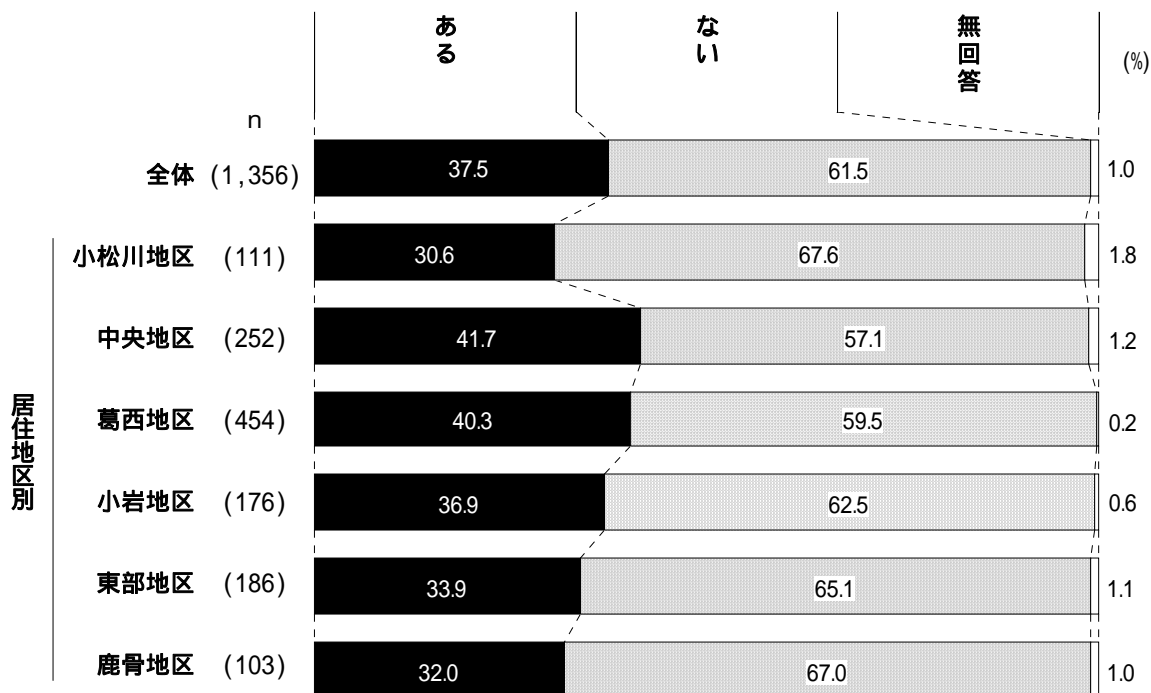


過去1年間に区立図書館を利用したことが「ある」(37.5%)人は4割弱となっている。(図表8-1)

【居住地区別】

居住地区別でみると、“中央地区”と“葛西地区”が4割を超え、高くなっている。一方、“小松川地区”が3割とやや低くなっている。(図表8-2)

<図表8-2> 区の図書館の利用/居住地区別

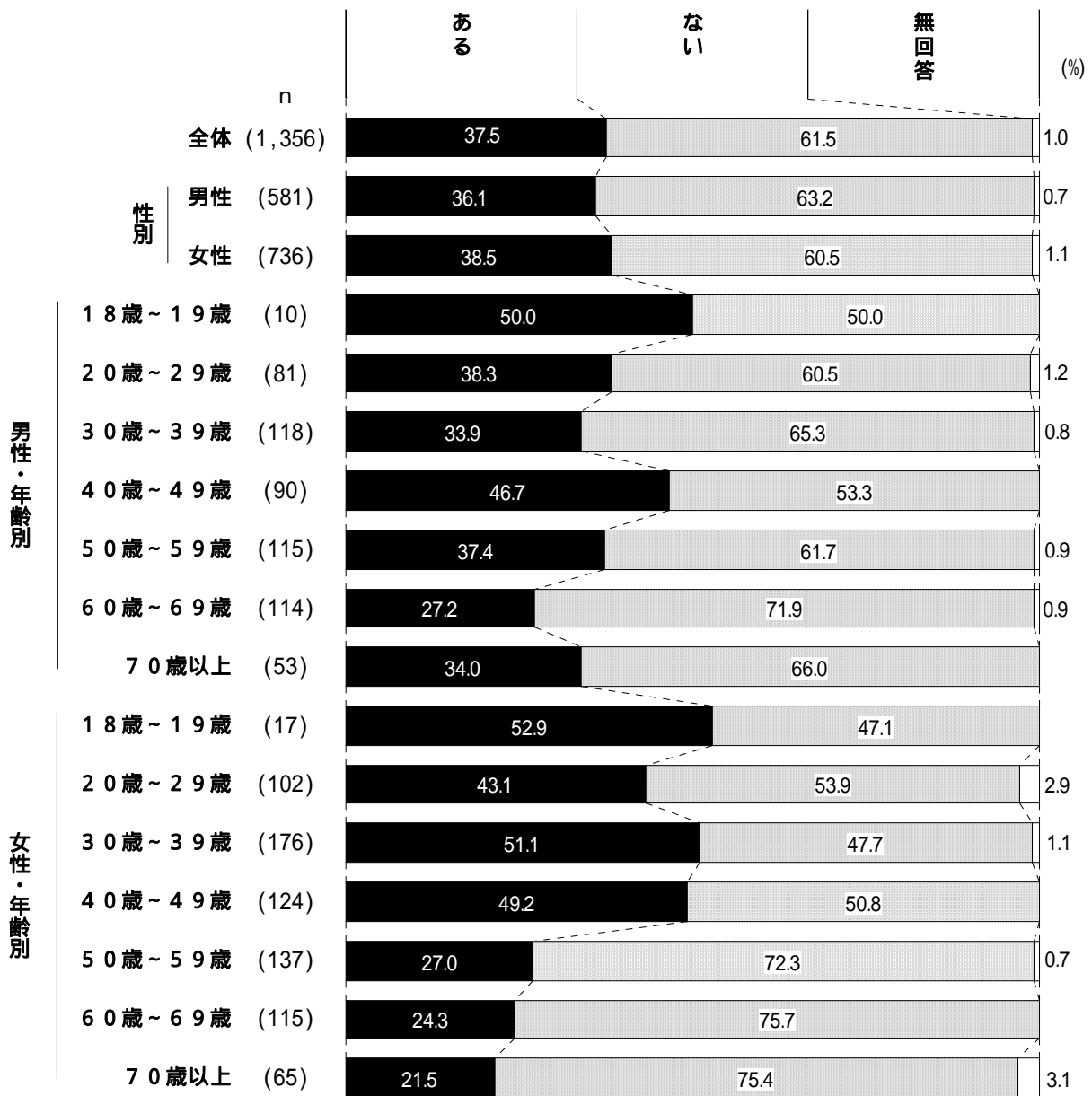


【性・年齢別】

性別でみると、「ある」と答えた人は、女性の方が38.5%でやや高くなっているが、大きな差はみられない。

性・年齢別でみると、男性では40歳代が4割台半ばと高くなっている。女性は30歳代が半数を超えている。また、40歳代以下では男性に比べ、女性の方が利用率が高く、50歳代以上では、男性の方が高くなっている。(図表8-3)

<図表 8 - 3> 区の図書館の利用 / 性・年齢別



男性及び女性の“18歳~19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

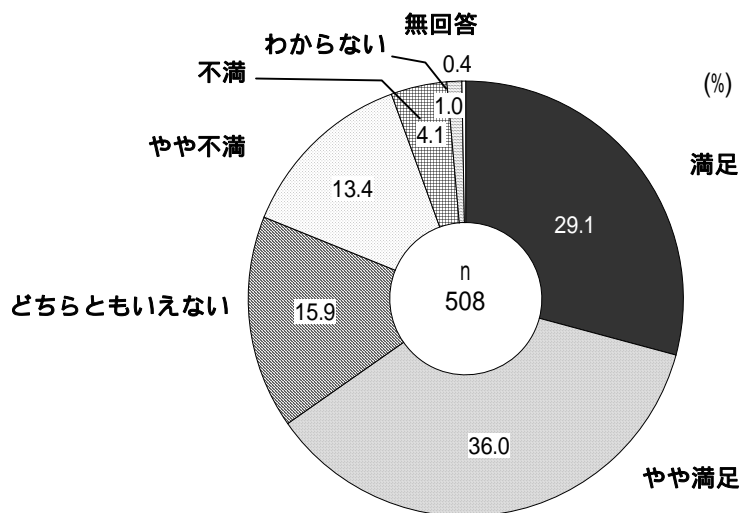
(1 - 1) 図書館サービスへの満足度

<満足(計)>が6割台半ばを超える

(問12で、「1.ある」とお答えの方にお聞きします)

問12 - 1 図書館サービスに対して、どの程度満足していますか。(は1つ)

<図表8 - 4> 図書館サービスへの満足度



(注) <満足(計)> = 「満足」 + 「やや満足」・・・65.1%

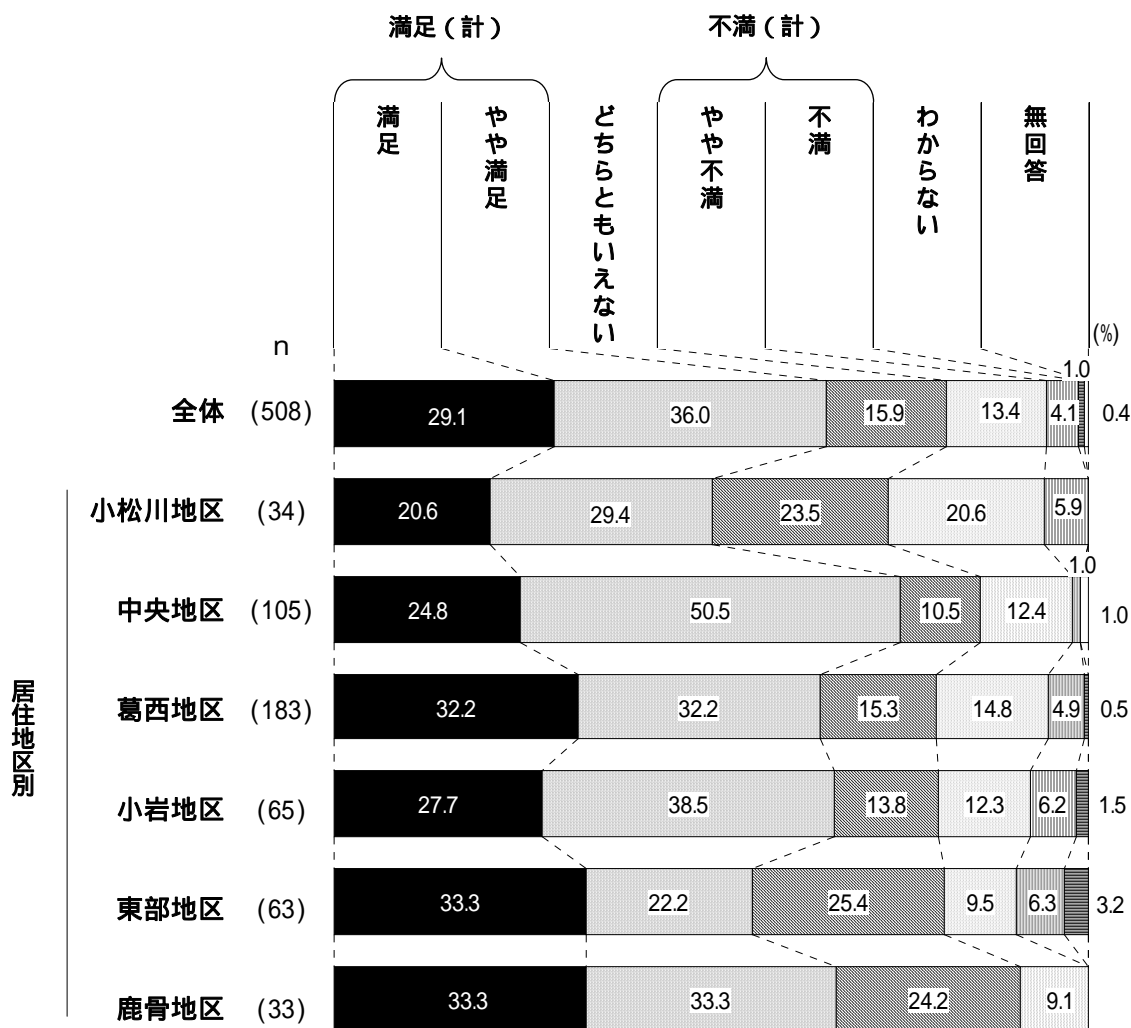
<不満(計)> = 「不満」 + 「やや不満」・・・17.5%

問8で「ある」と答えた人に、サービスに対する満足度を尋ねたところ、「満足」(29.1%)と「やや満足」(36.0%)を合わせた<満足(計)>が6割台半ばとなり、「不満」(4.1%)と「やや不満」(13.4%)を合わせた<不満(計)>(17.5%)を大きく上回った。(図表8 - 4)

【居住地区別】

居住地区別でみると、＜満足（計）＞と答えた人が最も多いのは“中央地区”で、7割半ばを超えている。また、最も低い“小松川地区”でも半数となっている。（図表8 - 5）

＜図表8 - 5＞ 図書館サービスへの満足度／居住地区別

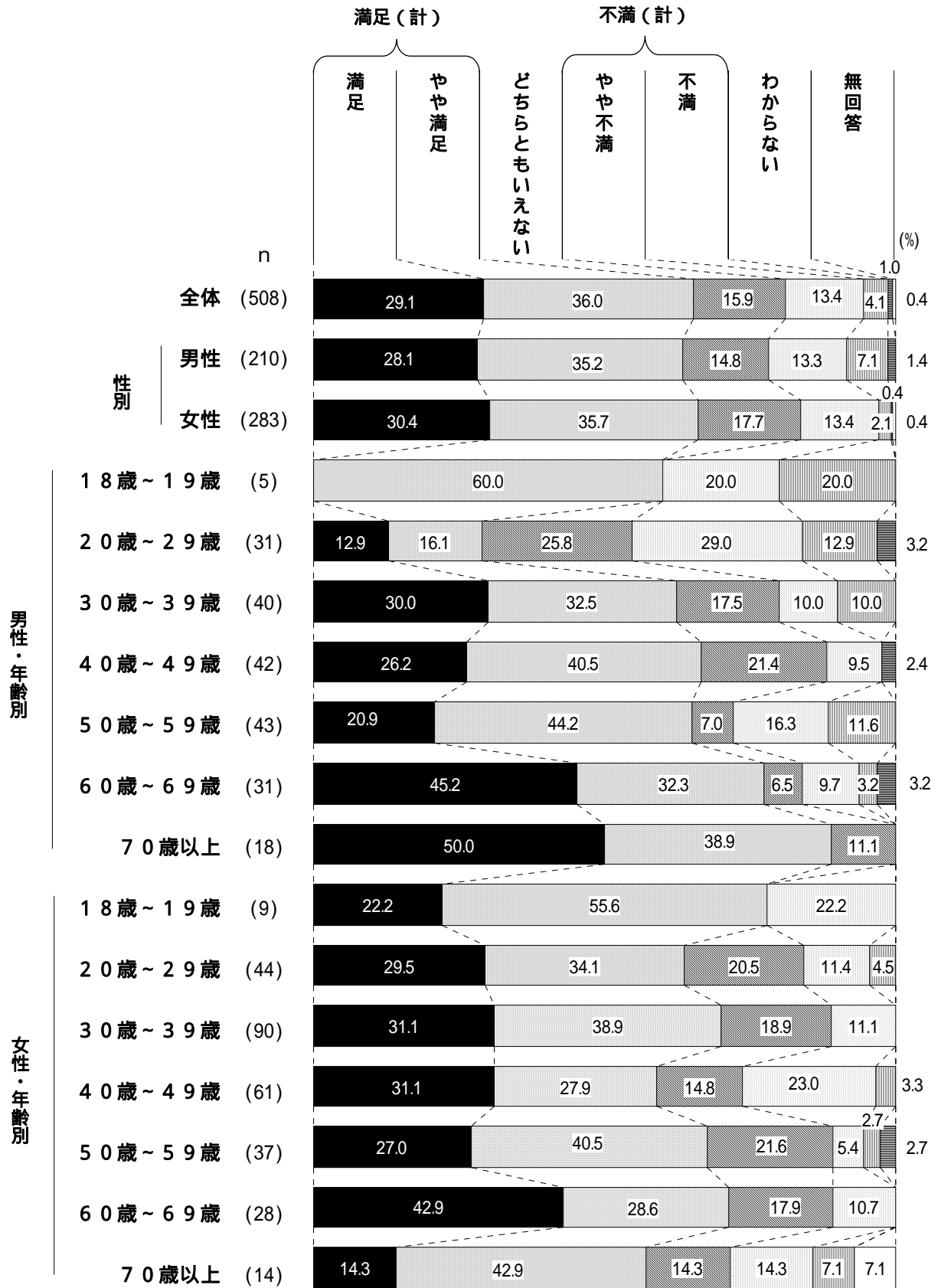


【性・年齢別】

性別でみると、女性の方が＜満足（計）＞は多いが、大きな差はみられない。

性・年齢別でみると、20歳代の男性の＜満足（計）＞が、全体と比較して、大きく下回っている。（図表8 - 6）

<図表8 - 6> 図書館サービスへの満足度/性・年齢別



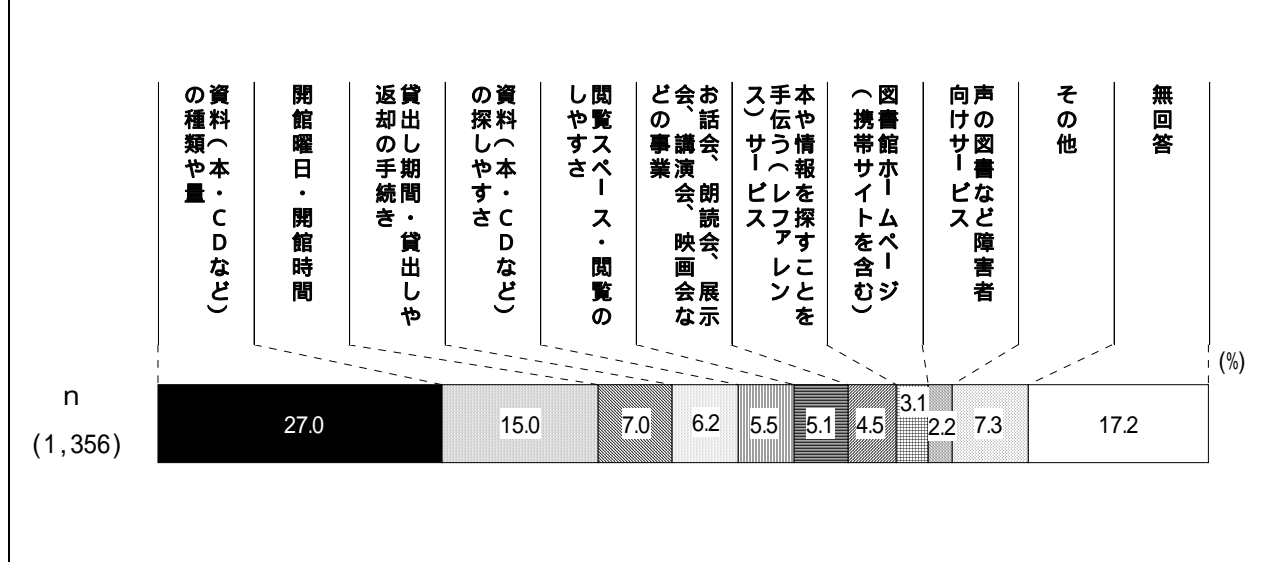
男性及び女性の“18歳~19歳”、“70歳以上”と女性の“60歳~69歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(2) 図書館で拡充してほしいサービス

「資料(本・CDなど)の種類や量を」を拡充してほしい割合が3割弱

問13 皆様にお聞きします。今後図書館で最も拡充してほしいサービスはどれですか。
(は1つ)

<図表8-7> 図書館で拡充してほしいサービス



今後図書館で最も拡充してほしいサービスは、「資料(本・CDなど)の種類や量」(27.0%)が最も多く3割弱。続いて「開館曜日・開館時間」(15.0%)、「貸出し期間・貸出しや返却の手続き」(7.0%)となっている。(図表8-7)

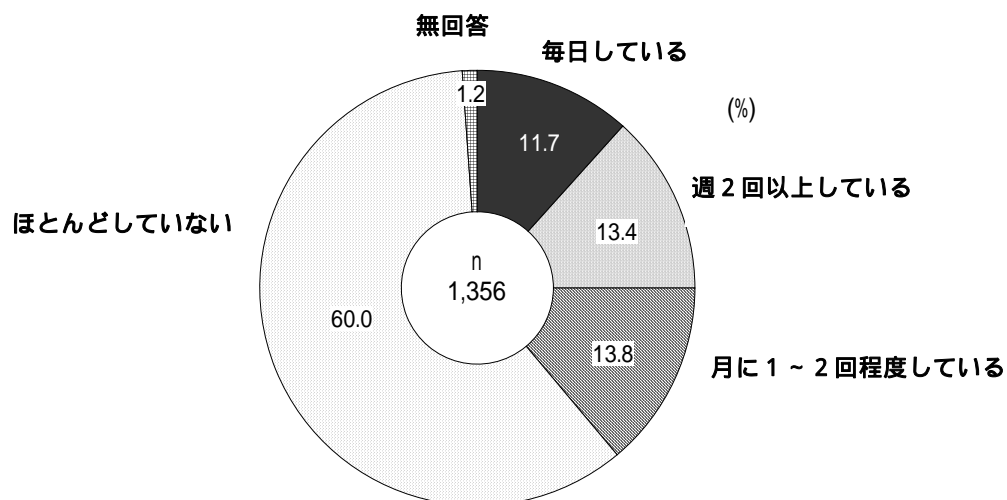
9. 健康づくりについて

(1) ウォーキングをしているか

ウォーキングを毎日している人は全体の約 1 割

問14 区では、健康のために“いつでも”“どこでも”“だれでも”できる運動として「ウォーキング」を推奨しています。あなたは、ウォーキングをしていますか。(は1つ)

<図表9 - 1> ウォーキングをしているか



「ウォーキング」・・・「軽く汗ばむ程度の強さで、続けて10分以上。1日30分以上歩くこと」

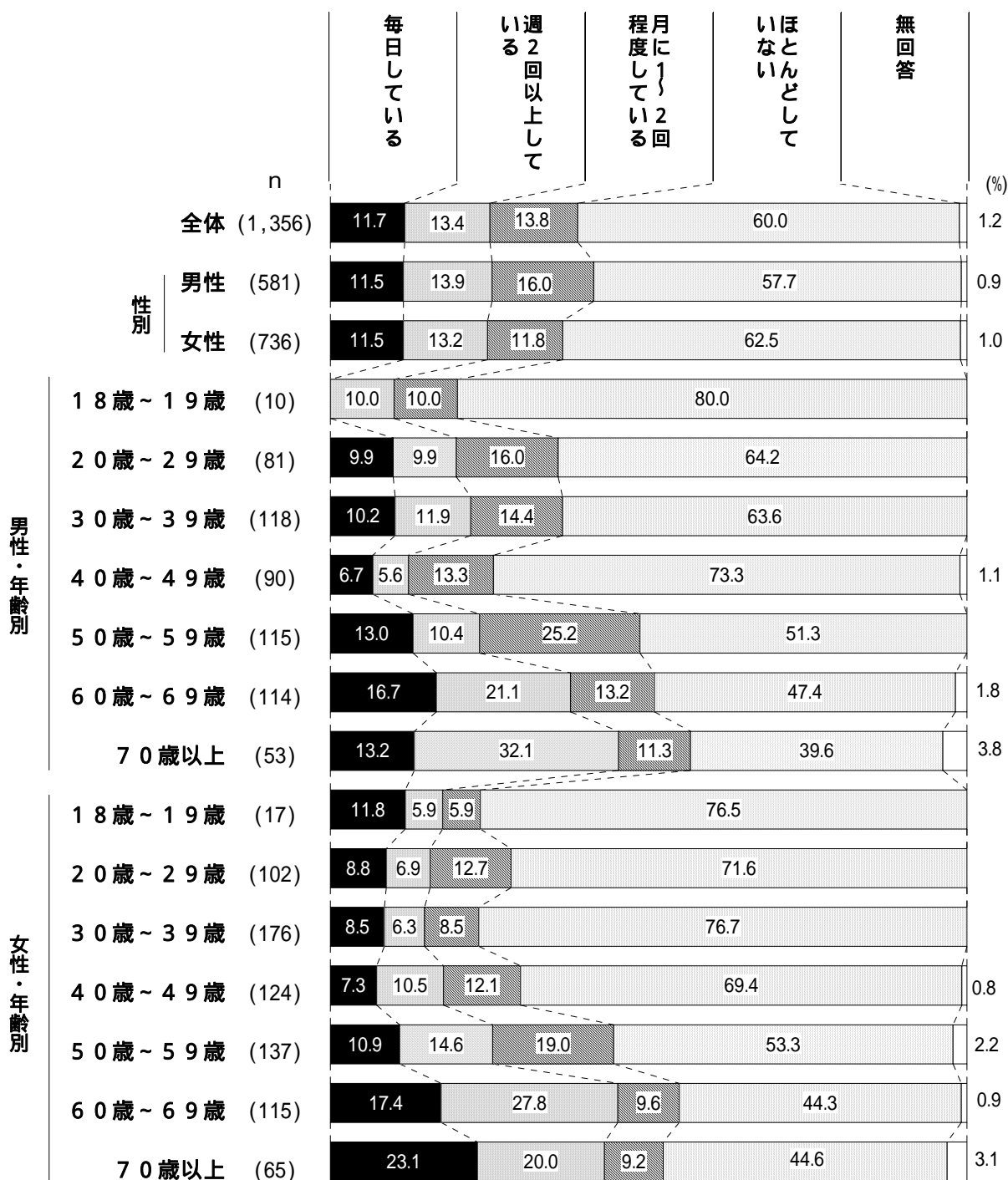
ウォーキングをしているかでは、「毎日している」人は11.7%と、「週2回以上している」人は13.4%、「月に1～2回程度している」人は13.8%となっており、ウォーキングをしている人は全体の4割弱となっている。(図表9 - 1)

【性・年齢別】

性別でみると、「月に1～2回程度している」では、女性より男性の方が4ポイント上回っているが、全体的に大きな差はみられない。

性・年齢別でみると、「毎日している」と「週2回以上している」、「月に1～2回程度している」を合わせた割合が、男性女性ともに50歳代以上で高くなっている。(図表9-2)

<図表9-2> ウォーキングをしているか/性・年齢別

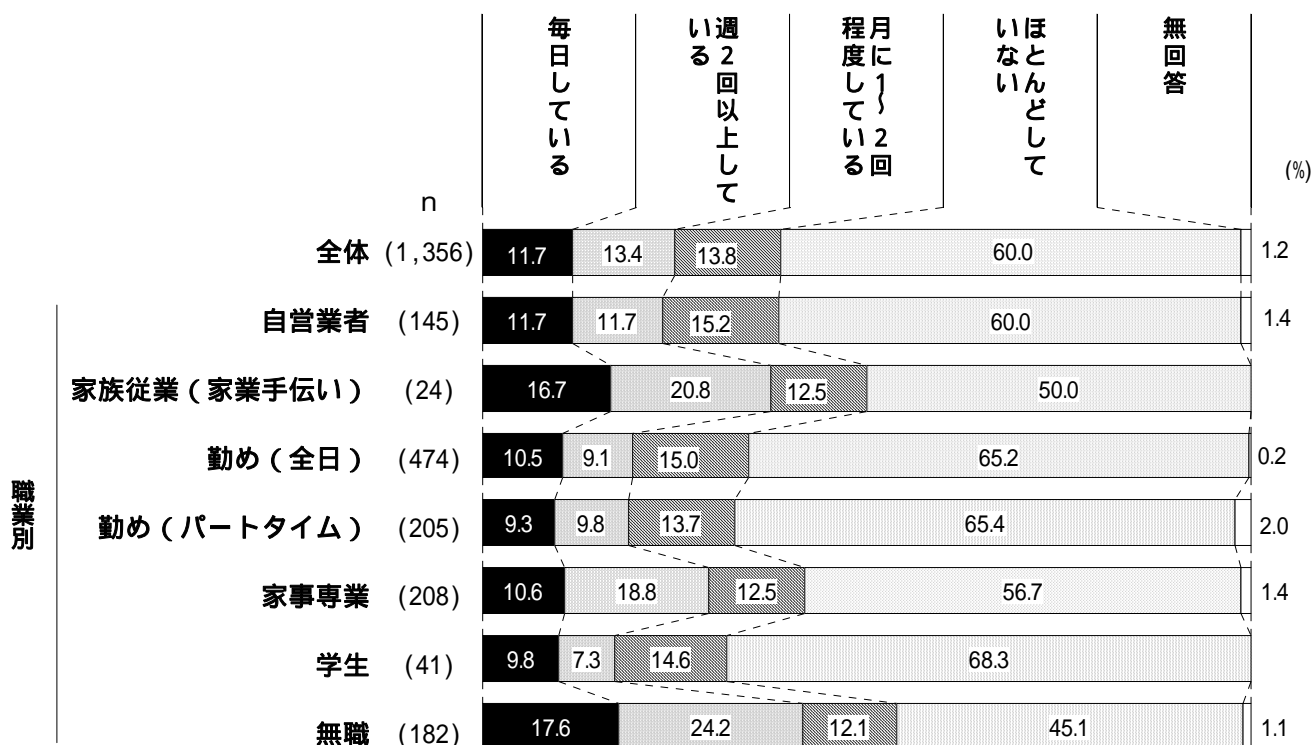


男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【職業別】

職業別でみると、「毎日している」と「週2回以上している」、「月に1～2回程度している」、「ほとんどして」、「無回答」を合わせた割合が一番高いのは“無職”で5割台半ばと突出している。(図表9-3)

<図表9-3> ウォーキングをしているか/職業別



“家族従業”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

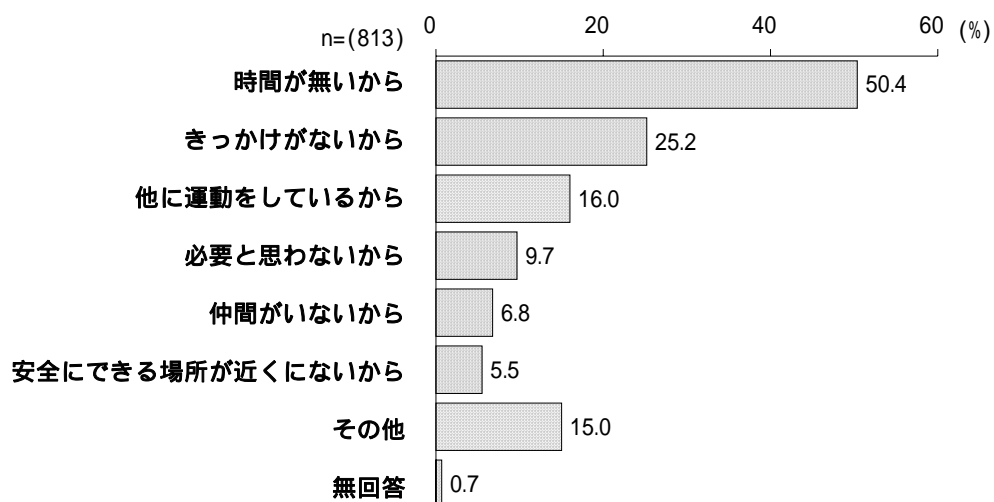
(1 - 1) ウォーキングをしていない理由

「時間が無いから」が 50.4%と突出

(問14で、「4 . ほとんどしていない」とお答えの方にお聞きします)

問14 - 1 あなたがほとんどしていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)

<図表 9 - 4 > ウォーキングをしていない理由 (複数回答)



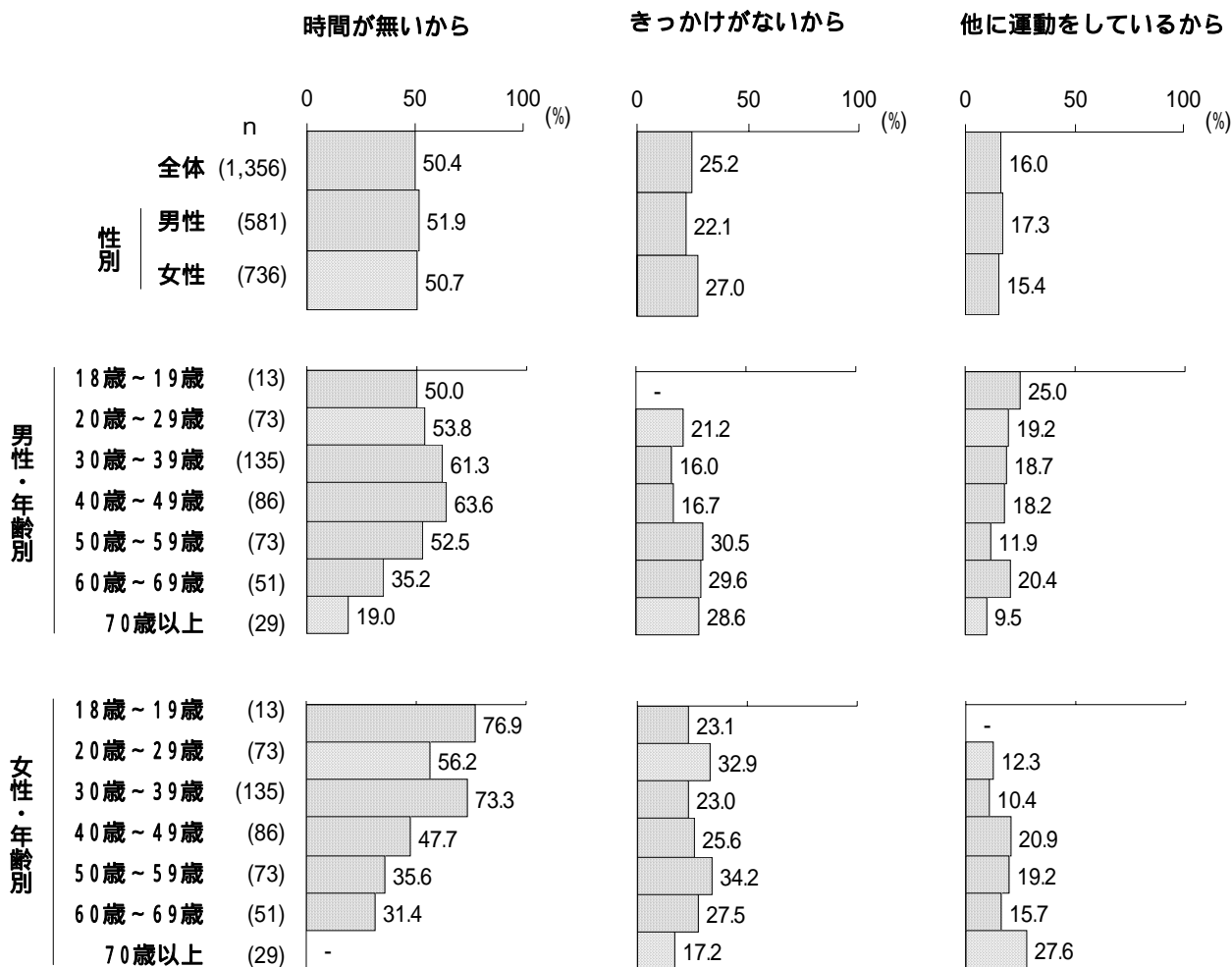
問 14 で「ほとんどしていない」と答えた人に、その理由を尋ねたところ、「時間が無いから」(50.4%)が半数を超え、最も多くなっている。続いて、「きっかけがない」(25.2%)、「他に運動をしているから」(16.0%)となっている。(図表 9 - 4)

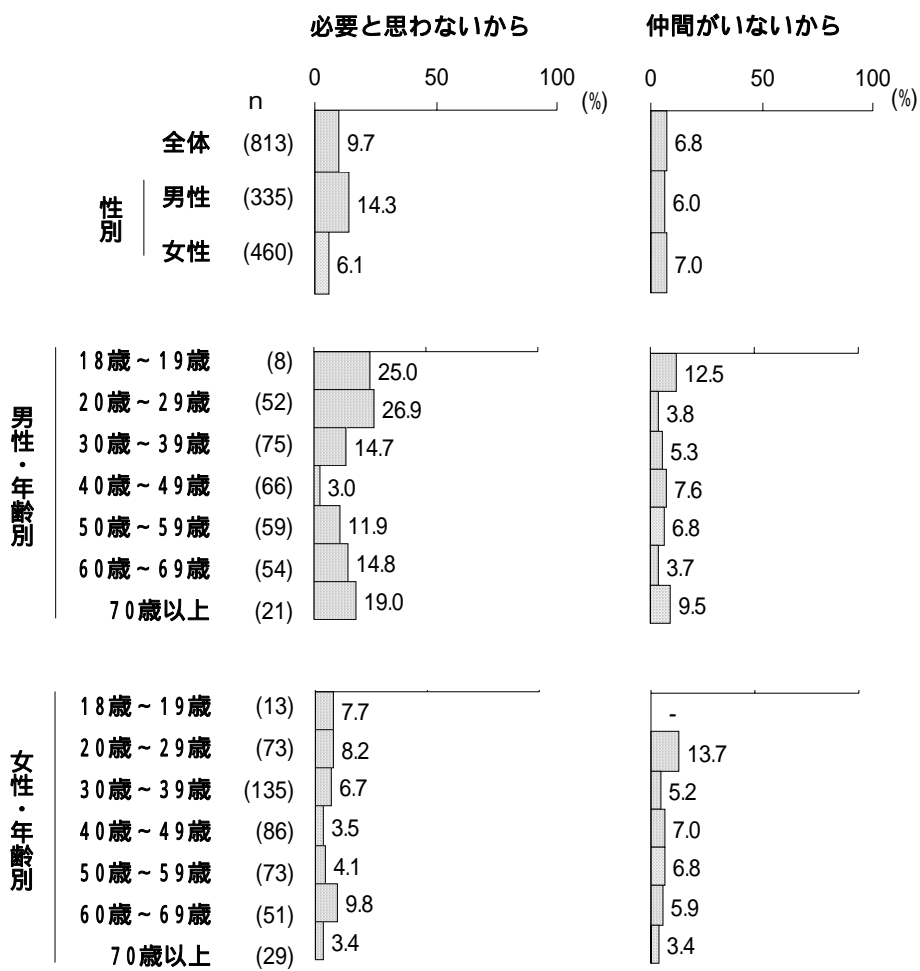
【性・年齢別】

性別でみると、「時間がないから」が男性女性ともに半数を超えた。「必要と思わないから」では女性よりも男性の方が、8ポイント上回っている。

性・年齢別でみると、「時間が無いから」と答えた人は、男性が30歳～40歳代で6割を超え、女性は30歳代が7割を超え高い。「他に運動をしているから」では女性は年齢が高くなるにつれて、割合が高くなる傾向がみられる。(図表9-5)

<図表9-5> ウォーキングをしていない理由/性・年齢別





男性及び女性の“18歳～19歳”、“70歳以上”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

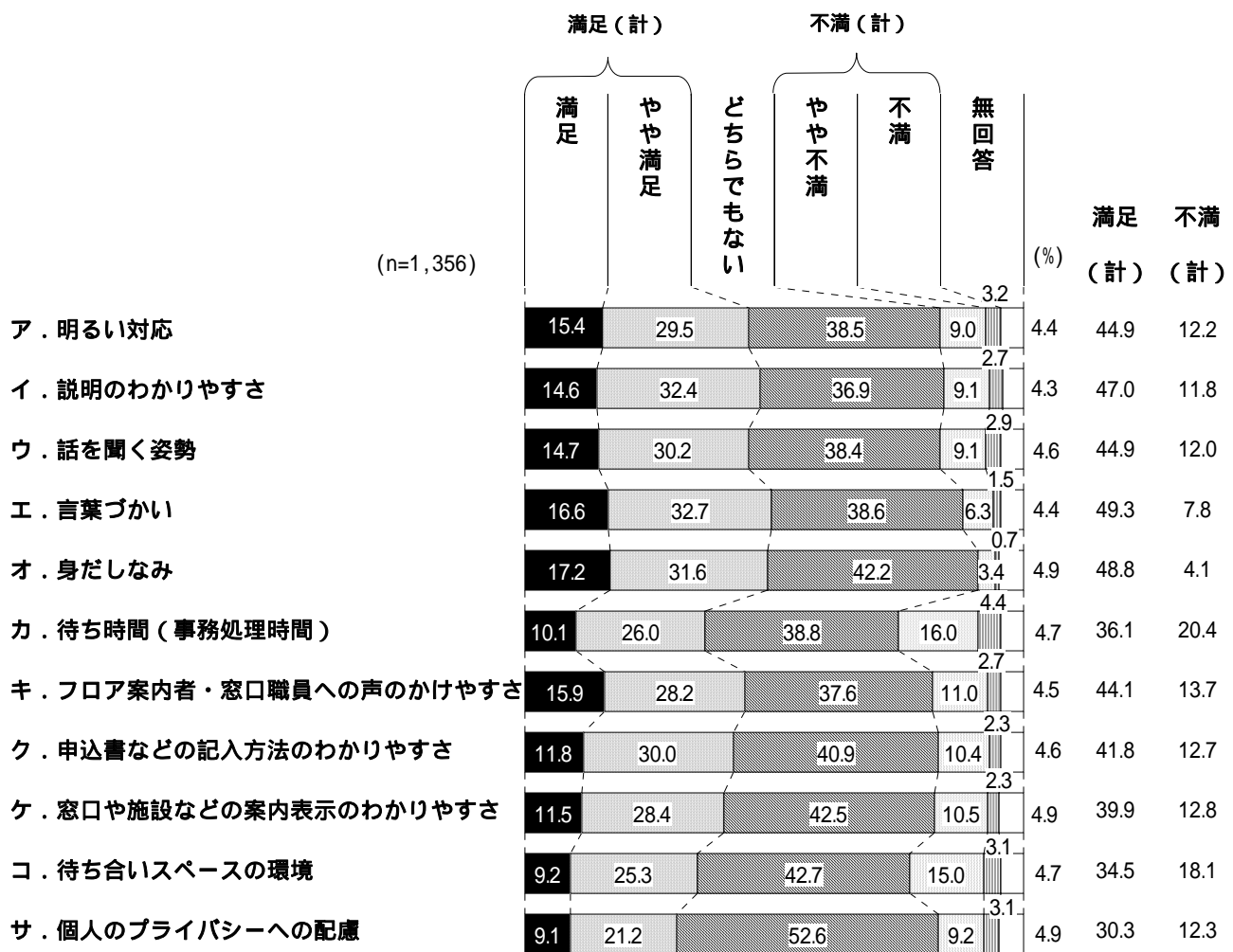
10. 区役所や区の施設の窓口サービスについて

(1) 区の施設での窓口サービスへの印象

【待ち時間（事務処理時間）】と【待ち合いスペースの環境】で＜不満（計）＞が比較的高い

問15 区の施設（区役所、事務所、保健所、コミュニティ会館等）での窓口サービスに対するあなたの印象はいかがですか。（それぞれは1つずつ）

<図表10-1> 区の施設での窓口サービスへの印象



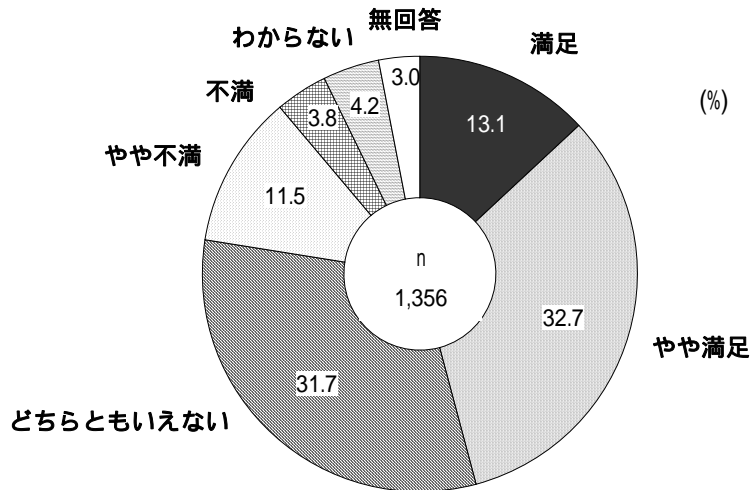
区の施設（区役所、事務所、保健所、コミュニティ会館等）での窓口サービスに対する印象で、最も＜満足（計）＞が高かったのは【言葉づかい】の49.3%、続いて【身だしなみ】（48.8%）となっている。一方、＜不満（計）＞が高いのは【待ち時間（事務処理時間）】（20.4%）、【待ち合いスペースの環境】（18.1%）となっている。（図表10-1）

(2) 窓口サービスへの満足度

<満足(計)>の割合が4割台半ば

問16 窓口サービスを総合的にみた場合、どの程度満足していますか。(は1つ)

<図表10-2> 窓口サービスへの満足度



(注) <満足(計)> = 「満足」 + 「やや満足」・・・45.8%

<不満(計)> = 「不満」 + 「やや不満」・・・15.3%

窓口サービスを総合的にみた場合の満足度は、「満足」(13.1%)と「やや満足」(32.7%)を合わせた<満足(計)>が45.8%と4割台半ばとなっている。一方、「不満」(3.8%)と「やや不満」(11.5%)を合わせた<不満(計)>は1割台半ばとなっている。(図表10-2)

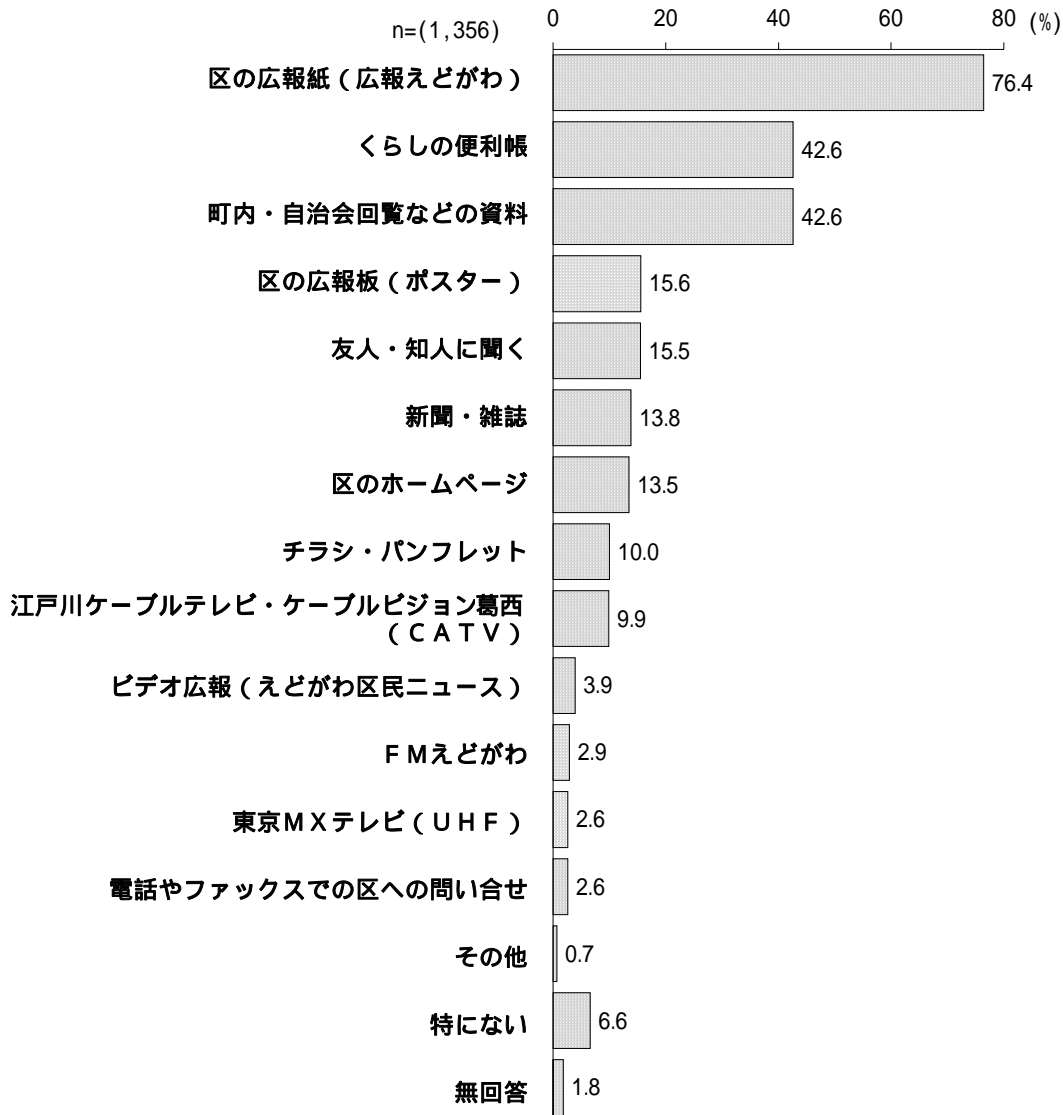
11. 広報について

(1) 区の情報入手手段

「区の広報紙（広報えどがわ）」が76.4%

問17 現在、区からの情報をどのような手段（媒体）で入手していますか。
（あてはまるものすべてに）

<図表11-1> 区の情報入手手段（複数回答）



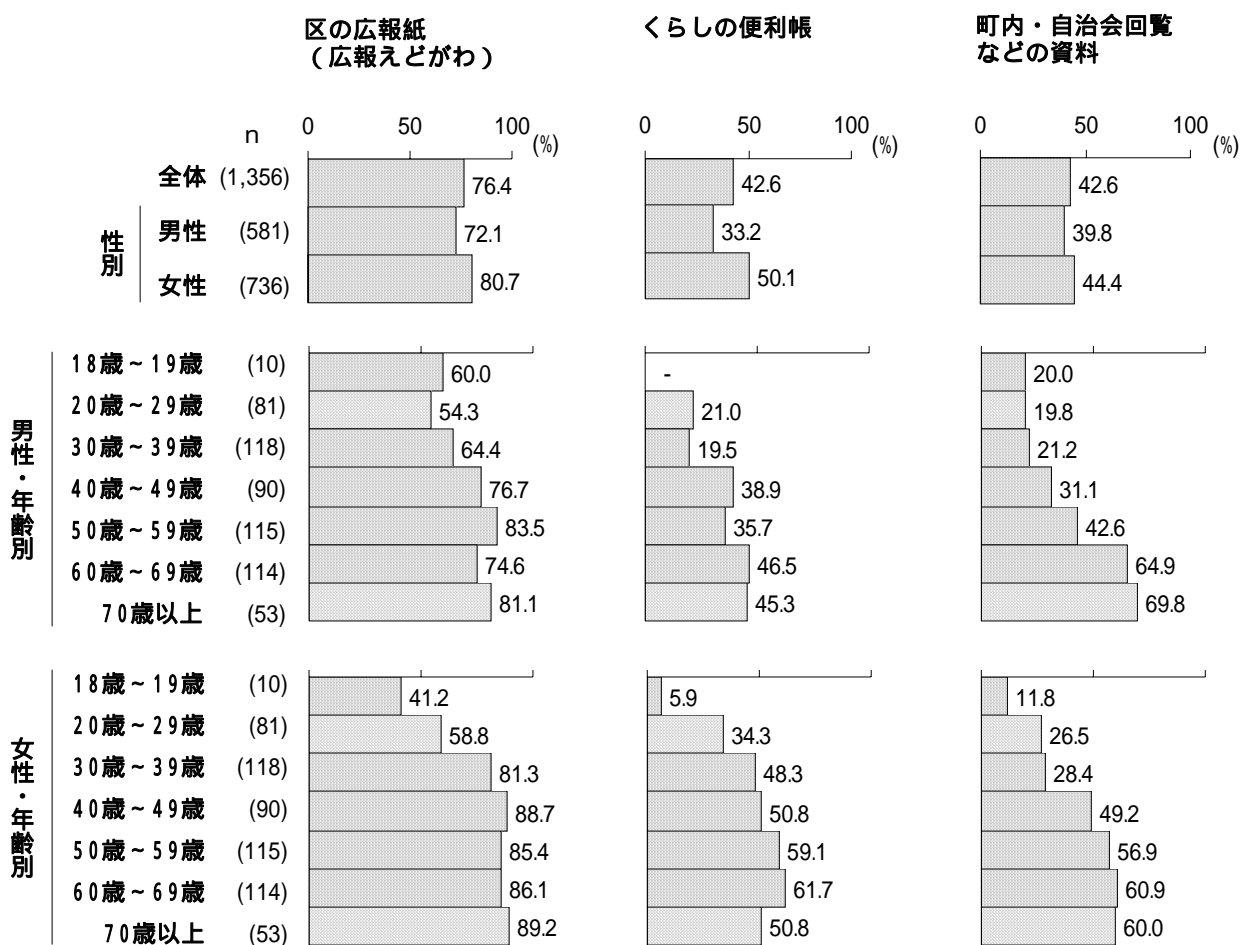
区の情報入手手段を聞いたところ、「区の広報紙（広報えどがわ）」の比率が圧倒的に高く、76.4%の人が回答している。続いて、「暮らしの便利帳」、「町内・自治会回覧などの資料」が42.6%となっている。（図表11-1）

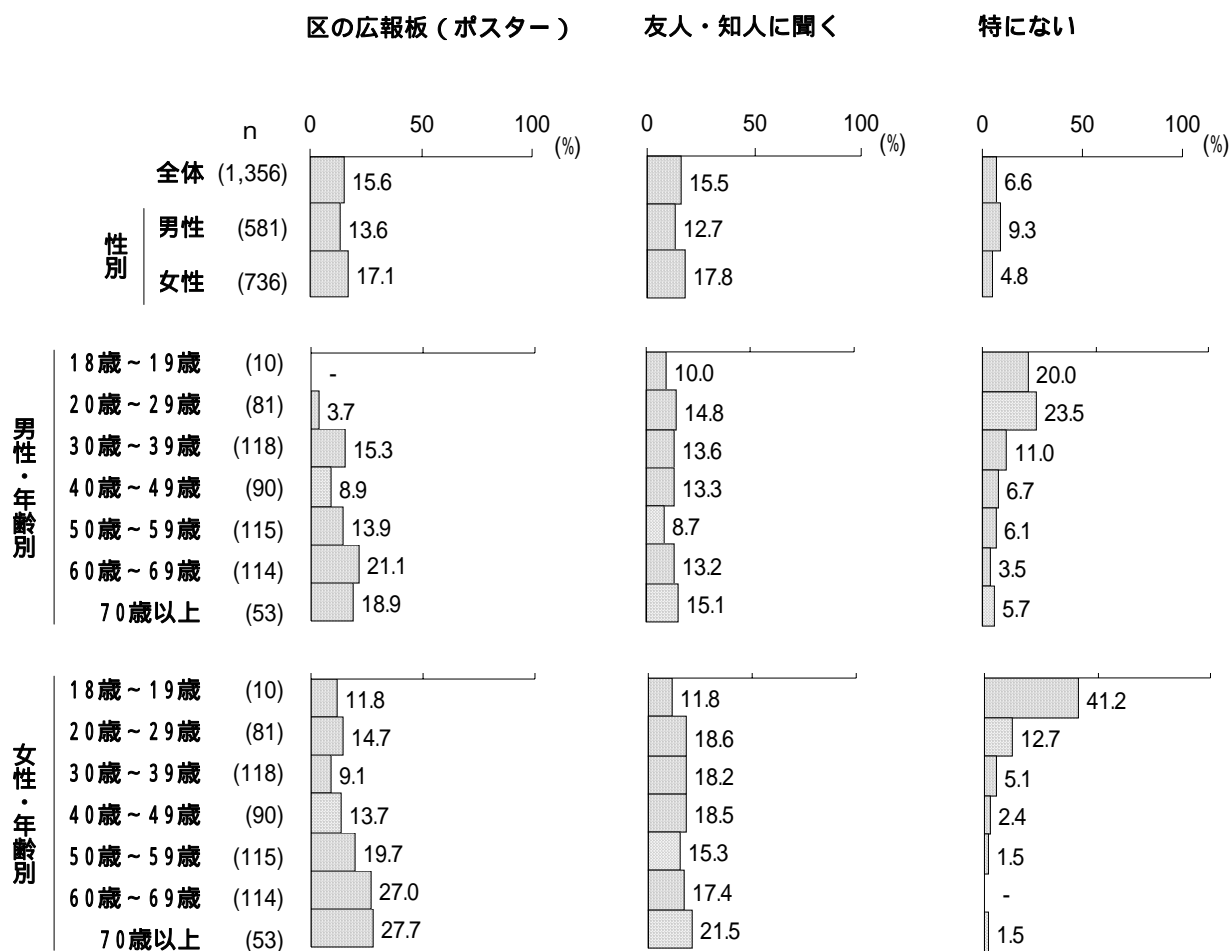
【性・年齢別】

性別でみると、「くらしの便利帳」では、男性よりも女性の方が17ポイント上回っている。

性・年齢別でみると、「町内・自治会回覧などの資料」と「区の広報板（ポスター）」では男性女性ともに年齢が高くなるにつれて、割合も高くなる傾向が見られる。一方、「特にない」では男性女性ともに、年齢が低くなるにつれ、割合は高くなる傾向がみられる。（図表11-2）

<図表11-2> 区の情報入手手段/性・年齢別（上位5項目+「特にない」）



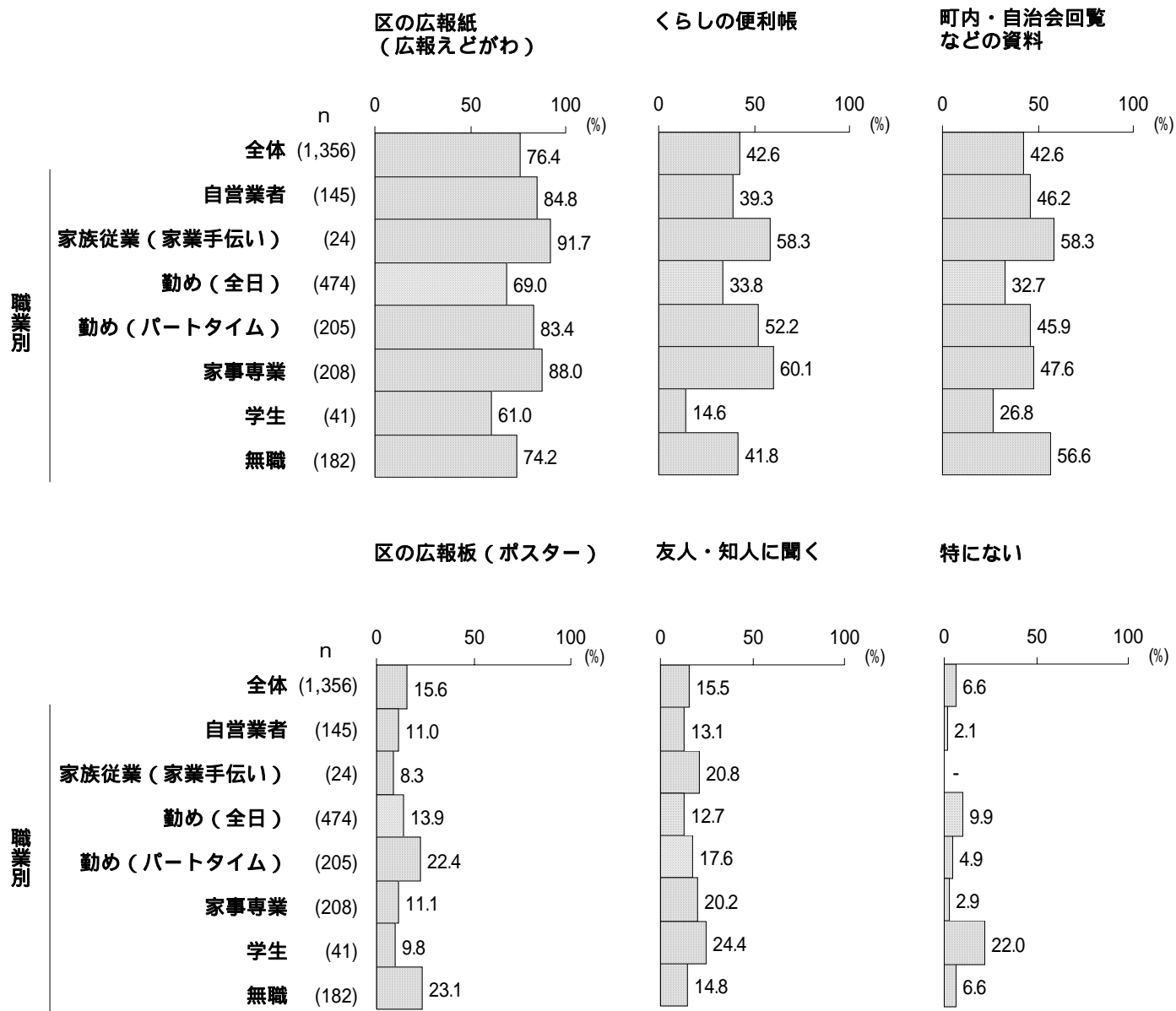


男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【職業別】

職業別でみると、「区の広報紙（広報えどがわ）」と「くらしの便利帳」、「町内・自治会回覧などの資料」では“勤め（全日）”と“学生”の割合が最も低く、「友人・知人に聞く」に関しては、“学生”の割合が高くなっている。（図表 11 - 3）

<図表11 - 3> 区の情報の入手手段 / 職業別（上位5項目+「特にない」）

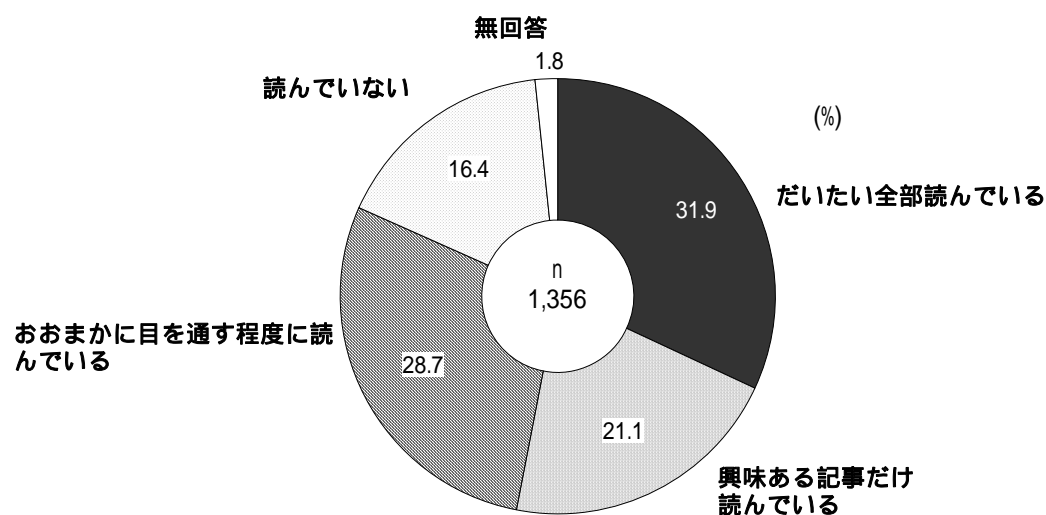


“家族従業”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(2) 広報えどがわの精読度
 <読んでいる>が8割を占める

問18 区では、区の広報紙「広報えどがわ」を毎月3回新聞折り込みなどで家庭に配布しています。あなたは、どの程度読んでいますか。(は1つ)

<図表11 - 4> 広報えどがわの精読度



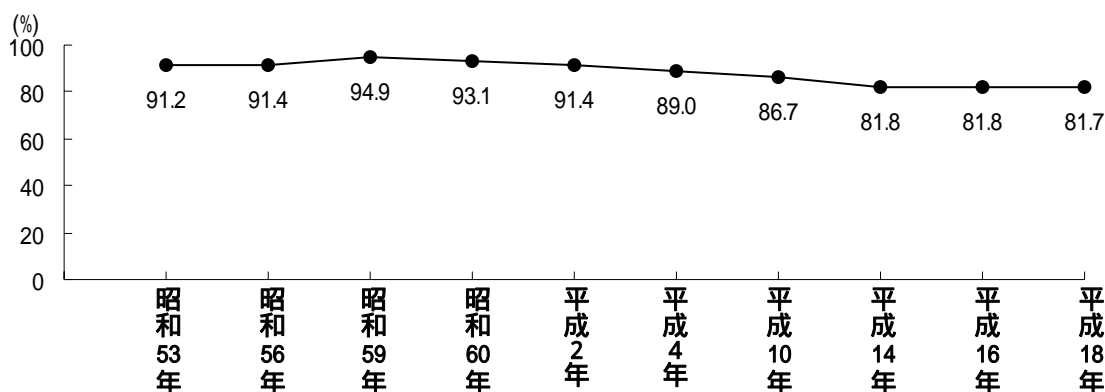
(注) <読んでいる> = 「大体全部」 + 「興味のある記事だけ」 + 「おおまかに目を通す程度に」・・・81.7%

広報えどがわの精読度は「だいたい全部読んでいる」(31.9%)と「興味ある記事だけ読んでいる」(21.1%)、「おおまかに目を通す程度に読んでいる」(28.7%)を合わせた<読んでいる>が81.7%と、8割を占めている。(図表11 - 4)

【時系列比較】

昭和53年からの調査結果を時系列でみると、広報えどがわを読んでいる人の割合は、昭和60年以降、大幅にはないが減少傾向が続いている。(図表11 - 5)

<図表11 - 5> 広報えどがわを読んでいる人の比率 / 時系列比較

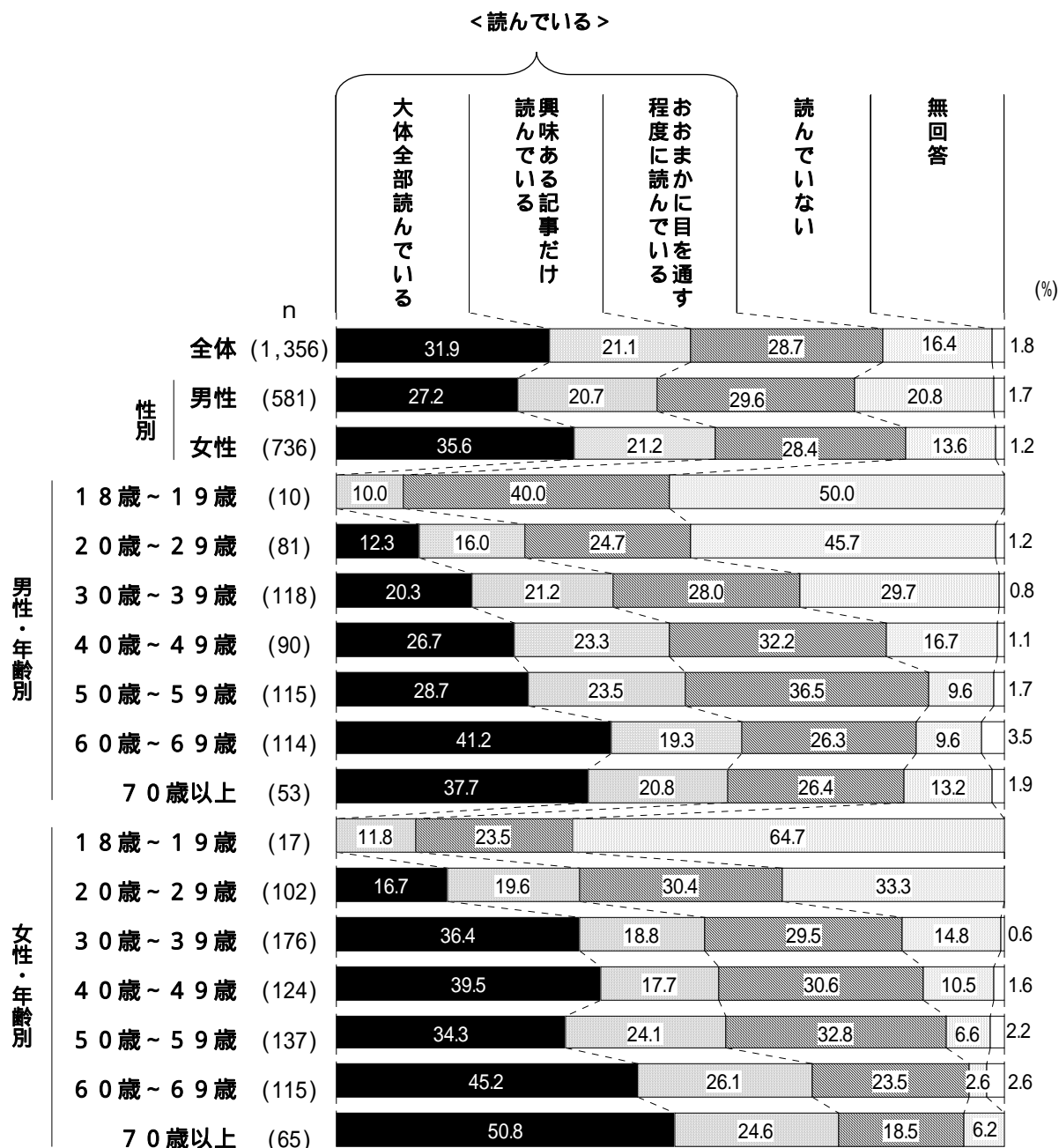


【性・年齢別】

性別でみると、＜読んでいる＞では男性より女性の方が、7ポイントを超えて高くなっている。

性・年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて割合も高くなる傾向がある。一方、20歳代の男性では「読んでいない」が4割を超えている。(図表11-6)

＜図表11-6＞ 広報えどがわの精読度/性・年齢別

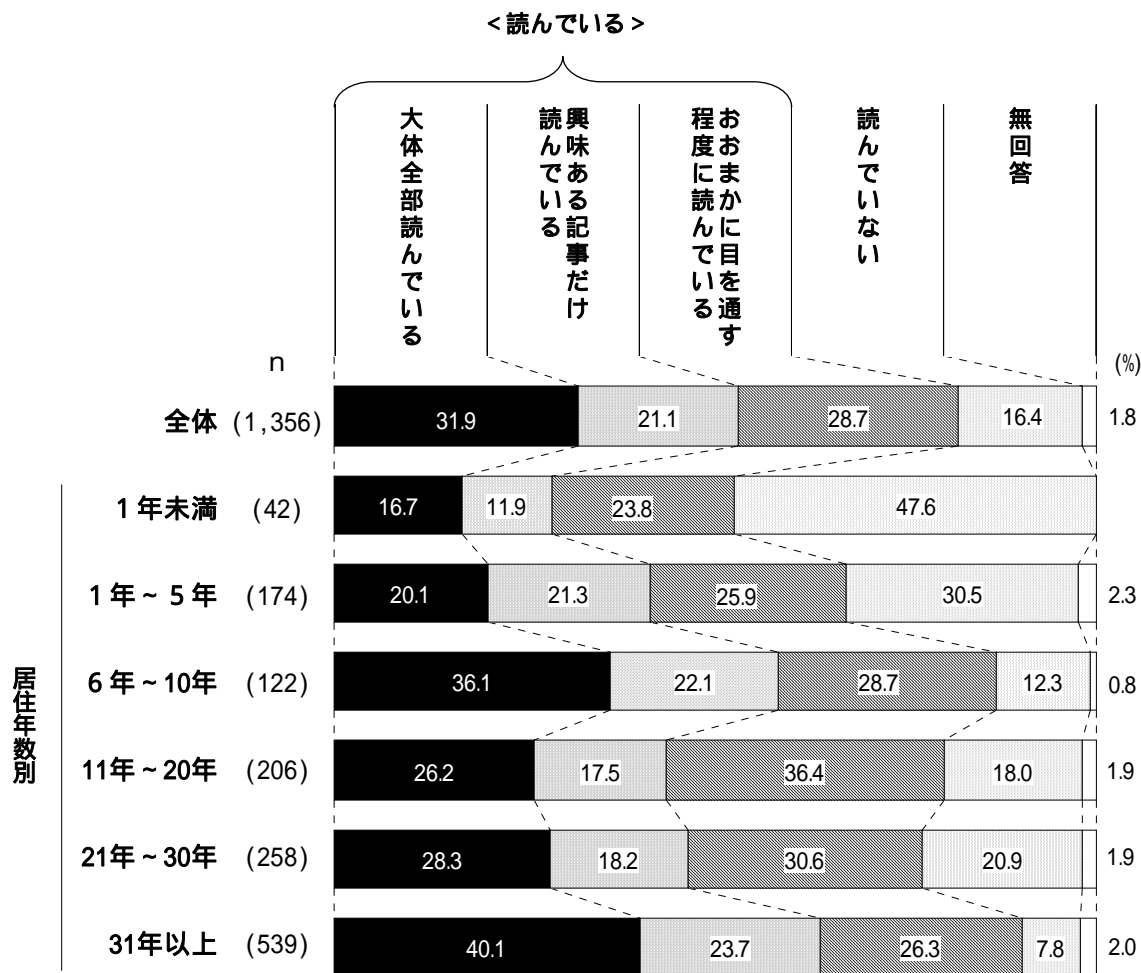


男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【居住年数別】

居住年数別でみると、＜読んでいる＞では“31年以上”が90.1%を占め、続いて“6～10年”の86.9%となっている。居住年数が長いほど、＜読んでいる＞の割合が高くなる傾向がみられる。（図表11-7）

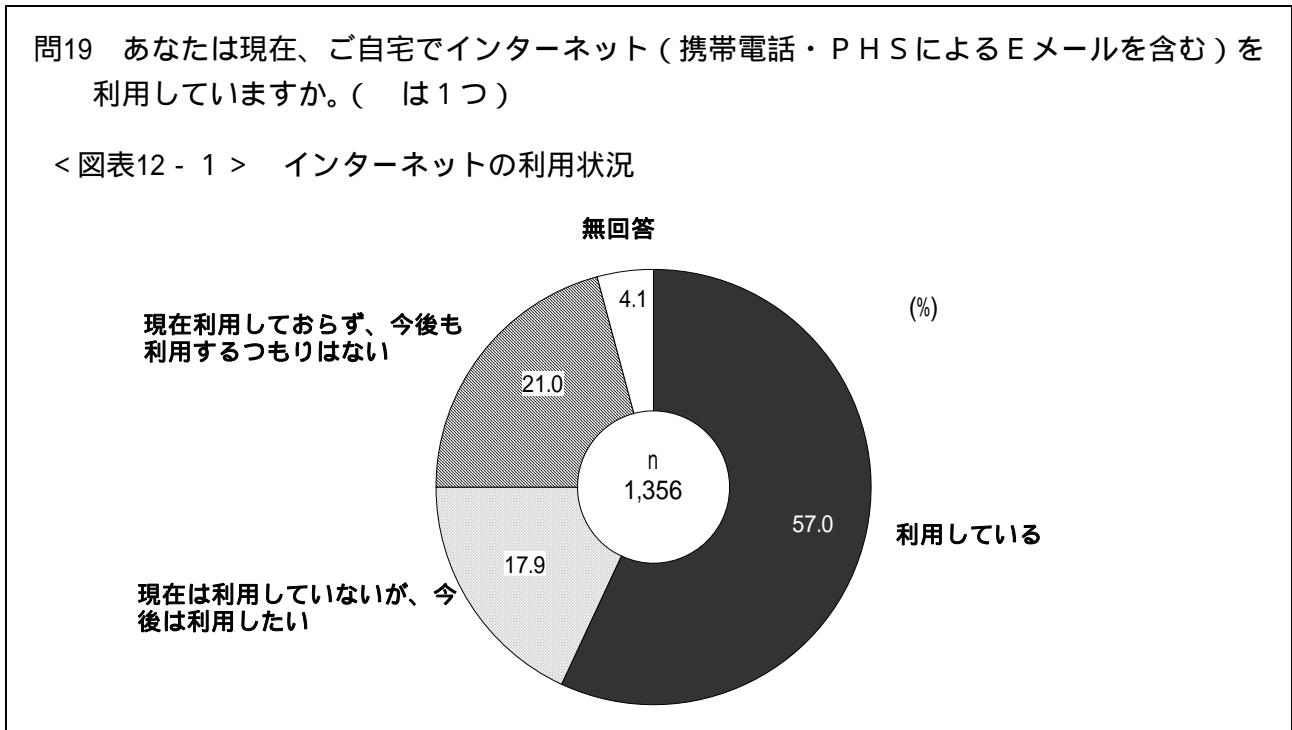
＜図表11-7＞ 広報えどがわの精読度／居住年数別



12. 情報化について

(1) インターネットの利用状況

「利用している」が6割弱

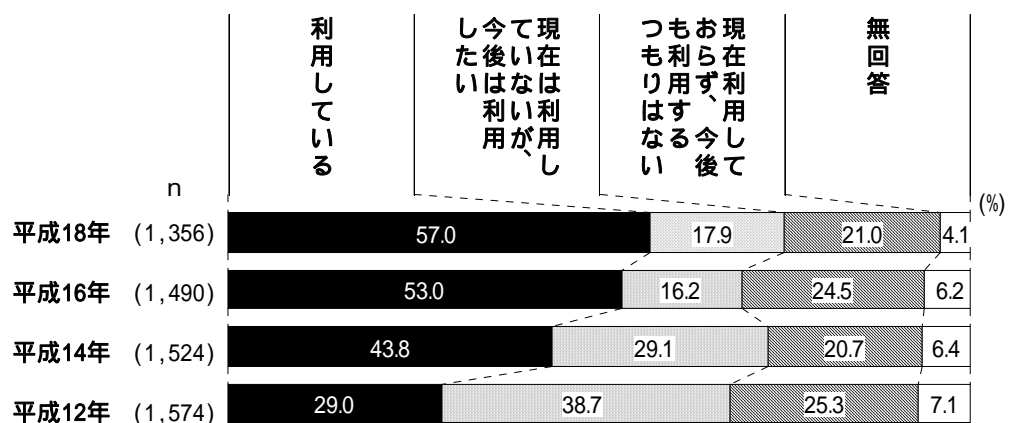


インターネットの利用状況については、「利用している」が57.0%で、「現在利用していないが、今後は利用したい」は17.9%となっている。一方、「現在利用しておらず、今後も利用するつもりはない」は21.0%と2割を超えている。(図表12-1)

【時系列比較】

平成12年からの調査結果を時系列でみると、「利用している」人の割合は増加傾向にある。一方、「現在利用しておらず、今後も利用するつもりはない」は前回に比べ、やや減少している。(図表12-2)

<図表12-2> インターネットの利用状況/時系列比較

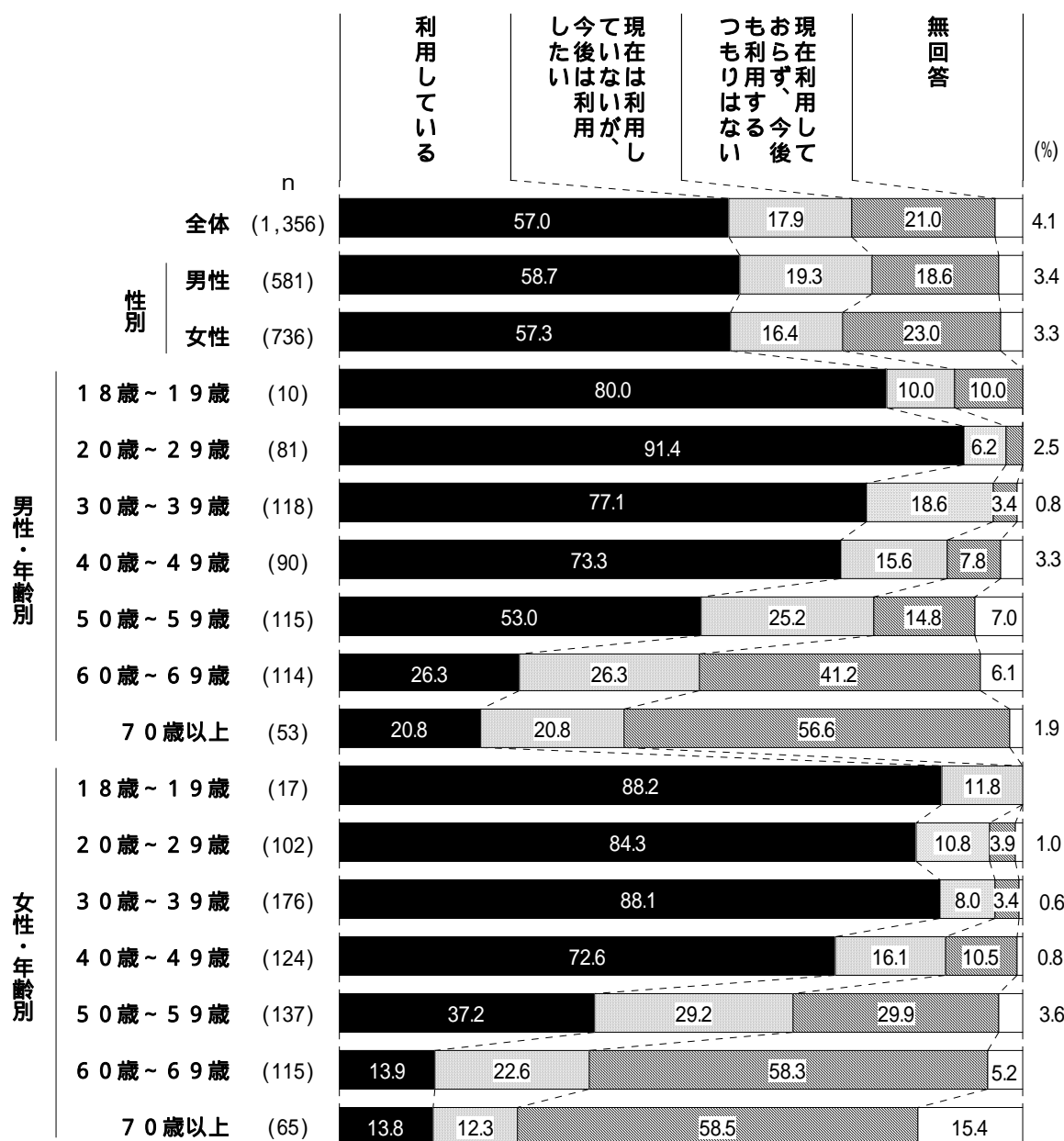


【性・年齢別】

性別でみると、「利用している」では大きな差はみられないが、「現在も利用しておらず、今後も利用するつもりはない」では、女性が男性より4ポイント上回っている。

性・年齢別でみると、「利用している」では年齢が高くなるにつれ、割合は低くなっている。それに伴い、「現在利用しておらず、今後も利用するつもりはない」では年齢が高くなるにつれ、割合も高くなる傾向にある。(図表12-3)

<図表12-3> インターネットの利用状況 / 性・年齢別

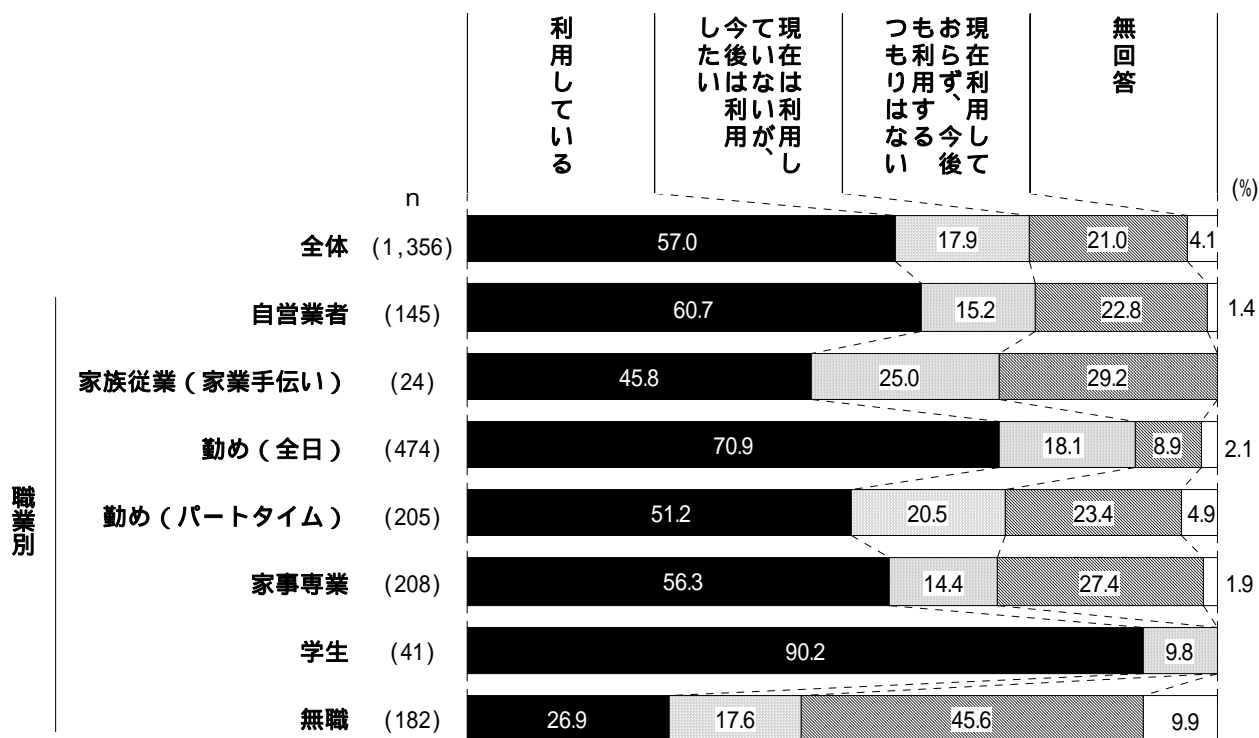


男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【職業別】

職業別でみると、「利用している」人の割合は“学生”と“勤め(全日)”が目立って高く、特に“学生”では90.2%を占めている。一方、最も「利用している」の割合が低かったのは“無職”の26.9%になっている。(図表12-4)

<図表12-4> インターネットの利用状況/職業別



“家族従業”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

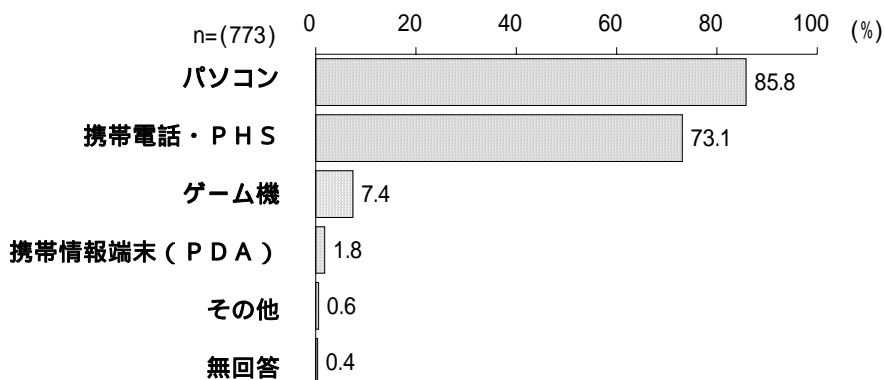
(1 - 1) 利用している機器・サービス

「パソコン」が 85.8%、携帯電話・PHS が 73.1%

(問19で「1 利用している」とお答えの方に)

問19 - 1 インターネットを利用している機器と利用しているサービスをお答えください。
(利用している機器と利用しているサービスであてはまるものすべてに)

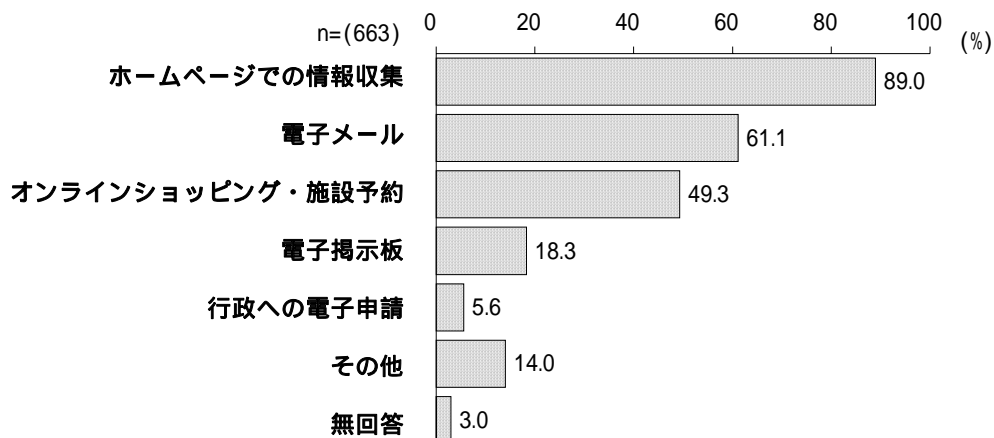
<図表12 - 5> 利用している機器・サービス(複数回答)



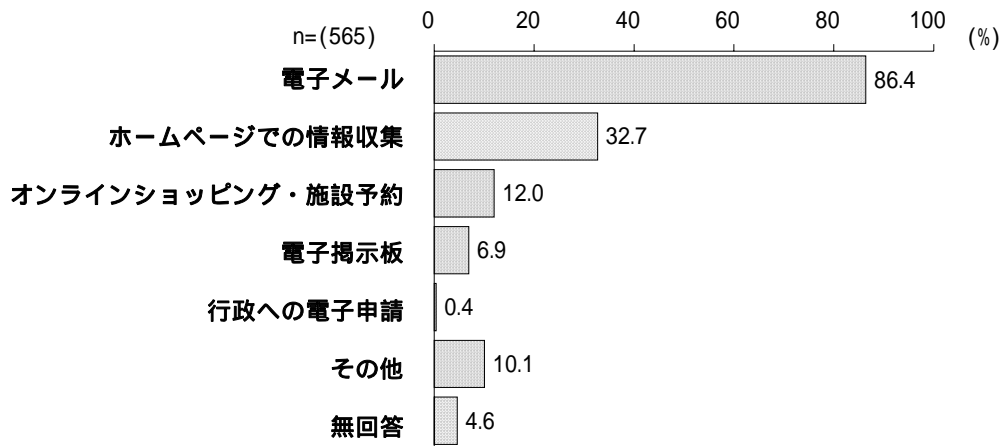
問19で、インターネットを利用していると答えた人に、利用している機器について尋ねたところ、7割を超えて大きく差をつけ【パソコン】と【携帯電話・PHS】が上位となった。(図表12 - 5)

利用しているサービスについては、いずれも“ホームページでの情報収集”と“電子メール”が上位を占めている。また、【携帯電話・PHS】においては“電子メール”が8割半ばを超え、突出している。(図表12 - 6 ~ 9)

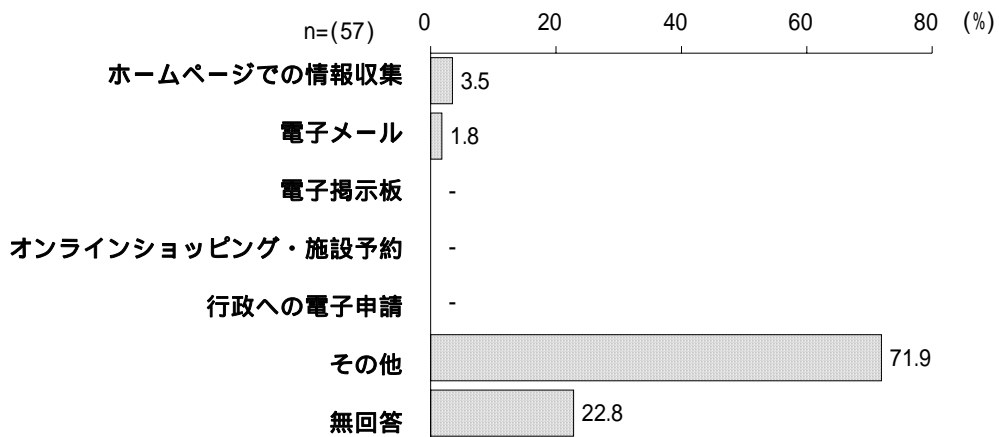
<図表12 - 6> 利用しているサービス【パソコン】(複数回答)



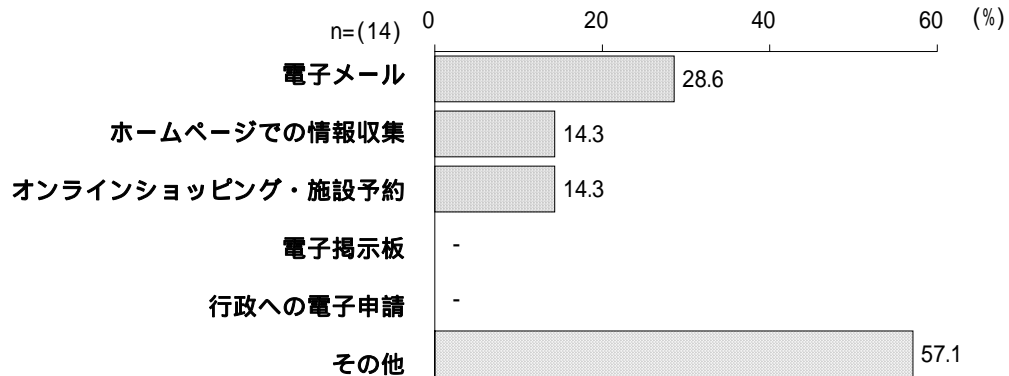
< 図表12 - 7 > 利用しているサービス【携帯電話・PHS】(複数回答)



< 図表12 - 8 > 利用しているサービス【ゲーム機】(複数回答)



< 図表12 - 9 > 利用しているサービス【携帯情報端末 (PDA)】(複数回答)



基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

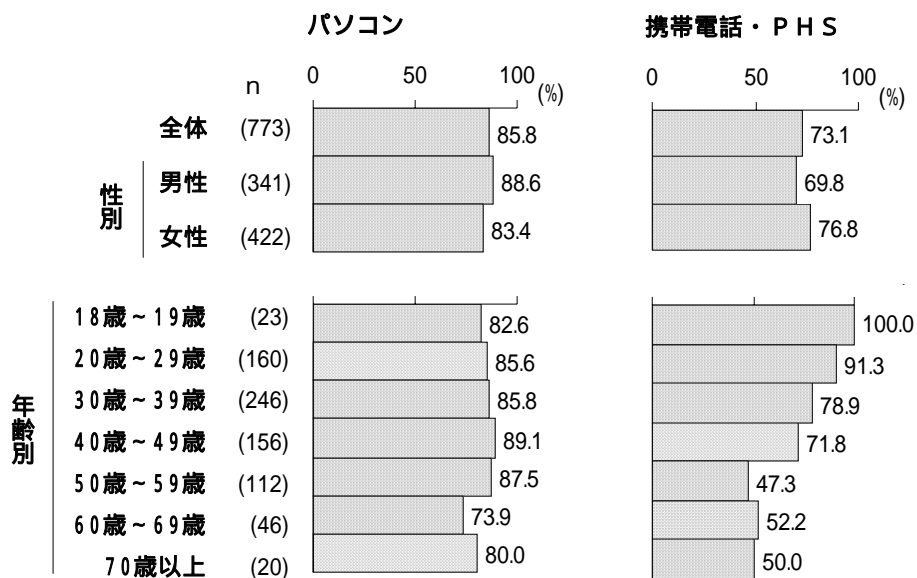
【利用している機器 / 性別】

性別でみると、【携帯電話・PHS】で女性が男性を7ポイント上回っている。(図表 12 - 10)

【利用している機器 / 年齢別】

年齢別でみると、【パソコン】では大きな差はみられないが、【携帯電話・PHS】においては、年齢が高くなるにつれ割合は低くなる傾向にある。(図表 12 - 10)

<図表 12 - 10> 利用している機器 / 性別、年齢別 (上位 2 項目)

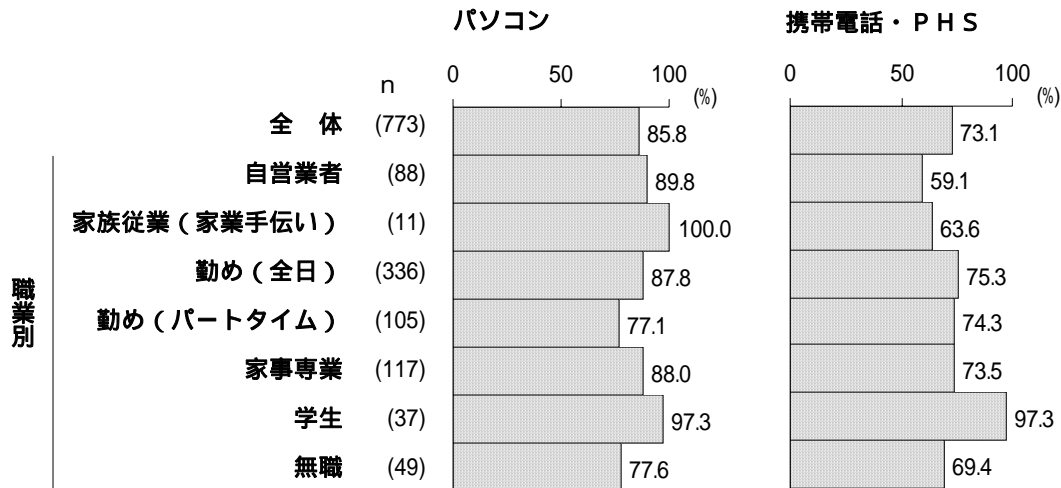


“18歳～19歳”、“70歳以上”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【利用している機器 / 職業別】

職業別でみると、【パソコン】、【携帯電話・PHS】ともに“学生”が9割台半ばを超え、全体より高くなっている。(図表 12 - 11)

<図表12 - 11> 利用している機器 / 職業別 (上位 2 項目)



“家族従業”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

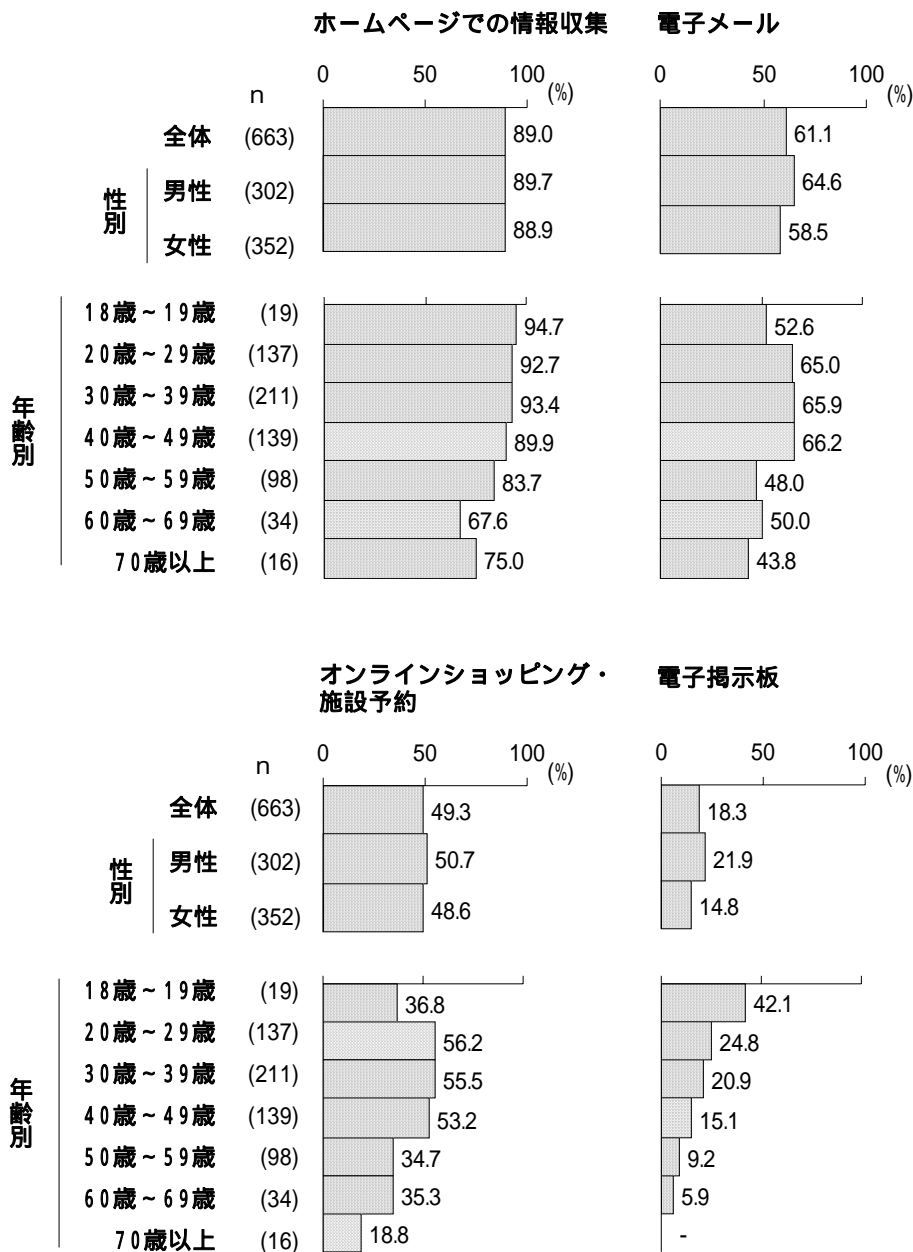
【利用しているサービス（パソコン）／性別】

性別でみると、「電子掲示板」では女性より男性の方が7ポイント上回っており、「電子メール」でも男性が6ポイント上回っている。（図表 12 - 12）

【利用しているサービス（パソコン）／年齢別】

年齢別でみると、上位4項目全てで年齢が高くなるにつれて、割合が低くなる傾向がみられる。（図表 12 - 12）

<図表12 - 12> 利用しているサービス（パソコン）／性別、年齢別（上位4項目）



“18歳～19歳”、“70歳以上”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

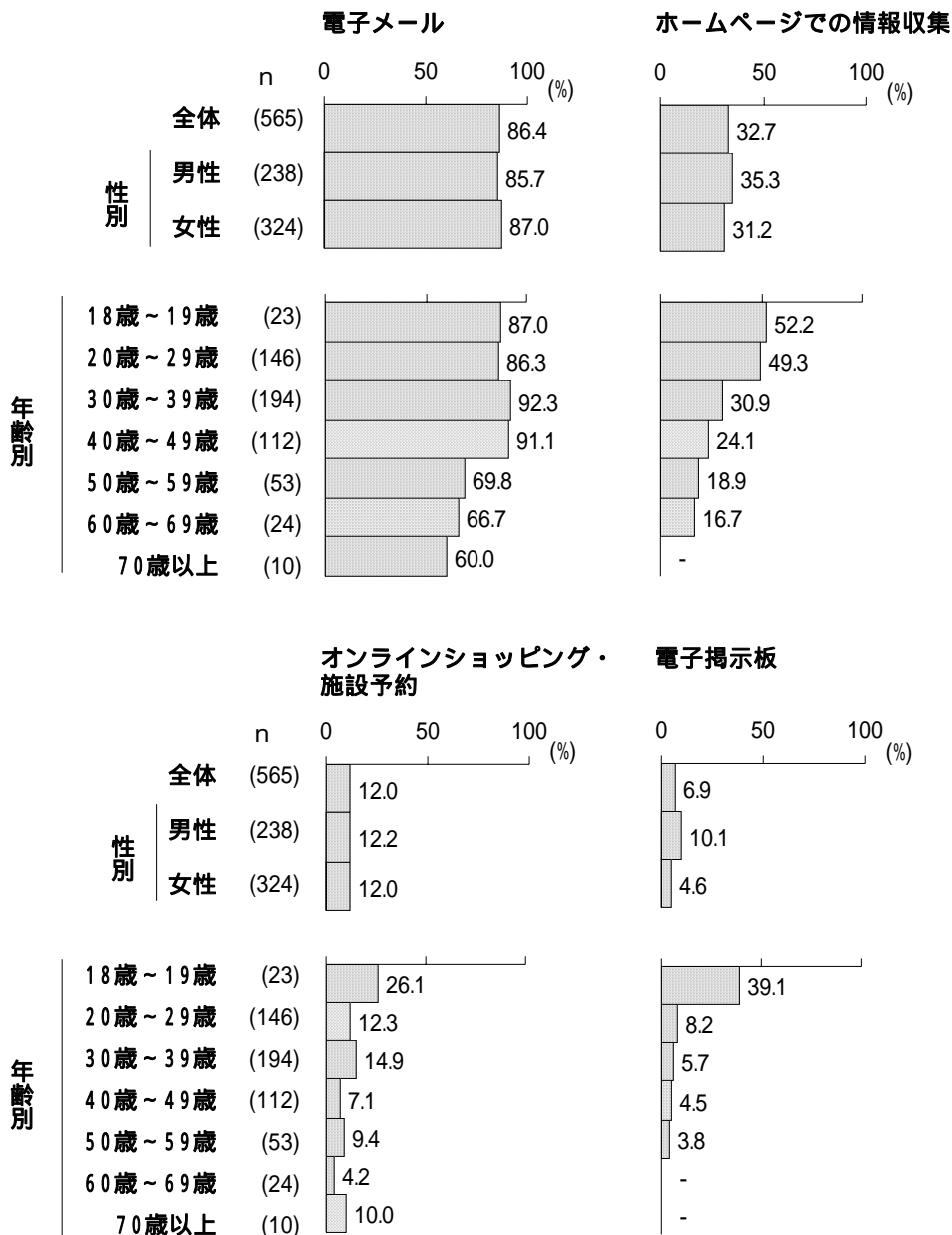
【利用しているサービス（携帯電話・PHS）/性別】

性別でみると、「電子掲示板」では女性より男性の方が5ポイント上回っている。（図表12-13）

【利用しているサービス（携帯電話・PHS）/年齢別】

年齢別でみると、いずれの項目も年齢が高くなるにつれ、割合が低くなる傾向がみられる。「電子メール」では上位4項目の中で唯一女性が男性を上回っている。（図表12-13）

<図表12-13> 利用しているサービス（携帯電話・PHS）/性別、年齢別（上位4項目）

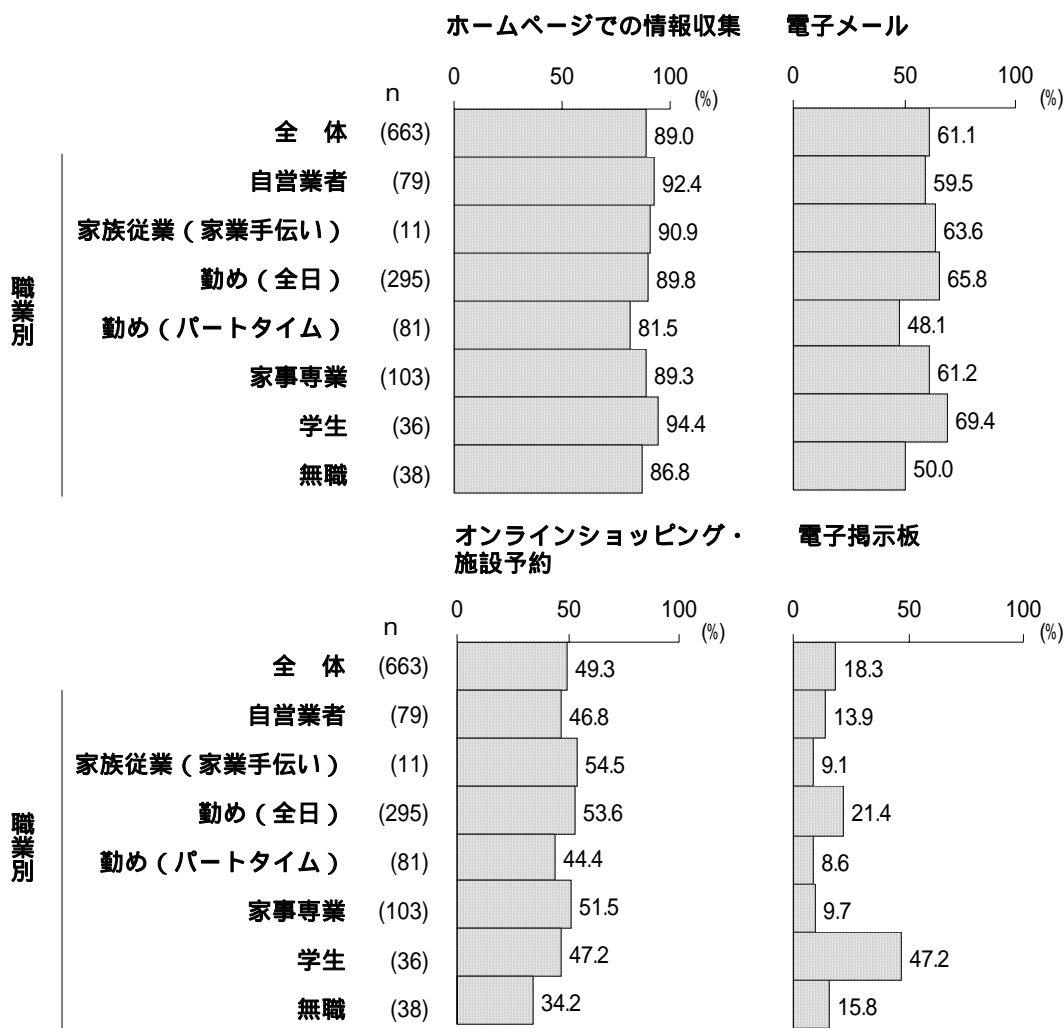


“18歳~19歳”、“60歳~69歳”、“70歳以上”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【利用しているサービス（パソコン）／職業別】

職業別でみると、【パソコン】で「ホームページでの情報収集」をしている人の割合は、比較的高く8割を超えている。“勤め（パートタイム）”では、いずれの項目もやや低めで「電子メール」と「電子掲示板」においては最も低い割合になっている。（図表12 - 14）

<図表12 - 14> 利用しているサービス（パソコン）／職業別（上位4項目）

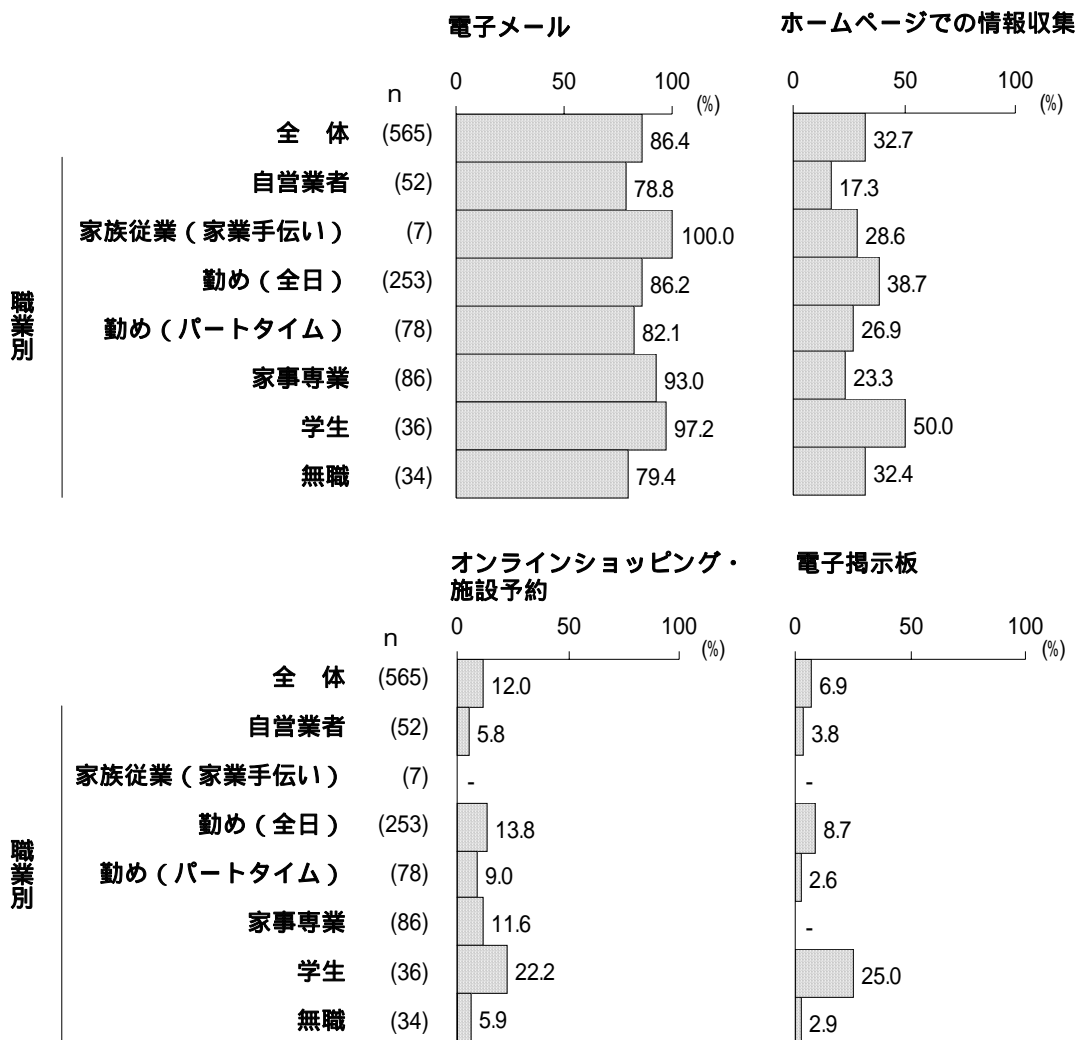


“家族従業”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【利用しているサービス（携帯電話）・PHS / 職業別】

職業別でみると、【携帯電話・PHS】で、高い割合になっているのはいずれの項目も“学生”となっている。（図表12-15）

< 図表12-15 > 利用しているサービス（携帯電話・PHS） / 職業別（上位4項目）



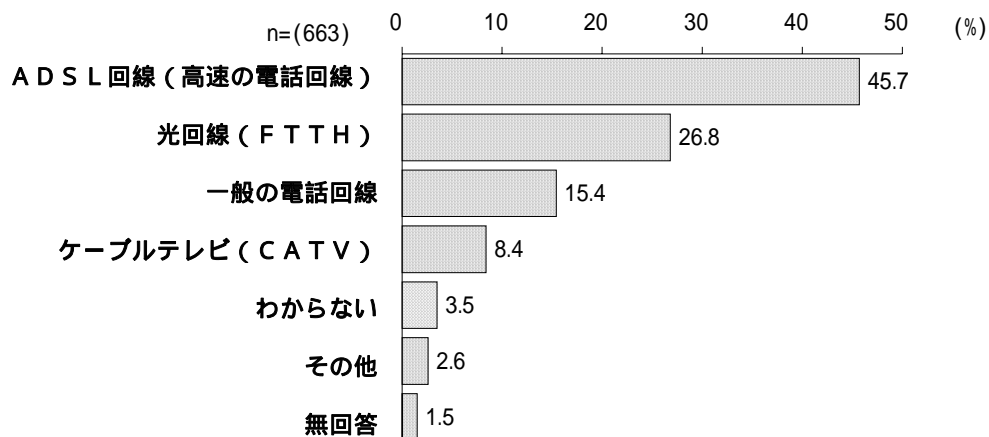
“家族従業”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(1 - 2) インターネットの接続回線

インターネットの接続回線は「ADSL回線(高速の電話回線)」が45.7%

問19 - 2 パソコンでインターネットに接続している方にお聞きします。利用している接続回線は何ですか。(あてはまるものすべてに)

<図表12 - 16> インターネットの接続回線(複数回答)



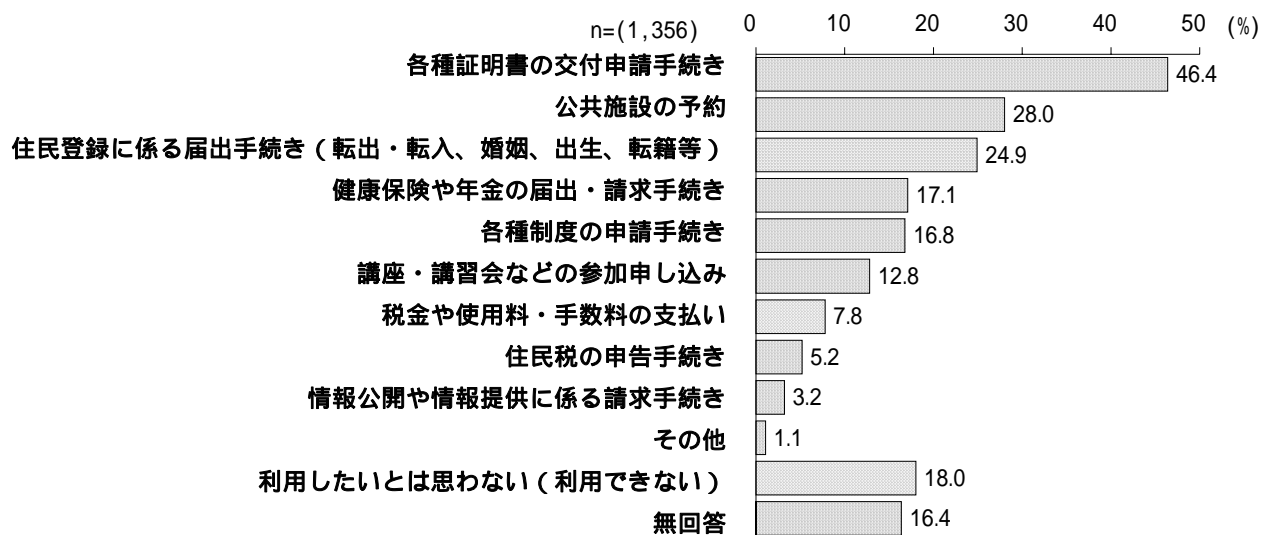
問19で、インターネットを利用していると答えた人に、利用している接続回線を尋ねたところ、4割半ばの人が「ADSL回線(高速の電話回線)」(45.7%)を利用していると答えた。続いて、「光回線(FTTN)」(26.8%)、「一般の電話回線」(15.4%)となっている。(図表12 - 16)

(2) 電子申請で望む手続き

4割以上の人が「各種証明書の交付申請手続き」を望んでいる

問20 区では、「電子申請サービス」の拡充を目指しています。電子申請による行政サービスとして、あなたはどのような手続きを望みますか。(は3つまで)

<図表12 - 17> 電子申請で望む手続き (複数回答)



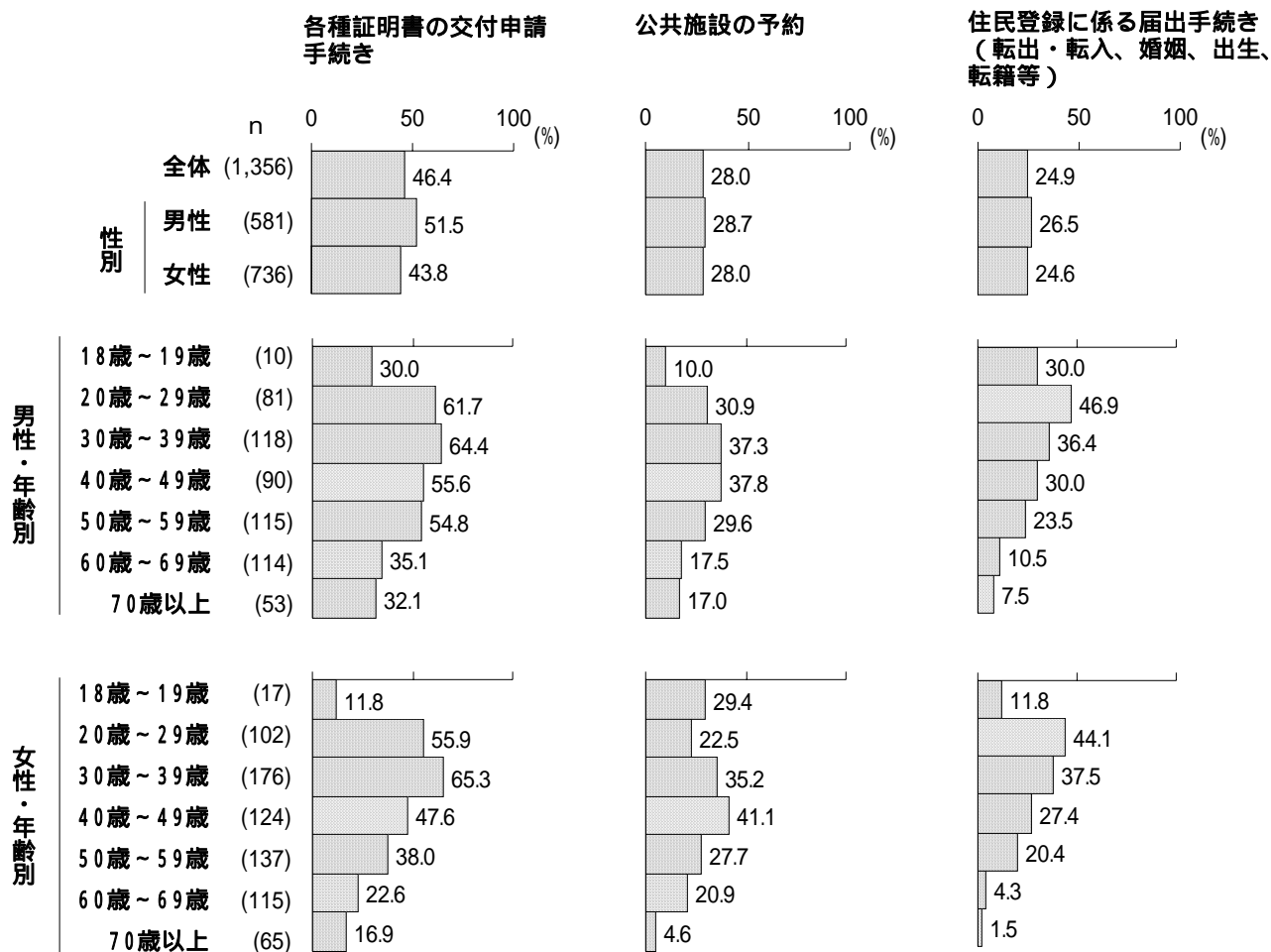
電子申請による行政サービスとして希望する手続きは、「各種証明書の交付申請手続き」(46.4%)の割合が高く、以下「公共施設の予約」(28.0%)、「住民登録に係る届出手続き」(24.9%)の順に続く。(図表12 - 17)

【性・年齢別】

性別でみると、「各種証明書の交付申請手続き」では女性より男性の方が7ポイント上回っている。

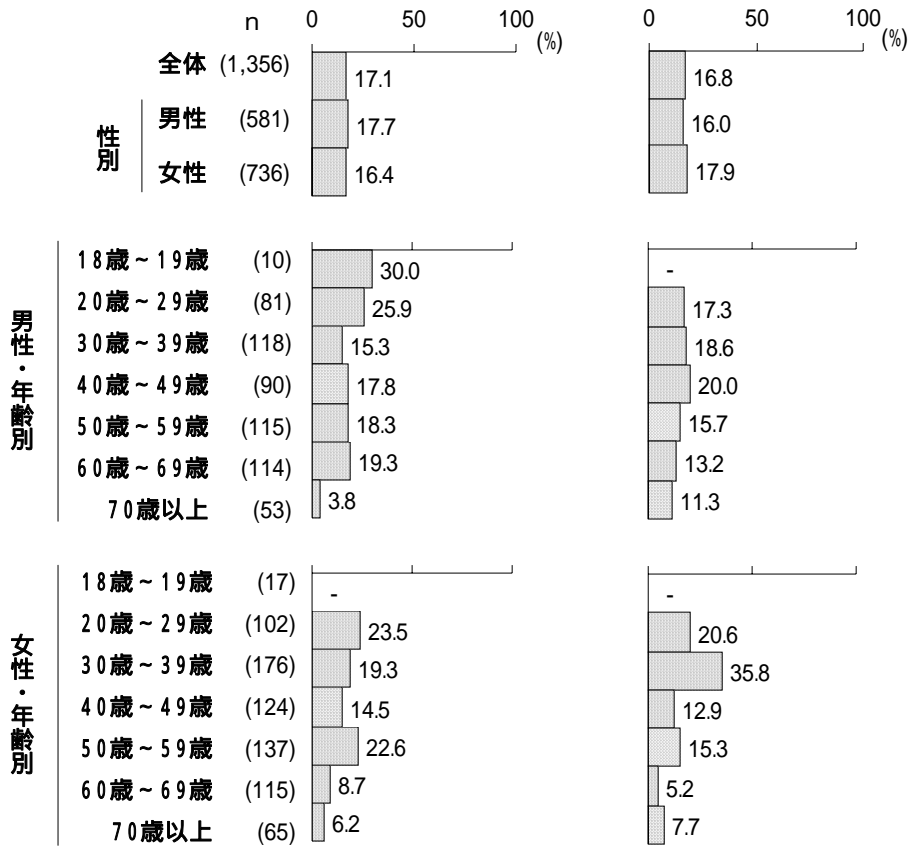
性・年齢別でみると、「各種証明書の交付申請手続き」と「住民登録に係る届出手続き（転出・転入、婚姻、出生、転籍等）」では20歳～30歳代が、「公共施設の予約」では30歳～40歳代が男性女性ともに高くなっている。（図表12-18）

<図表12-18> 電子申請で望む手続き／性・年齢別（上位5項目）



健康保険や年金の届出・
請求手続き

各種制度の申請手続き

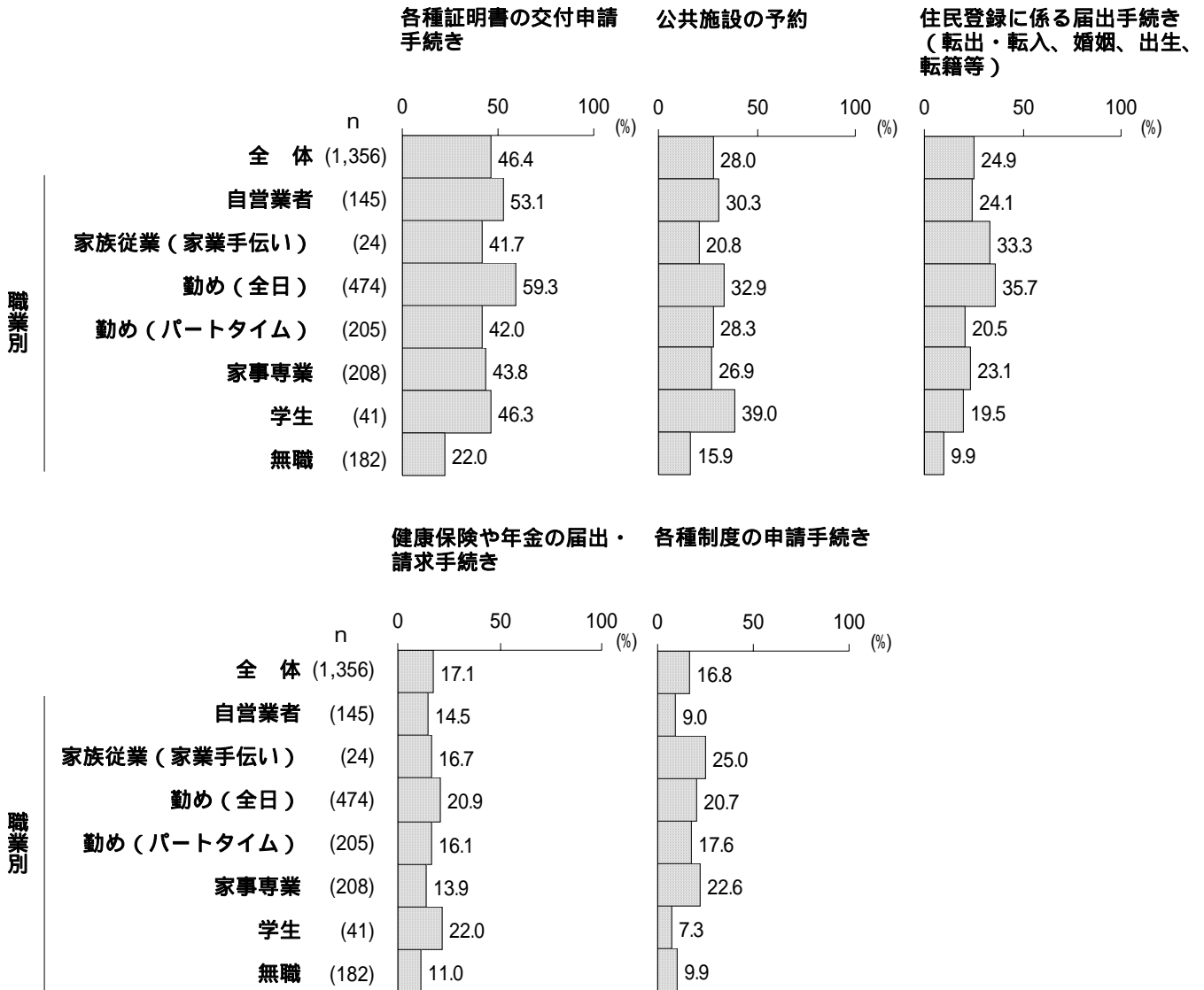


男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【職業別】

職業別でみると、いずれの項目も、“勤め（全日）”が比較的高い割合で、“無職”は低くなっている。特に、「各種証明書の交付申請手続き」と「住民登録に係る届出手続き（転出・転入、婚姻、出生、転籍等）」では全体よりも“勤め（全日）”が10ポイント以上高くなっている。（図表12-19）

<図表12-19> 電子申請で望む手続き／職業別（上位5項目）



“家庭従業者”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

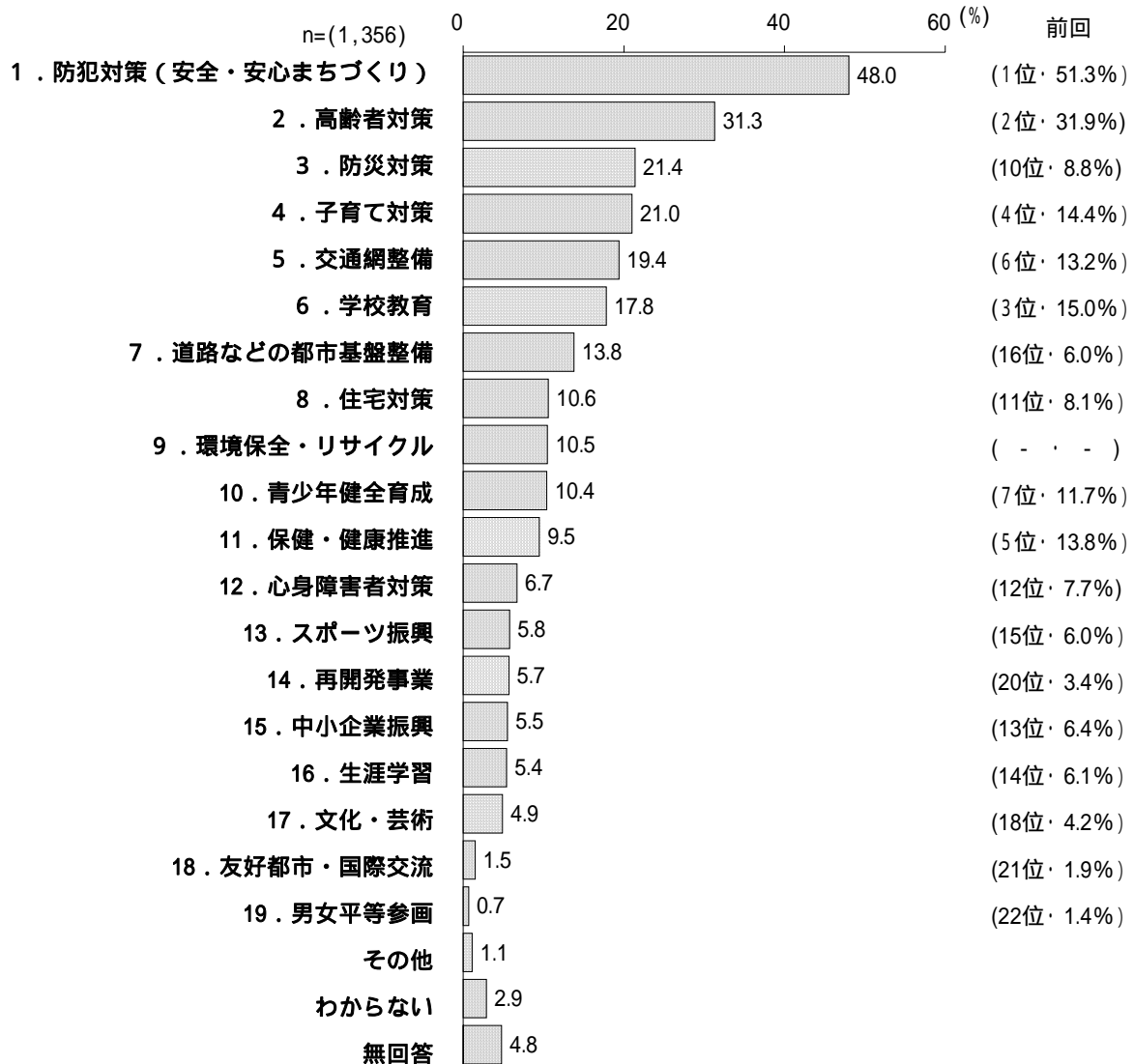
13. 区政への要望

(1) 今後推進してほしい施策

半数近くの人が「防犯対策（安全・安心まちづくり）」を希望している

問21 江戸川区は、今後どのような施策を推進していけば良いと思いますか。（は3つまで）

<図表13-1> 今後推進してほしい施策（複数回答）



注1. 9位の「環境保全・リサイクル」は新規に設定

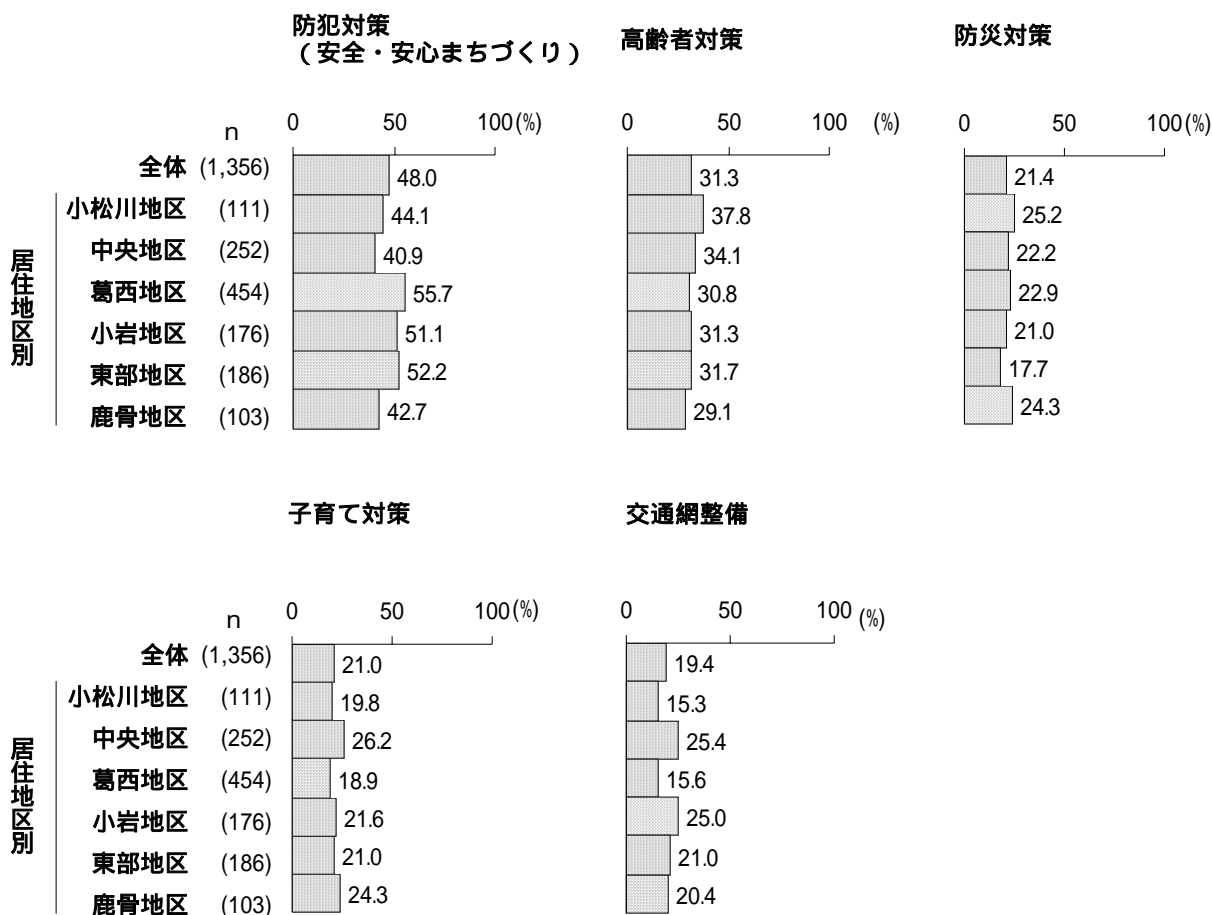
注2. 前回調査では回答者数を基数nとして比率を算出している

今後推進してほしい施策については、「防犯対策（安全・安心まちづくり）」(48.0%)が最も高く、続いて「高齢者対策」(31.3%)、「防災対策」(21.4%)、「子育て対策」(21.0%)、「交通網整備」(19.4%)となっている。(図表13-1)

【居住地区別】

居住地区別でみると、「防犯対策(安全・安心まちづくり)」は各地区で1位にあげられ、特に“葛西地区”が55.7%と高くなっている。「高齢者対策」と「防災対策」では“小松川地区”が、「子育て対策」と「交通網整備」では“中央地区”が他地区より高くなっている。(図表13-2)

<図表13-2> 今後推進してほしい施策/居住地区別(上位5項目)

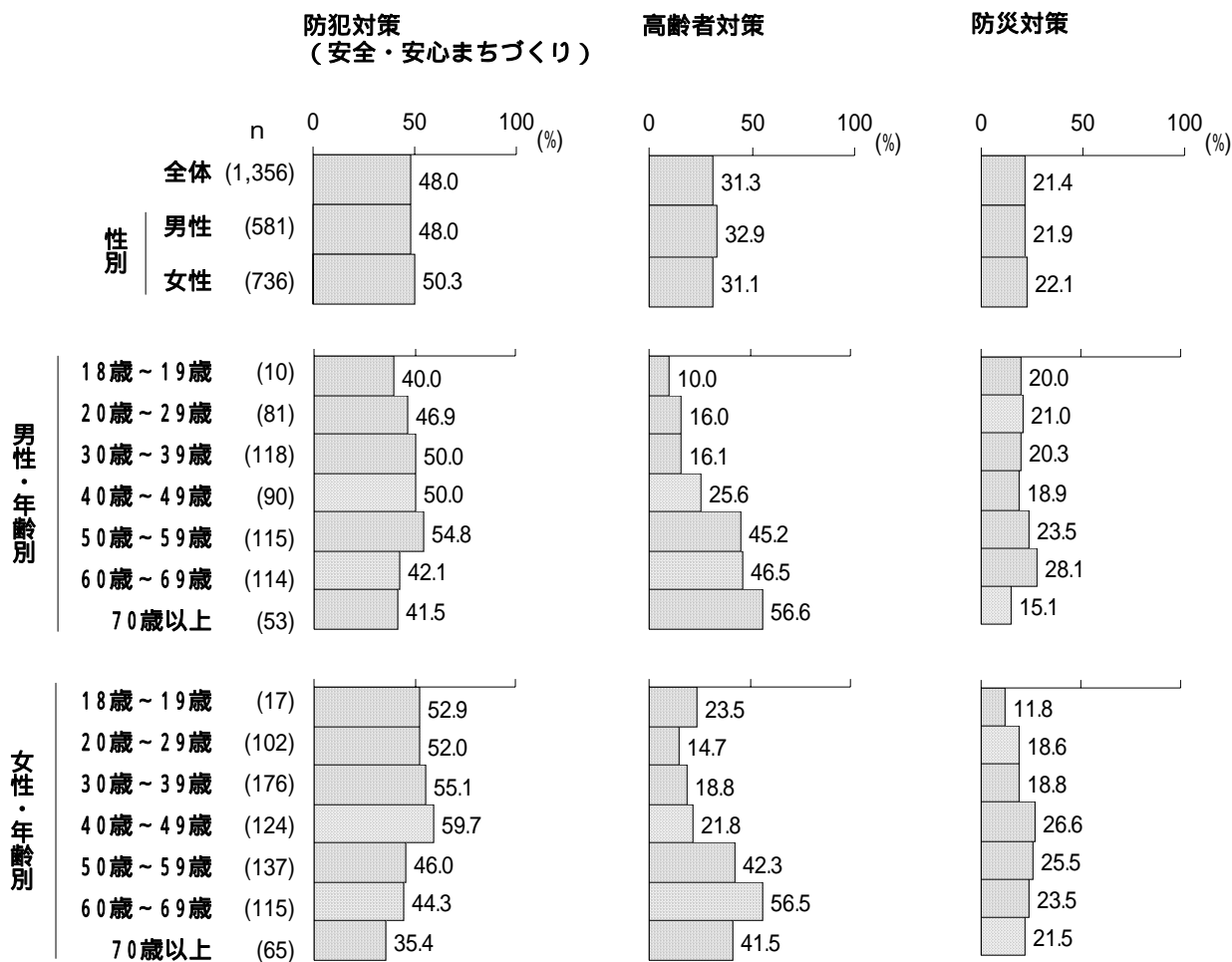


【性・年齢別】

性別でみると、「子育て対策」で女性が男性を9ポイント上回っている。「交通網整備」では女性より男性の方が4ポイント高い。

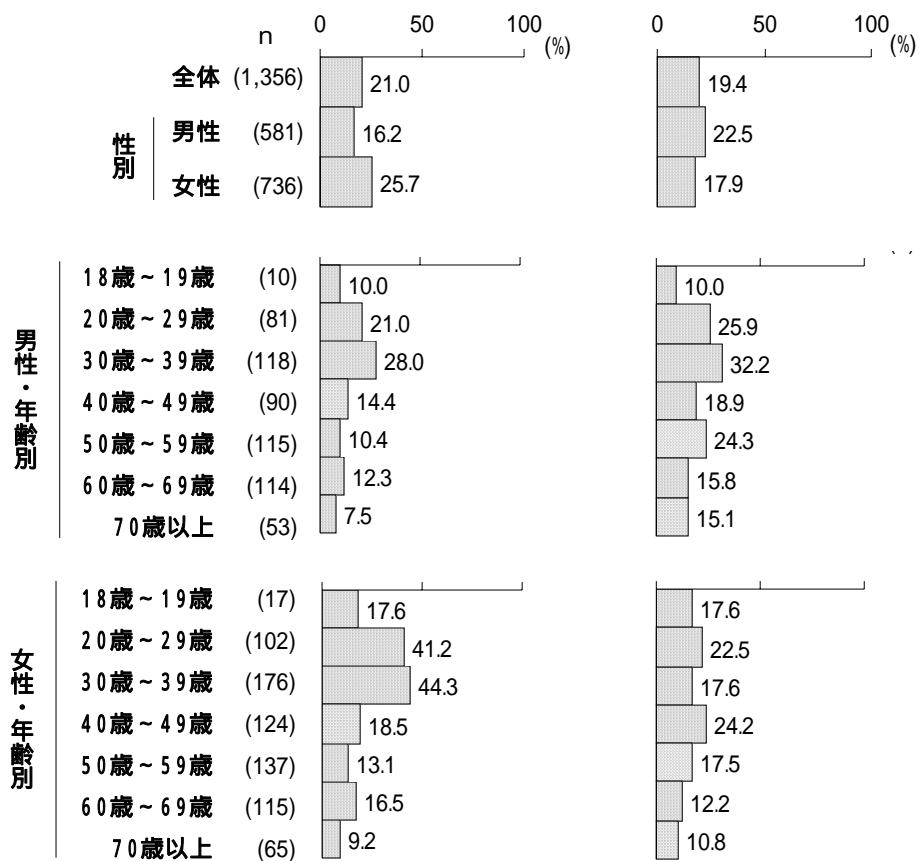
性・年齢別でみると、「高齢者対策」が男性女性ともに年齢が高くなるにつれ、割合も高くなる傾向がある。また「子育て対策」では年齢が高くなるにつれ、割合は低くなる傾向にある。(図表13-3)

<図表13-3> 今後推進してほしい施策/性・年齢別(上位5項目)



子育て対策

交通網整備



男性及び女性の“18歳～19歳”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

今回を含めた過去5回の上位5項目をみると、前回に続いて「防犯対策（安全・安心まちづくり）」がトップとなった。2位の「高齢者対策」は前回と同様に3割を超えている。前回10位だった「防災対策」は今回3位と、大きく順位を上げている。「子育て対策」は前回と変わらず4位だが、割合は約6ポイント高くなっている。（図表13-4）

<図表13-4> 過去5回の上位5項目の推移

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
平成 18 年	防犯対策（安全・安心まちづくり） 48.0%	高齢者対策 31.3%	防災対策 21.4%	子育て対策 21.0%	交通網整備 19.4%
平成 16 年	防犯などの安全・安心まちづくり 51.3%	高齢者対策 31.9%	学校教育の充実 15.0%	子育て対策 14.4%	保健・健康づくり 13.8%
平成 14 年	高齢者対策 42.0%	保健・健康づくり 23.6%	景気・物価対策 20.7%	交通網の整備 19.4%	環境保全・公害対策 17.8%
平成 12 年	高齢者対策 47.6%	子育て対策 20.2%	環境保全・公害対策 19.3%	景気・物価対策 18.5%	交通網の整備 18.4%
平成 10 年	高齢者対策 46.5%	環境・公害対策 30.0%	交通網の整備 24.4%	景気・物価対策 22.3%	住宅対策 22.2%

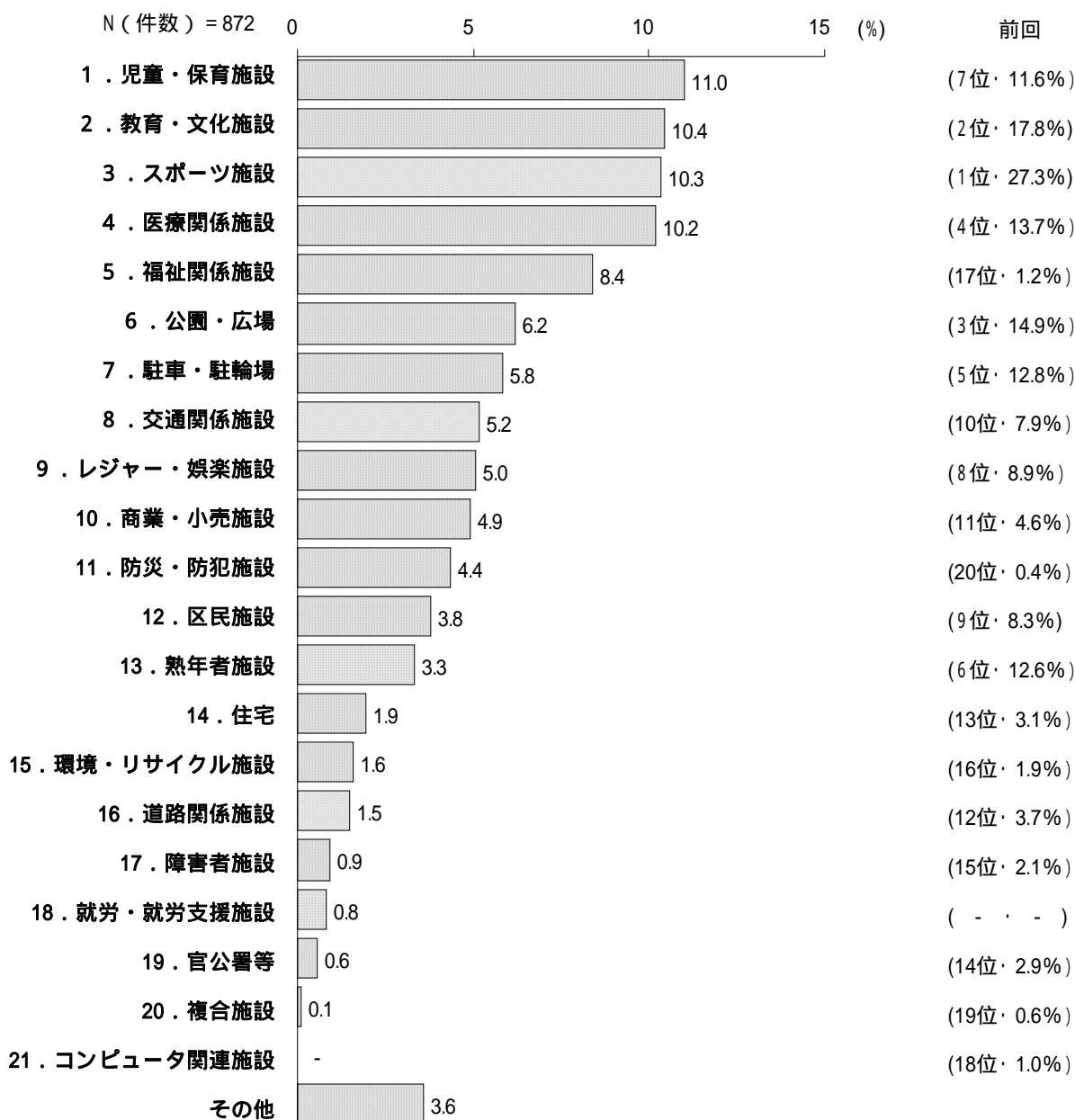
(2) 施設への要望

「児童・保育」、「教育・文化」、「スポーツ」、「医療関係」が1割以上

問22 あなたは、今後、区内にどのような施設を充実すれば良いと思いますか。ご自由に3つまでご記入ください。

< 図表13 - 5 > 施設への要望（複数回答）

回答率 39.8% (540人)
件数 872件



注1 . 18位の「就労・就労支援施設」は新規に設定

注2 . 前回調査では回答者数を基数nとして比率を算出している

施設への要望について、自由回答形式で求めた。

全体的には分散をした傾向が見られるが、1割を超えているものとしては、「児童・保育施設」(11.0%)、「教育・文化施設」(10.4%)、「スポーツ施設」(10.3%)、「医療関係施設」(10.2%)と僅差で4項目が並んでいる。(図表13-5)

小分類別でみると、「スポーツセンター」(41件)、「総合病院」(40件)、「保育園・幼稚園」(36件)の3つが特に多くあげられている。(図表13-6)

<図表13-6> 施設への要望/小分類別

第1位	第2位	第3位	件数		
児童・保育施設	96	教育・文化施設	91	スポーツ施設	90
保育園・幼稚園	36	図書館・図書館分館	23	スポーツセンター	41
子どもが安心して遊べる施設	31	文化的施設	11	テニスコート	9
保育施設	19	美術館・博物館	9	スポーツクラブ(トレーニングジム)	8
児童用スポーツセンター	3	カルチャーセンター(スクール)	8	体育館	7
学童クラブ	2	学校教育支援・充実	5	運動場(スポーツ場・グラウンド)	5
託児スペースの併設	2	名画座・劇場	4	プール(温水・室内プール)	6
少子化対策に関する施設の活用	1	音楽ホール	4	サッカー・フットサル場	3
子どもの成長を見守っていける所	1	農園・植物園	4	サイクリングロード	2
母親同士の交流の場	1	青少年健全育成施設	4	申込み枠の拡大	2
		学校	4	ウォーキング	1
		大学	3	ゴルフ練習場	1
		国際交流施設	3	バスケット場	1
		趣味の施設	2	バドミントン	1
		生涯学習関連施設	2	野球場	1
		区の伝統工芸	1	アスレチック	1
		ITスポット	1	施設の空調設備	1
		駅前に図書返却ポスト	1		
		自然・環境保護の知識を高めるための資料館	1		
		図書館の駐車場の充実	1		

第4位	第5位	第6位	件数		
医療機関関係施設	89	福祉関係施設	73	公園・広場	54
総合病院	40	高齢者関連施設	26	公園・広場	18
病院(医療機関)	22	老人ホーム	30	ドッグラン	9
救急病院(夜間診療所)	6	(グループ、特養・シルバーピア)		子どもが安心して遊べる公園・広場	8
専門病院(小児科、がん科、肝炎患者専門歯科、リハビリ)	6	介護施設	14	自然・植物のある公園・広場	8
公立病院	6	福祉センター	1	ボール遊び可能な公園・広場	4
大型病院(大病院)	3	ひとり親家庭用住宅	1	公園の整備	2
介護・高齢者向け医療施設	2	住宅局・社会保険局	1	緑・自然	1
健康診断可能な施設	2			アスレチックのある公園	1
高度医療施設	1			バーベキューのできる公園	1
患者が病院を自由に選べるシステム	1			河川敷の憩いの場	1
				児童公園	1

第16位	第17位	第18位			
道路関係施設	13	障害者施設	8	就労・就労支援施設	7
歩道	4	心身障害者施設	3	高齢者の就労施設	4
道路	3	授産施設	1	女性の再雇用支援施設	1
自転車道	2	障害者が楽しめる施設	1	誰でも働けるような施設	1
バリアフリー化	2	知的障害者の施設	1	就労支援施設	1
高速入口	1	障害者のスポーツセンター	1		
高齢者にやさしい道	1				

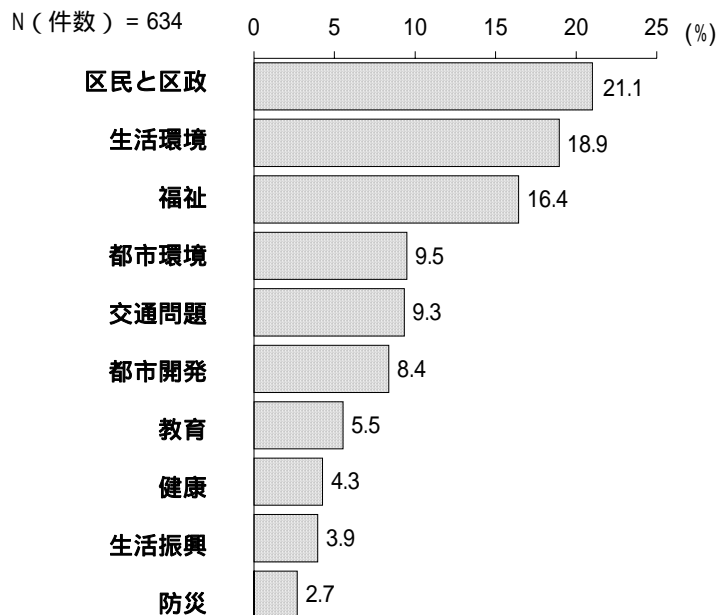
第19位	第20位	第21位			
官公署	5	複合施設	1	その他	31
区役所	3	複合型大型施設	1	既存施設の有効活用	5
行政チェック機関	1			施設の充実	3
区主催のイベント公示徹底	1			施設よりも行政サービスの充実	3
				活性化に繋がる施設	2
				施設の分散化	1
				どこでもインターネットができる環境	1
				無駄な施設や予算合わせの各種工事を見直すことが先決	1
				他区の良い点を見習う	1
				教会	1
				行政サービスは最小限利用、自助努力が必要	1
				会場が少ない	1
				野菜の直売販売機の支援	1
				仕事を増やし遊び人を減らす	1
				経費をかけず、清潔で安全な施設	1
				技術系とか物を育成する施設	1
				捨て犬・猫の里親捜しのための施設	1
				献血がいつでも出来る場所	1
				高次の視野による施設の拡充	1
				子どもと一緒に食事が可能なレストラン	1
				施策の設置は増税につながる	1
				子どもが利用できる公衆電話設置	1
				本質が伴わない施設は要らない	1

(3) 区政に望むこと(自由意見)

問23 現在、あなたが区政に対して望むことがありましたら、ご自由にお書きください。

<図表13-7> 区政に望むこと(自由意見)

回答率 32.3%(438人)
件数 634件



区政全般について自由意見を聞いたところ、回答率は32.3%(1,356人中438人)、件数では634件となっている。

内容は次ページからの個別広聴分類一覧表の項目ごとに分類している。

区政に望むことでは、「区民と区政」が2割を超え最も多くなっている、次いで「生活環境」(18.9%)、「福祉」(16.4%)、「都市環境」(9.5%)となっている。(図表13-7)

個 別 広 聴 分 類 一 覧 表

内 容 分 類	件 数	内 容 分 類	件 数
1 生活環境	120	6 福祉	104
1 環境浄化	18	1 熟年福祉	21
2 公害	6	2 障害者福祉	5
3 緑化	13	3 児童福祉	56
4 公園・子どもの遊び場	15	4 生活援助	10
5 リサイクル・ゴミ	24	5 年金	0
6 安全・安心	44	6 福祉一般	12
2 都市環境	60	7 生活振興	25
1 上下水道	0	1 コミュニティ	8
2 道路整備	23	2 住宅	8
3 都市ガス	0	3 産業経済	9
4 電話	0	4 生活振興一般	0
5 郵便局	0	8 健康	27
6 警察	0	1 施設	11
7 消防署	0	2 助成	9
8 街路灯	6	3 健康診断	3
9 公衆手洗所	3	4 医療保険	0
10 駐車・駐輪	26	5 健康一般	4
11 都市環境一般	2	9 教育	35
3 交通問題	59	1 学校教育	22
1 鉄道	12	2 施設	7
2 バス	28	3 社会教育・体育	3
3 交通安全	6	4 教育一般	3
4 交通問題一般	13	10 区民と区政	134
4 都市開発	53	1 区政一般	59
1 街づくり	26	2 職員	14
2 道路	9	3 広報・広聴	17
3 河川	11	4 区民施設	10
4 建築規制	3	5 議会	2
5 都市開発一般	4	6 選挙	0
5 防災	17	7 税金	29
1 防災対策	8	8 ボランティア	3
2 災害対策	9		
3 防災一般	0		
		総 件 数	634

1 生活環境

分類	具体的内容	件数
1 生 活 環 境 120 件	1 環境浄化	18
	・ 私にも小さな子どもがいるので、危険な歩きタバコはなくすような対策をとってほしい。	1
	・ 歩きタバコや空き缶などゴミ投げ捨てと放置に対して、罰則を与えてもよいと思う。なぜなら、最近特にモラルの低い人たちが増えたと感じるため。	1
	・ 路上喫煙の禁止。	1
	・ 路上喫煙を浦安市みたいに取り締まってください。	1
	・ 歩きタバコ禁止条例をつくってほしい。先日子どもがそのせいで手にやけどを負いました。以前、それで失明した子もいたはず。江戸川区は子どもがたくさんいるので、そのくらいの配慮をお願いします。罰金を取って、乳幼児医療の拡大につながればと思います。	1
	・ 禁煙条例を制定してほしい。	1
	・ 駅や駅周囲が綺麗ではない。タバコなどのポイ捨てが多く、厳しく取り締まってほしい。できれば禁煙地域みたいにして、タバコは吸ってはいけない場所にしてほしい。	1
	・ 路上喫煙の取り締まりの実施をしてほしい。	1
	・ 歩きタバコはやめてほしい。他の区のように禁止をしてもらいたい。	1
	・ 道路上にゴミやタバコの吸殻（火がついたまま）を平気で捨てていく若者達や歩道を自転車で走り歩行を妨げる輩を注意（できれば取り締まり）するようにしていただきたいと思っています。	1
	・ 野良猫にえさをやらない 犬の糞始末、犬のリードを離しての散歩。	1
	・ 犬糞公害で悩まされています。犬の嫌いな人もいます。それなのに、路上の後始末をしなければならぬのは困ります。こんなことで条例を作るのはばかげているけど、マナーが悪すぎます。ぜひ検討してください。	1
	・ 二之江第三小学校に通う通学路である新川の「人道橋」という橋、よく犬の糞もあるし（下面が）とても汚い。子供が毎日通る道なので、きれいにしてほしい。	1
	・ 鳩に餌をやってはいけないことを周知してほしい 公園で弁当を広げたりすると、鳩が群がって、子どもが怖がり食べられない。	1
	・ 野良猫が多いので、困っている。自分の飼い猫でもないのに、庭で死んでいるのを区で処理してくれないのでどうにかしてほしい。	1
	・ 動物のための条例の設置を（安易に売らないや、基本的な飼い方を知らない人は法的に飼えないようにする。捨て犬・猫をした人には厳しく罰則をつくる等）また野良猫の避妊手術の助成も行ってほしい。品川区などでは既にやっています。	1
	・ 環境の浄化。	1
	・ 街路の植え込みの清掃。	1
	2 公害	6
	・ 夏の土手でやる爆竹がうるさい。	1
	・ 夜中まで外がうるさいことが多く、怖く感じることもある。	1
	・ 昼の飛行機の音がうるさい。	1
	・ 南葛西少年野球場がうるさすぎ。「朝9時から」の約束のはずなのに、大分前の時間から、子どもだけでなく、コーチの音が響き渡っている。誰が管理する立場なのかわかりません。	1
	・ 住宅街に大型トラックの通行は禁止するか規制してほしい。地響き（朝、夜）うるさすぎる。	1
	・ 近隣店舗の換気扇の騒音と悪臭を解決してほしい。	1

分類	具体的内容	件数
1 生 活 環 境 120 件	3 緑化	13
	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸川区には自然と緑がたくさんあることが区内めぐりで知りました。自然と緑を大切に維持していただきたいと思います。江戸川区はとても住みよい区だと思います。子供たちにもいろいろな面でも大切さを維持してほしいと思います。 ・都心に近いせいか、緑が少なくなっています。 ・街の緑化は続けてほしい。 ・緑が少ない。 ・緑を増やそう。 ・もっと緑を増やしてほしい。 ・もっと緑化の推進（公園内、街路樹、その他街並みのいたる所） ・緑と水の豊かな地球にやさしい街。 ・緑地。 ・水辺や木の多い親水緑道等の環境整備。 ・あまりにも、画一的に整備されすぎていて、むしろ冷たさを感じる町並みが多くなってきた。昔ながらに生物と共存できるような形の公園や川縁にはできないのでしょうか。 ・一部住民の枯葉への苦情などで、むやみやたらと樹木の伐採をすべきではない。 ・家の前の道路が桜並木ですが、定期的に（1ヶ月）清掃・手入等をしてもらいたいです。（道路が常に汚い ゴミの不法投棄を増やしている原因になっている） 	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	4 公園・子どもの遊び場	15
	<ul style="list-style-type: none"> ・最近近所の公園がなくなった。子どもの遊ぶ場所をなくさないでほしい。 ・神社の近くに公園があるが、裏通りで子どもたちを遊ばせていて心配なときがあるので、明るくして人通りの多い場所をお願いしたい。 ・私事ですが、火葬場公園がゲートボール場化されて、子ども達が邪魔にされ、遊べるスペースがなくなり困っています。 ・各地域に子どもたちが自由に安心して過ごせる場所を多くつくってほしい。 ・公園。 ・公園が増えましたが、中途半端な造りのものが多い。 ・公園が使いにくい。 ・小学校高学年から中学生が遊べる広い公園がない。サッカーや野球などができる公園をつくってほしい。 ・遊具の少ない広い公園の近くに住んでいるが、今頃からの夏場は21時頃から休みの日などに花火をする子供（高校生ぐらい）が多くいます。周りは住宅街なので、ロケット花火などがベランダに落ちていたり、うるさいので、防災の面からもパトロールとかの巡回をしてほしいです。警察に連絡してもすぐには来てもらえず困っています。 ・もう少し公園を増やしてほしい。 ・公園に木を植えてくれるのは良いと思うが、もう少し枝などを切ってほしいです。大きすぎて、公園の中を歩くのは怖い。 ・江戸川区は公園や緑が多く、大変住みやすい良い区だが、医療の面からも充実していると思います。ただ公園の電球がすべて消えていたり（夜も真っ暗）管理の面を定期的をお願いしたいです。公園にゴミ箱を置かないのも持ち帰りしない人が多く、ゴミだらけの公園をよく見ます。 ・子どもが利用できる小さい公園の安全、整備が不十分です（浮浪者らしい大人の出入り、遊具へのいたずら防止） ・私が子どもの頃にあった、草ぼうぼうの空き地があれば、子ども達がキャッチボールなどできる。何も無い空き地をつくってください。 ・子ども達が安心して遊べる場所（見通しのよい） 	1 1

分類	具体的内容	件数
1 生 活 環 境 120 件	5 リサイクル・ゴミ	24
	・ ペットボトルもごみ捨て場で回収してほしい。	1
	・ ペットボトルの回収。	1
	・ ペットボトルを缶のように週1回でもいいから、ゴミ集積所で回収してほしい。	1
	・ ペットボトルの回収をごみの収集と同様にしてほしい。	1
	・ ゴミのリサイクルが発達しているわけですし、ペットボトル回収をスーパー、コンビニだけでなく、地域に回ってきてほしい。	1
	・ ゴミの分別をもう少し細かく分けるべきだと思う。(ペットボトルなどスーパーに集めるだけでなく、回収をしたらどうでしょうか。)	1
	・ リサイクルのことですが(ペットボトルなど)スーパーまでもっていくのでは、資源ゴミとして回収してくださるととても良い。	1
	・ 分別ゴミを心無い業者やホームレスが早朝から盗まれるので、対策を願いたい。	1
	・ 資源ごみの持ち去り対策をしてほしい。	1
	・ 区政ではないのですが、毎週リサイクルとして出ている缶や新聞等の資源をある業者が何度も車できて持って行ってしまい、区の係の人が集めに来たときにはもうないという状態。そのような類の業者を取り締まってほしい。	1
	・ 資源ゴミを区とは関係のない業者がもって行ってしまっているようなので、そこを改善してほしい。	1
	・ 資源ゴミ(新聞や缶)の回収の日に一般業者の人が資源ゴミを取って行ってしまおうのはどうだろうか。区で集めているものなので、しっかりと区の法律をつくってほしい。	1
	・ 食品トレイ、牛乳パック、ペットボトルなどのリサイクルボックスの設置を。	1
	・ リサイクルに区民みんなが協力しているのに、他の人が自転車の前後に大きなビニールに入れ、大量に持ち去ってしまう。それもアルミ缶だけ。注意しても反論してくる。お金にならないスチール缶だけを回収にきても赤字になるのでは? 対策を考えたほうが良いと思う。	1
	・ 子どもが着られなくなった服はリサイクルショップやフリマでも売れないことがあって捨てるしかないことがあるが、年に何度か資源ゴミで有効利用できないものでしょうか。	1
	・ 家庭の不要品(家電製品)を回収して、リサイクルの役割を果たしていただくと有り難い。民間の中古品回収業者が軽トラックで巡回しているのをよくみかけますが、業者の信用が不明のため、不要品を提供することを躊躇しがちです。区の実施であれば安心して提供できます。	1
	・ リサイクルを各店に義務づけるように。	1
	・ 区民がもっと「景観を美しくしよう」という意識を高めなくてはいけないと思います。植え込みなどでゴミがありすぎます。マンション暮らしの人が多いせいか、住まいの目の前の道に落ちているゴミを拾う人がいません。公園でも小学生が平気でゴミを捨てていきます。注意したら、遊具の中に隠して帰ってしまった。区内の学生、児童も校外のゴミ拾いをするべきだと思う。公園に再びゴミ箱を設置することはできないのでしょうか。	1
	・ ゴミに対する意識の低い住民が多すぎると思います。収集日以外に出すのは当たり前、粗大ゴミの不法投棄も多い。自分のゴミではないのに粗大ゴミシールを当方で負担して回収に出したことも何度かあります。区で何とかありませんか。	1
	・ 可燃ゴミの収集場所(収集ボックスなどあると見た目も良い)	1
	・ ゴミの回収の改善 他区・他県に住んだ者として、江戸川区が一番悪い。可燃ゴミの回収日が少ない。 ペットボトルの回収がない。	1
	・ 違法駐車とそのドライバーが捨てていくゴミが目につく。厳しく対処してほしい。(区政に望むべきではないことかも知れませんが)	1
	・ 横浜市がG30を行っているが、江戸川区でもやってみてはどうか。	1

分類	具体的内容	件数
1 生 活 環 境 120 件	<ul style="list-style-type: none"> 近所のボランティアの方がかもしれませんが、毎朝、公園の掃除をしてくださる人がいて、きっと気持ちよく子どもたちも遊んでいると思う。ゴミをそのままにしてしまう子ども、若者、他が少なくなればと望みます。 	1
	<p>6 安全・安心</p>	44
	<ul style="list-style-type: none"> 小学生の子どもをひとりで歩かせることができない町になってしまい悲しい。防犯対策はまだまだ徹底して工夫も必要だと思う。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを対象とした犯罪が全国的に増えており、登下校等非常に安全対策について危惧しています。ぜひ子どもの安全対策について強化をお願いしたい。(集団での登下校の徹底やスクールバスの導入等) 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 小学校等、子どもが多くいる所に防犯カメラを設置してほしい。他区ではかなり進んでいるようですが、江戸川区はまだ遅いような気がする 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 各公園の中に1人ずつ指導員がいたら親は安心して遊ばせることができる。高齢者の方が掃除しているので、そのまま指導(声かけ)してくれたりすると安心です。教職員についての方々に退職された方が指導員になってくださると子どもの為にもなると思います。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 防犯対策を強化してほしい。シルバー人材を活用し、パトロールしてはどうか。子どもを安心して外に出せる街に。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを狙った犯罪が多発している(江戸川区以外で)江戸川区で発生しないよう地域ぐるみで子どもを守っていけるようにしたい。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 近年の子どもを狙った犯罪の凶悪化等目にし、子どもを取り巻く環境を見直しもりたいと実感することが多くなってきました。区でも他の自治体で導入している、学校内警備員の常駐、緊急時における保護者へのメール配信、登下校時のIDカードによる保護者へのメール等をお願いしたい。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> もっと安心して子どもを散歩させたい。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会に望む 最近、小学生に対する事件が多発している中、通っている学校においては、何も対策がとられていない。全然、改善がみられない。登下校等、集団下校すべき。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 防犯対策として、最近子どもをねらった犯罪が増えているので、小学生一人ひとりに防犯ベルを無料配付するなど。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> JR小岩駅周辺の風紀 特に夜は女性一人では危険。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 区で行ってくれるパトカーのようなパトロールの車、あの車が110のナンバーっておかしくないですか。なぜナンバーが普通の車のようになっていないのでしょうか。本物のパトカーだって、ナンバーがあるのに。特別扱いのようです。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 防犯 安心して住めるまちを目指してほしい。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 防犯対策。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 防犯対策を願いたい。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 細道でまだ夜が暗く怖い道があるので、他の区であった青いライトに変更してほしい。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 外国人が多すぎる。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 地域の安全、特に駅周辺の不審者、店など、誘惑の多い環境など注意して見守る政策など考えてほしい。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 市川市では老健元気のためのサポートとしてアジア地域へ呼びかけ、日本国内組織の支部及び着任ITの八幡事務局が全国トップクラスのレベルを生かした児童・学生地域住民の犯罪防止のため、青いパトカーを120台に増加して巡回そして防犯カメラの設置を市内に張り巡らす計画で安全な学園・文化都市づくりを目指すとのこと。全国で殺人事件が毎日聴かれる現代社会、江戸川区でも参考になるのではないかと。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺の治安が悪すぎます。病院などあり、子どもたちが(高齢者)ゆとりをもって歩ける町にしてほしい マナーの悪い人が多すぎます。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 駅前の景観が悪い(船堀駅)競艇があるせいか、酔っぱらいやホームレスっぽいのがいる。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 現在、出産を控えており、区による子育て支援や地域住民が参加する防犯パトロール等の活動が盛んで心強いと思います。これからますますの拡充を望みたいと思います。 	1

分類	具体的内容	件数
1 生 活 環 境 120 件	・ パトロールの強化と防犯カメラの設置。	1
	・ 街中に防犯カメラなどもっと多数取り付けて安全強化を。	1
	・ 主な通学路に防犯カメラ設置。	1
	・ 治安。	1
	・ 治安をよくしてほしい。	1
	・ 治安の回復。	1
	・ 防犯上、パトロールを強化してほしい。	1
	・ 都立篠崎公園内での防犯・パトロール（夜間）の強化。	1
	・ 夜のパトロール。	1
	・ 朝、昼は治安がいいのですが、夜になると駅周辺の治安が悪すぎて歩くのも怖いので、もう少し夜の方にも重点を置いてほしい。	1
	・ 駅の周辺以外、特に谷河内1丁目、新堀辺りは夕方になると、あまり人が歩くことのない、少し物騒なので夜遅くなると、こわい。パトロールを強化する等、犯罪をもっと防止し、より安全な街づくりを望みます。	1
	・ 昔に比べ、人口が増えているのに交番が少ないような気がする。	1
	・ 治安の向上：最近区内での犯罪、事件などの報道が増加してきている。	1
	・ 難しいことはよくわからないけれど、最近江戸川区での犯罪とか事件がニュースでよく見かけます。そのたびに怖いなあと思います。警察の方をよく見かけるが、自転車の防犯登録の確認ばかりで少し不安。	1
	・ 防犯。	1
	・ 防犯対策は怠ることなく、積極的に行ってほしい。	1
	・ 安全なまちづくりのために、防犯対策をもっとしてほしい 最近怖い人がたくさんいます。	1
	・ 子ども達の安全確保のために、シニアを組織化するなど実効策を。	1
	・ 西葛西駅周辺の治安（夜のスケボーや外国人の立ちんぼ等）	1
	・ 他の地域に住んでいたこともあるので、よくわかるが治安が悪い。ひったくり、痴漢、自転車盗難に身内があっっていて安心して住めない。防犯対策をもっと強化するべき。	1
・ 西葛西や葛西の駅前などの治安をよくしてほしい。	1	
・ 子どもの安全（防犯）	1	

2 都市環境

分類	具体的内容	件数
2 都 市 環 境 60 件	2 道路整備	23
	・ 道路をもう少し整備してほしい。	1
	・ 道路の整備（段差なし、バリアフリー）を進め、歩道・自転車道をつくってほしい。	1
	・ 道路の整備。	2
	・ 道路などの都市基盤整備。	1
	・ 早朝に板橋区に出かける用事があったが、ゴミひとつない状態で、道路が本当にきれいで、緑も多かった。	1
	・ 歩道の整備（高齢者、障害者、小さな子ども等とっても歩きづらい）	1
	・ 道路・歩道がでこぼこで歩きづらい。	1
	・ 個人商店が品物を歩道に並べ、買い物客が道いっぱい立つので、通れない。決まった店なので、もっと厳しく取り締まってほしい。	1
	・ 店舗が歩道の幅の半分を占有しているところが多い。花屋が花を出している。バイク屋がバイクを並べている。そのため、歩行者がすれ違うことができない。車いすが通れない。	1
	・ 歩道の整備で安心して通行できるように	1
	・ 歩道が狭く、車や自転車と一緒に危険な場所が多い。ガードレールもないところなど。	1
	・ 車道と歩道の段差を解消してほしい。	1
	・ 歩道に車を止めてあったり、私物、店の物が出てたりで歩道がせまくなってしまう所があります。子ども連れ（ベビーカー）、目の不自由な方など困っています。歩道の整備を願います。	1
	・ 歩道と歩道の間段差があり、自転車で走りづらいと同時に、電動車いす、車いす、ベビーカーを使用している方は更に不便だと思うので段差をなくしてほしいと思う。小さな段差で困っている方がたくさんいると思う。	1
	・ 歩道の整備を望みます 葛西駅周辺の歩道は雨が降ると水たまりがたくさんできて、とても歩きにくいです。雨が降っていなくてもでこぼこして歩いて歩きにくいです。早急に整備をしていただきたいと思います。	1
	・ 道路脇の植え込みの手入れ。	1
	・ 商店街の歩道、自転車や店の看板、せまくて歩けない 体の不自由な人は歩くのに困難、何かあった時にはパニックで大変なことになると思う。	1
	・ 駅まで自転車を利用してるが、車道から歩道に上がる時に少し削られている部分をもう少し緩やかにしてほしい。急に斜めになっていて、自転車で歩道に上がるときとても危険だと思います。	1
	・ 危険な道が多い（いつ事故が起きてもおかしくない場所が多々ある）。	1
	・ 街路樹。	1
	・ 施設ではないけれど、高齢者が歩いて外出した時にすぐに休めるベンチ等。	1
	・ 静かな街の環境の中に、大きな道路をつくらないでほしい。	1

分類	具体的内容	件数
2 都 市 環 境 60 件	8 街路灯	6
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 街灯を増やしてほしい。 3 ・ 街灯も何年経っても暗いまま。 1 ・ 街灯などの周辺をスッキリさせてほしい。 1 ・ 街路灯、照明灯の整備（暗いと感じる場所が多すぎる）。 1 	
	9 公衆手洗所等	3
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公衆トイレを増やす。 2 ・ 水飲み場。 1 	
	10 駐車・駐輪	26
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通学路の路上駐車重点取り締まりを願う。 1 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小岩駅前の駐車場ですが、現在利用していない。理由は利用料が高いからです。区に在住してそのメリットで安い利用料で使っていた頃は、これから社会人になっても結婚しても、ずっと住みたいと思いましたが、今はその限りではありません。働き盛りの、これから区を支えていく者にも平等に恩恵がなければ、皆離れていくでしょう。江戸川区は高齢者と義務教育の子どものいる家庭には、さまざまな利点がありますが、それを土台から支える私たち 20 代、30 代、40 代、50 代の単身者達にも目を向けてください。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ （小岩に住む者として）JR小岩駅南口のロータリーやフラワーロード、区役所通りは違法駐車がひどい。何年も何年もまったく改善されない。警察もやる気がないようです。理由の如何に関わりなく、バス、タクシー以外すべて除去できないか。うんざり。放置自転車もすぐ捨てて欲しい。都と警察署にしつこいぐらいやってもらうよう区も働きかけてほしい。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校、公園、周囲の路上駐車を取り締まりを願います。学校に頼んでも、なかなか減らずにいて困ります。小さい原因がふくらんで、大きな事件になるので、その前に対策をとってほしいです。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場の事で一言、何でもかんでも駐車悪しきでは企業の方々の迷惑になっているのではないか。商店街の一定の所に何台か駐車スペースをつくってあげるべきだと思います。道路沿いに何台かの駐車スペースを作ってあげるべきだと思います。道路沿いに何台かの有料パーキングを望みたいです。人口が増すということは車も増し、その割には船堀商店の一時駐車場がない。決めた所に駐めてもらう。そういう場所をつくってほしい。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路駐の取り締まりをしてほしい。 1 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前の駐輪場が少なすぎる。高齢者は重たい荷物を持って徒歩では移動できない。区役所ではどのようにお考えでしょうか。 1 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放置自転車をなくすことと、駐輪場の増設。 1 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐輪場の使用料が急に高くなりすぎる 1年間2千円から1ヶ月2千円弱はやりすぎだと思う。 1 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐輪場の値段を安くしてほしい。 1 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車置き場をふやしてほしい。 1 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無料の駐輪場を増やしてほしい。 1 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車置き場の料金が高すぎる。違法駐輪を見回る方々に支払わないといけないのかもしれませんが、利用する側のことも配慮してほしいと思う。 1 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車対策 高架下の駐輪場が増えたがそこまで行く人は少ないので、効果的ではない。 1 	

分類	具体的内容	件数
2 都 市 環 境 60 件	・ 道路の自転車が非常に邪魔に感じる事があるが、スーパーや店舗に入ろうとすると、自転車を駐める場所がなくて困るのもまた事実です。区から店舗に十分なスペースを作るよう働きかけてもらいたい。	1
	・ 駅周辺の歩道の駐輪が多すぎて、高齢者や障害者にとって歩きにくい状況です。災害時にも影響を与えると思うので、駅周辺の駐輪を何とかしていただきたいです。	1
	・ 区でも違法駐車、駐輪を減らす対策をしてほしい。小岩のフラワーロードは違法駐輪が多く、小さな子どもを連れていくのがとても危険で不便（ベビーカーも通れない時がある）	1
	・ 江戸川区の運動会は、保護者の参加に自転車を認めているのか。周辺住民に目を考えずに自転車を置くのに、年に3～5回ある。毎度、あまりの非常識に腹立たしい。	1
	・ 自転車置き場に正しくとめていない人が多く、登録しているのに駐車しづらい事が多い。	1
	・ 放置自転車の対策をしてほしい。歩行にも邪魔で、何よりベビーカーや車椅子の方に大変迷惑だと思う。	1
	・ 歩道の駐輪が多すぎる。自転車が止められない歩道の構造（ポール） 駅に隣接する公営駐輪場など必須。	1
	・ 駅前等の放置自転車を何とかしてほしい（個人のモラルでもあるが）。	1
	・ 駅前の自転車、駐輪場があるのに、なぜとめないのか。個人のモラルの問題だと思います。歩道に駐輪している自転車は強制撤去してください。	1
	・ 西葛西駅前の路上の自転車をどうにかしてほしい。	1
	・ 駐車を充実してほしい（コインパーキング）。	1
・ 店舗には駐車・駐輪スペースを確保させるよう義務づけが必要ではないか。	1	
11 都市環境一般		2
・ 外国人が増えすぎて街の雰囲気異常に映る。規制してほしい。外国人街の形成を阻止してほしい。	1	
・ 臨海地区にはマンションが多く、緑も多く、道も広いので、一見きれいな街のようですが、その分周囲との関わりが少なく、夜は人通りも少ないので、怖いです。なのに交番が見あたらないのもとても怖いし、空き地も多いので、これも怖いです。空き地をもっと活用してスポーツ施設（例えばプールなど）を作るなどすれば、人通りも多くなり、もっと賑やかになるのではと考えている。	1	

3 交通問題

分類	具体的内容	件数
3 交 通 問 題 59 件	1 鉄道	12
	・ 区内での交通機関の充実 小岩 葛西などの縦の交通が充実していない。鉄道などが通ればと思う。	1
	・ 区の南北を結ぶ鉄道。	1
	・ メトロセブンはどうなっているのか知りたい。	1
	・ メトロセブンの開通が早く運ばれることを願っている。	1
	・ 新小岩と小岩間に駅をつくってください。	1
	・ JRで快速が止まる駅がない。	1
	・ 環七に電車を。	1
・ りんかい線の延長	1	

分類	具体的内容	件数
3 交 通 問 題 59 件	・ 西葛西駅の東西線快速をなくしてほしい。せめて朝のラッシュの快速をやめてほしい。交通の便利な区にしてほしい。	1
	・ 葛西地区に交通網が集中していると思う。新小岩駅 松江 葛西を通る地下鉄はいつ実現するのか。	1
	・ 東西線を快適にしてほしい。	1
	・ 東西線の利用者数の異常な多さに対する働きかけ。	1
	2 バス	28
	・ 小岩から葛西方面への直通バスがないので、路線の整備を。	1
	・ 南北方向の移動が不便なので、J R 葛西臨海公園 京成小岩のバスルートを開設していただくよう尽力を願いたい。	1
	・ 区を縦貫するバス等の交通機関を整備してほしい。	1
	・ 区内を南北に縦貫するバス路線の頻度（本数）を増やしてほしい。他区で実施している100円バスの形式でも良い。	1
	・ 現在、バスを使用することが多いが、例えば松江から南葛西へ1本で行けるバスが非常に少ない。また、区役所や総合文化センターの場所が利用するのに不便なところがあるので、行かなくなるなど、北と南が分断されている。	1
	・ 交通機関で都バス、京成バスの路線や環七の下を走る地下鉄があれば南、北行きが楽になると思う。現在は都心乗り換えなどで、大回りになっている。	1
	・ 区内での移動が不便。地図からみて横に走る電車が多いのに対して、縦に走るバスなどが少ないし、走っているところが限られてるように思う。	1
	・ バスの本数が少なくて困っています。	3
	・ 朝のバスの増発。	1
	・ バス路線の拡充。	1
	・ 都営バスの運行範囲を広げてほしい。	1
	・ 深夜バスがほしい。	1
	・ 都バスの営業時間改正（深夜帯）	1
	・ 都バスの高齢者バスを使っているが、船堀発の最終バスの時刻を遅くしていただくと助かります。主人が仕事で都心に出かけており、また私も地方の実家に親の介護で行っているのです。	1
	・ 興宮地区は不便なのでバス停があるといい。	1
	・ 高齢者・乳幼児を持つ母親などが自由に移動できる交通システム（停留所なしのマイクロバスなど）	1
	・ 居住地の周辺は交通の便が悪く、葛西橋通りという大きな道路に面しているがバスが通っていない。タクシーも拾いづらい所で駅まで歩いている。	1
	・ 小岩駅へのバスがないこと。	1
	・ 交通機関無料バス制度の実施（70歳以上）。	1
	・ 船橋駅北口のようなバス専用のターミナル（別系統でも同方向の路線バスに乗りやすい）。	1
	・ 小松川1～3丁目は、買い物の面で不便さを感じます。また、これは都の運営になっているが、東大島～小松川、東大島～小松川～平井へのバスが終了時刻が早いのではないかと思います。	1
	・ バスを全てノンストップとしてほしい。	1
	・ 無料（100円程度）の循環バス	1
・ グリーンパレス、区役所、スポーツセンター等を巡る巡回バスの運行、歩行者優先の街作り（駅前だけでなく駐車スペース、駐輪スペースを考慮した建物とする）。	1	

分類	具体的内容	件数
	<ul style="list-style-type: none"> 交通手段の不便な地に住んでいるため、現在の居住地に今後住み続けられるか不安です。コミュニティバス等または、デイケアセンターの所有する不使用時に利用させていただくシステム等妙案はないものか。この地域は人口密度が高く高齢者の住人の方も多いとのこと。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 交通弱者向けに特化したコミュニティバスを実現して欲しい。車では10分程度で移動できるのに、公共交通を使うと4～5倍の時間がかかるというケースも少なくない。そうした弱点をカバーするのがコミュニティバスだが、「誰でも乗れる」というのでは、過度な期待から乗り切れなくなるケース（足立区の「はるかぜ」の一部路線）があるので、過疎地にみられるデマンド交通（ジャンボタクシー～）のように登録制とし、かつ利用年齢を限定する事で、お年寄り、障害者、小学生以下の子どもが安心して乗れる移動手段ができるのではないかと。メトロセブンよりこういうサービスを待っている人が多いと思う。 	1
	3 交通安全	6
3	<ul style="list-style-type: none"> 他区と比べ住みやすく、いろいろ充実しているので、とても良いと思う。ただ通勤族の出入り等も多く、単身者も多いので、仕方がない部分も多いと思うが、交通ルールの悪い人が多い。自転車とか（信号無視、飛び出しが多い）が良くない人が多いので、学校で自転車の乗り方（歩行者は石、自転車は左側通行とか）とかを教えるとか、注意するような事が増えると良いと思う。道路（歩道）がでこぼこしている所が多い。 	1
交通	<ul style="list-style-type: none"> ドライバーのマナーが悪い。 	1
問題	<ul style="list-style-type: none"> 自転車も歩きの自分にとってはかなり迷惑 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 清新町サポートセンターそばの交差点では交通事故が多発している。陸橋が出来て歩行者はよくなりましたが、相変わらず自転車は信号無視している。常識ない人にも責任はあるが、交差点の作り方に大きな問題があると思います。歩行者がサポートセンター側から公園まで一度でわたれるよう（スクランブル交差）した方が、事故は減ると思います。子ども達を守るためにも検討をお願いします。 	1
59	<ul style="list-style-type: none"> 自転車の無灯火が多すぎる。たまにはパトロールをしてください。 	1
件	<ul style="list-style-type: none"> 学校の周りの交通量の多さ 安心して登校できるように 	1
	4 交通問題一般	13
	<ul style="list-style-type: none"> 交通の便をもっとよくしてほしい。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 買い物、交通の便があまりよくないと思う。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 葛西方面に行くのが不便。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 千葉との境では交通の便が悪い。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 篠崎近辺駅よりの葛西方面への交通の便が悪いので、もう少し便利にしてほしいと思います。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 区の境にいるため不便。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 江戸川区の花火大会の時の交通の便をもっとよくしてもらいたい。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 南北の交通を便利に。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 知人などが来られてサイクリングしたい時など、手軽に借りられるレンタル自転車を導入してほしい。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 東京臨海病院へ行けない（何回も乗り継ぐ）。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 小岩から船堀の保健センターへ行けない。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 各種交通機関の充実。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 渋滞問題。 	1

4 都市開発

分類	具体的内容	件数
4 都 市 開 発 53 件	1 街づくり	26
	・ 安全なまちづくり。	2
	・ 安心して住める、税金、住まい、交通。	1
	・ 安全、安心まちづくり、ありがとうございます。これからも安全な江戸川区でお願いします。	1
	・ 安心して住めるようにしてほしい。	1
	・ 子どもが安心して遊べる街。	1
	・ 町の安全と美化。	1
	・ 都市、町並みの環境デザイン。	1
	・ 施策が高齢者、子どもに偏りがち。若者や中年にとって魅力ある区にしてほしい。	1
	・ 住みやすいところになってほしい。	1
	・ 芸能人を呼び、まちおこしをする。	1
	・ 起業しやすい風土にしてほしい。区でセミナーをしたり、家賃の低いビルを造るなど	1
	・ 小松川1丁目を見直してほしい。何かと江東区の方が近く便利なのでなんとかしてほしい。	1
	・ 今後も人口は増えると思うが、このままいくと不便なことも多々発生すると思います。交通をはじめ、対策が必要だと思います。	1
	・ 都市基盤整備 電柱撤去。	1
	・ ハード・ソフト両面での環境保全とユニバーサルデザイン。	1
	・ 子ども達を含め若い人たちが誇りをもって「私のふるさは江戸川区」と言うことができるまちづくり。	1
	・ いらない施設（たとえば葛西駅の横断歩道）をつくらないこと。	1
	・ 「古川親水公園」に代表される街並のデザインに貢献してください。	1
	・ 今もきれいな街ですから、もっとキレイな街にしてほしいです。	1
	・ 住みやすく、日々生活が安定している人生が送れる江戸川区に、今後も暮らしていきたい。	1
	・ 江戸川区はとても住みやすい街で大好きです。これからも住みよい街づくりをお願いします。	1
	・ 学ぶ機会、運動のできる場所のある文化的な街。	1
	・ いざという時（病気、災害等）に強い街など、何世代にわたり住み続けたいと思える街作りをお願いいたします。	1
	・ 隣接市との間の川に、橋をかけてほしい。	1
	・ 都市整備、衛生の観点から見ても、多角的に環境に対しての取り組みをもっと充実してほしい。より水準の高い安全性や環境基準が達成できる街作りを期待する。	1
2 道路	9	
・ 信号設置。	1	
・ 船堀駅前の交差点の信号が変わる時間が長すぎる 車ではなく住民を優先してほしい。	1	
・ 消防車が通れるよう、道路の拡張を早急に進めてください。	1	
・ 小岩駅前、昭和通りの車両通行止めを願う。	1	
・ 国道14号線の工事が終わらないと、通行しにくいので早く終わってほしいと思います。	1	
・ 散歩道が地区に1、2カ所あるといい。	1	
・ 自転車専用道の設置。	1	

分類	具体的内容	件数
4 都 市 開 発	・ 足が悪いので（歩くのに）道路が狭い。そして駅などカートや自転車がおけるようにしてほしい。特に障害を持っている人に。	1
	・ 荒川土手の道路ですが、船堀の運河のところととぎれて船堀街道へ迂回しないと土手へ出られません。橋でつながると、とても利便性がよくなると思います。	1
	3 河川	11
	・ 河川敷の緑化・公園化。	1
	・ 新中川の河川敷での活用。	1
	・ 中川の土手の早期整備を。	1
	・ 土手を歩いていると、犬の糞が多いので気分が悪い。	1
	・ 土手をもう少し明るく（治安が悪い）。	1
	・ 川沿いの遊歩道。	1
	・ 江戸川土手や荒川土手などのサイクルロードの所々に無料の貸し自転車があれば、区民以外の人でも区の名所が巡れていいと思う。	1
	・ 春秋と土手の整備 花粉が出ると子ども達のアトピーやぜんそく、鼻炎がひどくなるので早め早めに刈ってほしい。	1
・ 水辺の清掃。	1	
・ 親水公園の川の周りをもっと明るくしてほしい。木立が多すぎて夜は暗すぎる。	1	
・ 水路は江戸川区の特徴なので、環境保全に力を入れてほしい。	1	
5 3 件	4 建築規制	3
	・ 町の景観を乱すような建物を建てないように、または違法建築物を区として、しっかり見て行ってほしい。	1
	・ 再開発と言ってあまり、昔からある古い町並みは壊して行ってほしくない。江戸川区は緑が多く、畑も多いので、あまり高い建物を狭い場所にいくつも建てないでほしい。	1
	・ 個人住宅では建坪率にうるさいのに、建売では基準を満たしているのか疑いたくなる。この件に限らず強い不公平感を抱いてしまうようなことは極力なくしてほしい。	1
	5 都市開発一般	4
・ 平等に区画整理を。	1	
・ 乱開発でなく、秩序ある町並みをつかってほしい。	1	
・ 新興住宅地（葛西等）に行くと、これが同じ区内かと驚くほど、美しく整備されている。古くから存在するが故に、整備が後回しにされているような気がする。同じ税金をとられながら納得がいけない点が多々ある。	1	
・ 現在放置されている工場跡地を何とかしてほしい（マンションは建てないでほしい）。	1	

5 防災

分類	具体的内容	件数
5 防 災 17 件	1 防災対策	8
	・ 平井地区は住宅が密集していて、高齢者が多いため、防災上整備する必要があると思う。	1
	・ 防災 安心して住めるまちを目指してほしい。	1
	・ 防災対策の強化。	1
	・ 区画整理が不十分なため、火災などに対する防災が心配です。狭い道でも乗れる消防車や消火栓の設置を充実してください。	1
	・ ゼロメートル地帯の防災対策の推進	1
	・ 防犯、防災対策の充実を望みます。	1
	・ 防災の時の水が各家庭にあったら。	1
	・ 区としての防災対策本当に大丈夫なのか。	1
	2 災害対策	9
	・ 防災（特に地震）に対して、何も対策していない家など多いはずなので、チラシを配ったりして警戒心を与えて、対策を増やしていければ理想であるのですが。	1
	・ 耐震診断の助成。	1
	・ 必ず大きな地震が来ると思うので、できる限りの準備、対策をしてほしい。	1
	・ 地震が多かったり安全対策を考えたい。	1
	・ 地震に強いまちづくり	1
	・ スーパー堤防、実行あるのかないのかはっきりして！	1
	・ スーパー堤防の話が出ているが、非現実的だと思う。他の方法で災害対策を考えて欲しい。	1
・ 災害時のマニュアルの告知（もっと広める） 避難場所、用意するものなど	1	
・ 災害対策（地震の時どうしたらいいかなど、区民まつりなどでやっているが、それを地区、町会単位でやってほしい。お祭りなどでは子どもばかり参加でお年寄りなどほとんど参加できない）大地震が起きた時、その後の立て直し費用、区民に援助するお金など準備、またはすぐに準備できるようにこの予算から出すかなど決めて公表してほしい。	1	

6 福祉

分類	具体的内容	件数
6 福 祉 104 件	1 熟年福祉	21
	・ 高齢者対策にもっと力を入れてほしい。	1
	・ 国民年金で老後の生活ができる住宅を建てて、医療も備えて安全な暮らしができる設備をつくってほしい。現在のアパートの家賃を支払うのが大変です。	1
	・ 高齢化が進む現状で今後の方針を明確にしていきたいと思っている。	1
	・ 高齢者が安心して暮らせること。	1
	・ 高齢者の心の助けとなるもの。	1
	・ 老後の安心。	1
	・ 高齢を目前に健康に不安を感じるようになった。今後は健康、病気のことが背中合わせの生活にならざるを得ません。昨今の医療に対する政府の方針では老人にやさしくなく、安心して年齢を重ねていけない。誰もが年を取る。どうぞ安心して生活していけるようご配慮をお願いします。	1
	・ 老人介護に対する補助と、安心な施設の充実。	1
	・ リバースモーゲージの活用について、検討をお願いしたい。	1
	・ 具体的には思いつかないが、年をとってもここで生活できるようになればいいと思う。	1

分類	具体的内容	件数
6 福祉 104 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余っている校舎があると思いますが、そこを幼稚園～お年寄りの集まれる居場所があるといいと思います。 ・ 老人医療施設の充実。 ・ 介護度5の認知症の両親がいても、お金がなければデイサービスも受けられず、ショートステイも受けられず、看護する家族だけが疲れている。 ・ 介護老人施設をもっと安く入れるようにしてほしい。老後が心配です。 ・ 高齢者のリハビリ施設は期限があり次を探すのも大変。介護施設はどんどん出来ているが、高額すぎる。 ・ 元気な高齢者が活動できるような受け皿が広がることを望みます。 ・ 役所のOB達でない高齢者の雇用の充実。 ・ 今後10～20年後の高齢者の福祉がとても不明なので、自分の年金生活がとても不安。60～70歳まで働ける雇用対策や生活保障を望みます。 ・ 高齢者に対する各種サービス（高齢者には優しく） ・ 祖母が病院で寝たきりのため、毎月15万～30万もお金がかかっている。家族一同で支えあっても苦しい状況です。これがもし身よりのない人だったらと思うと、区の援助がまだまだ必要です。私は江戸川区で生まれ育った。もっと温かいすてきな街になることを願ってやまない。 ・ 高齢者が住みやすい街。 	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	2 障害者福祉	5
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知的障害者の親としてぜひお願いしたいのは、親なき後の子が最低限の生活でもいいから家でもグループホームでも住んでいけること。住み慣れたこの区で一生を送らせたいと思う。 ・ 家族に知的障害者があり、現在施設に入所していますが、今回自立支援法が施行され自己負担等が多くなったり、また障害の認定基準が改悪され退職を余儀なくされかねません。なぜ施設に入らなければならなかったのかその経緯を少し考慮されて国として地方自治体として支援の強化を強く求めます。 ・ 聴覚障害で身体障害2級です。福祉のお世話になりありがたく感謝しております。出来ればお風呂付きの部屋に住めたらいいと思うくらい。 ・ 障害者に対するグループホームの拡充。 ・ 障害者の方、区役所の方見に来る3ヶ月1回ぐらい検診だけでなく、しんけいの方がいるのがほとんどです。自分でテーブルの上 食器洗うそのほか（手のとどかない所介助したいです）障害者手帳があるからとどなる その運転手さんにも、女子の方、区役所に知り合いがいるから電話するとすぐ言います。 	1 1 1 1 1
	3 児童福祉	56
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私自身仕事をしているので、子どもを保育園に預けている。保育ママにお世話になったこともあり、とても助かった。しかし保育園は幼稚園に比べると料金などの援助が弱い気がする。母子家庭でとても大変な方もいることでしょう。江戸川区は子どもが多い区ですし、子どもを預ける施設の対策をもう少し考えてほしい。 ・ 今、教育費が多くかかる時代です。小さな子への補助は江戸川区が充実していると思いますが、中学・高校生を持つ家庭への補助はほとんどありません。考えてもらいたいです。 ・ 少子化対策として育児費等の負担の軽減。 ・ 子どもの手当を増やしてほしい。 ・ 育児援助の強化（環境、資金、教育） 	1 1 1 1 1

分類	具体的内容	件数
6 福 祉 104 件	・ 子どもが4人いるが、児童手当は収入が多いため、だめでした。主人は結婚したのが遅かったので、収入が良かったのかも知れませんが、今は退職して収入が少ない。子どもが中学生になったために申請できない。主人は年金はもらえず、就職口はなく収入がない。今後どう子どもを育てていけばいいのか不安でいっぱいだ。	1
	・ 母子家庭の援助。	1
	・ 子育て対策として、児童手当を義務教育年齢まで引き上げてほしい。子どもが多いと、働きに出るのも難しい。	1
	・ 子育てに関する補助金があるが、年収に関係なく受けられるようにしてほしい。	1
	・ 都が保障してくれなくなった障害者の負担分を区で負担、軽減してほしい。区が考えてるほど育児費用は馬鹿にならないので、乳児育児金の期間を増やしてほしい。若い夫婦で収入が少ない世帯を優遇してほしい。高齢者対策はしているのに、若者、子供の対策が見えない。江戸川区は子供に優しいと言われているが、他区と比べてもそんなに変わりません。他にもあるけど、基礎がないです。住みやすいけど不満はたくさんあります。	1
	・ 幼稚園まではいろいろな面で補助が出るが、子供が大きくなってお金のかかる中学からは住みづらくなる。	1
	・ 少子化を防ぐことを旨に子供2名以上に親に毎月援助金を拠出していただきたい。(1名2万円)	1
	・ 私は生活保護を受けており、誠に感謝しております。ただ今、子どもが2時間かけて大学に通っており、なかなかアルバイトも出来ないのですが、私の昇給がある予定ですが、こんな時でもアップ分削られてしまうので、少々苦しい。このような時、ずっととは申しませんが、子どもが大学修了するまで猶予が欲しいと思っています。	1
	・ 児童手当の対象外の世帯ですが、夫婦で働き、税金を納めている。平等に手当を支給してほしい。	1
	・ 高齢の方が多いためか、その支援は多く感じられるが、子育て中の支援は薄く感じる。	1
	・ 江戸川区は子育てしやすいと聞き、居住を決めたが、実際住んでみると、とても子どもを育てられる環境とは思えないため、子どもを作ろうとは思いませんし、実際に子どもができたら、区外へ引っ越しする予定です。少しでも改善の余地はないのでしょうか。	1
	・ 保育や福祉等は従来公立でやるのが当然だったのが、段々民間になり、どうしてもそこに利潤が追求されるので、普通に考えても保育等質が低下していきます。少子化、少子化とかけ声だけで実際には結婚して働きながら子育てするのが非常に厳しくなっているのが現状です。女性も同じように残業をするようになれば、子どもは生めません。これは区だけの問題ではありませんから、子どもを産んでも働きながら保育園にあずけられるように保育料をもっと安く、パート等で働くと何のために働いているかわかりませんので、公立の保育園を充実させれば少しは少子化の歯止めになります。子育て中は残業なしとか経済支援強化とかいろいろ支援策を考えてください。	1
	・ 長年在住しているが、街もきれいで大変便利になり、区政の努力を感じられます。子育てに対する補助が充実しており、近年他から区へ転入してくる人が多くなり、昔ながらの下町風情や近所付き合いがなくなり、治安も悪くなってきた。	1
	・ 子育て世代へのサービス拡充による財政安定化。	1
・ 少子化に歯止めをかけるため、真剣に取り組んでほしい。	1	

分類	具体的内容	件数
6 福 祉 104 件	・ 少子化対策で江戸川区は現在も子どもに対しては他区とくらべよいと聞いているので、これからも維持してください。	1
	・ 学童クラブと現在のすくすくスクールは別の目的の事業、現在は一体化しており、学童クラブの子の生活の場としては不適切。きちんと常勤職員を配置し、人数に応じたスペースを確保してほしい。従来の学童クラブだけの行事、手作りおやつなどを尊重してほしい。	1
	・ すくすくスクールの内容を充実してほしい(折り紙教室、ビーズ教室、工作教室など)	1
	・ すくすくスクールでは現在、一般児童にはすくすく終了時の帰宅時間は自己責任扱いになっているが、子どもが帰宅時間に関して家族と約束を間違えたり、迎えにいく時間のやりとりなどで、行き違いになることもあったりと問題が生じているので、家庭から依頼のある生徒は、約束時間に保護者との引き渡しの出来る制度に早急に切り替えてもらいたいと願っている。地域の方との連携による安全確保も大切ですが、それ以前にもっと学校側との関係を深める安全対策を進めてもらった方が現実的であり、確実であると思います。	1
	・ 子どもをターゲットにした犯罪が多発している。放課後の子ども達の安全に関してすくすくスクール等の充実があるが、正規職員の配置が少なく、安心しきれない状況にあると思います。また職員の精神的、身体的負担も大きいです。全国的に少子化が問題になっているが、安心して子どもを産み育てられる環境や施設の整備、対応する人材の充実などが重要だと思います。そういう意味でも江戸川区はモデル的な役割を担うような施策の実施をしてもらいたいと考えます。	1
	・ 子育て対策にもっと力を入れてほしい。	1
	・ 妊婦、新生児ママ、子ども、お年寄りの住みやすい地に 今以上の支援を望みます。	1
	・ 今後も子育て支援に力を注いでいただきたい。	1
	・ 居住地区では小さい子どもを見かけない。子どもを産み育てやすい環境を望む。	1
	・ 江戸川区は緑が多く、公園も多くて子どもを育てやすい。	1
	・ 子育て支援をもっとしてほしい。	1
	・ 今、子育て中なので、やはり子育てに関すること。江戸川区は子どもを育てやすい地域ではあると思うが、仕事を続けながら、子育てにはお金がかかるので、共働きしやすい環境があれば、少子化に歯止めがかかると思います。	1
	・ 高齢者も大事ですが、働く若い方、子育ての問題をもっと真剣に考えてほしい。	1
	・ 子育てのしやすい環境整備をしっかりとやってほしい。	1
	・ 子育て対策。	1
	・ 区政としては、子育てがしやすくて良い。	1
	・ 子育てをするようになり、他の地域に住む友人には公園、保育ママ制度などがあって、本当に子育てしやすい良い所だと言われます。今後も子ども達にとって、住みやすい区であるよう望みます。	1
	・ 子育てに手厚いのは良いが、お金を出せばいいという考えはよくない。江戸川区は子どもを生みっぱなしの親が多く、教育の質も低下している。働く家庭に優しい町になってもらいたい。	1
	・ 老人ホームはもういいですから未来のある子どものために予算を大いに計上してください。	1
	・ 最近、子どもが産まれた友人が働きたいとのことで、区役所に相談に行った時に、一緒に行ったのですが、保育園等の手続きや、順番待ち、担当者の対応、どれをとってもがっかりすることばかりでした。子育てしやすい区とのイメージは昔の話だったようですね。生活保護やひとり親の家庭ばかりが優遇されていませんか。	1
・ 0歳児保育をしてほしい。	1	

分類	具体的内容	件数
6 福 祉 104 件	<ul style="list-style-type: none"> 江戸川区はなぜ区立保育園は0歳児保育を行っていないのか。延長保育も少なく、フルタイムの会社員はどう生活すればいいのか。助成を広げてもらっても、保育園を充実してもらわなければ、会社との両立ができない。至急検討していただきたい。0歳児保育を実施しないなら、無認可保育を増やすとかすべての保育園で延長を行うとか、他のメリットはないのか。江東区と違いすぎる。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 保育園をもっと入りやすくしてほしい。仕事をしている女性が多いなか、子どもを多く産めというくせに、その後のフォローがない気がする。フルタイムじゃないという理由で次男は保育園に入れませんでした。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 公立保育園で0歳児保育をできるようにしてほしい。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 希望の保育園に入園したい。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 江戸川区で生まれる子供の数がこれからも増えると思うので、やはり保育園の数を増やした方がよい。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児を持っている母親が区立保育園に預けたい。働きに出たいのですが、入園資格条件が希望と合わない。他区と比較して仕事したい人のために改善を。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 現在の保育園の選考方法を見直してほしい。育児休暇中や産休の人が優先されるのはわかるが、普通の家庭でも経済的に困っている、働きに出ないと苦しい人の事も考えてほしい。仕事に出たいのに、保育園が決まらず、働けないとか認定保育所に預けて費用がかかってはやっていられない。認定保育所でも最初の一ヶ月は補助があったり、低所得の一般家庭が少し優遇されたりすると助かります。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの人数に対して保育園の数が少ないのではないかと思います。場所によっては、100人～200人待ちと聞いた。仕事をしている人が優先なのは、もちろんだが、今後仕事をしたいという人も多数いるはず。現法では、これから仕事という人は100%利用出来ないそうだ。今の世の中、共働きは珍しくないと思うので、何とか改善される事を希望する。困っている人が多数いるようです。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 区立保育園でも0歳児保育を受け付けてほしい。2人めがほしいが育児休暇を取り、仕事を休んでも1歳になったら復帰しなければならない。そうなると、兄弟(姉妹)で異なる保育園になってしまう。仕事をしながら、2つの保育園に通わせるのは不可能に近く、たとえ可能でも会社での立場はもっと悪くなる。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 保育園の民営化はストップしてほしい。財政難で切り捨てるものではない。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> もっと認可保育園を増やしてほしい。子育てしやすい区と言われている割に、待機児童が多すぎると思う。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 自営業の人は保育園でなく、幼稚園の方になるべく行ってほしい。本当に入りたい人が保育園に入れなくて泣いています。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 少子化の時代と言うが、江戸川区は保育園、幼稚園に入れない子どもが周りにたくさんいる。公立幼稚園の2年保育も年少児からの3年保育になったら・・・と思う。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 転勤族なので、幼稚園に入るのに、とても困ったので、もっと入りやすくしてほしい。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園入園が大変すぎる。深夜から並んだり、何校も受験したり、補助が多いのは嬉しいのですが、受け入れを拡大するなど対応してほしい。 	1
	<p>4 生活援助</p>	10
	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護を受けられている方々、1日酒を口にし、ゆったり。障害者の方々も同じ。十分手当が出る上、住まいもうらやむ所。民生委員の巡回の回数アップを望む。また企業の方々の取り組み(続く上での資金面) 	1
	<ul style="list-style-type: none"> パートでは家賃を払い食べていくのがやっとなので、NHK放送受信料について収入に見合った補助があればいいと思った。 	1

分類	具体的内容	件数
6 福 祉 104 件	・ 元気に遊んでいる人が生活保護を受けて、年金生活者より、良い生活をしているのが納得できない。世の中、ずる賢い人だけがうまくやって楽をしている。	1
	・ 特に母子家庭に多いのですが、働くと生活保護が出なくなるからといって、働けるのにわざと働かない人が多くいる。私たちの血税をそんな人たちに使ってほしくありません。生活保護は障害で本当に働けない人たちだけにしてほしいです。江戸川区は生活保護が充実しているので、それ目当てに江戸川区にやってくる人には保護する必要はないと思います。働き者がバカをみるようなそういう不平等な社会にだけはしないで下さい。お願いします。	1
	・ 自営業をしていますが、将来は国民年金、夫婦2人きりで生活していくのは大変なこと。今まで年金をかけてきましたが、国民年金もかけずに生活保護を受けている人で良い生活をしている方がいるようです。もう少し厳しくしてほしいものです。それに若い人は偽装離婚をし、母子年金をもらっている人もいるそうです。(これは噂です)	1
	・ 低所得者や母子家庭に対しては充実したサービスがあるが、中所得者に対しては、税金ばかり取られ、何もサービスが受けられない。もっとこの中所得者に対してもサービスを充実してほしい。国全体がそうであるが・・・労働意欲がなくなる。生活保護者に対して甘すぎる。生活保護を受けている者の方が悠々と生活している。もっと厳しい審査をしてほしい。	1
	・ 生活保護の支給の件：まじめに人生を過ごして来た方より、生活保護で支給される額が適当でないと思う。	1
	・ 都営住宅に住んでいる方々が割と裕福な暮らしをしていることに疑問を感じる。また、生活保護を受けている人がギャンブルで遊んでいる人がいたり納得がいきません。	1
	・ 私は現在の住居を退去しなくてはなりません。年金だけでは食えないので、アルバイトをしています。都営住宅に申し込もうと思いましたが、単身者、所得が少し範囲を超える等の理由でやめました。仕事もあと何年出来るかわかりませんが、その後はどうしたら良いのか。本当の福祉を考えてください。生活保護を受けている人の中には、パチンコをしたり、飲み歩いている人をよく見かけます。働く意欲のない人が生活できて、私たちは働いて税金を納める。大きな違い、本当に困っている、頑張っている人に恩恵があってもよいのでは？	1
	・ 生活保護世帯、低所得世帯に対して税金を使いすぎている。働いている人より豊かな生活をしている人がたくさんいるので、きちんと調査をしてほしい。税金は平等に区民に還元すべき。	1
	6 福祉一般	12
	・ 江戸川区の福祉は良いと聞かすが、良いならもっと他区より特徴を打ち出してもいいのではないか。何のために区民税が高いのか。	1
	・ 高齢者と子どもの数の多い江戸川区ではこれまで以上の支援対策を希望します。	1
	・ 高齢者の介護、子育て等も地域で協力すればお金をたくさん使わなくても済むのではないか。	1
	・ 高齢者や幼児は多いが、その中間の若い世代が少ないので、そういう世代を対象にした福祉とか手当てとか充実させてほしい。	1
	・ 施設などを作るのではなく、医療費や子育ての援助などを充実してほしい。	1
・ 熟年者、障害者へのサービスの給付(いろいろなサービス等の)がどんどん厳しくなっていると思う。年々削減、廃止されているサービスが多いと思う。区の財源が赤字でも、江戸川区の特徴であった福祉 熟年者・障害者・子どもの教育、成長は大切にしたいと思う。	1	
・ 身体障害者、視聴覚障害者のために重要な手続きなどを区の方に電話するだけで派遣して、代りに手続きをしてくれるシステムがあれば助かります。	1	

分類	具体的内容	件数
6 福 祉	・ 年寄りの面倒を観る人を働かせる。喜んでやると思います。	1
	・ 年金では生活出来ないことが大変不安です。病気になっても病院には行けず、子ども達世代も生活に追われ、今の日本のままではちょうど、私たち戦後生まれの人々は先の事を考えると、不安だらけなので、何とか対策をお願いしたい。公務員の方は老後は保障されていて、私たちほど、深刻ではないのではないのでしょうか。	1
104 件	・ 福祉の充実。	1
	・ 保育園・幼稚園月謝補助や乳幼児医療費助成等、江戸川区ならではの良さを維持し続けてほしい。	1
	・ 低所得者にもやさしいそして住みよい区にしてほしい。	1

7 生活振興

分類	具体的内容	件数
7 生 活 振 興 25 件	1 コミュニティ	8
	・ 数あるコミュニティー会館をもっと活用してレストラン、喫茶ができれば老人はいつでも遊びに行けて、外に出かける楽しみが出来ると思う。病院が老人のたまり場では、あまりにも寂しく惨めだ。	1
	・ 年配の人がいつでも好きな時間に遊びに行けるところ、ケアセンターとか老人介護施設とか形づくられたものではなく、近所でそこに行けば同じ年配の人がおしゃべりや趣味などできるようなところがあればいい。	1
	・ コミュニティーセンターの活用の改善をお願いします。(抽選制、有料について、利用者の数に比べて狭い)	1
	・ 現在は近隣の付き合いがないと思う。もっと身近で助け合えるような近隣生活(あったかい)ができればと希望します。	1
	・ 北小岩コミュニティも出来て利用者も多く、場所を取るのもなかなか思うようにいかない位、利用が多いことは大変嬉しいことです。	1
	・ 町会ごと又は地域でのボランティア活動、地域の清掃またはパトロールなどのグループ	1
	・ お祭りや催し物は少なくとも良いのではないかと。	1
	・ サークル活動をしていて困るのは、場所取りの問題です。区だけの問題ではなく国の問題として正社員を多くする。	1
	2 住宅	8
	・ 清新町はペット禁止のはずなのに、実際には飼っている人が多くいます。これは契約違反だし、周りに住んでいる人も迷惑していると思うので、やめさせてほしいです。	1
・ 無料住宅を。	1	
・ ひとりでも入れる都営の安い住宅。	1	
・ 都営住宅に長年住んでいて親が死んだ場合、出なければならぬと聞きました。なぜそういう制度になるのでしょうか。税金もきちんと納付しているのだから、親が死んでも世帯主を名義変更し、住む権利があると思うのです。それに今のお給料では、他に住んだら生活はできないし、税金も納付できません。国会議員や国家公務員の給与を減らして弱者を支援してください。	1	
・ 家賃が高く、今後ひとりになったら、住む場所がなくなる 低所得者の人たちが都営住宅に入りやすくしてほしい。	1	
・ 住宅費があまりに高いため、年金だけで支払うことが不可能となってきます。若い女性が子どもを産んでも住宅費が高くて子どもを産んでも生活できないことをよく聞きます。だから子どもを産めない、子どもをつくれないうまく聞きます。	1	
・ 都営団地のリフォーム。	1	
・ 低賃金の家屋。	1	

分類	具体的内容	件数
7 生 活 振 興 25 件	3 産業経済	9
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物をするときは東大島のダイエーか亀戸、または平井駅の方まで出なくてはならない。小松川2丁目・3丁目には団地がたくさんあるので、大きなスーパーなどあればとても便利です。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 江戸川区共通ポイントカードについての案内がない。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前世田谷区の烏山に住んでいたが商店街で買い物するとポイントが貯まるという制度があった。現在はその制度が発展し、買い物袋を持参したり、ペットボトルのリサイクルを行ってもポイントが貯まるようになっているそうです。小売店単独で同じような制度を持っている所はあると思うが、区が主体となって、同様の制度を導入してはいかがでしょうか。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 葛西駅・臨海公園駅をもっと賑やかにしてほしい。(駅ビル、ショッピングセンターをつくってほしい) 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺にしかデパートなどの買い物ができるところがないので、それ以外の所にもつくってほしい。駅まで行くには自転車や車、もしくはバスでいくしかないので、もっと近くにあると良い。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業振興。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業対策。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅付近は団地ばかりでスーパーとかが遠い。 ・ 活気ある商店街づくりをしてほしい。 	1

8 健康

分類	具体的内容	件数
8 健 康 27 件	1 施設	11
	・ 江戸川区の北側に病院がほしい。そして介護病棟も葛飾区へ入院している人が多い。葛西の病院も江戸川病院も通うのにバスでも2回以上乗り換えるようですから。	1
	・ 区内に総合病院があってもまったく利用できない。救急受診をお願いすると、他県、他区に行けと言われる。	1
	・ 総合病院がほしい。	2
	・ 総合病院を増やしてほしい。	2
	・ 船堀駅近くに総合病院があると便利だと思う。	1
	・ 医療機関（特に南葛西には外科がない）	1
	・ 小児科専門の病院が少なく困っている。	1
	・ 夜間等の緊急時に対応できる病院が少ないし、自分で行っても対応できないと病院をたらい回しにされる。	1
	・ 臨海病院の対応が悪い。	1
	2 助成	9
	・ 今の医療費助成対象年齢は小学校入学前となっていますが、できれば、小学校卒業までとなれば、とても助かります。	1
	・ 医療費の助成制度の繰り上げ（小学生以上）	1
	・ 医療費の無償年齢がもう少し高い年齢になるとありがたい。（小学生の方が病気、ケガ等も重いことが多いので）	1
	・ 医療費免除を小学校入学時までではなく、もう少しのばしてほしい。	1
	・ 医療費を小学6年生まで無料にしてほしい。	1
	・ 子どもの医療費助成は就学で区切るのはやめてほしい。できたら誕生月で区切ってほしい。うちは2人とも3月生まれでとても損をした気分だった。そう考えている人は多い。	1
	・ 乳児医療費の拡大。	1
	・ 医療費免除制限を小学6年生までにしてほしい。	1
	・ 不妊治療などの助成金制度があれば、子どもがほしくて金銭的な問題で治療が出来ないので、区からの支援があれば助かります。	1
	3 健康診断	3
	・ 毎年区民健診を受けているが、採血する人の技量が低く、内出血や腫れたりすることがある。	1
	・ 健康診断を近くの病院でできるようにしてほしい。	1
	・ 区民減額制の健康診断（人間ドックみたいな詳しい検査）	1
	5 健康一般	4
	・ 勤労福祉会館でも熟年者向け、健康体操等、教室があればいいと思う。	1
	・ 保健所やサポートセンターで気軽に健康相談できるといい。	1
・ 病院、医師の充実を切に願います。	1	
・ 休日の病院の当番医を広報などに載せてください。以前住んでいたところでは、1日と15日に広報を発行していてとても便利でした。	1	

9 教育

分類	具体的内容	件数
9 教 育 35 件	<p>1 学校教育</p>	22
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校教育、特に心の教育を徹底し、心身とも健全な青少年を育成してほしい。 1 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校教育で茶髪、金髪はいかがなものか。小学生の身なりをまず正しく指導を。 1 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校での研究授業などの回数を減らすか、もしくはいつも下校する時間を一定にしてほしい(子ども1~4年生ぐらいまでは何とか子どもの安全が気になるため、学校側の都合で下校時間があまりまちまちにならないようにしてほしい)。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校のクラス人数をもう少し少なくしてほしい きめ細かな学習環境を望みます。 1 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の小学校を研究校とするのもいいですが、いろいろな小学校に順に力を入れて見に来ていただきたい。学力はもちろん、多方面で子供の能力を伸ばすことにつながると思う。保護者の意識も高まり、その地域の住民の子供に対する意識もまた高まると思う。「子供を意識する目」「見つめている目」があることは子どもに対する犯罪防止に役立つと思う。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育、特に小中学校に力を注いでほしい。その結果として善良なマナーのある江戸川区民が増えていくと思います。また、学校教育を取り巻く方々、教員、すすくスクール等の人材の向上を望みます。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少人数制クラス(小中学校)の実現。 1 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公立中学校は江戸川区はあらゆる面で劣っていると思う。下の子は区外へ越境させた。先生方はいろいろだが、勉強不足だと感じることも多い。江戸川区のように、子どもが多い町は塾に行っているか否か。親の熱心さによって学力格差がどうしても広がってしまう。公立校がもっと具体的に対策を考え、動いてほしい。中学校までは子どもに負担がかからない近くの公立に行かせたいと考えているのに、今のままでは私立を考えざるを得ない。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公立中のレベルがあまりにも低い。塾に行かずとも都立校ぐらい入れるような教育をしてほしい。授業参観に行っても内容のつまらなさ、工夫のなさにあきれる。力量と意欲のある教師が不足している。受験に際しても、責任逃れの発言が多く、情けない。区として何かできることはないのか。せめて土曜に授業をしてもらえないだろうか。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉は充実していると思う。でも教育、及び小中高校生にのびのびする環境がないと思います。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育の区独自採用ができるのと良いと覆う。教員の資質の向上が充実した学校教育に結びつくのではないかと考えます。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国を愛し家族を大事にする教育をしてください。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育者のスキルアップを高めるためのプログラムの充実、現場、現状の把握(幼小中高ともに)に努めていただきたい。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育者の質が落ちています。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年のうち休日が多すぎます。土曜日でも登校するようにしてください。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育にもっと国際化教育を取り入れるなど、新しい視点でレベルアップを図って欲しい。小金井市のように、学力格差をなくすような、全員が基礎力アップする施策を実施してほしい。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅、人口増加で学校はマンモス化する一方なので、もう少しゆとりある環境を早急に希望します。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝食のない子にはパンと牛乳をあげてください。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みの学校授業をプールだけでなく他の教科にも広めてほしい。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本を強くするのは子どもを健全に育てること。まずは江戸川区からお手本を。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文科省は学校教育から廃止しましたが、家庭科というのは、生活の中で大切な科目だと思います。人間教育にも。授業に取り入れてほしい。 	1
<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆとり教育の問題点の対策。 	1	

分類	具体的内容	件数
9 教 育 35 件	2 施設	7
	・ 江戸川区は子どもがたくさんいるにも係わらず児童施設や情報を得る場が少ない気がする。もっと施設を増やしてほしい。	1
	・ 江戸川区には子どもが増えてきているので、学校の教室が足りず、校庭にプレハブが建ってしまい、校庭が狭くなったりしています。その後の対応はどうでしょうか。	1
	・ 学校（篠崎中学校の外観（植え込み）が荒れていて汚いです。毎日登校する生徒がかわいそう）	1
	・ いろいろな子どもが興味を持ったことをのばせるような（例えば実験したりできるような）施設や調べたりできたり専門家と話したりできるような施設があればいいと思います。	1
	・ 義務教育の予算を十分とっていただきたい。電気、水の使用も無駄はいけませんが、十分使わせたい。備品も必要なものは買えるように。冷房を完備してよい時代だと思う。	1
	・ 小中学校の施設、内容の充実をお願いしたいと思います。	1
	・ 小中学校に扇風機を全教室に整備してほしい。	1
	3 社会教育・体育	3
	・ 青少年健全育成のための力の入れ方。	1
	・ 今後未来ある青少年達が世の中を担っていくのかと思うと、この先暗く、どんな世の中になるのか恐ろしい。人々へ温かく、思いやりのある行動の取れる青少年を育てる環境を与えてあげてほしい。その中で大人も青少年もお互い学べるような環境があるといいかも知れない。	1
	・ 子どもの笑顔。	1
	4 教育一般	3
	・ 区のボランティアによる学習指導（無料 小中学生対象）。	1
	・ 公立小中学校のPTA活動では、8～9割が女性（主婦）で構成される。公平及び中立な活動をするためにも男性（父親、地元自治会、商店街など）が参画していただきたい。	1
	・ 小学校の学区の見直し。偏りが多いと弊害があると思う。校庭等での休み時間の様子を見ていると、疑問がある。	1

10 区民と区政

分類	具体的内容	件数
10 区民と区政 133 件	1 区政一般	59
	・ 花の祭典は継続を。	1
	・ 様々なジャンルの講習会を多めに設定していただけると区内の知り合いもたくさんでき、より充実した日々が過ごせると思います。	1
	・ 葬儀に関するセミナーなど多く開催してほしい。	1
	・ 無料パソコン教室（まだ利用していない人が多いと思います）	1
	・ 支出の削減について、人員削減もよいが、区政のサービスが滞るようではこまる。配置転換等で、必要なところには、十分な人員配置をしてほしい。	1
	・ 無駄かな。	1
	・ 無駄や不正を省いて区税を下げれば、区民は継続して住んでくれるはず。他区からも移るようになり、結果的に財政が安定するのでは？	1
	・ 無駄を省いて経費節減、職員削減の区政。	1
	・ インターネットで仕事の検索が充実することを望みます。	1
	・ 会社が少ない。	1
	・ 契約、リストラと心身ともに疲れている子供を見るのはつらい。終身雇用にしないと生活の計画が立たないし、夢を持つことができない（だから結婚できないし、子供ができない）。	1
	・ 雇用充実。	1
	・ ハローワークを江戸川区につくってほしい。	1
	・ 勤めていると、保険や住民票などの手続きをする時間がない。必要なものを区のHPで確認し、休みを取って、いざ手続きに行ってからあれが必要、この書類が必要と言われ、一度で用事が済まないことがよくある。無駄に足を運ぶのを避けるため、HPでのFAQの充実と、時間外電話対応があれば、いいのと思う。整備、設備の充実も大事だが、日常的な身近な手続きの効率アップの方が実感として区政、区の取り組みを感じられると思う。	1
	・ 電子申請サービスはセキュリティが万全でないと悪用されることがあると思うので、あまりなんでもパソコンでというのはどうなのか。	1
	・ 年配の人はパソコンが使えない人が多いので、すべてが電子申請になると困る。	1
	・ 江戸川区が大好きです。これまで通り区政をよろしく願います。	1
	・ 江戸川区に住んで満足しています。すべてに優しい区であるよう心がけてほしいです。	1
	・ 江戸川区は他区から評判がよく、行政に携わる方は誇りに思っていると思う。ここ数年、道路が見違えるように整備されたのは、高齢者、乳幼児、障害者等のことを考えて、段差をなくされたのだと思います。	1
	・ 現状に満足している。	1
	・ 実家のある墨田区より衣食住に関して非常に使いやすく活気のあるところで、これからも持続して行ってください。	1
	・ 他区から心配しながら移り住んで22年になる。今では住みたい所となっている。	1
	・ 昨年、江戸川区に転入してきましたが、とても住みやすい所だと思います。	1
	・ ずっと住むこの区に愛着があるので、イメージアップに尽力してほしい（街がきれい、住みやすい、安全、福祉充実）。	1
	・ 住民税などの税金の増加はゴメン。江戸川区のここが一番のポイントを強調及び強化してほしい。	1
	・ 皆さん一所懸命区政に取り組んでおられます。よい江戸川区を23区でナンバーワンの区となれるよう期待しています。	1
・ 江戸川区の伝統工芸、文化など大切にしてもらいたい。アピールしてほしい。	1	

分類	具体的内容	件数
10 区民と区政	・ 行政は、下々の暮らしの状況をわかってもらいたい。表面ばかりみないで、中の大変さをもっとわかってもらいたい。	1
	・ 結婚した息子が大杉町に住んでいるが、アパートの家賃が高く、子どもをつくらないでいる。子どもや高齢者を抱えても最低限の生活が可能である江戸川区となってほしい。	1
	・ 様々な困りごとを相談し、適切なアドバイスをしてくれるような行政であってほしい。	1
	・ 住みやすい区政制度	1
	・ 万人の満足は無理としても、限られた財政の中、区民のよりよき発展のために尽力してください。	1
	・ 人が安心して暮らし、人生の終演を迎えられるような江戸川区にしてほしい。	1
	・ みんなが喜ぶこと。	1
	・ サービスレベルの向上を望む。他の区を参考にして。	1
	・ 施設や組織制度を作るより、これからはマンパワー、経験、知恵を生かす区政を望みます。	1
	・ 「都合の良い区」にならないよう、ニート、過剰な保護（働けるのに働かず、生活保護などを受けて贅沢な生活をしている一部の者）を見極める対策をしてほしい。	1
	・ 国政も区政も同様だが、すでに始まっている2極化の格差社会。弱者に手厚い政治にしてもらいたい。	1
	・ 子どもや老人に対してとても対応が良いと言われているが、独身で納税している者へのメリットが少なく、不満を覚える。	1
	・ 助け合い、高齢者の多い区です。公務員だけ優遇ということがないように。	1
	・ 何も包み隠さず、公平感があり、頑張る人にサポートの手を差し出す行政	1
	・ 老人や子どもばかり優遇しないで、毎日働く社会人が恩恵を受けられるようなものを考えほしい 働いて税金を納めてもあまり恩恵を受けられないので腹立たしい。	1
	・ 以前は集団登校の小学生がたくさん集まった地域なのに、今は一人もいません。とても寂しく思います。子どもの姿が少なくなった。	1
	・ かつて文教の中心地域であった小岩、小松川地区等の衰退ぶりを知っていますか。老舗は次々つぶれ、空き地は駐車場と化し、品の悪い今風の店が歩道に商品と買い物客の自転車をあふれさせ、歩行者は大変迷惑しています。若い人に何の魅力もない町は、高齢化の一途をたどり、文化施設も頭脳も南の方へと移るばかりで昔から江戸川区に住み、かつて江戸川区を支え、盛り上げてきた住民は過疎化をただ憂うばかりです。行政はこういう所は置き去りにして、新用地と新住民にばかり目を向けて、今江戸川区は大いに発展しているのだと勘違いしてはいませんか。	1
	・ 何もかも行政に頼むという風潮はいかがなものか。	1
	・ 日常的に区役所はじめ、各事務所等出先機関に国旗、区旗が掲揚されていることに深く敬意を表しています。小生、総括的に観察して、小中学校等の教育施設では掲揚していない方が多いのではないかと（卒業、入学式は別として）さらに、国民の祝日における家庭や各種施設等での掲揚にももっと国民意識の向上と愛国心の高揚策を講ずる等して、明るい未来を目指す活力ある街づくりのため、町会全組織が中核となった積極的活動を展開して下さるよう、徐々に方向づけていただきたいと願っています。私は、今秋、問題提起を試みたいと目下、著作を進めており、微力を尽くしたいと意欲を燃やしている次第です。	1
	・ 24時間とまではいかないが、区役所は夜8時ぐらいまでやってほしい。	1
	・ 江戸川区役所は待ち時間が長い 座って待てる所が少ない。	1
	・ 各種証明書の交付申請等の受付時間の延長、もしくは土曜日の受付。	1
	・ 休日の窓口体制をつくってほしい。	1
	・ 行政サービスとして土曜日、区役所、事務所は営業していただきたいと思います。職員は交代で休んで対応してほしい。	1
	・ 区役所の受付時間を勤め人が利用しやすい時間帯（6時以降）まで延長してほしい	1
・ 区役所の駐車場が小さすぎる。	1	
・ 区役所の閉館時間を延ばしてほしい。もしくは土曜日も開いてほしい。	1	
・ 区役所までの交通の便が悪い。	1	

分類	具体的内容	件数
10 区民と区政	・ 証明書等などの発行が夜間でも受けられるように。	1
	・ 庁内に住宅局、保健局を増やし、待ち時間を短くしてもらいたい。(相談事書類の提出、受け取り、時間が長い)	1
	・ 平日、仕事を休まなくても役所を利用できるようにしてほしい。	1
	・ 夜間に住民票等の書類が取れるようにしてほしい。	1
	2 職員	14
	・ 区役所の社員の方はとても不親切な人が多い(受け答えが横柄で感じが悪い)もう少し教育をきっちりしてほしい。	1
	・ 区役所や事務所等窓口対応には不満を抱える人が周囲に多い。住民サービスのための意識改革をしてほしい。	1
	・ コミュニティホール 会館等がたくさんあり、パート職員がメインで働いているが、要領が悪い受付にいる職員も暗い人や態度の悪い人もいる。しっかりチェックして適材適所の配置をしてほしい。一番区民とふれあい場所だから。	1
	・ 職員の対応の質を向上してほしい。	1
	・ 電話等の対応などの向上。	1
	・ 窓口サービスの対応。	1
	・ 区の職員の勤務時間中の労働内容の是正(江戸川河川敷の野球場等の整備員)	1
	・ 区の窓口は女性職員の立ち話が目立つのでやめてほしい。	1
133 件	・ 瑞江の東部事務所に住民票を取りに行ったとき、交付する窓口にはひとりの女の職員が何をしてもなくずっと立ったままおられた。まさしく税金の無駄遣い。	1
・ 区役所に行って何か相談に行ったときに、もっと詳しく説明してもらいたい。	1	
・ 職員の人数が多く、区長に気を遣いすぎ。	1	
・ CP(コンプライアンス)CS(お客様満足度)担当部長を区長直属で設置することを提案する。役人と市民の相対関係についてよく検討してもらいたい。役人は市民の上に立つ存在ではなく、市民のために働くことで給料をもらっていることをよく教育すべきである。	1	
・ よき人材を育てることに力を入れたい。	1	
・ 人を相手にする仕事(教育・福祉・健康)は数字で評価できません。公的サービスとして、行政が責任をもってやってほしい。	1	
3 広報・広聴	17	
・ 広報えどがわに対して 新聞を購読していない人には目とすることがありません。私が勤めている文京には、町会を通じて配付されていますので、私は江戸川区の事よりも、文京区の区報をよく読んでいます。再考を望みます。	1	
・ 広報えどがわは新聞をとっていない人にも配ってほしい。	1	
・ 広報誌は新聞折り込みでなく各戸配布を。	1	
・ 新聞を購読しなければ広報えどがわの配付がありません。直接ポストに入れて欲しい。	1	
・ 区のさまざまなサービスが誰でもすぐわかるようにしてほしい。	1	
・ 区の働きの情報を知らせてほしい(でないと思ってしまう)	1	
・ こちらから求めようとしなくても情報がほしい。区政はどんなことをしているかなど。とにかく、無駄なことはしないでほしい。予算とか税金とか、区議会議員を満足させるためのお金ではない。大人なのだから自覚してください。	1	
・ 情報の発信など。	1	
・ 18歳の未成年に区民世論調査するのならなぜするのか、どう答えればよいのかなど、もう少しわかりやすい物にした方がよいと思う。	1	
・ お恥ずかしながら、区政というものが、何をしているのかわかりません。広報も読まない私がこういったアンケートに答えていいのかも不安です。	1	
・ 共同住宅に住んでいるが、国勢調査票がこない。	1	

分類	具体的内容	件数
10 区民と区政	<ul style="list-style-type: none"> このようなアンケートに回答できたことは大変ありがたかったです。若年層では区に対してあまり興味が持てない年齢であるので、このような機会は家族と話したりする場ができた。そして何よりも区に対して興味を持った。このような機会がないと今何が起きているのかわからなかったから、嬉しかった。今の若い人はアンケートとか好きだから、そこから情報を得られたらと思います。 一人暮らしで仕事が忙しく特別、区政に関心をもったことがなかったが、今回の調査を通じ、もう少し関心をもってみようと思った。私のような人間にも多方面から情報が入ってくるとよいと思う。 広報に力を入れて欲しい。 今まで通り「住みやすい区」として、区民の声に耳を傾けた施策を推進してほしい。 会社員ですので、普段の江戸川区の実態はよくわかりません 転入して間もないので、どこに何があるのかわかりやすい地図がほしい。 	1 1 1 1 1 1
	4 区民施設	10
	<ul style="list-style-type: none"> 区民館などの管理する人員の数などの再配置を考えてほしい。高給取りがすることはできない。 体育館等のスポーツ施設が主婦の方々に占拠されていて、まったく空きがありません。もう少し公正に体育館が使えるよう、例えば各層・各グループで、平等に使えるようにしていただけないでしょうか。 インターネットでグランド等は予約できるが、その前の登録も同様にできると嬉しい。 図書館の検索システムがマッキントッシュでも正常に使用できるようにしてほしい。 コンサートホールの有効活用。 新しい施設よりも、既存施設の有効活用をすべき。民営化すれば良いというものではない。 省エネ、リサイクルを考えるなら、いろいろな施設を増やすより、現在ある物の内容の見直し、充実を図るべきだと思う。 箱物はいらぬ 松江図書館がコミュニティ会館になるらしいが、図書館の部分を広くしてほしい。 カルチャー教室の利用について充実してほしい。 塩沢荘や穂高荘などの保養施設をよく利用しています。大変満足していますが、他にも利用できる施設があったら利用したいと思います。 	1 1 1 1 1 1 1 1 1
	5 議会	2
	<ul style="list-style-type: none"> 区議の人数が多すぎないか。また、報酬も魅力があるのか、区政に携わる議員さんたち、あなたたちは私たちの代表であることを忘れていないか。初心を思い出し、江戸川区のため、また、区民のために努力をしてほしい。 選挙の時だけ区政の事を言うが、ない時には何をしているのか明確にわからない。 	1 1
	7 税金	28
	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの回収に人員を使うのが人件費の無駄遣い。税金はもっと大切に使ってほしい。 区政はうまくいっていると思いますが、税金を無駄遣いしてもらいたくありません。 区の職員が多すぎ、ボーナスも多すぎ、税金を大事に使ってほしい。 血税を無駄遣いのないようにしてほしい。 効率よく税金を運営してください。 税金の使い道を知り、無駄遣いをなくしてほしい。 税金の無駄遣いはなくしてほしい。 	1 1 1 1 1 1 1

分類	具体的内容	件数
10 区民と区政 133 件	・ 税金を有効に活用してほしい。	1
	・ 成人して思うことは税金についてもっと早い内から知識があればよかったということ。中学校の授業などに取り入れていけば滞納してしまう率も低くなるし、後々の苦労も少なくなると思う。だが、税金を無駄遣いする人のために国の義務でお金を払うのは、どうかと思う。	1
	・ 無駄な税の見直し。	1
	・ わかりやすい納得の出来る税金の使い方をしてほしい。	1
	・ 区民税の見直しを行ってほしい。	1
	・ 区民税を安くしてください。	2
	・ 住民税減税。	1
	・ 税金を安くしてほしい。	3
	・ 年金生活者に対して固定資産税、区民税（都民税）安くして欲しい。	1
	・ 所得税の減税等の優遇処置も併せて行ってください。	1
	・ 住宅減税。	1
	・ 固定資産税、税金が高すぎる。年収によってもっと金額を変えてほしいと思います。住んでいる土地だけで値段が同じなので考えてほしい。	1
	・ 子どもがいない世帯の税金が高すぎる。	1
	・ 他区に比べて区民税が高いと思う。	1
	・ 過剰なサービス施設など作って、税金を上げないでほしい。	1
	・ 今年度より住民税が高くなりました。所得が増えたからなのか、税率が上がったからなのか説明がほしい。	1
	・ 高齢者に対する給付金、年金のみでは不可。我々の税金がどう使われているのか透明性を持たせてほしい。	1
	・ 収入の割にはひとりなので、健康保険料が多いから、ボロ家の修理もおぼつかない。	1
	・ 住民税の相談窓口を各所に設けてほしい。	1
	8 ボランティア	3
・ 気軽なボランティア	1	
・ 区民全世帯で一年に一度はボランティアをするということも広めていくとよいのではないか。	1	
・ 高校卒業後 20 歳頃の間で、半年～1年ボランティアを集団個人に関わらず義務化するような施策を考えてほしい。人から感謝される気持ちが人格形成には大切かと思われます。	1	